

# 教育委員会定例会事項書

平成31年1月28日(月)

9:00～ 教育委員室

## 1 開会宣言

議事録署名者 黒田委員

## 2 前回定例会審議結果の確認(別紙参照)

## 3 議 題

議案第 37号 職員の懲戒処分について

議案第 38号 職員の人事異動について

議案第 39号 公立学校職員定数条例の一部を改正する条例案

議案第 40号 三重県職員定数条例の一部を改正する条例案

議案第 41号 三重県立学校体育施設の使用料に関する条例案

議案第 42号 三重県立鈴鹿青少年センター条例の一部を改正する条例案

議案第 43号 三重県立熊野少年自然の家条例の一部を改正する条例案

議案第 44号 三重県総合博物館条例の一部を改正する条例案

議案第 45号 斎宮歴史博物館条例の一部を改正する条例案

議案第 46号 三重県立美術館条例の一部を改正する条例案

議案第 47号 三重県指定文化財の指定について

議案第 48号 平成31年度三重県一般会計予算について

議案第 49号 平成30年度三重県一般会計補正予算(第3号)について

## 4 報告題

報告 1 損害賠償の額の決定及び和解に係る専決処分について

報告 2 平成30年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状及び感謝状贈呈について

報告 3 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

## 5 閉会宣言



## 前回定例会の審議結果

### 1 日時

平成31年1月16日(水)

開会 9時30分

閉会 9時54分

### 2 場所

教育委員室

### 3 出席者及び欠席委員の氏名

出席者 廣田教育長、森脇委員、岩崎委員、黒田委員、原田委員

議事録署名者 岩崎委員

### 4 採択議案の件名

該当なし

### 5 請願陳情の付議の結果

該当なし

### 6 諸般の報告

報告1 訴えの提起に係る専決処分について

報告2 平成31年度三重県立学校実習助手採用選考試験の結果について

報告3 平成30年11月いじめ防止強化月間の取組について

### 7 その他会議において必要と認めた事項

該当なし





議案第47号

三重県指定文化財の指定について

三重県指定文化財の指定について、別紙のとおり提案する。

平成31年1月28日提出

三重県教育委員会教育長 廣田 恵子

提案理由

三重県指定文化財の指定については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第14号、三重県文化財保護条例第5条第1項、同条例第27条第1項及び三重県教育委員会権限委任規則第1条第11号の規定により教育委員会の議決を要する。

これが、この議案を提出する理由である。



(別紙)

新たに指定する三重県指定有形文化財 (案)

種別	有形文化財 絵画
名称	けんぼんちやくしよくぶつねほんず 絹本著色仏涅槃図
員数	1幅
所在地	松阪市中町1961番地
所有者	宗教法人 龍華寺

新たに指定する三重県指定無形民俗文化財 (案)

種別	無形民俗文化財 民俗芸能
名称	ひおきじんじゃ しんじおどり 日置神社の神事踊
所在地	伊賀市下柘植2260
保持団体	下柘植宮踊保存会・愛田かつこ踊り保存会

種別	無形民俗文化財 民俗芸能
名称	おおえ かつこおどり 大江の羯鼓踊
所在地	伊賀市馬場951
保持団体	大江羯鼓踊保存会

種別	無形民俗文化財 民俗芸能
名称	ひじきじんじゃ ぎおんおどり 比自岐神社の祇園踊
所在地	伊賀市比自岐685
保持団体	比自岐神社祇園踊保存会

有形文化財 絵画

けんぽんちゃくしよくぶつね はんず  
絹本著色 仏涅槃図

員 数：1 幅

法 量：本紙縦 110.6 cm, 本紙幅 85.4 cm

所 在 地：松阪市中町 1961 番地

所 有 者：宗教法人 龍華寺

所有者住所：松阪市中町 1961 番地

推 薦 市 町：松阪市

市町指定日：昭和 27 年 12 月 27 日

年 代：鎌倉時代中期

概要説明

松阪市に所在する龍華寺が所蔵する、鎌倉時代の涅槃図です。涅槃図は、釈迦の生涯を描いた仏伝図の一種で、涅槃会の本尊像として多くの寺院で制作され、伝えられています。

本図は、涅槃に入って横たわる釈迦と、その周囲で悲嘆号泣する菩薩や仏弟子、王侯などの人々と動物・鳥が描かれており、主要な人物には短冊形に名前が付されています。釈迦の枕を蓮台として両手を体側に沿わせる点、釈迦が横たわる宝棺の向きを南面前に描く点などは、涅槃図のなかでも平安時代末から鎌倉時代初期にかけて制作された古い形式によくみられるものです。釈迦の着ている衣の文様が金泥で描かれているため、本図の制作年代は鎌倉時代と考えられます。ほぼ全面に裏彩色が施され、色感ゆたかに表現されています。

鎌倉時代でも中期（13 世紀）までに制作されたと考えられ、三重県内でも古い作例として大変貴重な絵画です。

概要

龍華寺は、曹洞宗養泉寺末寺で、もと名庵寺といったようであるが、正保 4（1647）年に龍華寺と称したとされる。

諮問資料は、龍華寺所蔵「絹本著色仏涅槃図」1 幅で、伝来は不明である。仏涅槃図は釈迦の生涯の物語を描いた仏伝図の一種で、『大般涅槃経』『涅槃経教分』などに基づき、2 月 15 日に行われる涅槃会の本尊像として多くが制作されたが、本図のように鎌倉時代中期まで遡る作品は数少ない。本図は、跋堤河のほとり、四双八隻の沙羅双樹の下で涅槃に入る釈迦と、その涅槃に参集する人々や動物を描いたものである。

## 図様

画絹の縁に墨線の枠取りがあり、本図が制作当初の大きさをほとんど失っていないことがわかる。画絹には淡墨がはかれ、図絵全体に夜陰の雰囲気<sup>ぼつかん</sup>をただよわせている。

画面中央には釈迦が両手を体側にそえ、右脇を下に宝棺に横たわる姿を表し、その宝棺の向かって右辺側を見せる、いわゆる第一形式の涅槃図である。この形式の代表作は応徳三年(一〇八六)に制作された金剛峯寺所蔵仏涅槃図(「応徳涅槃図」267.6 cm×271.2 cm)であり、本図は、類例の少ない古式涅槃図の伝統をひく構図であることが注目される。また、釈迦の前に置かれた供養台も平安時代末から鎌倉時代初期の涅槃図に描かれる供物台と同類のもので、古式の構図を引くものである。

図中の短冊形 26 箇所には、菩薩・天部・仏弟子などの名称が白下地に墨書される。図の上部左寄りに満月、上部右寄りに摩耶夫人と従者が表される。菩薩衆は、普賢菩薩がもっとも釈迦寄りに描かれ、文殊、弥勒の三軀である。天部は四天王、阿修羅や龍王、迦楼羅などの八部衆数軀、金剛力士二軀が表される。仏弟子は 15 人で、このなかに含まれる賓頭盧は、釈迦の法を守護する羅漢を代表させている可能性がある。また、賓頭盧の近くに配された竜王は釈迦の法の象徴である宝珠を捧げ持っており、釈迦涅槃を通して、釈迦の法を継承するという意味づけと考えられる。このほか、阿闍世王、耆婆大臣、純陀などが表される。図下方には、各々が花果を捧げる姿の動物が描かれる。動物の種類は、いわゆる第二形式の涅槃図に描かれる動物数に比較して少ない。

## 彩色

釈迦は、肉身に白色の裏彩色を施し、表からは黄色をかけ、朱で肉線を描起こし、さらに薄く朱で隈取る。脛の線は墨でひき、口唇は朱で隈取り、肩は、墨に白緑を重ね引きする。髪は群青塗り、髪際には白緑を塗る。肉髻珠には朱を塗り白線を添える。白毫には白を塗る。肉身を金泥ではなく黄色に表すところは古式である。

釈迦の着衣には、濃い朱彩色の上に群青・緑の彩色で蓮華を含んだ花文を主文に、金泥線で菱入り七宝繫文を地文様として一面に配している。平安時代に制作された古式涅槃図の多くは着衣文様を截金で表しており金泥線が用いられることはないため、本図の地文様が金泥線で描かれている点は、鎌倉時代の制作であることを示しているとみられる。しかし、袈裟の縁などにみられる彩色文様は、温雅な彩色のみで表されまた白線くくりも見られ、平安時代後期のような古様な趣も見て取ることができる。

釈迦が枕にする蓮台、供物台上の香炉、菩薩の宝冠や、臂釧・腕釧などの金具の表現には裏箔が押されており、これらも平安時代以来の古式の技法である。錫杖に架かる衣鉢の内、鉢は裏箔に銀泥塗、包みは銀泥で隈取る。また、本図の場合ほとくに裏彩色がほぼ全面に施される点が特色であり、彩色主義的傾向が見て取れる。

面相は、小鼻から頬にかけて短く肉線をひくなど、おそらく菩薩像から影響を受けた表現がみられ、おおむね古様である。

## 構図

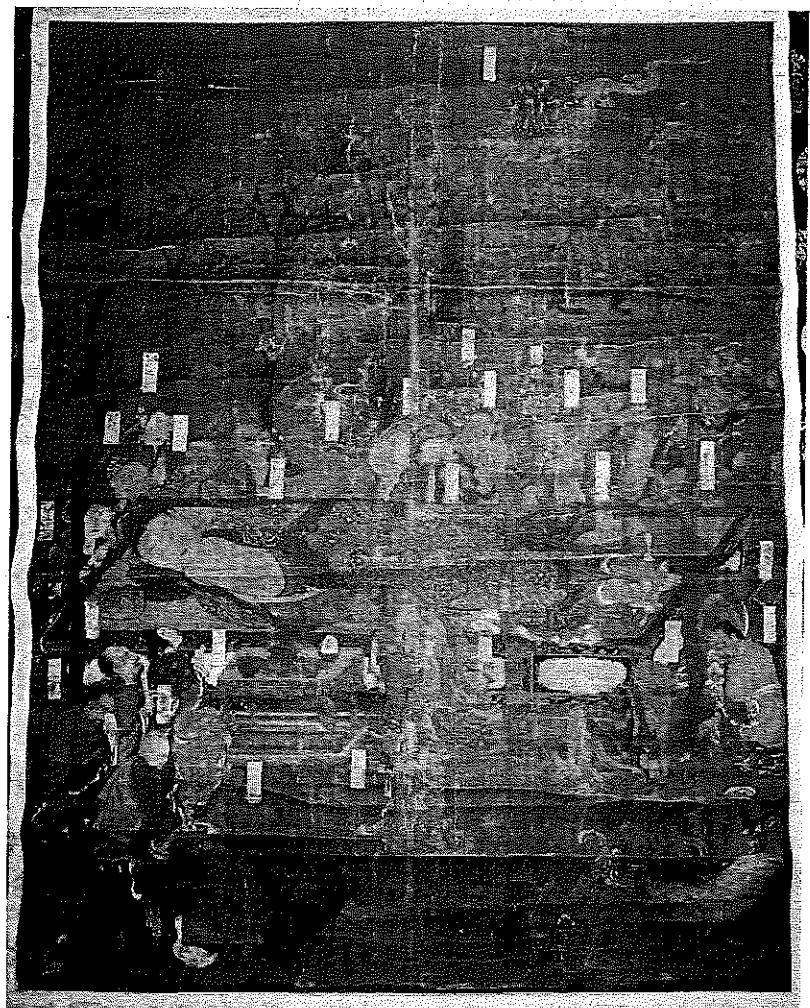
本図のような第一形式の涅槃図は、平安時代後期から鎌倉時代初期にかけて制作された涅槃図に多いが、本図はそのなかでも、前述した「応徳涅槃図」から受けた影響が大きく見て取られる。構図を比較すると、いくつかの人々や獅子などが類似するが、「応徳涅槃図」の富楼那が本図では優波離として描かれるなど、異なる人物から姿を借りていることがわかる。各時代の涅槃図では図様の継承があったことは指摘されているが、本図のような古式涅槃図でその一例が確認できることは重要である。本図の制作にあたっては、数本の古式涅槃図が参考にされたと推測される。

## 評価

本図は図様、彩色ともに平安時代涅槃図の古式を伝えながら、鎌倉時代中期までには描かれたと推測される作品である。表現描写は本格的である。ほぼ全面に制作当初の裏彩色が残っており、図様も失われることなく保存されている点が貴重である。

三重県内に伝来した鎌倉時代まで遡る絵画は少ない。本図は仏涅槃図のなかでも古い資料であり、本県の文化史上、価値の高い資料である。また、絵画史における仏涅槃図の図様の継承・変遷を考える上でも重要である。

よって、県指定文化財（絵画）として指定し、今後も万全の保護を図る必要がある。



## 無形民俗文化財（民俗芸能）

ひおきじんじゃ しんじおどり  
日置神社の神事 踊

所在地：伊賀市下柘植 2260（日置神社）

保持団体：下柘植宮踊保存会  
愛田かっこ踊り保存会

推薦市町：伊賀市

市町指定日：平成元年4月1日

### 概要説明

毎年4月10日、日置神社（伊賀市下柘植）の春祭に奉納されている踊りで、県内で「かんこ（鞆鼓）踊り」と総称される、風流（ふりゅう）太鼓踊りのひとつです（風流＝人の目を驚かす衣装や趣向を備えた芸能の様式）。下柘植には嘉永元（1848）年の歌本が伝えられています。

踊りは踊り子6人、歌出し4人、貝吹き2～4人、鬼4人で行われ、踊り子は上衣が紺の短着物に角帯を締め、下衣は裁着袴、手先は白手甲、両足は白足袋に草履を履きます。背にはオチズイという枝垂れ桜に似せた花飾りを背負い、胸前に締め太鼓を付けます。

日置神社の神事踊は、中世末期の風流踊りの系譜をひく伊賀地域の太鼓踊りの形態をよく伝えており、学術的な価値が高いものです。

### 概要

毎年4月10日、日置神社（伊賀市下柘植）の春祭に奉納されている踊りで、県内で「かんこ（鞆鼓）踊り」と総称される、風流（ふりゅう）太鼓踊りのひとつである。

伊賀地域のかんこ踊りは、雨乞い祈願や祇園祭の除災の踊りであった。踊りの願は、祈祷や儀礼を重ねても降雨のなかった時に最後にかかる願で、雨が降るまで祈願を続け、雨が降ったら願解きに「笹踊り」や「花踊り」を奉納したという。かんこ踊りは、かつて伊賀市内に43ヶ所以上あったと伝わるが、現在では、5地区（山畑、下柘植、愛田、大江、比自岐）と、歌・太鼓の拍子のみ継承する1地区（島ヶ原）のみとなっている。

踊りの始原は定かでないが、下柘植には嘉永元（1848）年の歌本が残る。明治41（1908）年に、愛田と下柘植の両地区にあった日置神社が下柘植の日置神社に合祀されるまでは、それぞれの地区がそれぞれの神社で祇園祭に奉納していた。戦中・戦後に幾度か中断したが、下柘植が昭和52（1977）年、愛田が昭和53（1978）年に復興してからは、下柘植2年、愛田1年の3年周期で奉納されている。

## 芸能の構成

現在伝承されている曲目は、下柘植：「御庭しずめ」「御庭踊」「小祝踊」「世の中踊」「じゅんやく踊」、愛田：「宿入」「宿踊」「かたびら踊」「神役踊」である。

基本的な踊りの体形は、神殿・鳥居を背に貝吹きと歌が並び、鬼と踊り子は2列縦隊となる。

人員構成 下柘植：踊り子6人、歌出し4人、貝吹き2～4人、鬼4人

愛田：踊り子6人、歌出し・歌取り各2人、貝吹き2人、鬼2人

衣装は両地区で細部は異なるが、大きくは共通している。踊り子は上衣が紺の短着物に角帯を締め、下衣は裁着袴<sup>たっつけばかま</sup>、手先は白手甲、両足は白足袋に草履を履く。背にオチズイと呼ばれる花飾りを負い、胸前に締め太鼓を付ける。オチズイは、細く割った竹に紙を染めた花と葉をつけて枝垂れ桜に似せた背負い飾りで、伊賀及び周辺地域のかんこ踊り、祇園祭に特徴的なものである。鬼は赤鬼と黒（青）鬼がおり、腰から瓢箪やでんでん太鼓、印籠やたばこ入れをつるし、頭にシャグマ（毛髪）を被り鬼面をつける。貝吹きと歌出しは紺または白の着物に角帯を締め、半纏を羽織り、笠を被り、白手甲、白足袋、草履または下駄履きである。

なお、愛田では、踊りの事前にシャグマ（馬）、馬子（火男）、踊り子等の行列が集落を練り歩く、下柘植では、踊りの後にオチズイの花飾りを魔除けとして配るなど、伊賀地域の祇園信仰の名残が認められる。

## 評価

伊賀のかんこ踊りの大きな特徴は、「じんやくや」「じゅんやくや」などと節毎に囃す「じんやく踊り」を伝えるところにある。「じんやく」は「順逆」の意であり、流行の小歌を順意不同につなぎ合わせた形が、中世の風流踊りの形態を典型的に残すと評価されている。また、じんやく踊りは伊賀地域を中心にして近江・山城・大和・伊勢など周辺地域に分布しており、17世紀以降、新大仏寺（伊賀市富永）の雨乞い信仰とともに、周辺に伝播したと推測されている。加えて、東日本に広く分布する獅子踊の入場や退場において、じんやく踊りの歌詞が取り入れられている点も特筆される。

このじんやく踊りは、「神役」「重役」などと記す例が語るように特別な曲とされるが、節拍子が句毎に変化する難しい曲でもあり、肉体的負担が大きいため、廃曲となった例が多い。

日置神社の神事踊は、中世末期の風流踊りの系譜をひく伊賀地域の太鼓踊りの形態を伝えるとともに、じんやく踊りの継承は芸能の発生や成立を示しており、学術的な価値が高い。以上から、本件は県指定文化財としての価値を十分に有しており、また、積極的に保護の措置を講じるべきである。





## 無形民俗文化財（民俗芸能）

おおえ かつこおどり  
大江の羯鼓踊

所在地：伊賀市馬場 951（陽夫多神社<sup>やぶた</sup>）

保持団体：大江羯鼓踊保存会

推薦市町：伊賀市

市町指定日：昭和48年9月1日

### 概要説明

毎年4月20日、陽夫多神社の春祭に奉納される踊りで、県内で「かんこ（羯鼓）踊り」と総称される風流（ふりゅう）太鼓踊りのひとつです。伊賀地域のかんこ踊りは、雨乞い祈願や祇園祭の除災の踊りとして、かつて伊賀市内に43ヶ所以上あったと伝わりますが、現在では5地区（山畑、下柘植、愛田、大江、比自岐）と、歌・太鼓の拍子のみ継承する1地区（島ヶ原）のみとなっています。

伊賀のかんこ踊りの大きな特徴は、「じんやくや」などと節毎に囃す「じんやく踊り」を伝えるところにあります。「じんやく踊り」は伊賀地域を中心にして滋賀・京都・奈良などでみられることから、新大仏寺（伊賀市富永）の雨乞い信仰とともに、周辺に伝わったと推測されています。

大江の羯鼓踊は、「じんやく踊り」の姿を伝えており、芸能の発生や成立を示す貴重な踊りです。

### 概要

大江の羯鼓踊は、伊賀市大江地区に伝承される踊りで、毎年4月20日、陽夫多神社（伊賀市馬場）の春祭に奉納される。県内で「かんこ（羯鼓）踊り」と総称される風流（ふりゅう）太鼓踊りのひとつである。

伊賀地域のかんこ踊りは、雨乞い祈願や祇園祭の除災の踊りとして、かつて伊賀市内に43ヶ所以上あったと伝わるが、現在では5地区（山畑、下柘植、愛田、大江、比自岐）と、歌・太鼓の拍子のみ継承する1地区（島ヶ原）のみとなっている。

大江の羯鼓踊の起源は明確でないが、寛永年間（1624～45年）に雨乞いの踊りとして始まったと言われており、旧大江村の氏神である火明（ほあかし）神社の境内で祇園祭（旧暦の6月14日）に奉納されてきた。明治41（1908）年、火明神社が陽夫多神社に合祀されてからは、春祭に奉納されている。なお、火明神社跡地と同じ境内に石立寺（せきりゅうじ）観音堂があり、雨乞いの神事をつかさどる夜叉明王坐像が祀られている。昭和になり、幾度か休止をしているが昭和47（1972）年に大江羯鼓踊保存会が結成され、昭和48（1973）年以降は毎年奉納されている。

## 芸能の構成

現在踊ることができる曲は、「祠入（しくいれ）踊」「お宮踊」「世の中踊」「御城踊」「御殿（おとの）踊」「虎松踊」「信玄踊」「鐘巻（かねまき）踊」「かえせ」「小順逆（こじんやく）」の10曲である。

踊りの役者は、「貝吹き」2人、「楽打ち（大太鼓）」2人、「踊り子」6人、「歌出し」4人、「鬼」4人の計18人で構成される。配列は、「貝吹き」と「楽打ち」が正面から庭を向き、「歌出し」・「踊り子（3人）」・「歌出し」の順で2列をとり、その左右に青と赤の「鬼」が並ぶ。

「貝吹き」は浅葱色の着物に菅笠を被り、わらじを履き、ほら貝を吹く。「楽打ち」は「貝吹き」と同様の衣装であり、台車に載せられた鉦打ちの長胴太鼓を叩く。大太鼓には、桜の枝を挿して飾る。「踊り子」は、腹部にさらしで鞆鼓を巻き、細く割った竹に紙を染めた花と葉をつけて枝垂れ桜に似せた飾りのオチヅイを背負い、浅葱色の着物に、よもぎ色のタツツケ（裁着）姿、わらじを履き、頭にはキジやクジャクなどの羽でできた被り物を着ける。「歌出し」は、浅葱色の着物に羽織を重ねて、笠を被っており、左手に歌本、右手に団扇を持って拍子をとる。「鬼」は赤鬼2人と青鬼2人の構成をとり、左手に団扇、右手にバイを持つ。

「貝吹き」は子どもの役で、小学校3年生頃から始める。2～3年経つと「楽打ち」に進み、その後、「踊り子」、「歌出し」、「鬼」と順番に経験する。「貝吹き」は「踊り子」のリズムを真似、「楽打ち」は「踊り子」と同じリズムで団扇を動かすため、自然と身体にリズムが刻まれる。「鬼」は踊り子よりもリズムを少し早め、一步先を踊るため、熟練者が担う。

## 当日の進行

当日は、河合地区市民センターで着替えを行い、神社まで練り歩く。これと並行して神社の宮司ら神職による祭典が執り行われる。祭典が終わると、踊りの奉納が始まる。曲目は、庭鎮めの踊りにあたる「祠入踊」と、「信玄踊」「鐘巻踊」「世の中踊」「かえせ」「小順逆」などから2～3曲が選ばれる。このため、「祠入踊」以外の曲は、年ごとに変わる。奉納は、「祠入踊」と2曲目が踊られた後、小休止となり、その間に年長者による演目の解説が行われる。解説後は、残りの曲目を踊り、奉納が終わる。

## 大江の鞆鼓踊の特徴

特徴として、他の地区より動きが早く、変化が大きいことがあげられる。踊りの所作は大変整えられており、特に足の運びは役者全員が絶えず行っており、体全体で芸態を身につけられるようになっている。

また、曲目のうち「かえせ」は、「小順逆」の冒頭に踊られる曲であるが、ひとつの踊りとして独立していること、台車に載せられた鉦打ちの長胴太鼓が加わることも、特徴にあげることができる。

## 評価

伊賀のかんこ踊りの大きな特徴は、「じんやくや」などと節毎に囃す「じんやく踊り」を伝えるところにある。「じんやく踊り」は伊賀地域を中心にして滋賀・京都・奈良な

ど周辺地域に分布するが、伊賀新大仏寺の雨乞い信仰とともに、周辺に伝播したと推測されている。「じんやく踊り」は「神役」「重役」などと記す例が語るように、特別な曲とされるが、節拍子が句毎に変化する難しい踊りであり、肉体的負担も大きいため、廃曲となった例が多い。

大江の羯鼓踊は、数少ない伊賀のかんこ踊りの「じんやく踊り」の姿を伝えており、指定推薦の目安である「芸能の発生又は成立を示すもの」「地域的特色を示すもの」を満たしており、学術的価値も高い。以上から、本件は県指定文化財としての価値を十分に有していると判断される。



《指定説明》 指定文化財 4

無形民俗文化財（民俗芸能）

ひじきじんじゃ ぎおんおどり  
比自岐神社の祇園踊

所在地：伊賀市比自岐 685（比自岐神社）

保持団体：比自岐神社祇園踊保存会

推薦市町：伊賀市

市町指定日：平成 4 年 5 月 27 日

概要説明

毎年 7 月第 4 日曜、比自岐神社の祇園祭に奉納されている踊りで、県内で「かんこ（鞆鼓）踊り」と総称される、風流（ふりゅう）太鼓踊りです。地元には万延元（1860）年の歌本複写が残されています。

踊りは、大太鼓 1 台につき踊り子が 6 人付き、交代で太鼓を打ちます。鞆鼓を打つ踊り手は登場せず、大太鼓を打つ時の踊り子の所作が「踊り」に発展したもので、類例は伊賀西部から奈良県東部に分布しています。

踊り子は丈の短い浴衣に黄色の帯と襷、頭には花笠を被り、足は素足です。歌出しは菅笠を被り、浴衣に黒の羽織を着て、団扇を持ちます。貝吹きは浴衣です。

比自岐神社の祇園踊は、伊賀西部から奈良県東部（大和高原北部～宇陀川流域）の風流太鼓踊りの地域的特色をよく伝えるものとして、旧伊賀町や旧阿山町のかんこ踊りと並んで重要なものです。

概要

毎年 7 月第 4 日曜、比自岐神社（伊賀市比自岐）の祇園祭に奉納されている踊りで、県内で「かんこ（鞆鼓）踊り」と総称される、風流（ふりゅう）太鼓踊りの派生形である。伊賀地域のかんこ踊りは、雨乞い祈願や祇園祭の除災の踊りであった。現在では、5 地区（山畑、下柘植、愛田、大江、比自岐）と、歌・太鼓の拍子のみ継承する 1 地区（島ヶ原）のみとなっている。

地元には万延元（1860）年の歌本複写が残されており、雨乞い祈願に太鼓踊りが踊られてきたことが知られるが、祇園祭に踊られるようになった経緯は明確でない。戦争により中断されたが、昭和 27（1952）年に復興した。その後、断絶するが、昭和 50 年に復興。昭和 51 年には氏子圏の他地区も加わり、比自岐祇園踊保存会が結成された。

芸能の構成

大太鼓と貝の拍子が中心で、鞆鼓を打つ踊り手は登場しない。大太鼓を打つ時の踊り子の所作が「踊り」に発展したものである。大太鼓を数人が一節ずつ交代して打つ芸態は、旧伊賀町や旧阿山町のかんこ踊りとは異なっている。類例は伊賀市法花（廃絶）、

同島ヶ原（歌と拍子のみ伝承）、奈良県奈良市都祁吐山<sup>つげはやま</sup>、宇陀市室生大野の太鼓踊りなど、伊賀西部から奈良県東部（大和高原北部～宇陀川流域）に分布している。

なお、万延の歌本には、「かんこ踊」の曲名が残り、鞆鼓を胸に付けたかんこ踊りが部分的に踊られた可能性もあるが、判然としない。

現在伝承されている曲目は、「鐘巻踊<sup>かねまき</sup>」「陣立踊<sup>じんたち</sup>」「こじんやく踊」「よめご踊」「かたびら踊」の5曲である。「よめご踊」の前に休憩が入り、その間に踊り子は花笠を、歌出しは菅笠と羽織を脱ぐ。「こじんやく踊」までの前半部がより儀礼的・形式的といえ、かつては「こじんやく踊」の後に祇園花の花取り行事があったという。

基本的な踊りの体形は、神殿・鳥居を背に歌出しが並び、向い合わせに大太鼓を2台並べる。大太鼓1台につき踊り子が6人付き、交代で太鼓を打つ。貝吹きは太鼓の左後方に3名控える。神社境内の四方には、くじ付きの団扇を結びつけた笹竹や、枝垂れ桜に似せた造花「ほうろ花」が立てられる。「ほうろ花」は、伊賀地域のかんこ踊りや祇園祭に特徴的なものである。

衣装は、踊り子が丈の短い浴衣に黄色の帯と襷、頭には花笠を被り、足は素足である。歌出しは菅笠を被り、浴衣に黒の羽織を着て、団扇を持つ。貝吹きは浴衣である。

## 評価

伊賀のかんこ踊りの大きな特徴は、「じんやくや」「じゅんやくや」などと節毎に囃す「じんやく（順逆）踊り」を伝えるところにある。じんやく踊りは伊賀地域を中心にして近江・山城・大和・伊勢など周辺地域に分布しており、17世紀以降、新大仏寺（伊賀市富永）の雨乞い信仰とともに、周辺に伝播したと推測されている。このじんやく踊りは、「神役」「重役」などと記す例が語るように特別な曲とされるが、節拍子が句毎に変化する難しい曲でもあり、肉体的負担が大きいため、廃曲となった例が多い。じんやく踊りの継承は、芸能の発生や成立を示しており、学術的な価値が高い。

また、比自岐神社の祇園踊は、伊賀西部から奈良県東部（大和高原北部～宇陀川流域）の風流太鼓踊りの地域的特色をよく伝えるものとして、旧伊賀町や旧阿山町のかんこ踊りと並んで重要である。加えて、花取り行事など祇園祭との一体性も保たれている。

以上から、本件は県指定文化財としての価値を十分に有しており、また、積極的に保護の措置を講じるべきと判断される。





報告2

平成30年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状  
及び感謝状贈呈について

平成30年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状及び感謝状贈呈について、別紙のとおり報告する。

平成31年1月28日提出

三重県教育委員会事務局  
高校教育課長





## 平成30年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状及び感謝状贈呈について

### 1 趣旨・目的

学校教育におけるキャリア教育を推進するため、職場体験やインターンシップ等により、児童生徒の勤労観・職業観の育成や学習意欲の向上に顕著な功績をあげた事業所に対し、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状（以下「感謝状」という。）及び職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状「みえの人づくり応援隊」（以下「特別感謝状」という。）を贈呈するとともに、広く県民に周知する。

### 2 制度の概要

#### (1) 感謝状の贈呈

キャリア教育を推進するため、連続して5年以上インターンシップを受け入れる等、一定の要件を満たした事業所に対して、「職場体験・インターンシップ等」部門と「デュアルシステム」部門の2つの部門に分け、実施している。

※ デュアルシステムとは

就業体験を、特定の科目の中で週時程（時間割）に位置付けて実施し、学業と就業体験の双方を一定期間行う仕組み。

#### (2) 特別感謝状の贈呈

キャリア教育を推進するため、感謝状の贈呈を受けて以降、連続10年にわたってインターンシップを受け入れる等、一定の要件を満たした事業所に対し、平成28年度から実施している。

### 3 感謝状について

経済団体、県立学校、市町等教育委員会から推薦若しくは申請（自薦）のあった「職場体験・インターンシップ等」部門27事業所、「デュアルシステム」部門2事業所の合計29事業所について、感謝状を贈呈する。（別紙1）

### 4 特別感謝状について

平成21年度に感謝状を贈呈した17事業所のうち、要件を満たす5事業所に対し、特別感謝状及び記念品を贈呈する。（別紙2）

### 5 感謝状贈呈式

- (1) 期 日 平成31年2月19日（火）
- (2) 時 間 13時00分～14時00分
- (3) 会 場 三重県総合文化センター 小ホール
- (4) 内 容 趣旨説明  
特別感謝状贈呈  
感謝状贈呈  
教育委員会教育長謝辞  
事業所挨拶

※ キャリア教育フォーラムにおいて感謝状及び特別感謝状の贈呈式を行う。

(参考) 感謝状贈呈事業所所在地について

市町名	H30年度 事業所数		H19~29年度 事業所数
	職	デ	
桑名市	4	0	67
いなべ市	0	1	8
東員町	1	0	8
四日市市	5	0	15
菟野町	1	0	2
亀山市	4	0	35
津市	4	0	32
伊勢市	4	0	44
伊賀市	3	0	14
名張市	1	0	3
紀宝町	0	1	6
その他	0	0	90
計	27	2	324

職：「職場体験・インターンシップ等」部門

デ：「デュアルシステム」部門

(別紙1)

## 感謝状贈呈事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門

27事業所

番号	事業所名	代表者	所在地
1	上杉園芸	代表 上杉 弘文	四日市市
2	介護老人保健施設あのを	施設長 小池 宏	津市
3	かつ勢本店伊勢店	店長 栗原 信樹	伊勢市
4	学校法人みどり学園ゆたかこども園	園長 岡村 豊	伊勢市
5	株式会社アクアイグニス	代表取締役 立花 哲也	菰野町
6	株式会社共同技術コンサルタント	代表取締役 柘植 満博	伊賀市
7	株式会社ココカラファイン阿山店	店長 前川 公宏	伊賀市
8	株式会社プラトンホテル	代表取締役 佐野 貴信	四日市市
9	株式会社北勢タイヤ商会	代表取締役 伊藤 維高	桑名市
10	株式会社三重物産	代表取締役 加治 圭一	桑名市
11	グリーンサービス岡本	代表 岡本 文洋	四日市市
12	幸栄ベーカリー株式会社	代表取締役 笠井 剛	四日市市
13	三立精機株式会社	代表取締役社長 酒井 泰久	桑名市
14	社会福祉法人敬親会 特別養護老人ホームさわやか園	理事長 鈴木 岩雄	伊賀市
15	社会福祉法人青山里会 障害者支援施設小山田苑	施設長 三瀬 正幸	四日市市
16	鮓いの上	店主 井上 佳郎	亀山市
17	芹の里介護老人保健施設	施設長 中村 覚	津市
18	特別養護老人ホーム亀寿苑	理事長 伊藤 英子	亀山市
19	特別養護老人ホーム高田光寿園	施設長 藤井 智雄	津市
20	中本ボックス株式会社名張工場	工場長 増井 忠司	名張市
21	百五管理サービス株式会社	代表取締役 森永 豊	津市
22	ホクト合成株式会社	代表取締役 齋藤 斗志郎	東員町
23	堀田スポーツ開発株式会社	代表取締役社長 堀田 誠	亀山市
24	有限会社HIRANO METAL WORKS	代表取締役 平野 博明	桑名市
25	有限会社藤屋窓月堂	代表取締役 藤波 俊也	伊勢市
26	有限会社古川書店	代表取締役 古川 大策	伊勢市
27	レストラン コ・ピアン	代表取締役 櫻井 薫	亀山市

「デュアルシステム」部門

2事業所

番号	事業所名	代表者	所在地
1	株式会社マルテ鋳器	代表取締役社長 出口 博一	いなべ市
2	道の駅紀宝町ウミガメ公園	代表取締役 石本 慶紀	紀宝町

特別感謝状贈呈事業所一覧

5事業所

番号	事業所名	所在地
1	株式会社ぎゅーとら	伊勢市
2	社会福祉法人ひまわり会ひまわり保育園	熊野市
3	社会福祉法人若葉福祉会若葉保育園	松阪市
4	トヨタカローラ三重株式会社四日市本社店	四日市市
5	ホクセイ株式会社	桑名市

伊勢市 伊勢市 伊勢市  
 熊野市 熊野市 熊野市  
 松阪市 松阪市 松阪市  
 四日市市 四日市市 四日市市  
 桑名市 桑名市 桑名市

伊勢市	熊野市	松阪市	四日市市	桑名市
-----	-----	-----	------	-----

平成30年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門

番号	所在地	事業所名	学校への支援内容等
1	四日市市	上杉園芸	<p>平成24年度から平成30年度までの7年間、四日市農芸高等学校2年生のインターンシップを9日間受け入れている。</p> <p>植え付け、収穫、出荷などの技術指導をするとともに生徒が農業の魅力を実感できるよう工夫している。</p>
2	津市	介護老人保健施設あほう	<p>平成24年度から平成30年度までの7年間、みえ夢学園高等学校社会福祉系列4年次生のインターンシップを15日間受け入れている。</p> <p>生徒たちが将来の勤労観を醸成できるよう、介護技術や介護過程を丁寧に指導している。また、キャリア教育の講演会に講師として参加している。</p>
3	伊勢市	かつ勢本店伊勢店	<p>平成24年度から平成30年度までの7年間、市内の複数の中学校の職場体験をそれぞれ3日間受け入れている。</p> <p>調理補助や接客、清掃など、様々な業務を指導している。特に、接客業務では、来店者の動きに合わせて何をすべきか、自分で考えて行動することの大切さに気づかせるようにしている。</p>
4	伊勢市	学校法人みどり学園ゆたかこども園	<p>平成23年度から平成30年度までの8年間、市内の複数の中学校の職場体験をそれぞれ3日間受け入れている。</p> <p>保育補助や園内の環境整備、清掃などの指導をしている。</p> <p>きめ細かな事後指導を行い、生徒の職業観・勤労観を醸成している。</p>

平成30年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門

番号	所在地	事業所名	学校への支援内容等
5	菟野町	株式会社アクアイグニス	平成26年度から平成30年度までの5年間、朝明高等学校2年生のインターンシップを5日間受け入れている。 商品の陳列、清掃の指導だけでなく、挨拶や接客の基本を伝えることにより、コミュニケーションの大切さについて指導している。また、朝明高等学校で実施している進路ガイダンスにも協力している。
6	伊賀市	株式会社共同技術コンサルタント	平成20年度から平成30年度までの11年間、伊賀市立霊峰中学校、阿山中学校の2年生の職場体験をそれぞれ3日間受け入れている。 道路の状態の測量、設計、土質調査などの業務補助を指導している。 また、事前学習として、働くことの意義について生徒に講話を行っている。
7	伊賀市	株式会社ココカラファイン阿山店	平成21年度から平成30年度までの10年間、伊賀市立霊峰中学校、阿山中学校の2年生の職場体験をそれぞれ3日間受け入れている。 商品の補充や陳列、接客などの業務補助を指導している。また、事前指導では、働くことの意義を伝えることで、生徒の働く意欲を高めている。
8	四日市市	株式会社プラトンホテル	平成26年度から平成30年度までの5年間、四日市市内の複数の中学校の職場体験を、年間9日間以上受け入れている。 接客やフロント業務、ベッドメイキングなど宿泊業について理解を深める指導をしている。また、市内の中学校において講演を行っている。

平成30年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門

番号	所在地	事業所名	学校への支援内容等
9	桑名市	株式会社北勢タイヤ商会	<p>平成26年度から平成30年度までの5年間、桑名工業高等学校2年生のインターンシップを5日間受け入れている。</p> <p>自動車用タイヤ及び関連用品の修理の業務補助などの指導を行っている。生徒の勤労意欲を高めるために、実践的な技術に触れられるよう工夫している。</p>
10	桑名市	株式会社三重物産	<p>平成26年度から平成30年度までの5年間、桑名工業高等学校2年生のインターンシップを5日間受け入れている。</p> <p>水道管工事の業務補助などの指導を行っている。生徒の勤労意欲を高めるために、実践的な技術に触れられるよう工夫している。</p>
11	四日市市	グリーンサービス岡本	<p>平成24年度から平成30年度までの7年間、四日市農芸高等学校2年生のインターンシップを9日間受け入れている。</p> <p>稲作を中心に農業についての魅力を体験できるよう工夫し、出荷準備、収穫、調整、加工などの体験実習を丁寧に指導している。また、学校行事で生徒の農業への意識を醸成している。</p>
12	四日市市	幸栄ベーカリー株式会社	<p>平成8年度から平成30年度までの23年間、四日市農芸高等学校2年生のインターンシップを12日間受け入れている。</p> <p>安全衛生指導、製造業務などの指導をしている。特に、安全衛生指導後には生徒が意識をもって真摯に仕事に向き合えるようになり、勤労観の育成に寄与している。</p>

平成30年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門

番号	所在地	事業所名	学校への支援内容等
1.3	桑名市	三立精機株式会社	<p>平成26年度から平成30年度までの5年間、桑名工業高等学校2年生のインターンシップを5日間受け入れている。</p> <p>金属工作機械製造の業務補助などの指導を行っている。生徒の勤労意欲を高めるために、実践的な技術に触れられるよう工夫している。</p>
1.4	伊賀市	社会福祉法人敬親会特別養護老人ホームさわやか園	<p>平成22年度から平成30年度までの9年間、伊賀白鳳高等学校ヒューマンサービス科の介護実習を50日以上受け入れている。</p> <p>介護技術についてきめ細かな指導を行い、伊賀白鳳高等学校開校以来、介護実習の受け入れ施設として、生徒の職業観・勤労観の育成に寄与している。</p>
1.5	四日市市	社会福祉法人青山里会障害者支援施設小山田苑	<p>平成24年度から平成30年度までの7年間、特別支援学校西日野にじ学園高等部の現場実習を10日間受け入れている。</p> <p>シーツのクリーニング業務など、生徒の特性に応じてきめ細かな指導をしている。</p> <p>平成30年度までに2名の採用実績がある。</p>
1.6	亀山市	鮎いの上	<p>平成25年度から平成30年度までの6年間、亀山高等学校2年生のインターンシップを4日間、亀山市立中部中学校2年生の職場体験を5日間受け入れている。</p> <p>食器洗い、片付け、掃除、接客補助等について丁寧に指導している。仕事のやりがいやコミュニケーションの大切さについて話をするすることで、生徒の勤労観・職業観を醸成している。</p>



平成30年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門

番号	所在地	事業所名	学校への支援内容等
17	津市	芹の里介護老人保健施設	<p>平成24年度から平成30年度までの7年間、みえ夢学園高等学校4年次生の介護実習を15日間受け入れている。</p> <p>介護技術や介護過程などを指導している。多職種による研修や実習中に行われるカンファレンスは実際のものに近く、将来の姿を想像して介護実習に臨むことができるよう工夫している。</p>
18	亀山市	特別養護老人ホーム亀寿苑	<p>平成26年度から平成30年度までの5年間、亀山高等学校総合生活科3年生のインターンシップを5日間受け入れている。</p> <p>高齢者とのコミュニケーションの取り方や介護補助などを指導している。仕事のやりがいやコミュニケーションの大切さについて話をすることで、生徒の勤労観・職業観を醸成している。</p>
19	津市	特別養護老人ホーム高田光寿園	<p>平成24年度から平成30年度までの7年間、みえ夢学園高等学校社会福祉系列の2年次生から4年次生の介護実習を8日間以上受け入れている。</p> <p>介護技術や介護過程などを指導している。生徒の資質や状況に配慮し、生徒一人ひとりの能力を引き出すよう工夫している。</p>
20	名張市	中本パックス株式会社名張工場	<p>平成24年度から平成30年度までの7年間、特別支援学校伊賀つばさ学園高等部の現場実習を7日間以上受け入れている。</p> <p>機械を使ったプラスチックの剥離作業を中心に、生徒の特性に応じた指導をしている。実習終了後には丁寧な結果報告と助言をしている。</p> <p>平成26年度から29年度までに2名の採用実績がある。</p>

平成30年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門

番号	所在地	事業所名	学校への支援内容等
21	津市	百五管理サービス株式会社	<p>平成26年度から平成30年度までの5年間、稲葉特別支援学校高等部の現場実習を5日間以上受け入れている。</p> <p>生徒の特性に応じて、手形や小切手、ゴム印作成業務、用度品取扱業務などの指導をしている。</p> <p>平成27年度から29年度までに2名の採用実績がある。</p>
22	東員町	ホクト合成株式会社	<p>平成24年度から平成30年度までの7年間、くわな特別支援学校高等部の現場実習を受け入れている。</p> <p>工場内でのプラスチック製部品の組立検品作業及び機械操作を指導している。また、くわな特別支援学校の開校当初よりキャリアサポート委員会のメンバーとして学校の教育活動に貢献している。平成30年度までに、2名の採用実績がある。</p>
23	亀山市	堀田スポーツ開発株式会社	<p>平成26年度から平成30年度までの5年間、亀山高等学校普通科2年生のインターンシップを5日間受け入れている。</p> <p>スイミングやジムトレーナーのサブ指導のほか、フロント業務などを指導している。仕事のやりがいやコミュニケーションの大切さについて話をすることで、生徒の勤労観・職業観を醸成している。</p>
24	桑名市	有限会社 HIRANO METAL WORKS	<p>平成26年度から平成30年度までの5年間、桑名工業高等学校2年生のインターンシップを5日間受け入れている。</p> <p>五軸加工マシニングセンターなどを使った高精度部品加工業務補助の指導を行っている。生徒の勤労意欲を高めるために、実践的な技術に触れられるよう工夫している。</p>

平成30年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門

番号	所在地	事業所名	学校への支援内容等
25	伊勢市	有限会社藤屋窓月堂	<p>平成23年度から平成30年度までの8年間、市内の複数の中学校の職場体験をそれぞれ3日間受け入れている。</p> <p>和菓子の製造に係る業務等を指導している。五十鈴中学校区内の家庭に配布される会報で、中学生に働くことの意味を伝えるとともに、地域へ職場体験の意義を発信し、地域の教育力の醸成に貢献した。</p>
26	伊勢市	有限会社古川書店	<p>平成23年度から平成30年度までの8年間、市内の複数の中学校の職場体験をそれぞれ3日間受け入れている。</p> <p>店内の書籍の整理や補充、清掃活動、接客業務などの指導をしている。</p> <p>市内の半数以上の中学校の職場体験を受け入れ、積極的に職場体験に関わっている。</p>
27	亀山市	レストラン コ・ピアン	<p>平成26年度から平成30年度までの5年間、亀山高等学校2年生のインターンシップを5日間受け入れている。</p> <p>食器洗い、片付け、掃除、接客補助などを丁寧に指導している。仕事のやりがいやコミュニケーションの大切さについて話をすることで、生徒の勤労観・職業観を醸成している。</p>

平成30年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈事業所一覧

「デュアルシステム」部門

番号	所在地	事業所名	学校への支援内容等
1	いなべ市	株式会社マルデ鋳器	<p>平成28年度から平成30年度までの3年間、桑名工業高等学校2年生を年間25日間受け入れている。</p> <p>商品加工などの業務補助の指導を行うだけでなく、最先端技術に触れる機会を設け、生徒の職業理解を促している。</p> <p>学校と情報交換を行い、有意義な就業体験になるよう心掛けている。</p>
2	紀宝町	道の駅紀宝町ウミガメ公園	<p>平成26年度から平成30年度までの5年間、紀南高等学校2年生を年間約20日間受け入れている。</p> <p>売店での品出しや接客業務の指導を行っている。紀南高校で行われた高校生と地元企業の交流会にも参加し、生徒の勤労観・職業観の醸成に寄与するとともに、地域の人材育成のため、積極的に協力している。</p>

# 職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈取扱要領

## 「職場体験・インターンシップ等」部門

### (目的)

第1条 この制度は、学校教育におけるキャリア教育を推進するため、職場体験やインターンシップ等により、児童生徒の勤労観・職業観の育成や学習意欲の向上に顕著な功績をあげた事業所に対し感謝の意を表し、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状（以下「感謝状」という。）を贈呈するとともに、県民に広く周知することを目的とする。

### (贈呈対象)

第2条 感謝状贈呈の候補者となることができるものは、次の各号のいずれかに該当する県内事業所とする。

一 公立小学校、公立中学校又は公立義務教育学校における功績

小学校、中学校又は義務教育学校における職場見学及び職場体験について児童生徒の受入れを行い、かつ小学校、中学校又は義務教育学校における教育活動への参加をとおしてキャリア教育の推進に尽力した県内事業所。

二 県立高等学校における功績

県立高等学校におけるインターンシップについて生徒の受入れを行い、かつ県立高等学校における教育活動への参加をとおして、キャリア教育の推進に尽力した県内事業所。

三 県立特別支援学校における功績

県立特別支援学校における就労体験について児童生徒の受入れを行い、キャリア教育及び就労の推進に尽力した県内事業所。

### (候補者の推薦及び申請)

第3条 前条に掲げる功績にあつては、市町等教育委員会、県立学校若しくは経済団体の推薦又は職場見学、職場体験若しくはインターンシップ等を受入れている県内事業所からの申請によるものとする。

### (審査委員会)

第4条 教育長は、前条の推薦又は申請を受けたときは、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈審査委員会（以下「審査委員会」という。）を召集するものとする。

2 審査委員会は、次長（学校教育担当）、高校教育課長、小中学校教育課長及び特別支援教育課長で構成する。

3 審査委員会の委員長は、次長（学校教育担当）とする。

4 審査委員会の議事は、委員の過半数によって決する。

### (決定)

第5条 感謝状を贈呈する事業所は、審査委員会の審議に基づき、教育長が決定する。  
(庶務)

第6条 感謝状の贈呈に係る庶務は、高校教育課において処理する。

(雑則)

第7条 この取扱要領に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要領は、平成28年11月29日から施行する。

附 則

この要領は、平成29年10月31日から施行する。

# 職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈取扱要領細則

## 「職場体験・インターンシップ等」部門

### 1 推薦及び申請の方法

#### (1) 推薦

##### ア 公立小学校、公立中学校、公立義務教育学校及び市町等教育委員会による推薦

小学校、中学校又は義務教育学校の職場見学及び職場体験に係る職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状（以下「感謝状」という。）贈呈候補事業所の推薦を行う。

小学校、中学校又は義務教育学校における推薦は、5団体を上限として順位付けを行い、様式1を市町等教育委員会事務局指導事務主管課へ提出する。

市町等教育委員会は、取りまとめのうえ、20団体を上限として順位付けを行い、該当する様式1及び様式2を三重県教育委員会事務局高校教育課（以下「高校教育課」という。）へ提出する。

##### イ 県立学校による推薦

高等学校におけるインターンシップ及び特別支援学校における就労体験に係る感謝状贈呈候補事業所の推薦を行う。

推薦は、10団体を上限として順位付けを行い、様式3を高校教育課へ提出する。

##### ウ 経済団体からの推薦

職場体験又はインターンシップ等キャリア教育における体験的活動に係る感謝状贈呈候補事業所の推薦を行う。

三重県商工会連合会、三重県商工会議所連合会、三重県経営者協会及び三重県中小企業団体中央会それぞれにおいて20団体を上限として取りまとめ、順位付けを行い、様式4及び様式5を高校教育課へ提出する。

#### (2) 申請

学校における教育活動への参加をととして、キャリア教育の推進に尽力した事業所が申請を行う。経営者協会会員は三重県経営者協会、商工会議所会員は三重県商工会議所連合会、商工会会員は三重県商工会連合会を、中小企業団体中央会会員は三重県中小企業団体中央会を通じて、様式6を高校教育課へ提出する。

ただし、複数の経済団体に所属する事業所においては、いずれか一つの団体を通じて申請することとする。

### 2 推薦及び申請における基準

県内の公立小学校、公立中学校、公立義務教育学校又は県立学校が実施するキャリア教育に対する支援を積極的に行い、次の基準を満たす県内の事業所とする。

ただし、推薦及び申請は、事業所ごとに行う。

#### (1) 公立小学校又は公立義務教育学校前期課程（1年生から6年生まで）の取組への支援

毎年2校以上かつ連続して3年以上にわたって、職場見学又は体験学習の受入れを行うとともに、継続的に学校へ人材を派遣するなど、学校のキャリア教育推進を積極的に支援している事業所。

(2) 公立中学校又は公立義務教育学校後期課程（7年生から9年生まで）の取組への支援

年間延べ4日以上かつ連続して5年以上にわたって、1校又は複数校の職場体験の受入れを行うとともに、継続的に学校へ人材を派遣するなど、学校のキャリア教育推進を積極的に支援している事業所。

(3) 県立高等学校の取組への支援

年間延べ5日以上かつ連続して5年以上にわたって、1校又は複数校のインターンシップの受入れを行うとともに、継続的に学校へ人材を派遣するなど、学校のキャリア教育推進を積極的に支援している事業所。

(4) 県立特別支援学校の取組への支援

就労に向けた適性の有無を確認するとともに仕事に慣れること等を目的に、通算して5年以上にわたって就労体験の受入れを行い、かつ特別支援学校卒業生について、2名以上採用実績のある事業所。（就労継続支援A型事業所は除く）

(5) 複数校種の学校の取組への支援

上記の（1）～（4）の基準に満たないが、複数校種の学校のキャリア教育の推進を積極的に支援している事業所への贈呈については別途協議することとする。

3 推薦及び申請における留意事項

以下の事業所は推薦及び申請の対象外とする。

(1) 公的機関

(2) 職場体験受入企業等三重県教育委員会感謝状（平成27年度以前）の贈呈を、既に受けた事業所

(3) 本感謝状「職場体験・インターンシップ等部門」の贈呈を、既に受けた事業所

(4) 当該年度を含む過去3年以内に、高等学校卒業予定者の就職に係る採用選考等において、不適切な事例として指摘を受けた事業所

4 審査及び決定

(1) 審査要領

職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈審査委員会（以下「審査委員会」という。）の審査は、推薦又は申請のあったすべての事業所について、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状審査調書により審査を行う。

その際、公立小学校、公立中学校、公立義務教育学校、市町等教育委員会、県立学校若しくは経済団体の推薦書又は事業所の申請書を参考にするとともに、必要に応じて公立小学校、公立中学校、市町等教育委員会、県立学校、経済団体又は事業所から聴取等を行うことができることとする。

(2) 贈呈事業所の決定

審査委員会は、審査結果を教育長へ報告し、教育長は贈呈事業所を決定する。

(3) 決定事項の通知

高校教育課は感謝状の贈呈決定を当該事業所並びにその推薦を行った市町等教育委員会、県立学校若しくは経済団体に通知する。

5 贈呈

感謝状は、県教育委員会教育長が贈呈する。



# 職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈取扱要領

## 「デュアルシステム」部門

### (目的)

第1条 この制度は、学校教育におけるキャリア教育を推進するため、デュアルシステムにより、生徒の実践的な技術・技能の向上に顕著な功績をあげた事業所に対し感謝の意を表し、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状（以下「感謝状」という。）を贈呈するとともに、県民に広く周知することを目的とする。

### (贈呈対象)

第2条 感謝状贈呈の候補者となることができるものは、県立高等学校のデュアルシステムにおいて生徒の受入れを行い、かつ県立高等学校における教育活動への参加をとおしてキャリア教育の推進に尽力した県内事業所とする。

### (候補者の推薦及び申請)

第3条 前条に掲げる功績にあつては、県立高等学校若しくは経済団体の推薦又はデュアルシステムを受入れている県内事業所からの申請によるものとする。

### (審査委員会)

第4条 教育長は、前条の推薦又は申請を受けたときは、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈審査委員会（以下「審査委員会」という。）を召集するものとする。

- 2 審査委員会は、次長（学校教育担当）、高校教育課長、小中学校教育課長及び特別支援教育課長で構成する。
- 3 審査委員会の委員長は、次長（学校教育担当）とする。
- 4 審査委員会の議事は、委員の過半数によって決する。

### (決定)

第5条 感謝状を贈呈する事業所は、審査委員会の審議に基づき、教育長が決定する。

### (庶務)

第6条 感謝状の贈呈に係る庶務は、高校教育課において処理する。

### (雑則)

第7条 この取扱要領に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

### 附 則

この要領は、平成28年11月29日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成29年10月31日から施行する。

# 職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈取扱要領細則

## 「デュアルシステム」部門

### 1 推薦及び申請の方法

#### (1) 推薦

##### ア 県立高等学校による推薦

県立高等学校のデュアルシステムに係る職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状（以下、「感謝状」という。）贈呈候補事業所の推薦を行う。

推薦は、10団体を上限として順位付けを行い、様式1を三重県教育委員会事務局高校教育課（以下、「高校教育課」という。）へ提出する。

##### イ 経済団体からの推薦

県立高等学校のデュアルシステムに係る感謝状贈呈候補事業所の推薦を行う。

三重県商工会連合会、三重県商工会議所連合会、三重県経営者協会及び三重県中小企業団体中央会それぞれにおいて20団体を上限として取りまとめ、順位付けを行い、様式2及び様式3を高校教育課へ提出する。

#### (2) 申請

県立高等学校における教育活動への参加をとおしてキャリア教育の推進に尽力した事業所が申請を行う。経営者協会会員は三重県経営者協会、商工会議所会員は三重県商工会議所連合会、商工会会員は三重県商工会連合会を、中小企業団体中央会会員は三重県中小企業団体中央会を通じて、様式4を高校教育課へ提出する。ただし、複数の経済団体に所属する事業所においては、いずれか一つの団体を通じて申請することとする。

### 2 推薦及び申請における基準

連続して3年以上にわたって県立高等学校のデュアルシステムの受入れを行うとともに、継続的に県立高等学校へ人材を派遣するなど、県立高等学校のキャリア教育推進を積極的に支援している県内の事業所。ただし、推薦及び申請は、事業所ごとに行う。

※ デュアルシステムとは、就業体験を、特定の科目の中で週時程（時間割）に位置づけて実施し、学業と就業体験の双方を行う仕組みで、一月を超える期間に6日以上企業の実習を実施することと定義する。

### 3 推薦及び申請における留意事項

以下の事業所は推薦及び申請の対象外とする。

#### (1) 公的機関

#### (2) 職場体験受入企業等三重県教育委員会感謝状（平成27年度以前）の贈呈を、既に受けた事業所

#### (3) 本感謝状「デュアルシステム」部門の贈呈を、既に受けた事業所

#### (4) 当該年度を含む過去3年以内に、高等学校卒業予定者の就職に係る採用選考等において、不適切な事例として指摘を受けた事業所

### 4 審査及び決定

#### (1) 審査要領

職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈審査委員会（以下「審査委員

会」という。)の審査は、推薦又は申請のあったすべての事業所について、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状審査調書により審査を行う。

その際、県立高等学校若しくは経済団体の推薦書又は事業所の申請書を参考にするとともに、必要に応じて県立高等学校、経済団体又は事業所から聴取等を行うことができることとする。

(2) 贈呈事業所の決定

審査委員会は、審査結果を教育長へ報告し、教育長は贈呈事業所を決定する。

(3) 決定事項の通知

高校教育課は感謝状の贈呈決定を当該事業所並びにその推薦を行った県立高等学校若しくは経済団体に通知する。

5 贈呈

感謝状は、県教育委員会教育長が贈呈する。

# 職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状贈呈取扱要領

## 「みえの人づくり応援隊」

### (目的)

第1条 この制度は、学校教育におけるキャリア教育を推進するため、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状（以下「感謝状」という。）の贈呈を受けて以降、長年月にわたって職場体験やインターンシップ等により、児童生徒の勤労観・職業観の育成や学習意欲の向上に顕著な功績をあげた事業所に対し感謝の意を表し、職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状「みえの人づくり応援隊」（以下「特別感謝状」という。）を贈呈するとともに、県民に広く周知することを目的とする。

### (贈呈対象)

第2条 特別感謝状贈呈の候補者となることができるものは、感謝状の贈呈を受けた年度から連続10年にわたって、次の各号のいずれかの取組を行っている事業所とする。

一 公立小学校、公立中学校又は公立義務教育学校における功績

小学校、中学校又は義務教育学校における職場見学及び職場体験等の児童生徒の受入れ

二 県立高等学校における功績

県立高等学校におけるインターンシップ又はデュアルシステムの生徒の受入れ

三 県立特別支援学校における功績

県立特別支援学校における就労体験の児童生徒の受入れ

### (候補者の調査)

第3条 感謝状贈呈時の推薦団体（名称等に変更がある場合は変更後の団体）は贈呈基準を満たしているか調査を行う。ただし、事業所の名称に変更がある場合は、変更後の事業所を調査する。

### (決定)

第4条 特別感謝状を贈呈する事業所は、調査結果に基づき、教育長が決定する。

### (庶務)

第5条 特別感謝状の贈呈に係る庶務は、高校教育課において処理する。

### (雑則)

第6条 この取扱要領に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

### 附 則

この要領は、平成28年11月29日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成29年10月31日から施行する。

# 職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状贈呈取扱要領細則

## 「みえの人づくり応援隊」

### 1 贈呈候補事業所の調査方法

職場体験受入企業等三重県教育委員会感謝状（以下「感謝状」という。）贈呈時の推薦団体（以下「調査団体」という。）が、職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状（以下「特別感謝状」という。）贈呈候補事業所の調査を行う。

調査結果は様式1を三重県教育委員会事務局高校教育課へ提出する。

### 2 贈呈基準

感謝状の贈呈を受けた年度から連続10年にわたって、次の取組のいずれかを行っている事業所とする。

(1) 公立小学校又は公立義務教育学校前期課程（1年生から6年生）の取組への支援  
毎年2校以上の職場見学又は体験学習の受入れ

(2) 公立中学校又は公立義務教育学校後期課程（7年生から9年生）の取組への支援  
年間延べ4日以上職場体験の受入れ

(3) 県立高等学校の取組への支援

下記のいずれかの支援を行っている事業所。

・インターンシップ

年間延べ5日以上インターンシップの受入れ

・デュアルシステム

デュアルシステムの受入れ

※ デュアルシステムとは、就業体験を、特定の科目の中で週時程（時間割）に位置づけて実施し、学業と就業体験の双方を行う仕組みで、一月を超える期間に6日以上企業実習を実施することと定義する。

(4) 県立特別支援学校の取組への支援

就労に向けた適正の確認や仕事に慣れること等を目的とした就労体験の受入れ

(5) 複数校種の学校の取組への支援

上記の(1)～(4)の基準に満たないが、感謝状の贈呈を受けた年度から連続10年にわたって複数校種の職場体験・インターンシップ等の受入れを行っている事業所への贈呈については別途協議することとする。

### 3 調査における留意事項

当該年度を含む過去3年以内に、高等学校卒業予定者の就職に係る採用選考等において、不適切な事例として指摘を受けた事業所は調査対象外とする。

### 4 確認及び決定

(1) 調査結果の確認

高校教育課は提出された様式1の特別感謝状贈呈候補事業所が贈呈基準を満たしているか確認を行う。ただし、不明な点があれば調査団体及び事業所に確認を行うことができることとする。

(2) 贈呈事業所の決定

高校教育課は、調査結果を教育長へ報告し、教育長は贈呈事業所を決定する。

(3) 決定事項の通知

高校教育課は、特別感謝状の贈呈決定を当該事業所及び調査団体に通知する。

5 贈呈

特別感謝状は、県教育委員会教育長が贈呈する。

報告3

平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、別紙のとおり報告する。

平成31年1月28日提出

三重県教育委員会事務局  
保健体育課長





## 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 三重県の調査結果について（概要）

### I 平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について

平成30年4月から7月に、全国の小学校5年生と中学校2年生の全員を対象（悉皆調査）として実施されました「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における本県公立小中学校の結果の概要は以下のとおりです。

#### 1 結果の概要

体力合計点について、小学校女子は、全国平均値を上回ることができませんでしたが、小学校男子、中学校男子・女子は、全国平均値を上回りました。特に、小学校男子については平成20年度からの調査開始以来初めて、全国平均値を上回っています。

また、小学校男子・女子及び、中学校男子・女子のすべてにおいて、平成20年度からの調査開始以来、体力合計点が過去最高値を示しました。

種目別の全国平均値との比較では、小学校・中学校男女合わせて34種目中16種目が全国平均値を上回りました（平成29年度は11種目が全国平均を上回る）。また、34種目中27種目が昨年度の数値を上回っています。

#### 2 体力テスト種目別および体力合計点の結果

##### 【小学校第5学年の平均値】

調査種目	男子			女子		
	H30年度 三重県	H30年度 全 国	H29年度 三重県	H30年度 三重県	H30年度 全 国	H29年度 三重県
握力 (kg)	↑ 16.77	16.54	16.63	↑ 16.32	16.15	16.27
上体起こし (回)	↑ 19.43	19.95	19.11	↑ 18.41	18.96	18.19
長座体前屈 (cm)	↑ 33.21	33.31	32.85	↑ 37.43	37.62	37.03
反復横とび (点)	↑ 42.89	42.10	42.58	↑ 41.05	40.32	40.61
20mシャトルラン(回)	↓ 51.71	52.15	52.01	↓ 40.77	41.88	40.90
50m走 (秒)	↑ 9.39	9.37	9.42	↓ 9.66	9.60	9.65
立ち幅とび (cm)	↑ 151.97	152.24	150.50	↑ 145.54	145.94	144.80
ソフトボール投げ(m)	↓ 22.20	22.15	22.49	↓ 14.00	13.77	14.20
体力合計点※ (点)	↑ 54.22	54.21	53.76	↑ 55.75	55.90	55.46

  : 全国平均を上回る    ↑ : 平成29年度三重県平均を上回る    ↓ : 平成29年度三重県平均を下回る  
 ※体力合計点：各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点

#### (1) 小学校5年生の状況

##### ① 体力合計点における全国との比較

全国平均値と比較して、男子が0.01ポイント上回り、女子が0.15ポイント下回っています。

##### ② 種目別における全国との比較

男子、女子ともに、握力、反復横とび、ソフトボール投げの3種目が全国平均値を上回っています。（合計16種目中6種目が上回る）

##### ③ 昨年度（平成29年度県平均）との比較

体力合計点は、男子は0.46ポイント、女子は0.29ポイント上回っています。種目別に見ると、男子は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、50m走、立ち幅とび、の6種目、女子は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とびの5種目で上回っています。（合計16種目中11種目が上回る）



【中学校第2学年の平均値】

調査種目	男子			女子		
	H30年度 三重県	H30年度 全国	H29年度 三重県	H30年度 三重県	H30年度 全国	H29年度 三重県
握力 (kg)	↑ 28.62	28.84	28.60	↑ 23.95	23.87	23.70
上体起こし (回)	↑ 27.05	27.36	26.96	↑ 23.54	23.87	23.43
長座体前屈 (cm)	↑ 43.56	43.44	43.06	↑ 46.46	46.22	46.14
反復横とび (点)	↑ 53.18	52.24	52.37	↑ 48.16	47.37	47.38
持久走 (秒)	↓ 397.99	392.65	395.89	↑ 289.75	286.85	292.05
20mシャトルラン(回)	↓ 84.97	86.06	85.34	↑ 59.45	59.87	58.83
50m走 (秒)	↑ 7.97	7.99	8.04	↑ 8.83	8.78	8.87
立ち幅とび (cm)	↑ 195.78	195.62	193.77	↑ 171.32	170.26	169.17
ハンドボール投げ(m)	↑ 20.86	20.55	20.66	↑ 13.42	12.98	13.31
体力合計点※ (点)	↑ 42.70	42.32	41.88	↑ 51.19	50.61	50.25

     : 全国平均を上回る    ↑ : 平成29年度三重県平均を上回る    ↓ : 平成29年度三重県平均を下回る  
 ※体力合計点：各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点

(2) 中学校2年生の状況

①体力合計点における全国との比較

全国平均値と比較して、男子は、0.38ポイント、女子は、0.58ポイント上回っています。

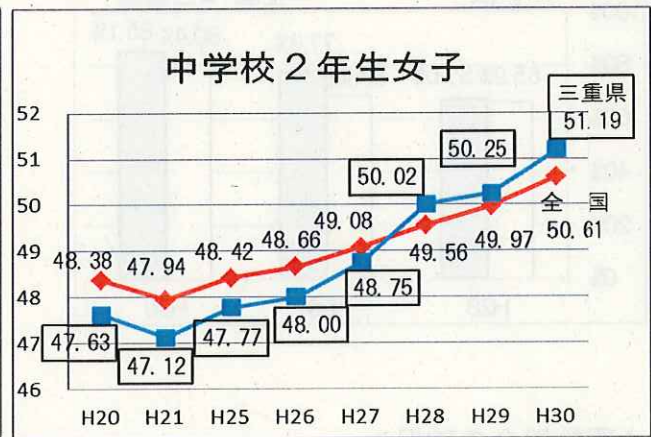
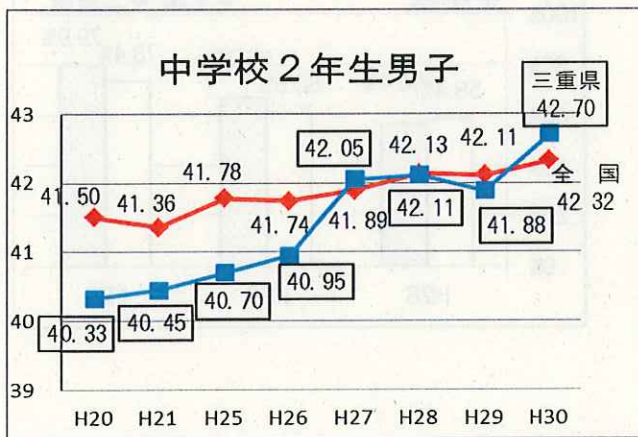
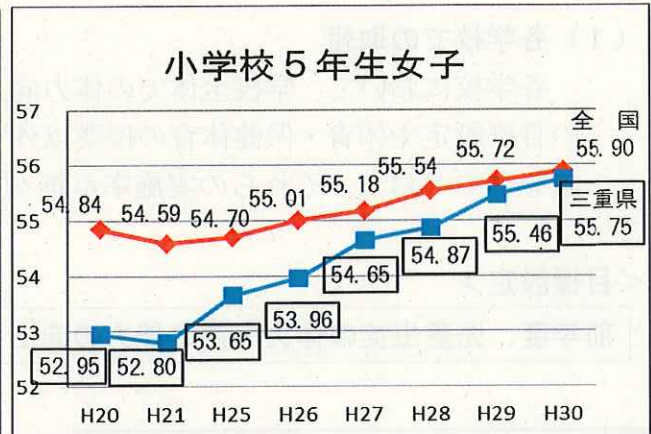
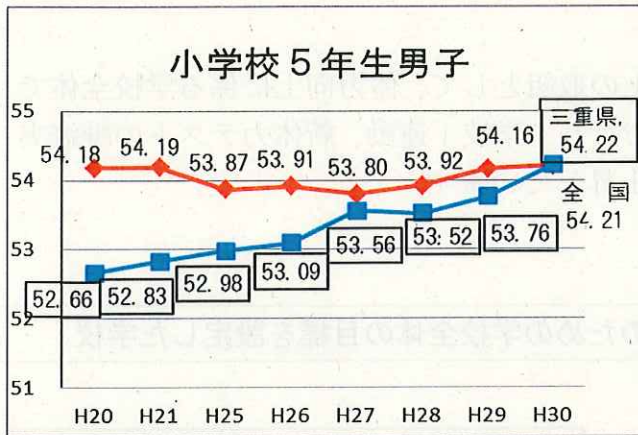
②種目別における全国との比較

男子は、長座体前屈、反復横とび、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げの5種目が全国平均値を上回っています。女子は、握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、ハンドボール投げの5種目が全国平均値を上回っています。(合計18種目中10種目が上回る)

③昨年度(平成29年度県平均)との比較

体力合計点は、男子が0.82ポイント、女子は0.94ポイント上回っています。種目別に見ると、男子は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げの7種目、女子は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げの全9種目で上回っています。(合計18種目中16種目が上回る)

3 本調査開始（平成 20 年度）以降の全員を対象とした調査の体力合計点経年変化  
 ※平成 22・24 年度は抽出調査、平成 23 年度は東日本大震災の影響で中止のため、除外



① 平成 20 年度と平成 30 年度の体力合計点比較

	H 2 0 → H 3 0		H 2 0 → H 3 0
小学校男子	+ 1. 5 6	小学校女子	+ 2. 8 0
中学校男子	+ 2. 3 7	中学校女子	+ 3. 5 6

小学校男女・中学校男女とも上昇しており、本年度の体力合計点は、小学校男女及び中学校男女のすべてで調査開始以来、最高値を示しています。

② 平成 30 年度における本県の体力合計点と全国平均値比較

	本県値－全国値		本県値－全国値
小学校男子	+ 0. 0 1	小学校女子	- 0. 1 5
中学校男子	+ 0. 3 8	中学校女子	+ 0. 5 8

小学校男子、中学校男女が全国平均値を上回りましたが、小学校女子は全国平均値を上回ることはできませんでした。



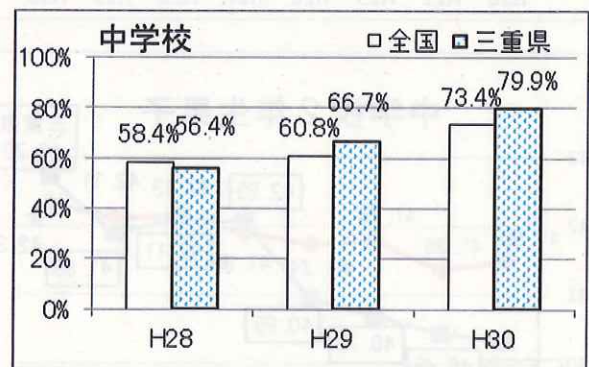
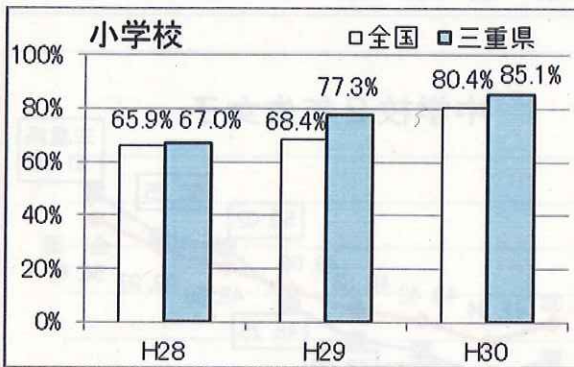
## II 本県によるこれまでの取組

### (1) 各学校での取組

各学校において、学校全体での体力向上の取組として、体力向上に係る学校全体での目標設定や体育・保健体育の授業以外で行う1学校1運動、新体力テストの継続実施を進めており、それらの実施率が年々上昇しています。

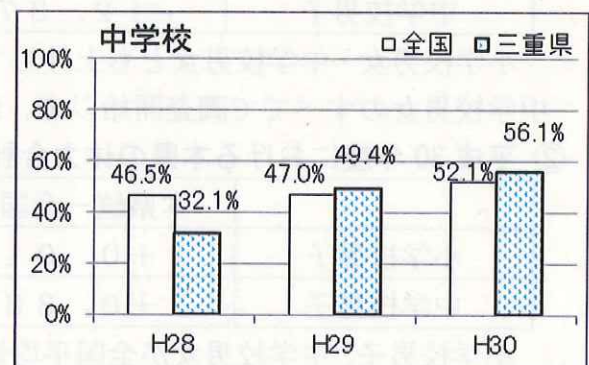
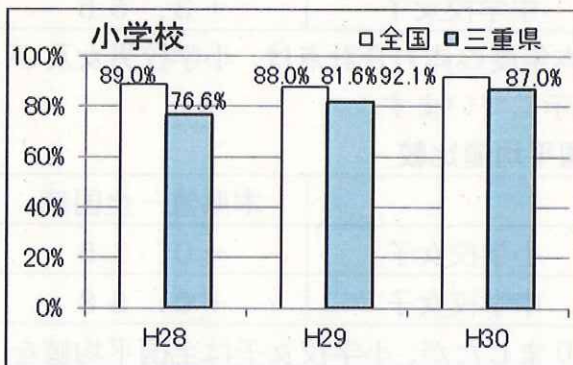
#### <目標設定>

前年度、児童生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定した学校



#### <運動機会の確保>

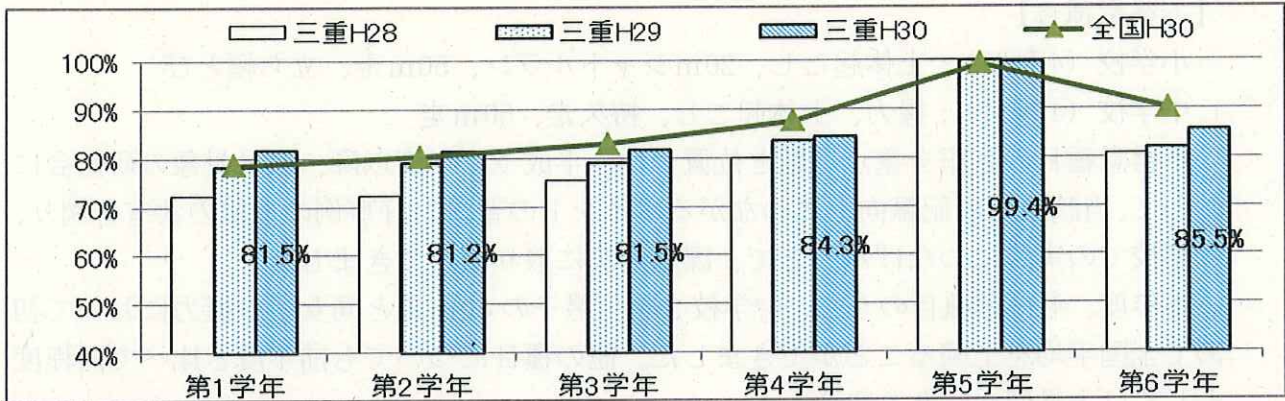
前年度、体育の授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組（1学校1運動）を行った学校



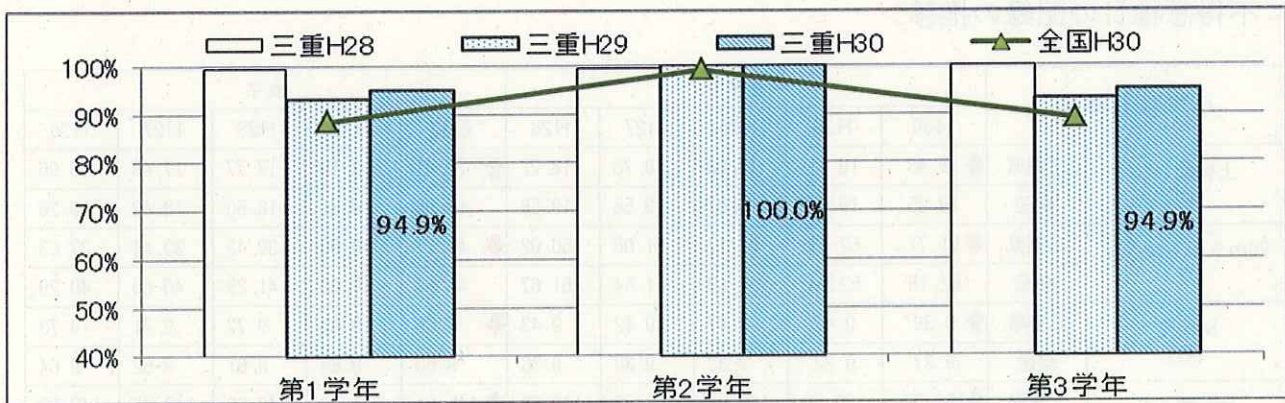
<体カテストの実施率>

体カテストを実施した学年（複数回答）

（小学校）



（中学校）



学年		実施率		実施率		実施率		実施率		実施率	
第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
72%	72%	76%	80%	100%	82%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
81.5%	81.2%	81.5%	84.3%	99.4%	85.5%	94.9%	100.0%	94.9%	94.9%	94.9%	94.9%
78%	80%	82%	88%	100%	90%	90%	100%	90%	90%	90%	90%



## (2) 県教育委員会の取組

過去の本調査から本県の特徴として、全国平均を下回る種目（不得意種目）が固定化されている傾向があります。

### 【不得意種目】

小学校（4種目）：上体起こし、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび

中学校（4種目）：握力、上体起こし、持久走、50m走

不得意種目の克服を重点課題と位置づけ、平成28年度以降、教員対象の研修会において、当該種目の記録向上につながるポイントの習得と好事例の取組の共有を図り、各学校での実践につなげることで、課題解決に取り組んできました。

本年度、不得意種目のうち、中学校2年生男子の50m走と同女子の握力において初めて全国平均を上回ることができました。他の種目についても前年度と比べて同程度もしくは上昇傾向にあります。

### <不得意種目の記録の推移>

小学校5年生		男子					女子				
		H30	H29	H28	H27	H26	H30	H29	H28	H27	H26
上体起こし (回)	三重県	↑19.43	19.11	19.03	18.78	18.22	↑18.41	18.19	17.77	17.48	16.96
	全国	19.95	19.92	19.67	19.58	19.56	18.96	18.81	18.60	18.42	18.26
20mシャトルラン (点)	三重県	↓51.71	52.01	51.17	51.06	50.02	↓40.77	40.90	39.42	39.44	37.63
	全国	52.15	52.24	51.89	51.64	51.67	41.88	41.62	41.29	40.69	40.29
50m走 (秒)	三重県	↑9.39	9.42	9.47	9.42	9.43	↓9.66	9.65	9.72	9.71	9.73
	全国	9.37	9.37	9.38	9.38	9.38	9.60	9.60	9.61	9.62	9.64
立ち幅とび (cm)	三重県	↑151.97	150.50	149.84	150.23	149.68	↑145.54	144.80	143.68	143.96	142.50
	全国	152.24	151.71	151.39	151.24	151.70	145.94	145.47	145.31	144.77	144.76

中学校2年生		男子					女子				
		H30	H29	H28	H27	H26	H30	H29	H28	H27	H26
握力 (kg)	三重県	↑28.62	28.60	28.64	28.90	28.60	↑23.95	23.70	23.69	23.39	23.56
	全国	28.84	28.89	28.91	28.93	29.00	23.87	23.82	23.75	23.68	23.70
上体起こし (回)	三重県	↑27.05	26.96	26.91	27.23	26.66	↑23.54	23.43	23.03	22.67	22.17
	全国	27.36	27.45	27.46	27.43	27.45	23.87	23.73	23.48	23.26	23.07
持久走 (秒)	三重県	↓397.99	395.89	397.39	394.45	398.06	↑289.75	292.05	289.19	293.24	292.44
	全国	392.65	391.23	391.72	392.63	392.89	286.85	287.36	288.51	290.03	290.64
50m走 (秒)	三重県	↑7.97	8.04	8.07	8.02	8.06	↑8.83	8.87	8.88	8.92	8.93
	全国	7.99	7.99	8.03	8.01	8.03	8.78	8.80	8.83	8.84	8.87



:平成29年度三重県平均を上回る

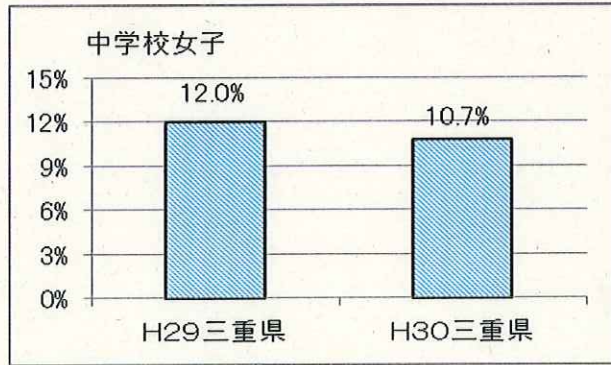
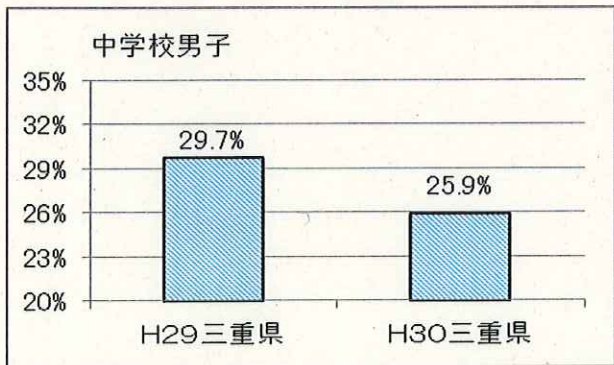
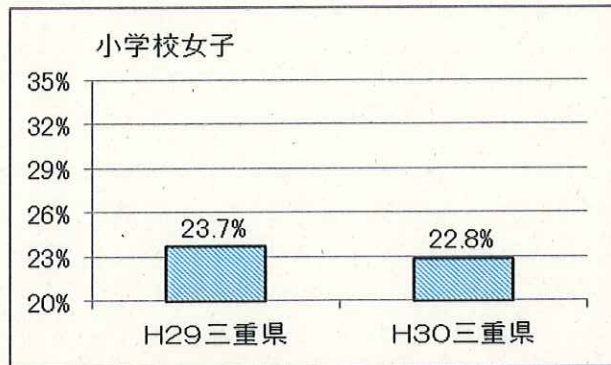
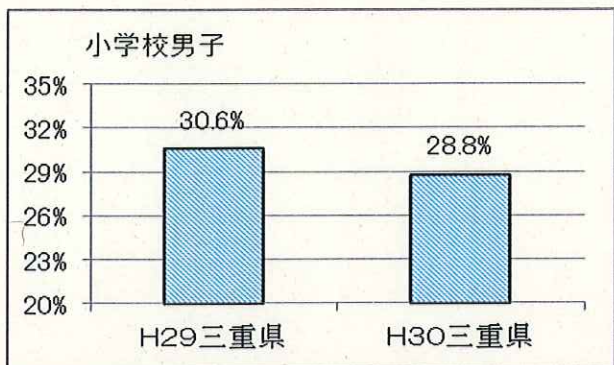


:平成29年度三重県平均を下回る

【参考】総合評価がD、Eの児童生徒の割合の減少

「(1) 各学校の取組」、「(2) 県教育委員会の取組」を進めてきたところ、体力合計点の低い総合評価がD、Eの児童生徒の割合が減少し、全体として体力合計点の上昇につながりました。

<総合評価D Eの児童生徒の割合について昨年度との比較>



※総合評価：項目別得点表（10点満点）に従って、各項目の記録を採点し、その合計点（最高80点）を年齢別に設定された総合評価基準表に基づいて、A～Eの5段階で総合評価をするもの。





平成30年度  
全国体力・運動能力、運動習慣等調査  
三重県結果報告書

三重県教育委員会

# 目 次

## I 調査の概要

1 調査実施期間	1
2 調査対象	1
3 調査事項	1
4 調査学校数、児童数	1
5 種目得点表と総合評価基準	2

## II 調査結果

1 実技に関する調査の結果（公立学校）	4
2 体格と肥満度に関する調査の結果	12
3 児童生徒質問紙調査の結果	15
4 学校質問紙調査の結果	53

## III 調査結果の特徴

1 児童生徒の運動習慣～1週間の総運動時間から～	83
2 体育・健康に関する指導に向けて参考となる調査結果	85

# 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

## I 調査の概要

1 調査実施期間 平成30年4月から7月末までの期間

### 2 調査対象

- ・小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年、義務教育学校前期課程第5学年
  - ・中学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年、義務教育学校後期課程第2学年
- の全児童生徒を対象（特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障がいの状態等を考慮して、参加の是非を判断）

### 3 調査事項

#### (1) 児童生徒に対する調査

- ・実技に関する調査（小学校、中学校とも8種目）  
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、  
※持久走（男子1500m 女子1000m）、20mシャトルラン、  
50m走、立ち幅とび、ボール投げ（小学生ソフトボール、中学生ハンドボール）  
※小学生は20mシャトルランのみの実施  
中学生は持久走か20mシャトルランのどちらかを選択して実施

- ・質問紙調査（運動習慣等）

#### (2) 学校に対する質問紙調査

- ・質問紙調査（子どもの体力向上に係る学校の取組等）

#### (3) 教育委員会に対する調査

- ・質問紙調査（子どもの体力向上に係る施策等）

## 4 調査学校数、児童生徒数（三重県）

校種（学校数）	参加学校数	児童生徒数
小学校（354校）	352校	15,675人
中学校（158校）	155校	14,669人

※学校数 小・義務教育学校1校含む（特別支援学校0校）

中・義務教育学校1校、特別支援学校4校含む

※参加学校数 該当学年児童生徒数が0人等で実施できない学校等を除いた学校数

## 5 種目得点表と総合評価基準

### ○小学校

#### 男子種目別得点表

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ
10	26kg以上	26回以上	49cm以上	50点以上	80回以上	8.0秒以下	192cm以上	40m以上
9	23～25	23～25	43～48	46～49	69～79	8.1～8.4	180～191	35～39
8	20～22	20～22	38～42	42～45	57～68	8.5～8.8	168～179	30～34
7	17～19	18～19	34～37	38～41	45～56	8.9～9.3	156～167	24～29
6	14～16	15～17	30～33	34～37	33～44	9.4～9.9	143～155	18～23
5	11～13	12～14	27～29	30～33	23～32	10.0～10.6	130～142	13～17
4	9～10	9～11	23～26	26～29	15～22	10.7～11.4	117～129	10～12
3	7～8	6～8	19～22	22～25	10～14	11.5～12.2	105～116	7～9
2	5～6	3～5	15～18	18～21	8～9	12.3～13.0	93～104	5～6
1	4kg以下	2回以下	14cm以下	17点以下	7回以下	13.1秒以上	92cm以下	4m以下

#### 女子種目別得点表

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ
10	25kg以上	23回以上	52cm以上	47点以上	64回以上	8.3秒以下	181cm以上	25m以上
9	22～24	20～22	46～51	43～46	54～63	8.4～8.7	170～180	21～24
8	19～21	18～19	41～45	40～42	44～53	8.8～9.1	160～169	17～20
7	16～18	16～17	37～40	36～39	35～43	9.2～9.6	147～159	14～16
6	13～15	14～15	33～36	32～35	26～34	9.7～10.2	134～146	11～13
5	11～12	12～13	29～32	28～31	19～25	10.3～10.9	121～133	8～10
4	9～10	9～11	25～28	25～27	14～18	11.0～11.6	109～120	6～7
3	7～8	6～8	21～24	21～24	10～13	11.7～12.4	98～108	5
2	4～6	3～5	18～20	17～20	8～9	12.5～13.2	85～97	4
1	3kg以下	2回以下	17cm以下	16点以下	7回以下	13.3秒以上	84cm以下	3m以下

総合評価基準(男女共通)合計得点で判定します

段階	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
A	39以上	47以上	53以上	59以上	65以上	71以上
B	33～38	41～46	46～52	52～58	58～64	63～70
C	27～32	34～40	39～45	45～51	50～57	55～62
D	22～26	27～33	32～38	38～44	42～49	46～54
E	21以下	26以下	31以下	37以下	41以下	45以下

※総合評価は8種目すべて実施した場合に判定する



## ○中学校

男子種目別得点表

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ
10	56kg以上	35回以上	64cm以上	63点以上	4' 59"以下	125回以上	6.6秒以下	265cm以上	37m以上
9	51~55	33~34	58~63	60~62	5' 00"~5' 16"	113~124	6.7~6.8	254~264	34~36
8	47~50	30~32	53~57	56~59	5' 17"~5' 33"	102~112	6.9~7.0	242~253	31~33
7	43~46	27~29	49~52	53~55	5' 34"~5' 55"	90~101	7.1~7.2	230~241	28~30
6	38~42	25~26	44~48	49~52	5' 56"~6' 22"	76~89	7.3~7.5	218~229	25~27
5	33~37	22~24	39~43	45~48	6' 23"~6' 50"	63~75	7.6~7.9	203~217	22~24
4	28~32	19~21	33~38	41~44	6' 51"~7' 30"	51~62	8.0~8.4	188~202	19~21
3	23~27	16~18	28~32	37~40	7' 31"~8' 19"	37~50	8.5~9.0	170~187	16~18
2	18~22	13~15	21~27	30~36	8' 20"~9' 20"	26~36	9.1~9.7	150~169	13~15
1	17kg以下	12回以下	20cm以下	29点以下	9' 21"以上	25回以下	9.8秒以上	149cm以下	12m以下

女子種目別得点表

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ
10	36kg以上	29回以上	63cm以上	53点以上	3' 49"以下	88回以上	7.7秒以下	210cm以上	23m以上
9	33~35	26~28	58~62	50~52	3' 50"~4' 02"	76~87	7.8~8.0	200~209	20~22
8	30~32	23~25	54~57	48~49	4' 03"~4' 19"	64~75	8.1~8.3	190~199	18~19
7	28~29	20~22	50~53	45~47	4' 20"~4' 37"	54~63	8.4~8.6	179~189	16~17
6	25~27	18~19	45~49	42~44	4' 38"~4' 56"	44~53	8.7~8.9	168~178	14~15
5	23~24	15~17	40~44	39~41	4' 57"~5' 18"	35~43	9.0~9.3	157~167	12~13
4	20~22	13~14	35~39	36~38	5' 19"~5' 42"	27~34	9.4~9.8	145~156	11
3	17~19	11~12	30~34	32~35	5' 43"~6' 14"	21~26	9.9~10.3	132~144	10
2	14~16	8~10	23~29	27~31	6' 15"~6' 57"	15~20	10.4~11.2	118~131	8~9
1	13kg以下	7回以下	22cm以下	26点以下	6' 58"以上	14回以下	11.3秒以上	117cm以下	7m以下

総合評価基準(男女共通)合計得点で判定します

段階	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳
A	51以上	57以上	60以上	61以上	63以上	65以上	65以上	65以上
B	41~50	47~56	51~59	52~60	53~62	54~64	54~64	54~64
C	32~40	37~46	41~50	41~51	42~52	43~53	43~53	43~53
D	22~31	27~36	31~40	31~40	31~41	31~42	31~42	31~42
E	21以下	26以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下

※持久走と20mシャトルランは選択 ※総合評価は8種目すべて実施した場合に判定する



## II 調査結果

### 1 実技に関する調査の結果（公立学校）

#### (1) 調査種目及び体力合計点の状況

##### 【小学校5年生】

全国の状況と比較すると、体力合計点は男子が全国平均を上回り、女子が下回っています。種目別にみると、男女の握力、反復横とび、ソフトボール投げが全国平均を上回り、他の種目は全国平均を下回る結果となっています。（合計16種目中6種目が上回る）

昨年度（平成29年度）の三重県の状況と比較すると、体力合計点は男女とも昨年度の結果を上回り、過去最高値を示しています。種目別にみると、男女の20mシャトルラン及びソフトボールと女子の50m走以外の種目が昨年度の結果を上回っています。（合計16種目中11種目が上回る）

■ : 全国平均を上回る    ↑ : 前年度三重県平均を上回る    ↓ : 前年度三重県平均を下回る

小学校 5年 男子	種目別平均									総合評価(段階別)※2				
	握力 (Kg)	上体起 こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)	体力 合計点 ※1	A	B	C	D	E
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21	12.9%	25.4%	32.9%	19.9%	8.9%
三重県	↑16.77	↑19.43	↑33.21	↑42.89	↓51.71	↑9.39	↑151.97	↓22.20	↑54.22	13.3%	25.9%	32.1%	19.4%	9.4%
H29三重県	16.63	19.11	32.85	42.58	52.01	9.42	150.50	22.49	53.76	12.0%	25.0%	32.4%	21.0%	9.6%

小学校 5年 女子	種目別平均									総合評価(段階別)※2				
	握力 (Kg)	上体起 こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)	体力 合計点 ※1	A	B	C	D	E
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90	16.7%	27.7%	33.1%	17.1%	5.4%
三重県	↑16.32	↑18.41	↑37.43	↑41.05	↓40.77	↓9.66	↑145.54	↓14.00	↑55.75	16.5%	26.9%	33.7%	17.5%	5.3%
H29三重県	16.27	18.19	37.03	40.61	40.90	9.65	144.80	14.20	55.46	14.8%	27.2%	34.4%	18.0%	5.7%

※1 体力合計点:各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点(最高80点)

※2 総合評価(段階別):体力合計点を年齢別の評価基準表に基づいた段階別の評価。Aが高得点を示す。

##### 【中学校2年生】

全国の状況と比較すると、体力合計点は男女とも全国平均を上回りました。種目別にみると、男女の長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、ハンドボール投げ及び男子の50m走と女子の握力が全国平均を上回り、他の種目は全国平均を下回る結果となっています。（合計18種目中10種目が上回る）

昨年度（平成29年度）の三重県の状況と比較すると、体力合計点は男女とも昨年度の結果を上回り、過去最高値を示しています。種目別にみると、男子の持久走と20mシャトルラン以外の種目、女子のすべての種目において昨年度の結果を上回っています。（合計18種目中16種目が上回る）

■ : 全国平均を上回る    ↑ : 前年度三重県平均を上回る    ↓ : 前年度三重県平均を下回る

中学校 2年 男子	種目別平均									総合評価(段階別)※2					
	握力 (Kg)	上体起 こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	持久走 1500m (秒)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	体力 合計点 ※1	A	B	C	D	E
全国	28.84	27.36	43.44	52.24	392.65	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32	8.4%	26.6%	37.3%	21.3%	6.5%
三重県	↑28.62	↑27.05	↑43.56	↑53.18	↓397.99	↓84.97	↑7.97	↑195.78	↑20.86	↑42.70	9.1%	27.5%	37.5%	19.6%	6.3%
H29三重県	28.60	26.96	43.06	52.37	395.89	85.34	8.04	193.77	20.66	41.88	7.8%	26.1%	36.4%	22.0%	7.7%

中学校 2年 女子	種目別平均									総合評価(段階別)※2					
	握力 (Kg)	上体起 こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	持久走 1000m (秒)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)※ 1	A	B	C	D	E
全国	23.87	23.87	46.22	47.37	286.85	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61	32.6%	32.5%	24.1%	9.1%	1.7%
三重県	↑23.95	↑23.54	↑46.46	↑48.16	↑289.75	↑59.45	↑8.83	↑171.32	↑13.42	↑51.19	35.6%	32.3%	21.4%	8.6%	2.1%
H29三重県	23.70	23.43	46.14	47.38	292.05	58.83	8.87	169.17	13.31	50.25	32.0%	31.7%	24.3%	9.8%	2.2%

※1 体力合計点:各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点(最高80点)

※2 総合評価(段階別):体力合計点を年齢別の評価基準表に基づいた段階別の評価。Aが高得点を示す。

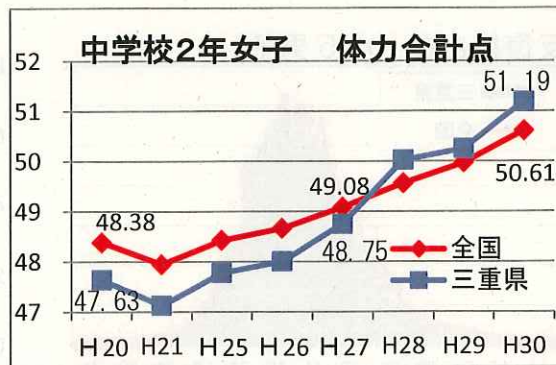
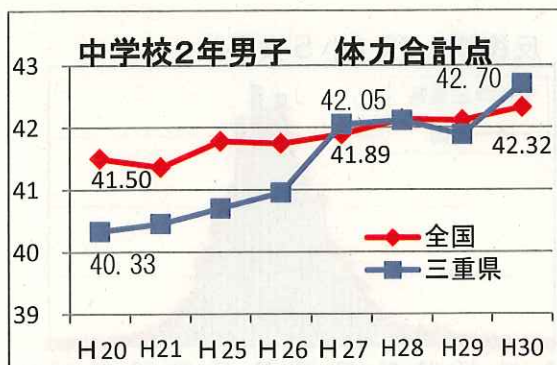
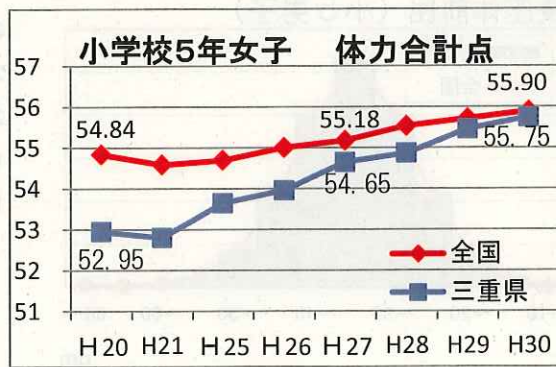
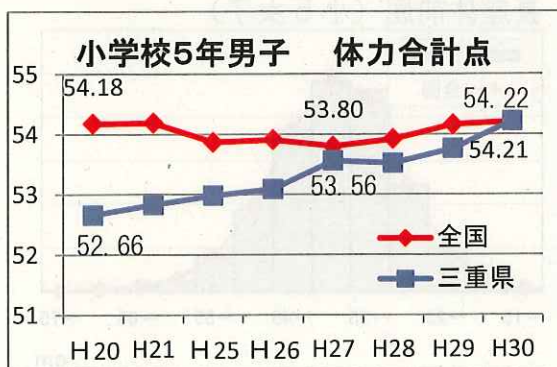


【平成20年度以降の推移】

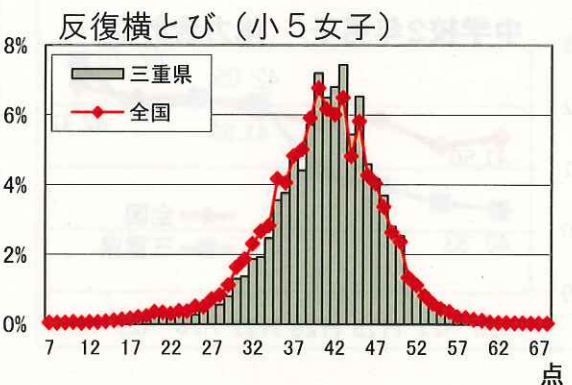
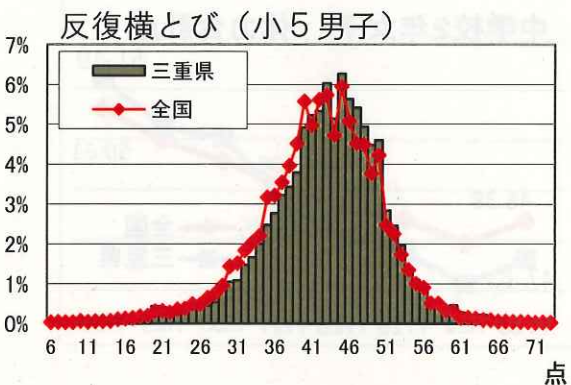
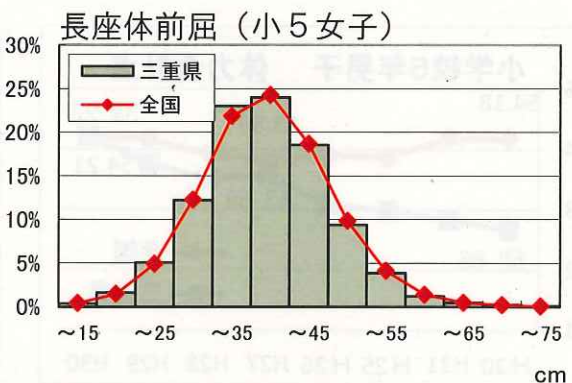
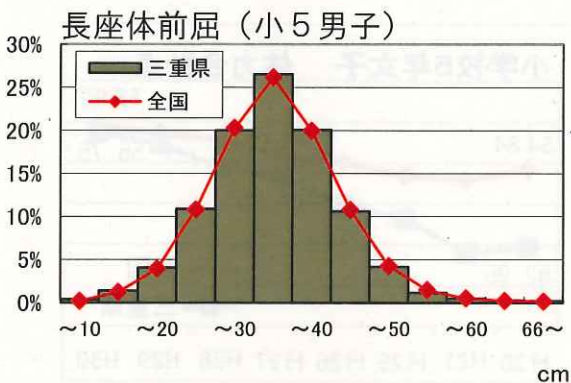
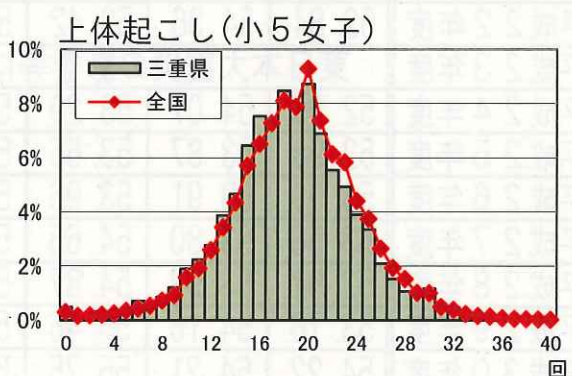
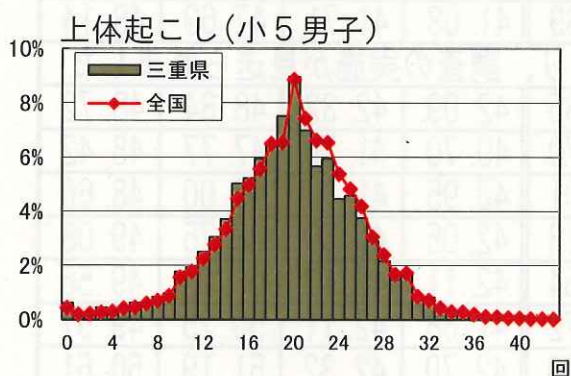
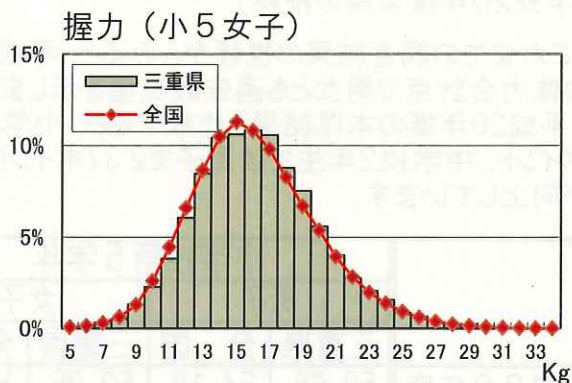
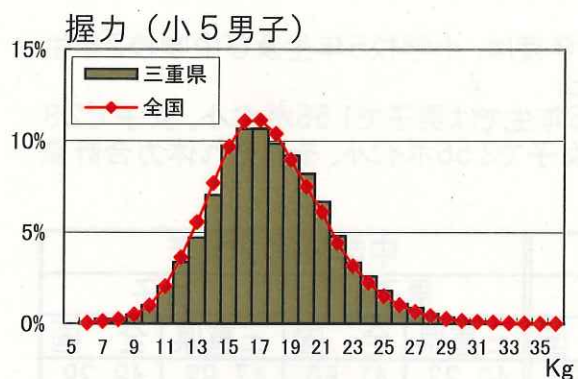
これまでの調査結果の推移からみると、平成30年度は、小学校5年生及び中学校2年生の体力合計点で男女とも過去最高値を示しました。

平成20年度の本県結果と比較すると、小学校5年生では男子で1.56ポイント、女子で2.8ポイント、中学校2年生では男子で2.37ポイント、女子で3.56ポイント、それぞれ体力合計点が向上しています。

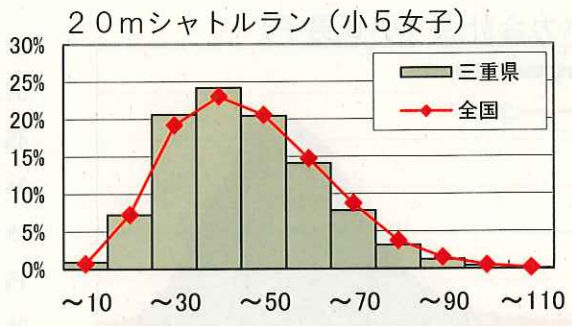
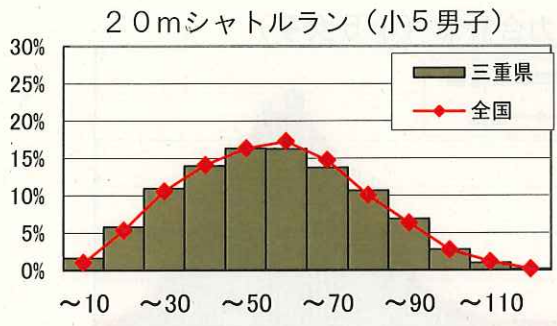
	小学校第5学年				中学校第2学年			
	男子		女子		男子		女子	
	三重県	全 国	三重県	全 国	三重県	全 国	三重県	全 国
平成20年度	52.66	54.18	52.95	54.84	40.33	41.50	47.63	48.38
平成21年度	52.83	54.19	52.80	54.59	40.45	41.36	47.12	47.94
平成22年度	52.84	54.36	53.42	54.89	41.08	41.71	47.69	48.14
平成23年度	東日本大震災の影響等により、調査の実施が見送られました							
平成24年度	52.95	54.07	53.29	54.85	42.09	42.32	48.84	48.72
平成25年度	52.98	53.87	53.65	54.70	40.70	41.78	47.77	48.42
平成26年度	53.09	53.91	53.96	55.01	40.95	41.74	48.00	48.66
平成27年度	53.56	53.80	54.65	55.18	42.05	41.89	48.75	49.08
平成28年度	53.52	53.92	54.87	55.54	42.11	42.13	50.02	49.56
平成29年度	53.76	54.16	55.46	55.72	41.88	42.11	50.25	49.97
平成30年度	54.22	54.21	55.75	55.90	42.70	42.32	51.19	50.61



(2) 各種目における記録数値別割合分布  
【小学校5年生】

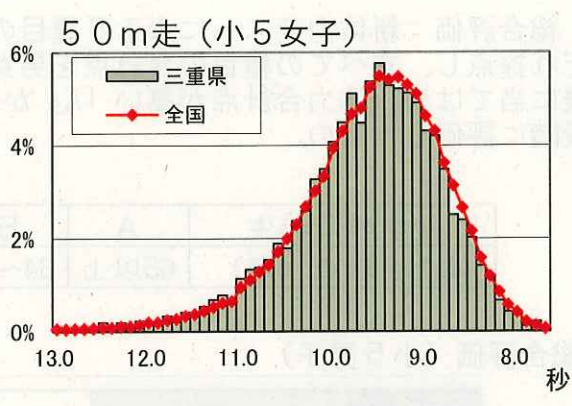
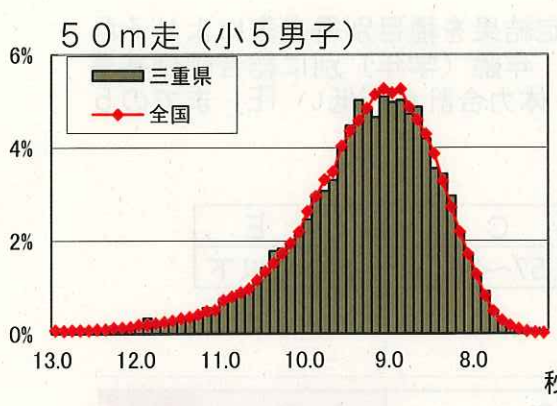






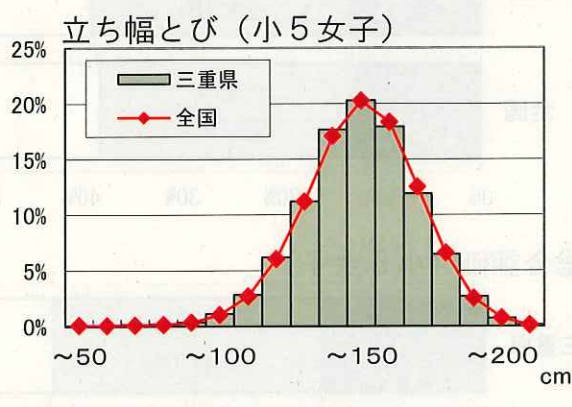
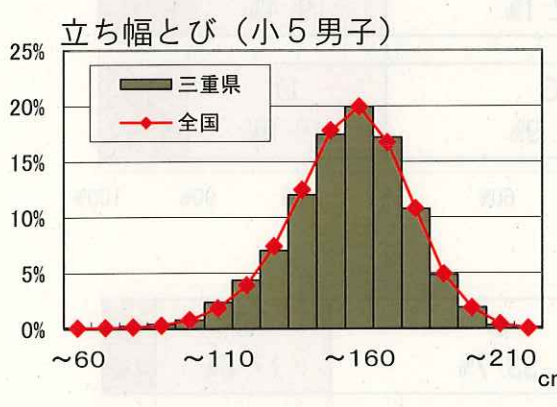
回

回



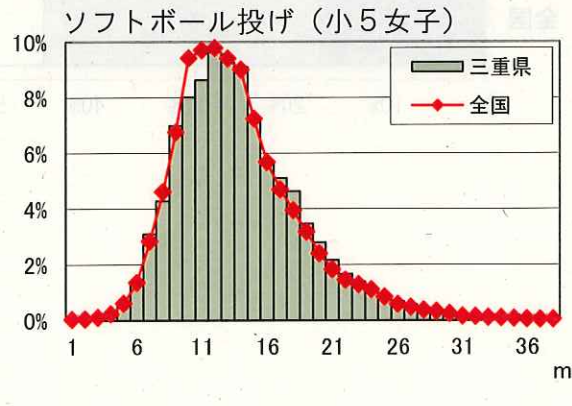
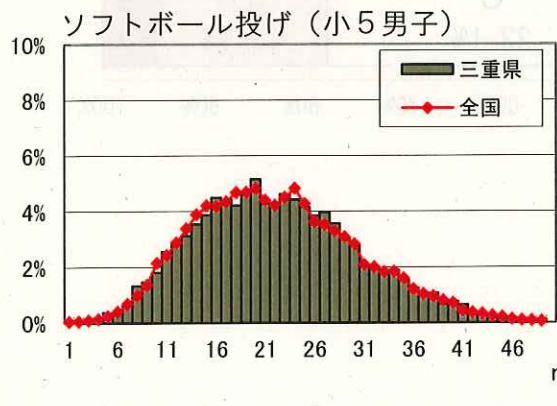
秒

秒



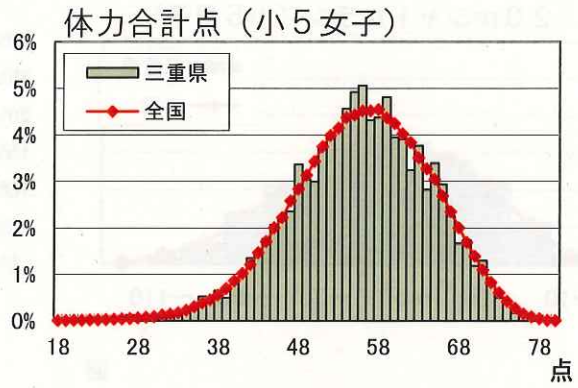
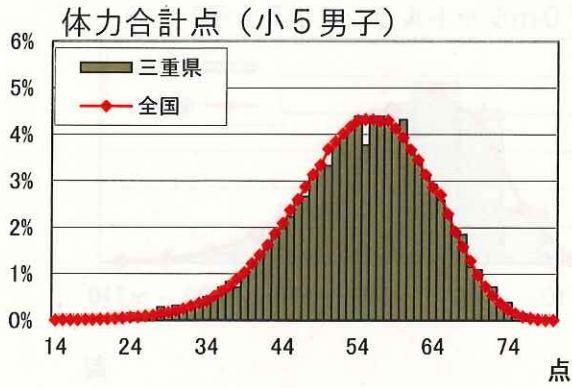
cm

cm



m

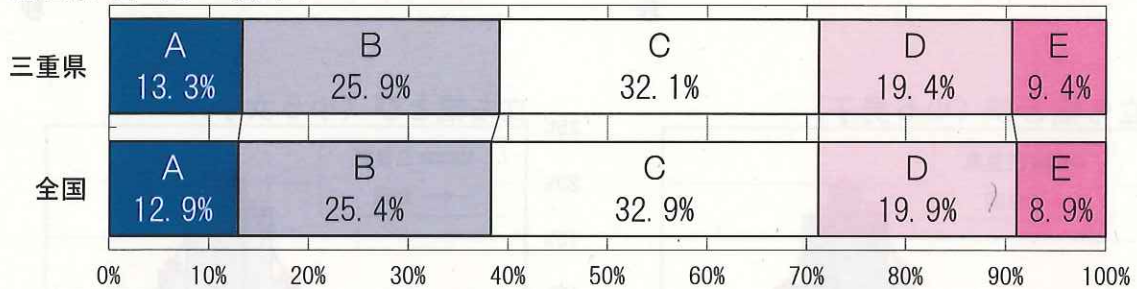
m



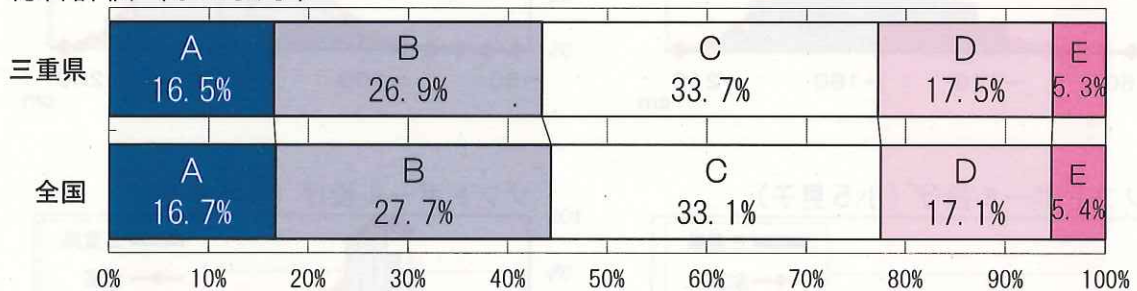
総合評価：新体力テストによる8種目の測定結果を種目別得点表によりそれぞれ採点し、すべての種目の合計点を男女別・年齢（学年）別に総合評価基準表に当てはめ、体力合計点が高い「A」から、体力合計点が高い「E」までの5段階に評価したもの。

小学校5年生	A	B	C	D	E
体力合計点（点）	65以上	64～58	57～50	49～42	41以下

### 総合評価（小5男子）

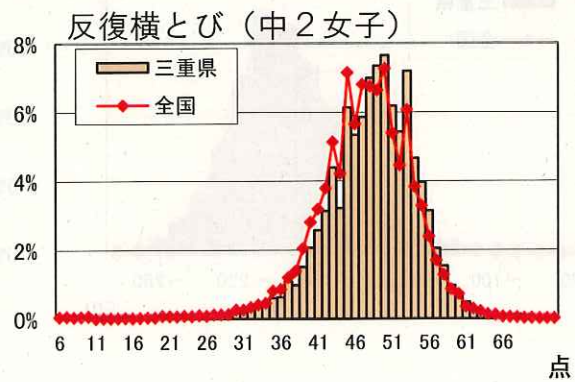
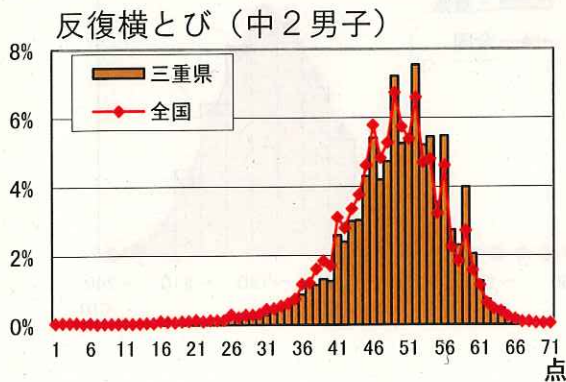
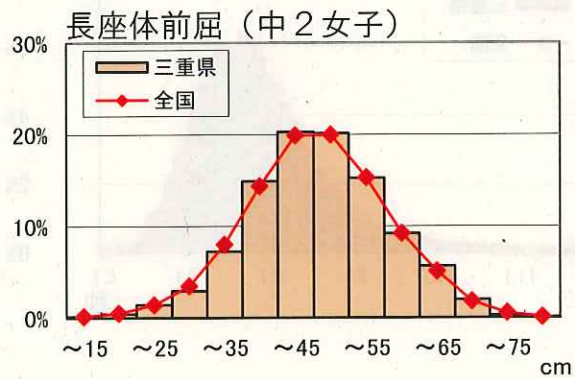
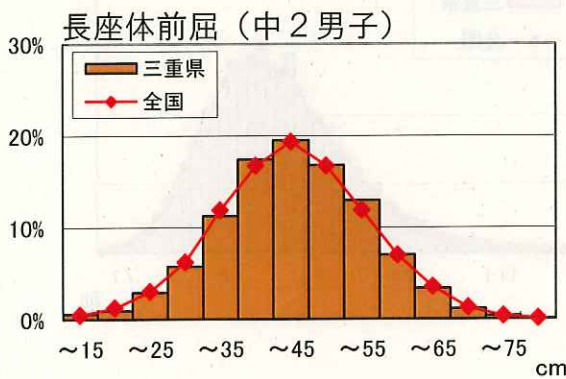
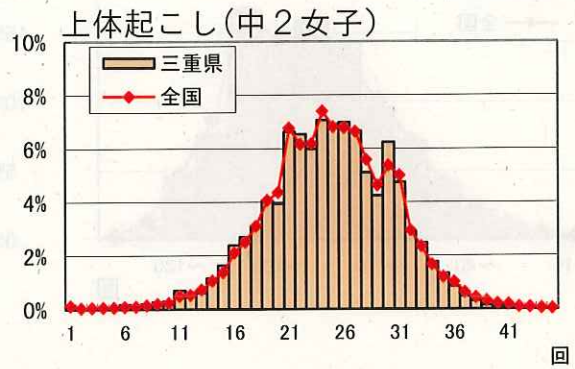
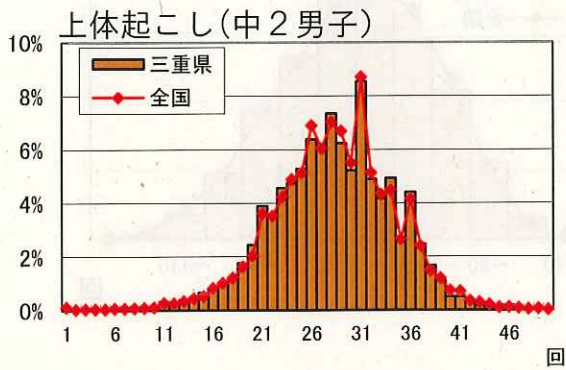
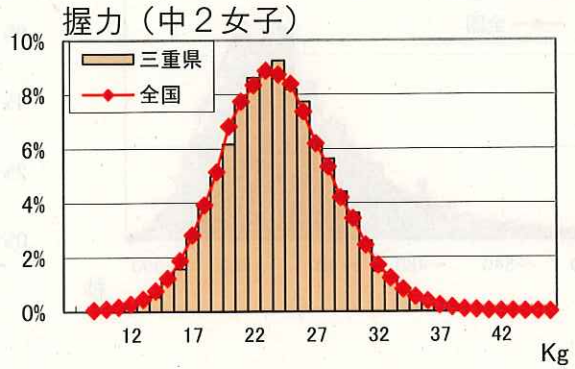
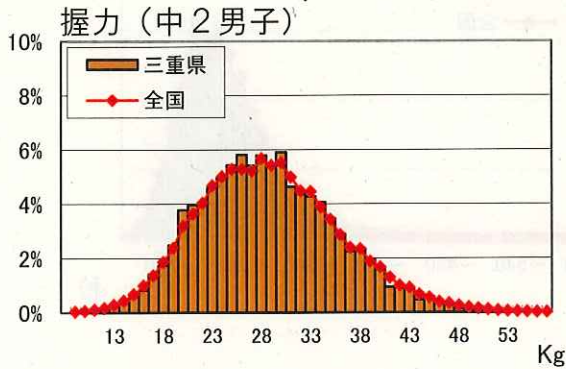


### 総合評価（小5女子）

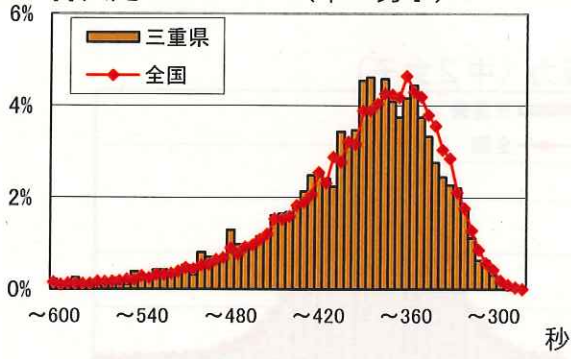




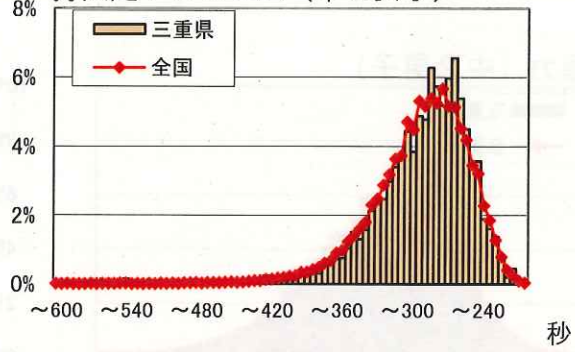
【中学校2年生】



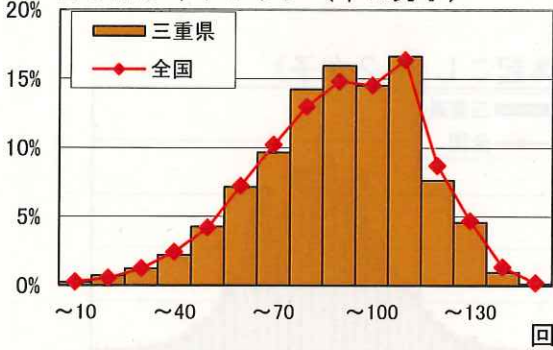
持久走1500m (中2男子)



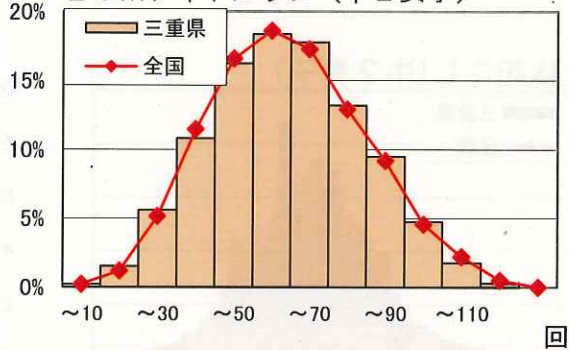
持久走1000m (中2女子)



20mシャトルラン (中2男子)



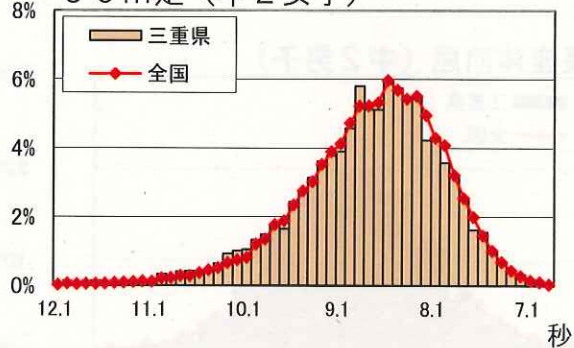
20mシャトルラン (中2女子)



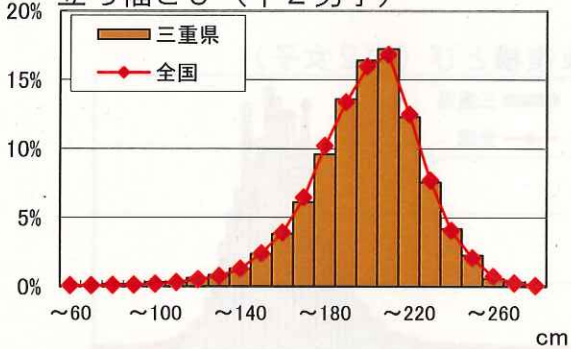
50m走 (中2男子)



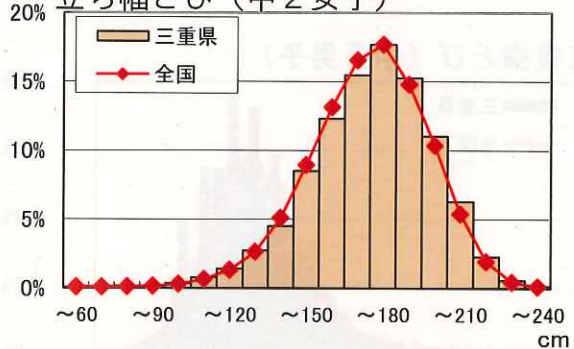
50m走 (中2女子)



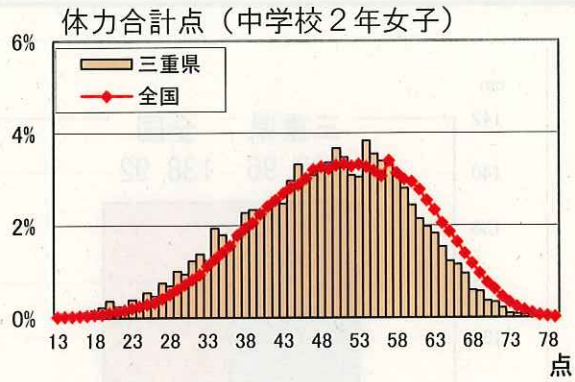
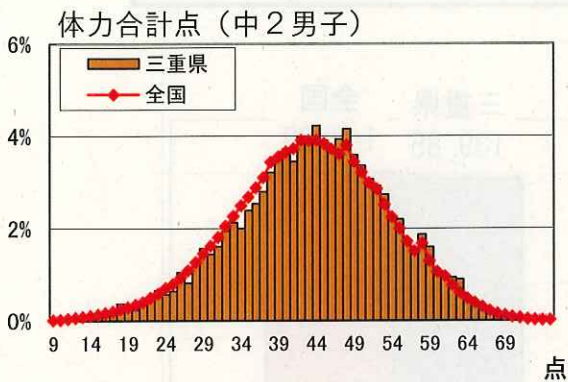
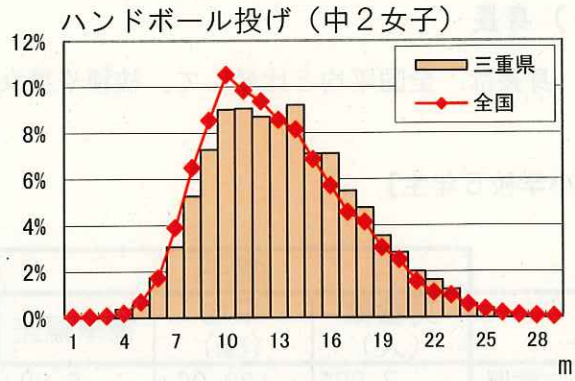
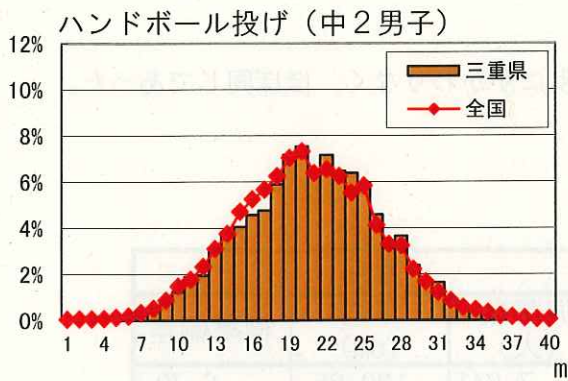
立ち幅とび (中2男子)



立ち幅とび (中2女子)



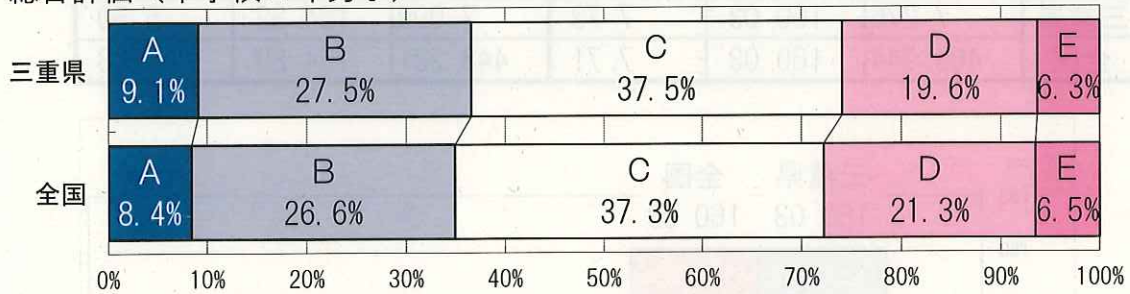




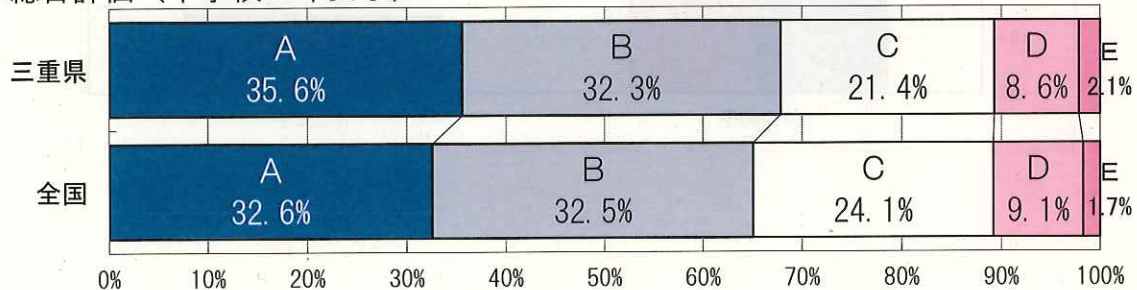
総合評価：新体力テストによる8種目の測定結果を種目別得点表によりそれぞれ採点し、すべての種目の合計点を男女別・年齢(学年)別に総合評価基準表に当てはめ、体力合計点が高い「A」から、体力合計点が高い「E」までの5段階に評価したもの。

中学校2年生	A	B	C	D	E
体力合計点(点)	57以上	56~47	46~37	36~27	26以下

### 総合評価 (中学校2年男子)



### 総合評価 (中学校2年女子)



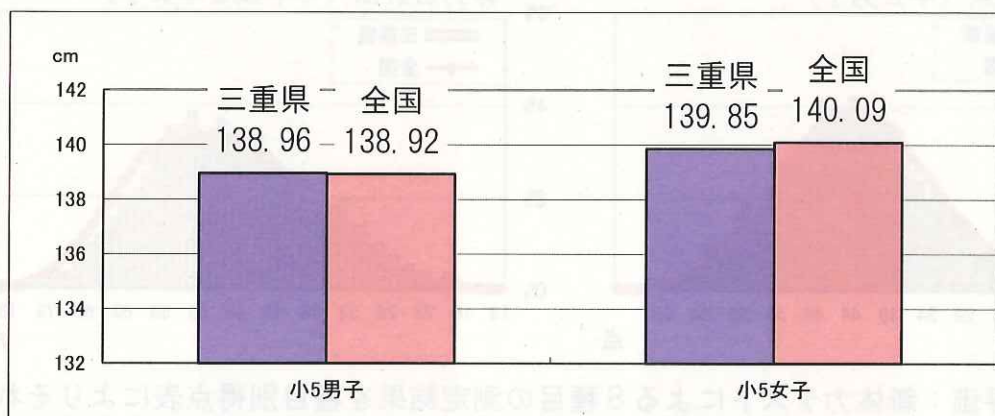
## 2 体格と肥満度に関する調査の結果

### (1) 身長

身長は、全国平均と比較して、校種や男女の別にかかわらず、ほぼ同じであった。

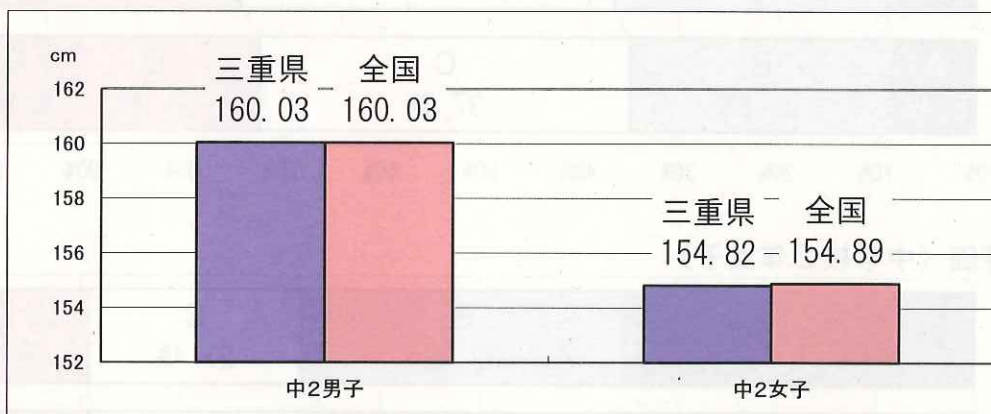
#### 【小学校5年生】

	男子			女子		
	児童数 (人)	平均 (cm)	標準偏差	児童数 (人)	平均 (cm)	標準偏差
三重県	7,826	138.96	6.20	7,641	139.85	6.72
全国	529,820	138.92	6.16	507,706	140.09	6.80



#### 【中学校2年生】

	男子			女子		
	生徒数 (人)	平均 (cm)	標準偏差	生徒数 (人)	平均 (cm)	標準偏差
三重県	7,275	160.03	7.73	7,009	154.82	5.50
全国	465,944	160.03	7.71	448,231	154.89	5.38



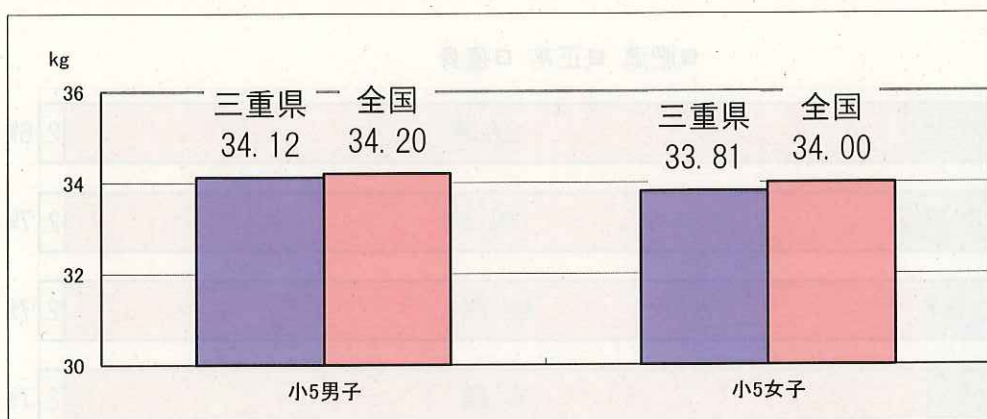


## (2) 体重

体重は、全国平均と比較して、校種や男女の別にかかわらず、わずかに低かった。

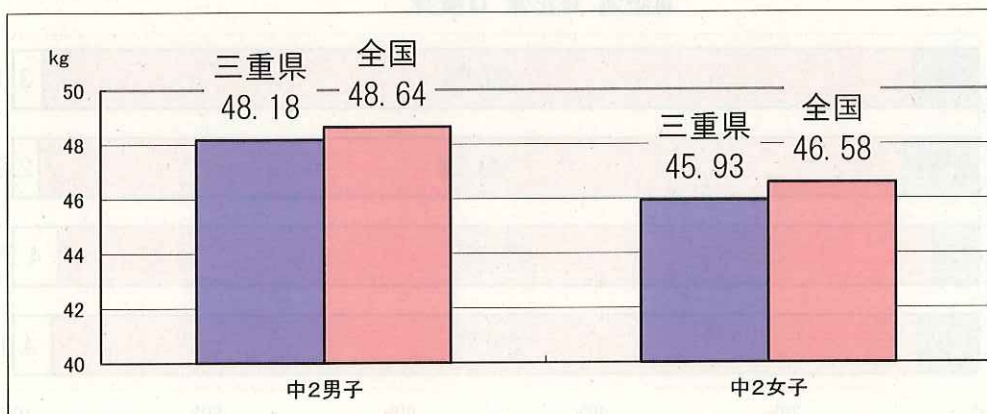
### 【小学校5年生】

	男子			女子		
	児童数 (人)	平均 (kg)	標準偏差	児童数 (人)	平均 (kg)	標準偏差
三重県	7,828	34.12	7.18	7,631	33.81	6.81
全国	529,018	34.20	7.31	506,404	34.00	6.87



### 【中学校2年生】

	男子			女子		
	生徒数 (人)	平均 (kg)	標準偏差	生徒数 (人)	平均 (kg)	標準偏差
三重県	7,215	48.18	9.33	6,877	45.93	7.05
全国	463,751	48.64	9.49	441,361	46.58	7.17



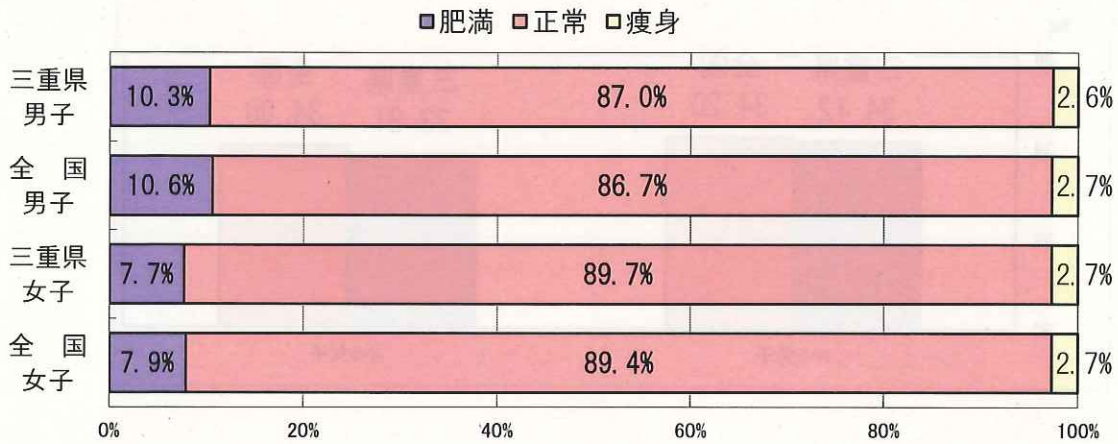
### (3) 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)

肥満傾向児・痩身傾向児の出現率は、小学校は、全国平均と比較して、肥満傾向については、男女とも、ほとんど差がみられなかった。

中学校は、全国平均と比較して男女ともほとんど差がみられなかった。

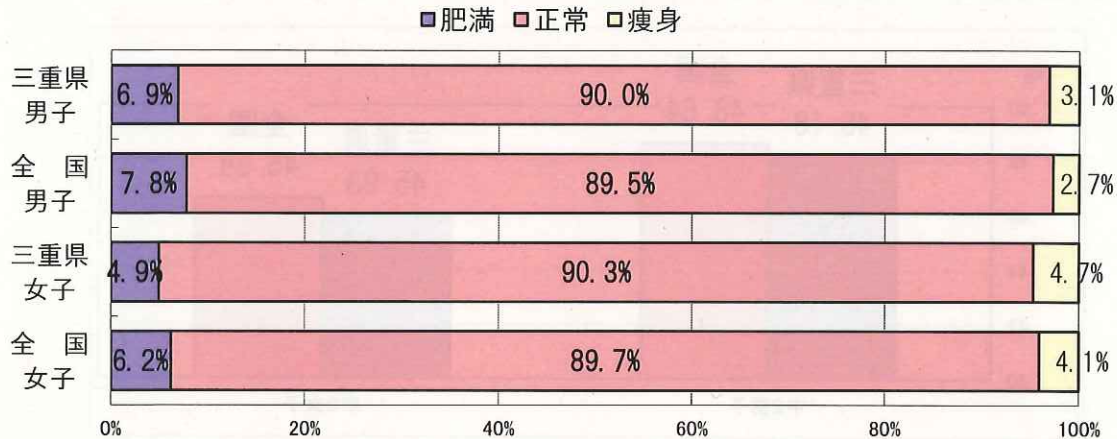
#### 【小学校5年生】

	男子			女子		
	肥満	正常	痩身	肥満	正常	痩身
三重県	10.3%	87.0%	2.6%	7.7%	89.7%	2.7%
全国	10.6%	86.7%	2.7%	7.9%	89.4%	2.7%



#### 【中学校2年生】

	男子			女子		
	肥満	正常	痩身	肥満	正常	痩身
三重県	6.9%	90.0%	3.1%	4.9%	90.3%	4.7%
全国	7.8%	89.5%	2.7%	6.2%	89.7%	4.1%

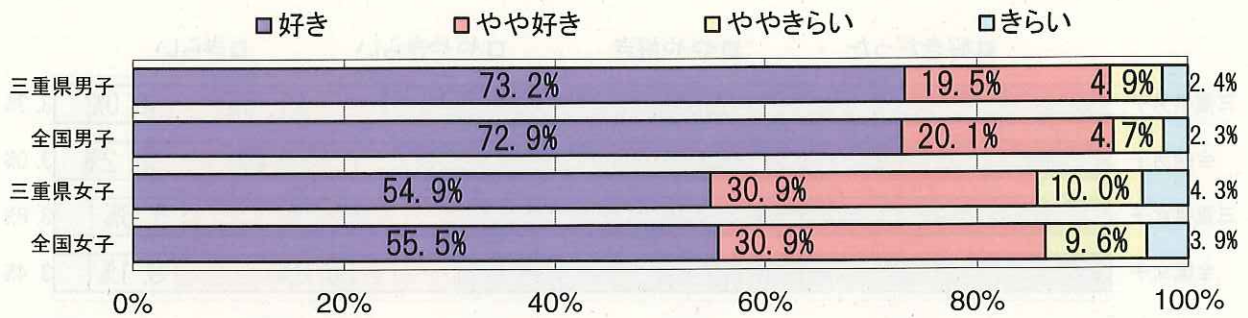




### 3 児童生徒質問紙調査の結果

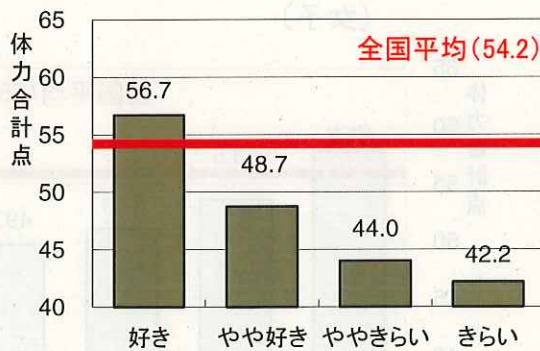
(1) 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。

#### 【小学校5年生】

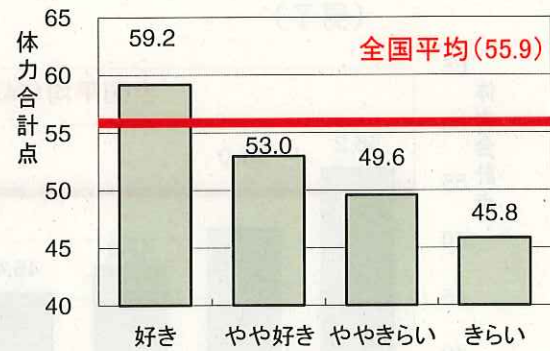


体力合計点との関連

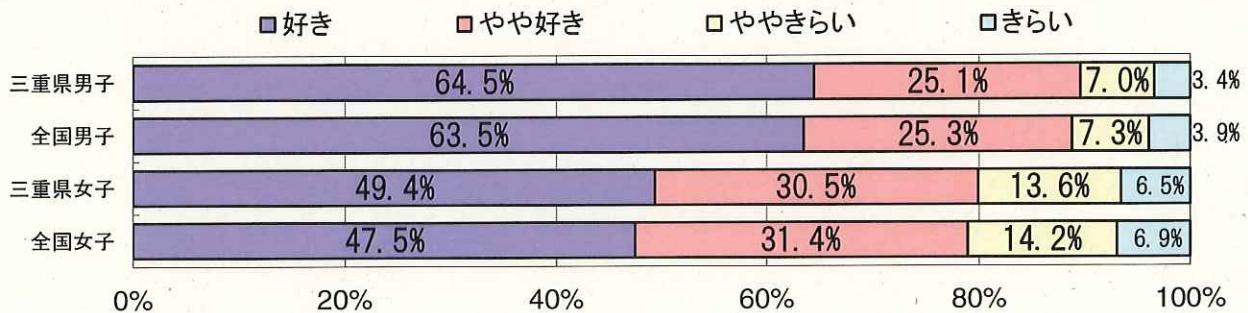
(男子)



(女子)

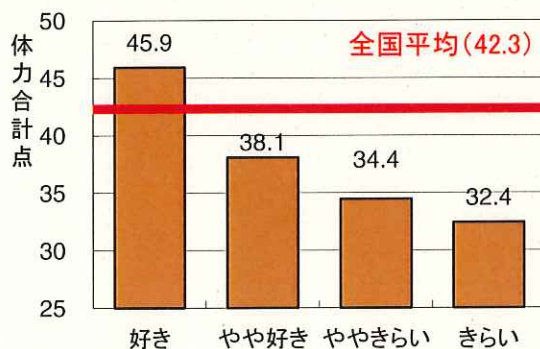


#### 【中学校2年生】

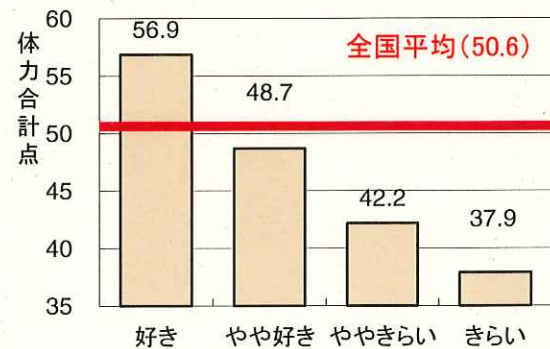


体力合計点との関連

(男子)

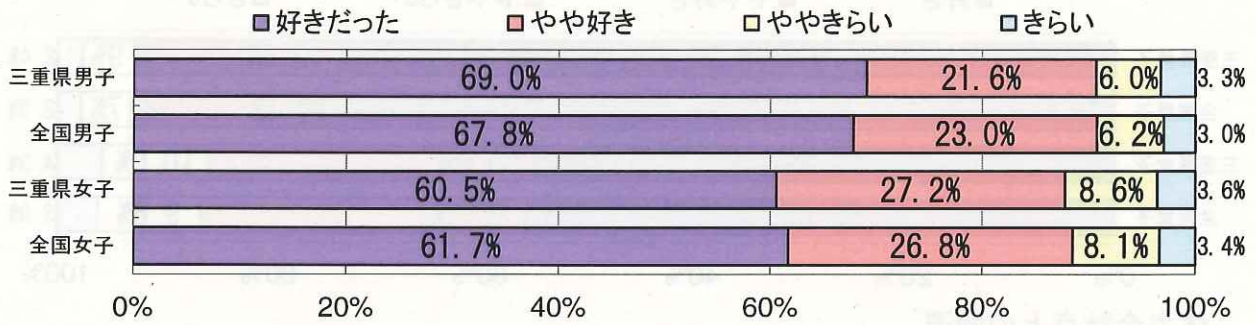


(女子)



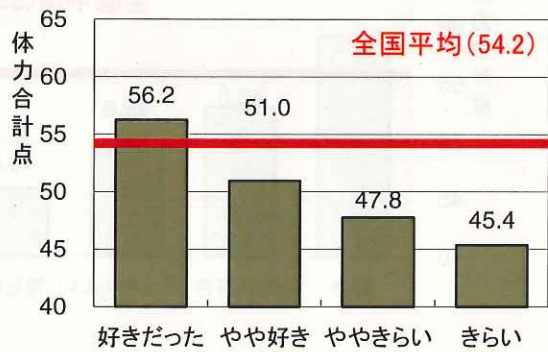
(2) (小学校) 小学校入学前は体を動かす遊びが好きでしたか。

【小学校5年生】



体力合計点との関連

(男子)



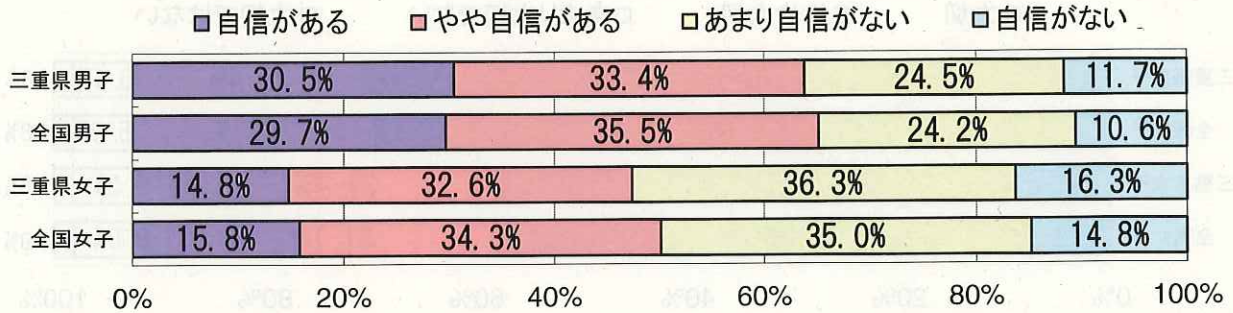
(女子)





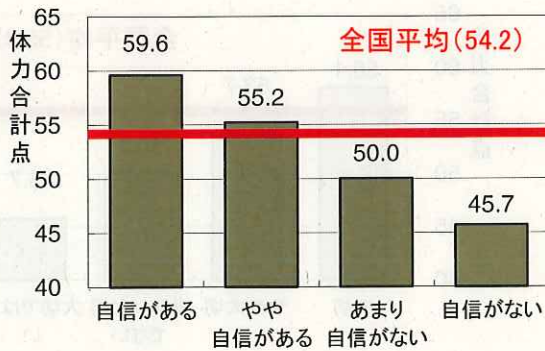
(3) 自分の体力・運動能力に自信がありますか。

【小学校5年生】

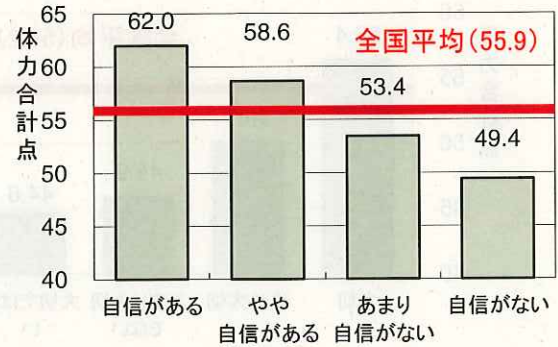


体力合計点との関連

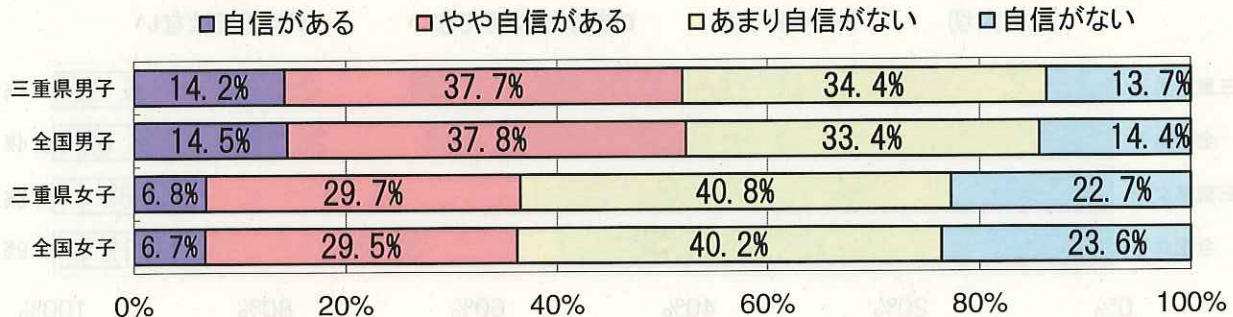
(男子)



(女子)

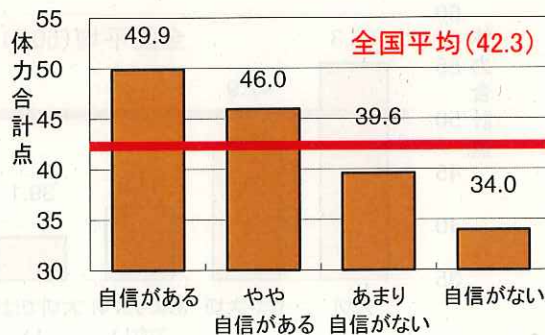


【中学校2年生】

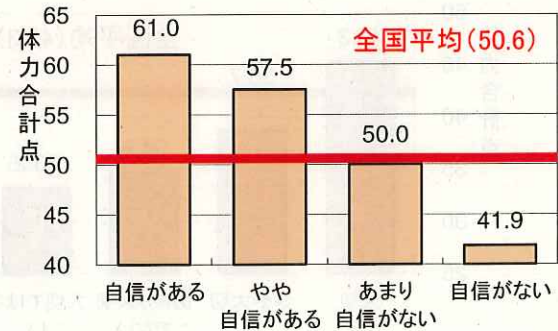


体力合計点との関連

(男子)

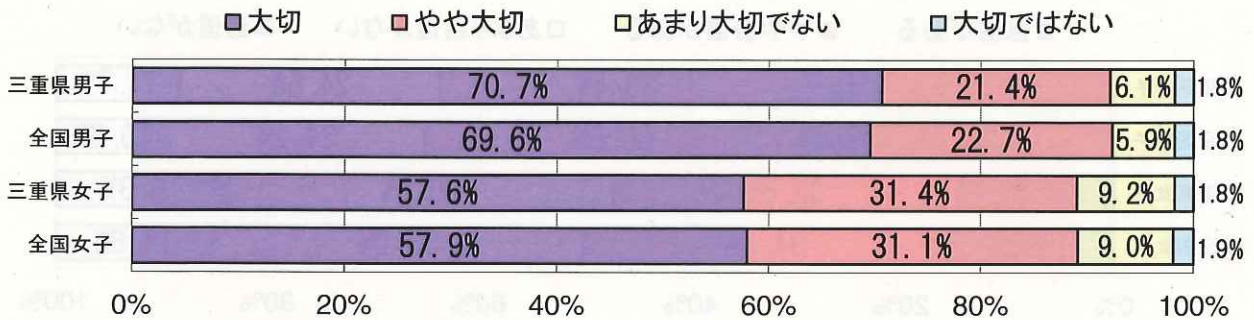


(女子)

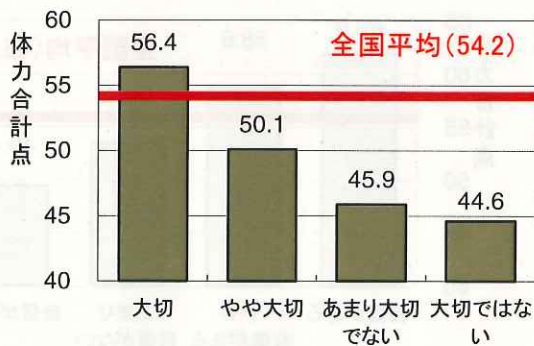


(4) あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。

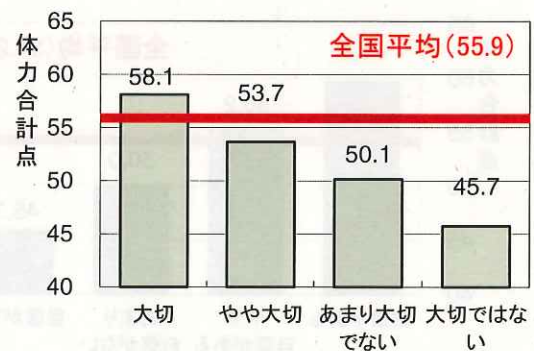
【小学校5年生】



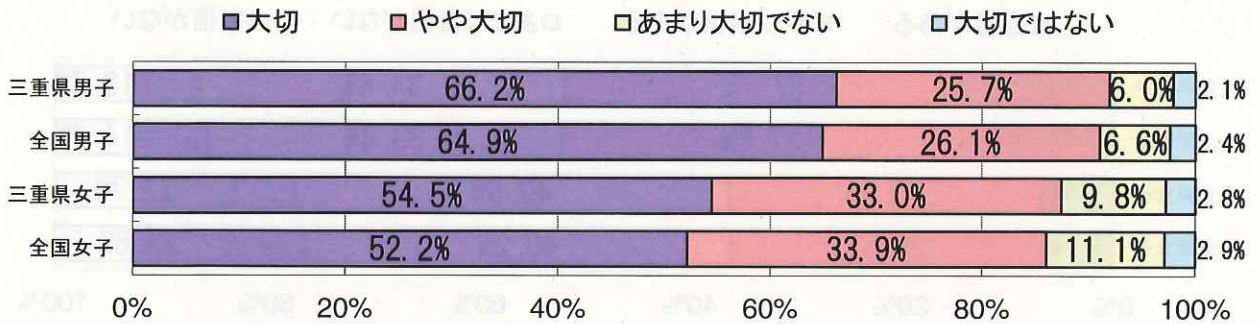
体力合計点との関連  
(男子)



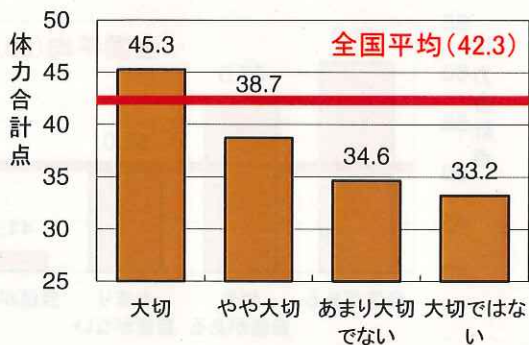
(女子)



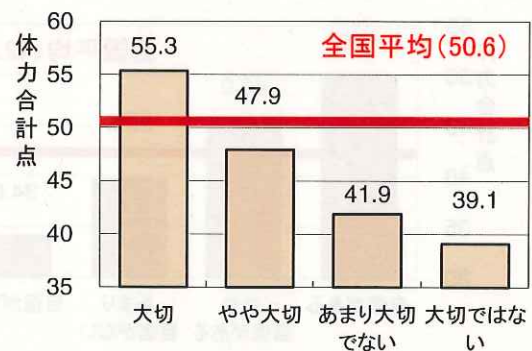
【中学校2年生】



体力合計点との関連  
(男子)



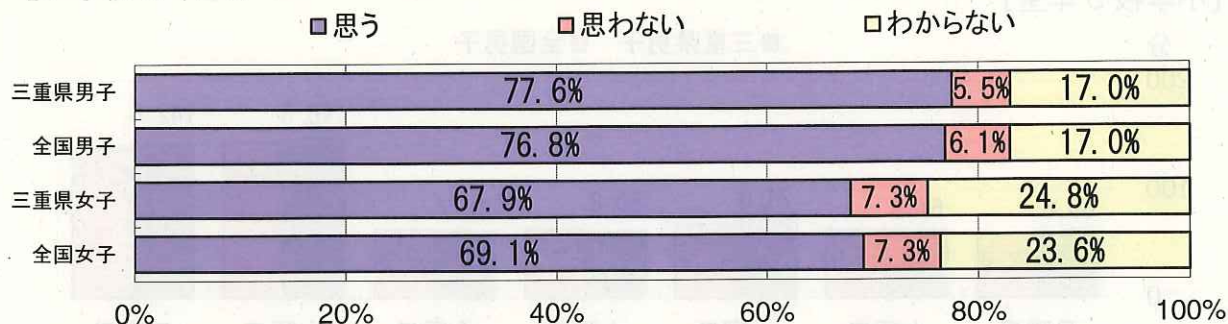
(女子)





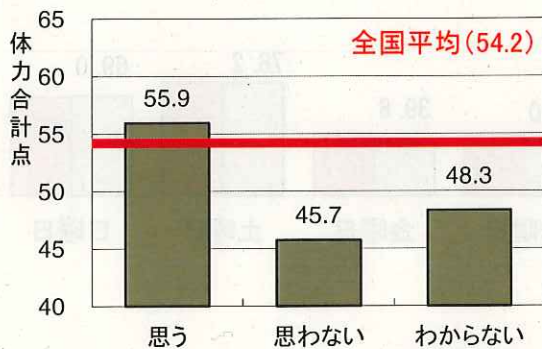
(5) 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を  
持ちたいと思いますか。

【小学校5年生】

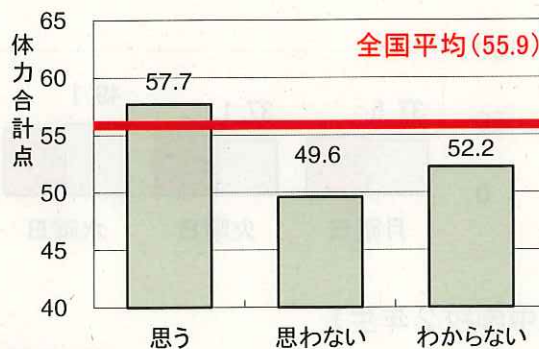


体力合計点との関連

(男子)

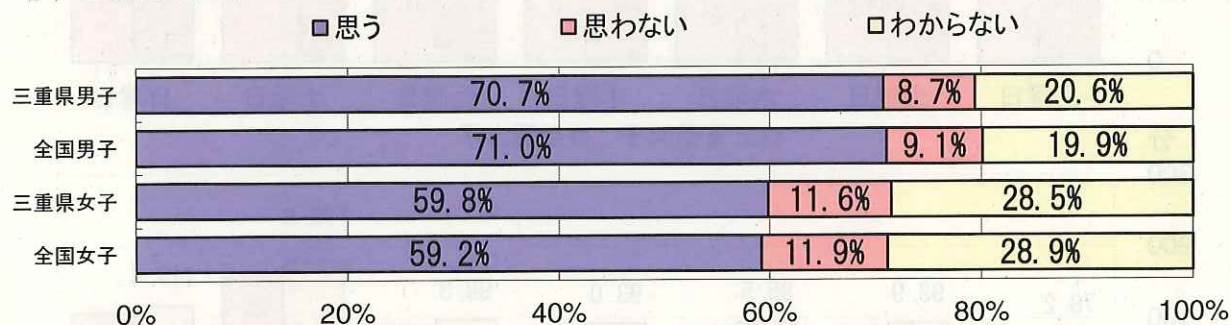


(女子)



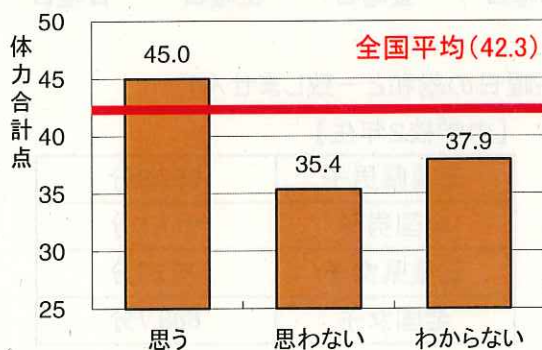
(6) 中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を  
持ちたいと思いますか。

【中学校2年生】

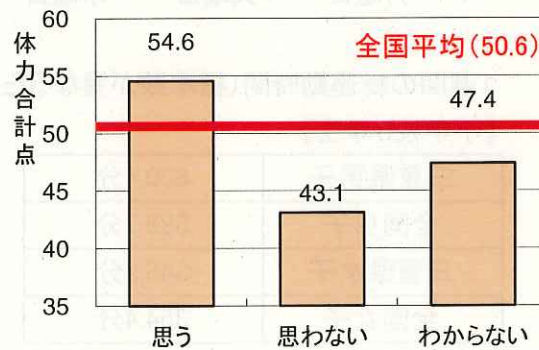


体力合計点との関連

(男子)



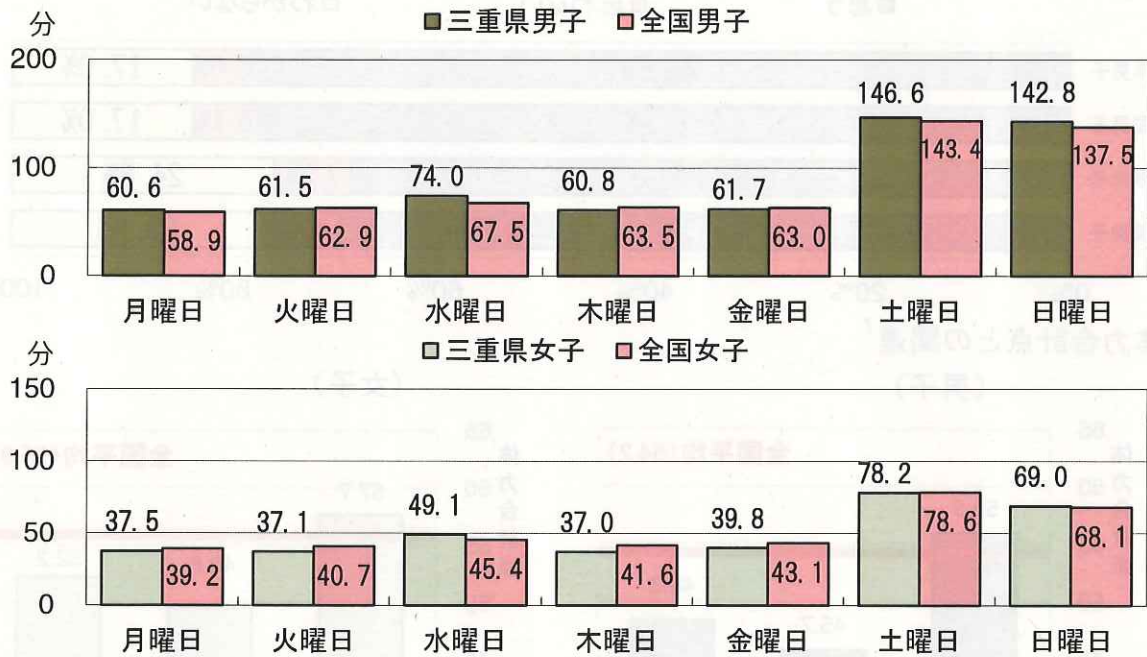
(女子)



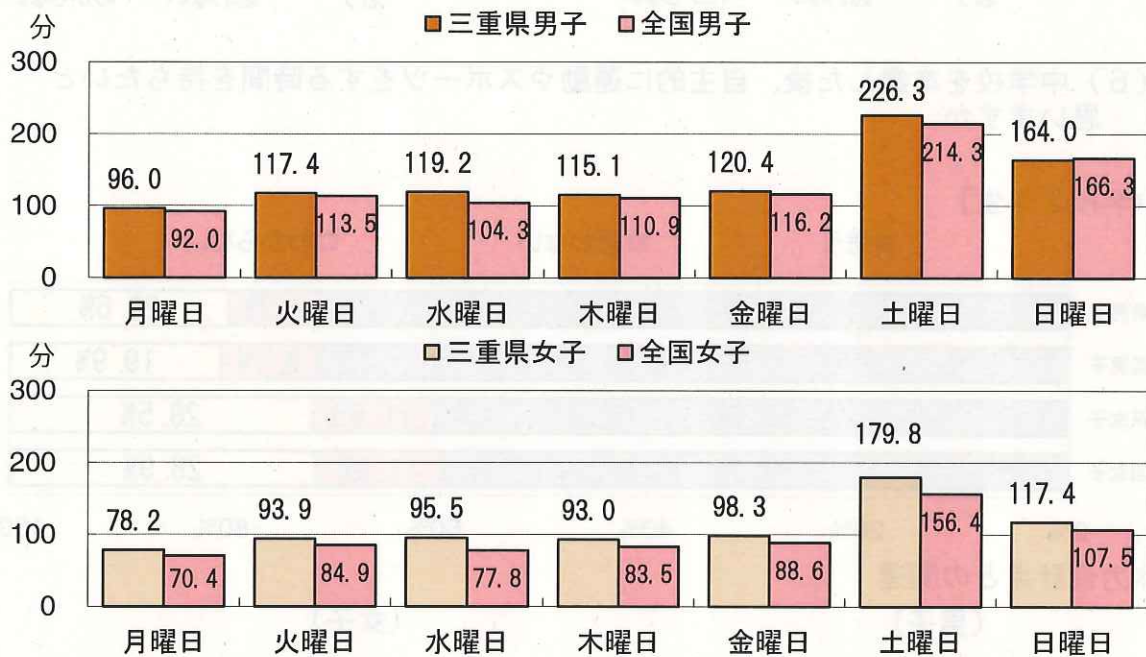
(7) 学校の体育・保健体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを合計で1日およそどのくらいしていますか。（曜日ごとに記入）

① 曜日毎の1日の平均運動時間

【小学校5年生】



【中学校2年生】



1週間の総運動時間(標本数が異なるため、各曜日の総和と一致しません)

【小学校5年生】

三重県男子	600.4分
全国男子	589.7分
三重県女子	345.2分
全国女子	354.4分

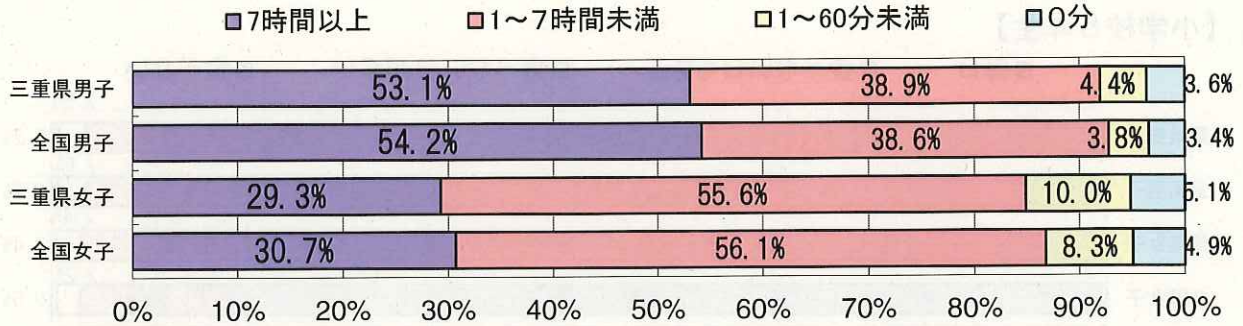
【中学校2年生】

三重県男子	957.8分
全国男子	917.1分
三重県女子	755.7分
全国女子	668.7分



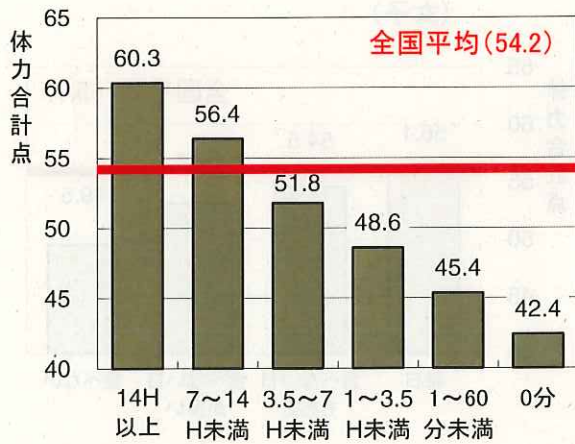
1週間の総運動時間と体力合計点の関連

【小学校5年生】

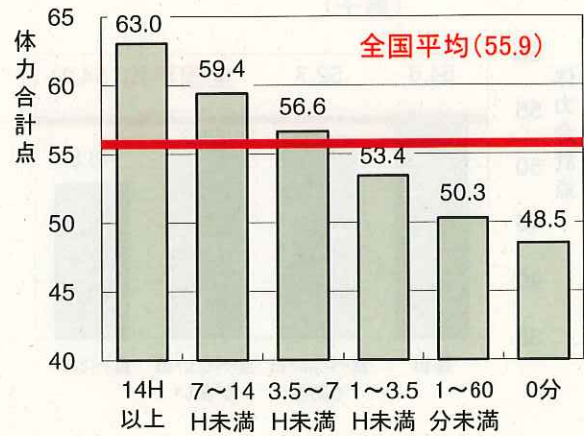


体力合計点の関連

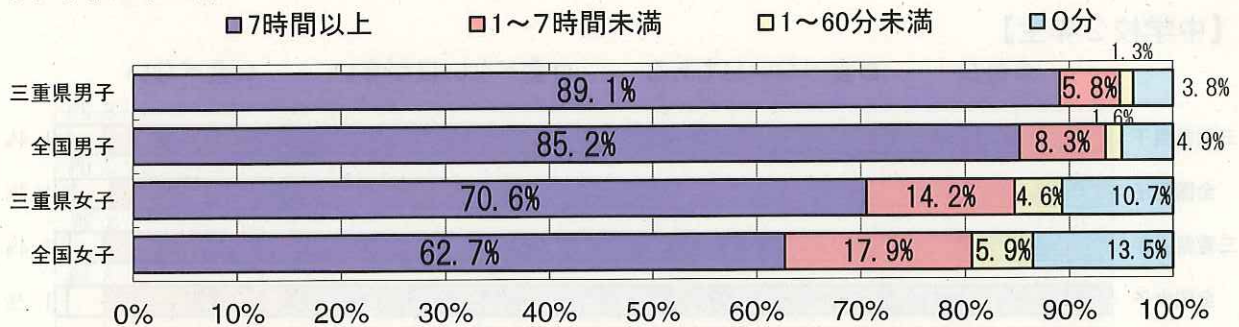
(男子)



(女子)

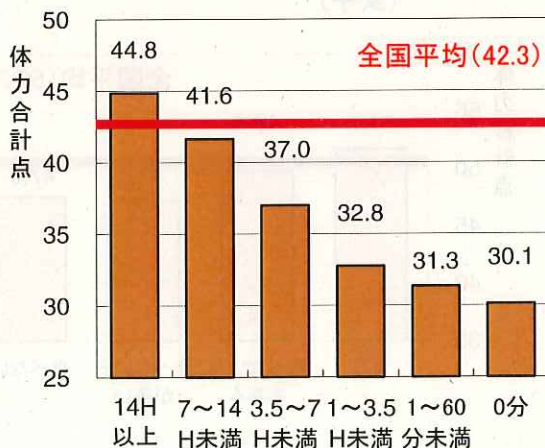


【中学校2年生】

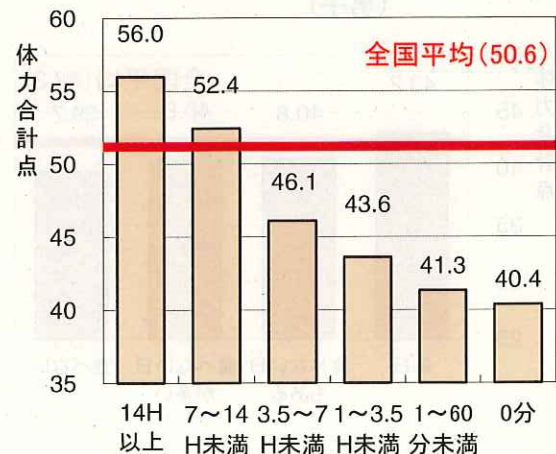


体力合計点の関連

(男子)

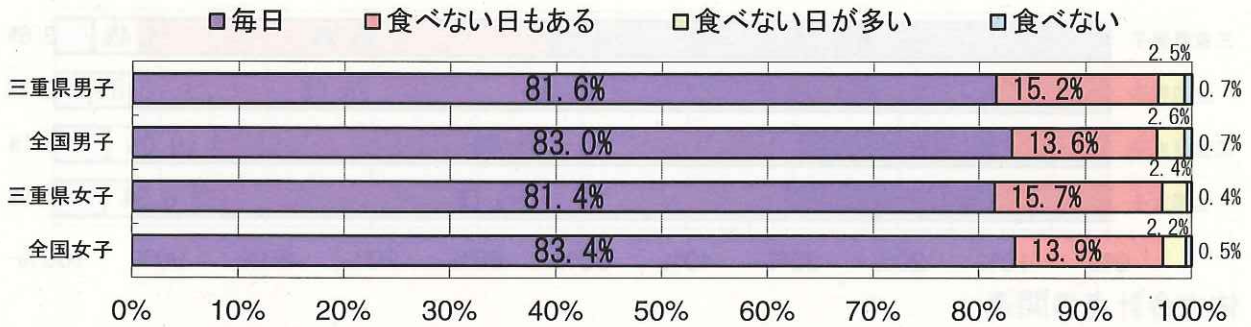


(女子)



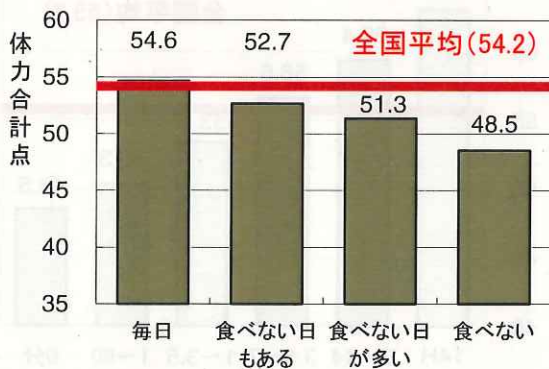
(8) 朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含める)

【小学校5年生】

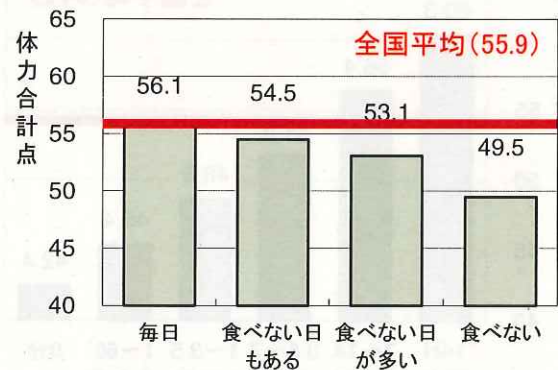


体力合計点との関連

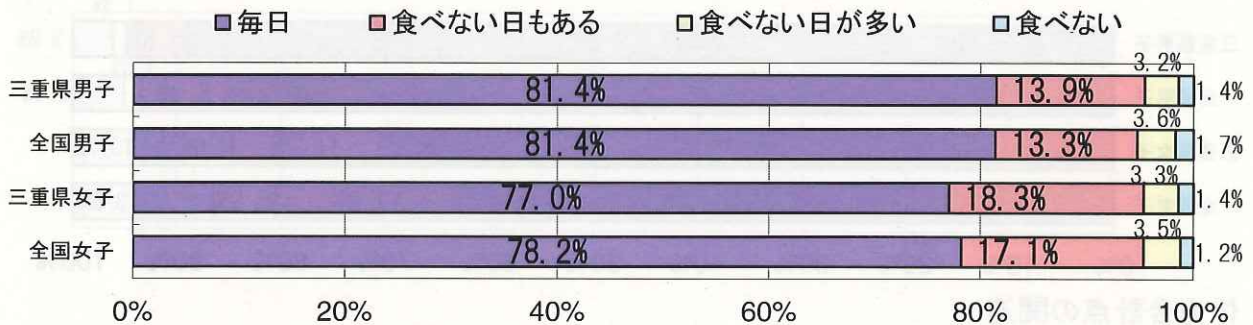
(男子)



(女子)

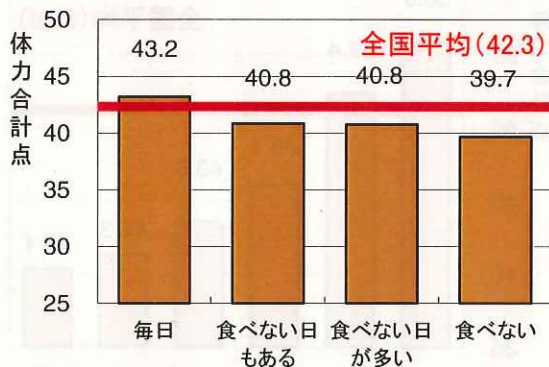


【中学校2年生】

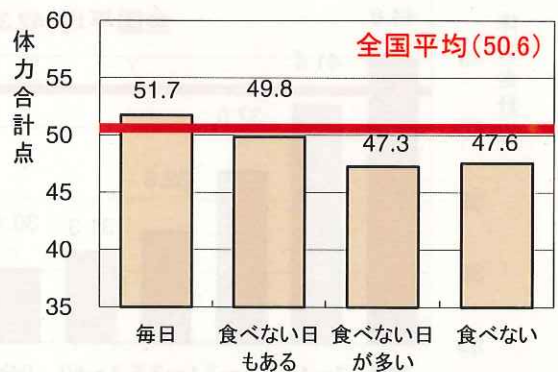


体力合計点との関連

(男子)



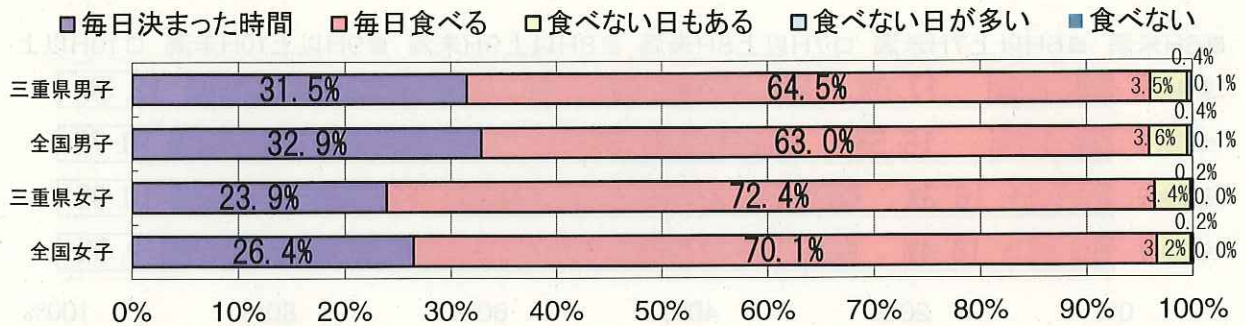
(女子)





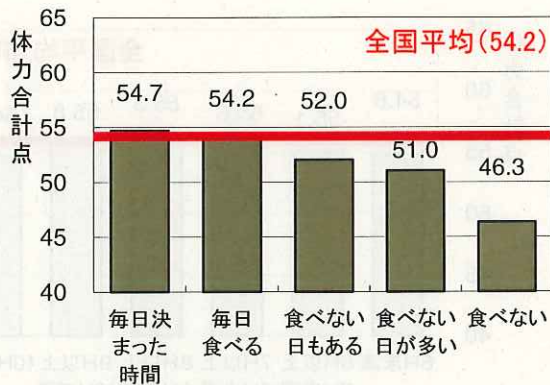
(9) 夕食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含める)

【小学校5年生】

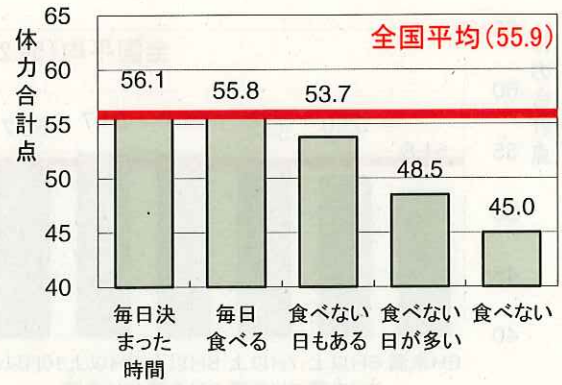


体力合計点との関連

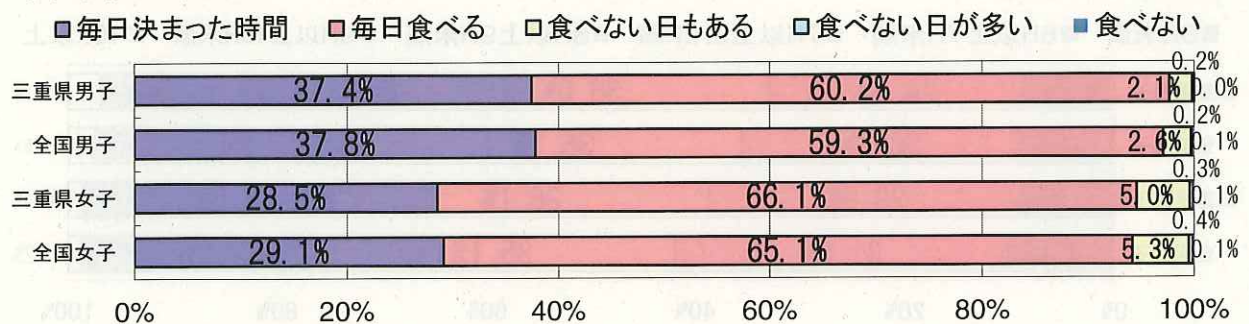
(男子)



(女子)

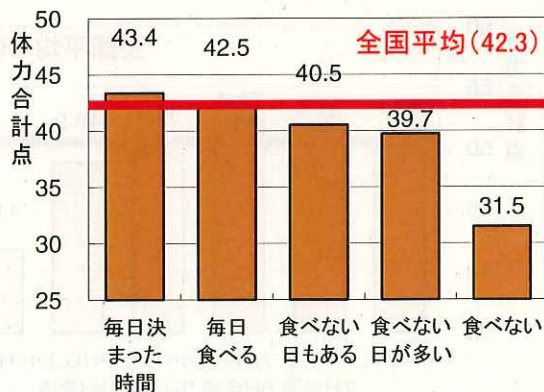


【中学校2年生】

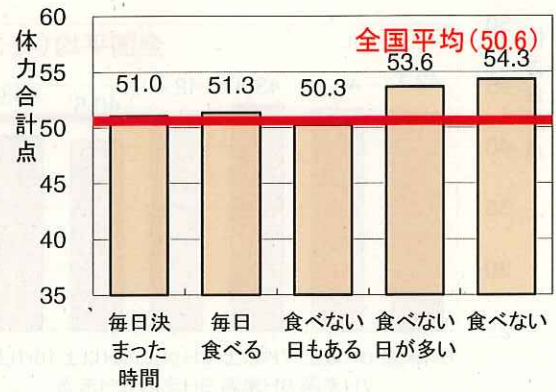


体力合計点との関連

(男子)

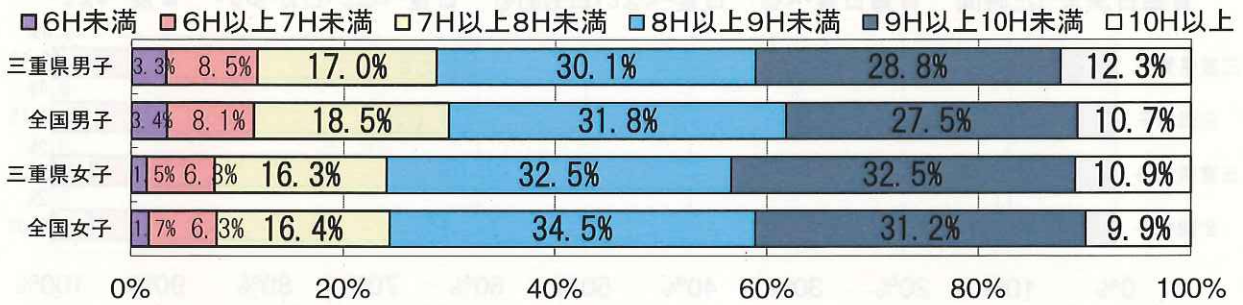


(女子)



(10) 毎日どのくらい寝ていますか。

【小学校5年生】

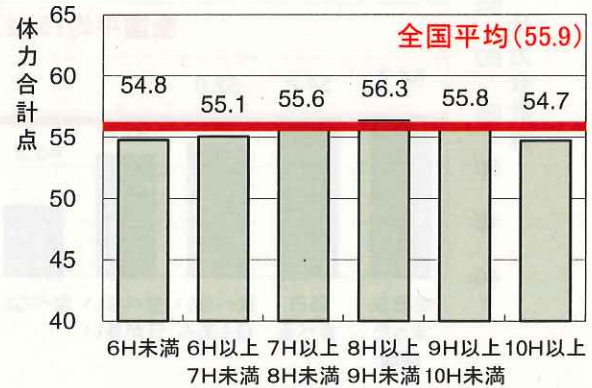


体力合計点との関連

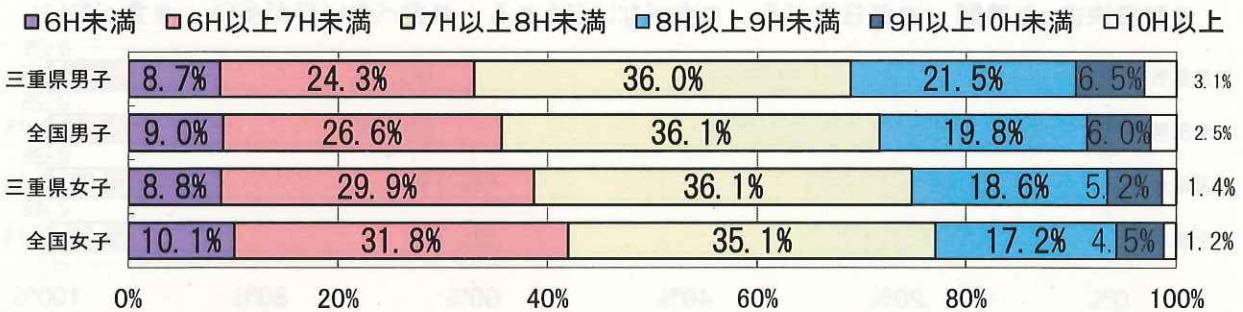
(男子)



(女子)

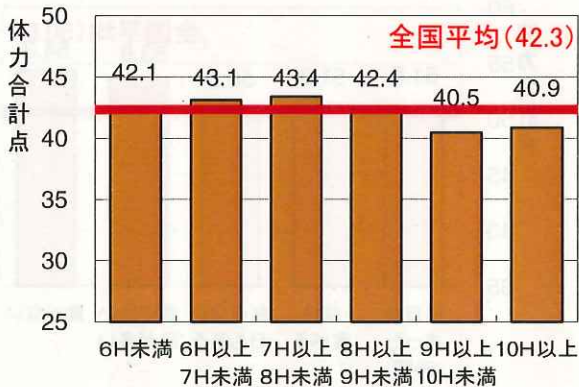


【中学校2年生】



体力合計点との関連

(男子)



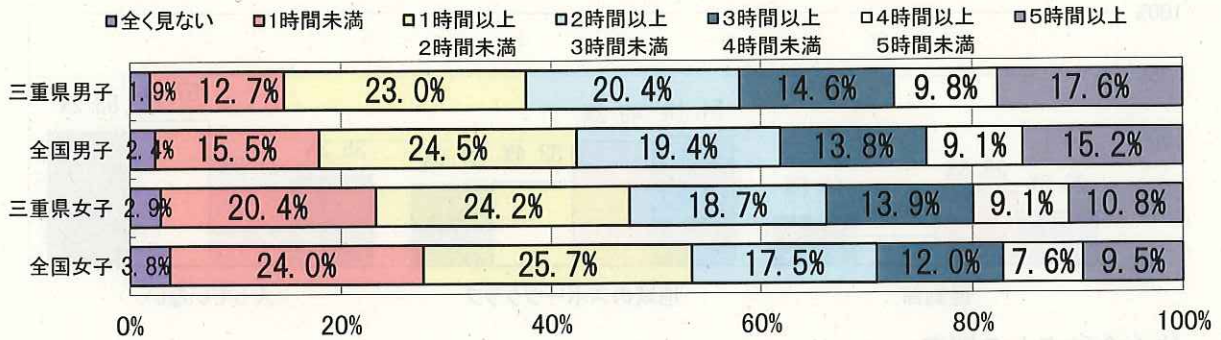
(女子)





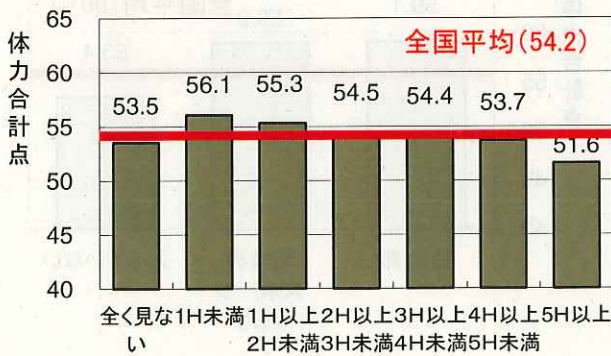
(11) ふだんの平日（月～金曜日）に、1日にどれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。

【小学校5年生】

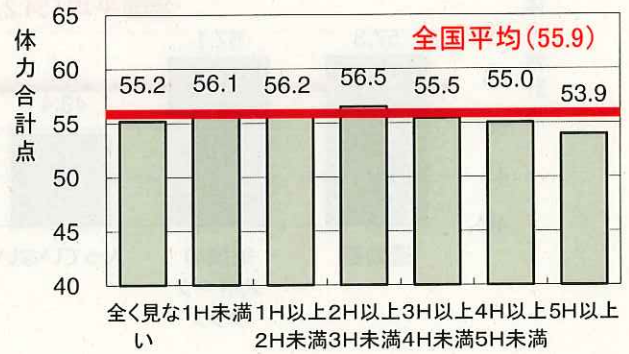


体力合計点との関連

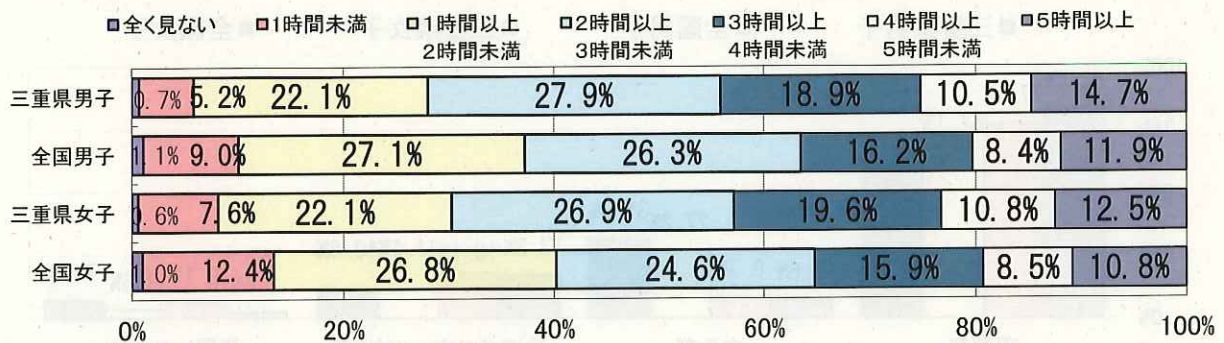
(男子)



(女子)

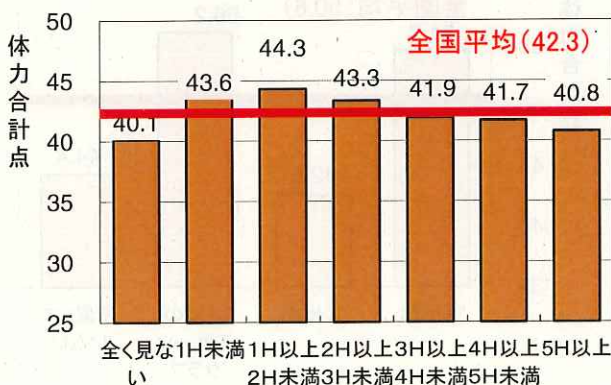


【中学校2年生】

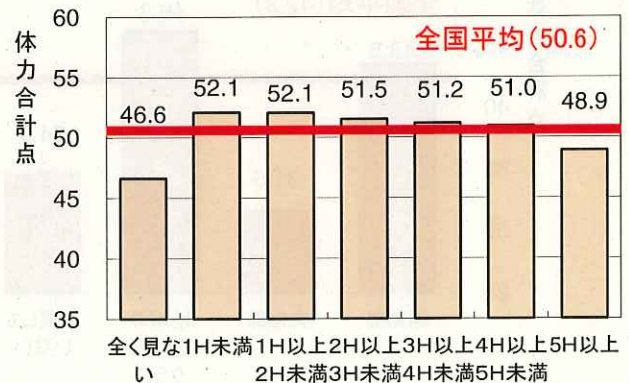


体力合計点との関連

(男子)

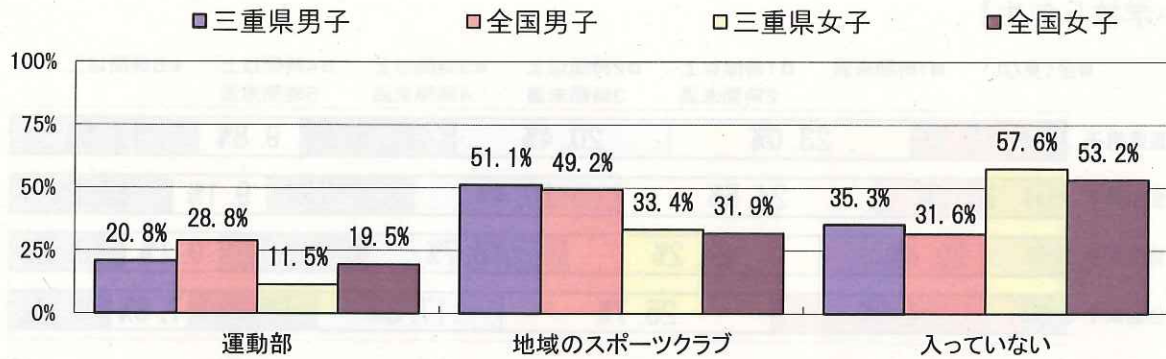


(女子)



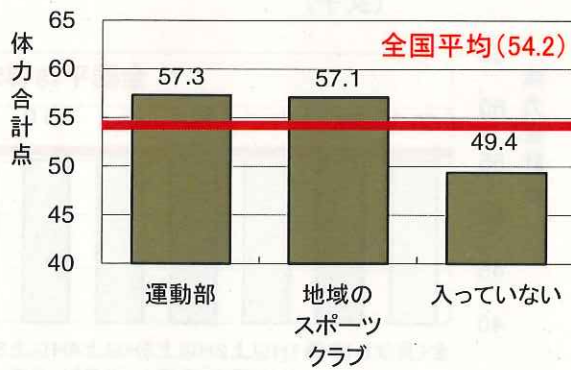
(12) 学校の運動部や地域のスポーツクラブに所属していますか。(複数回答可)

【小学校5年生】

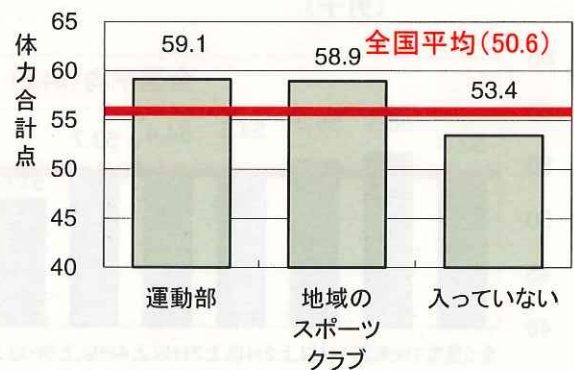


体力合計点との関連

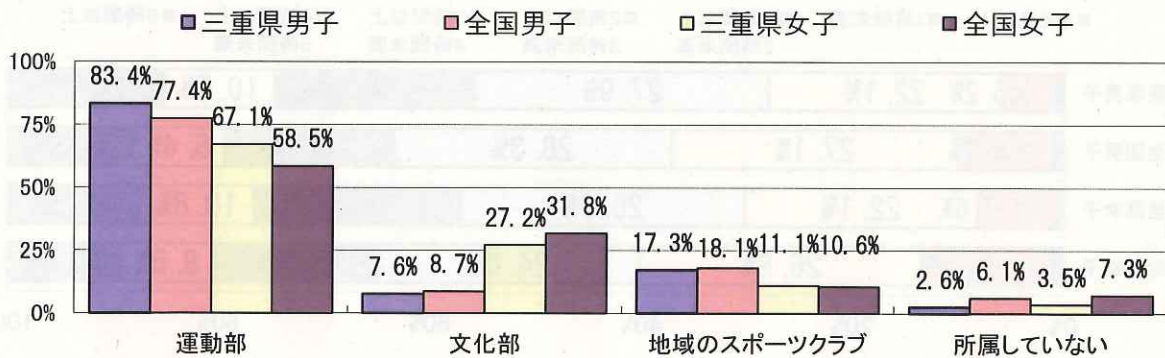
(男子)



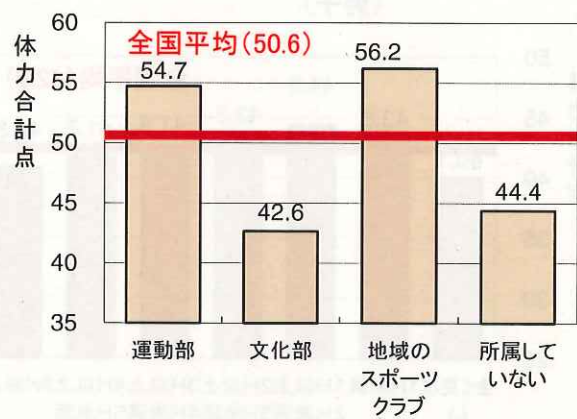
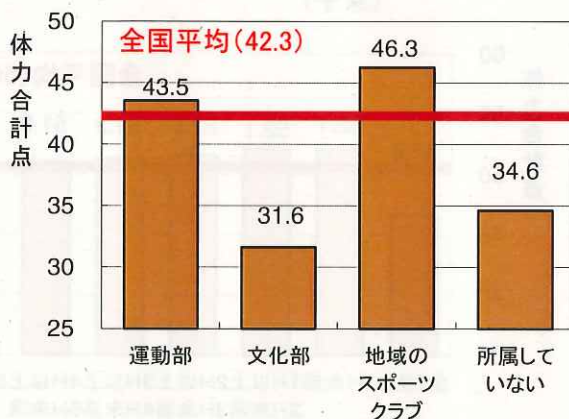
(女子)



【中学校2年生】



体力合計点との関連

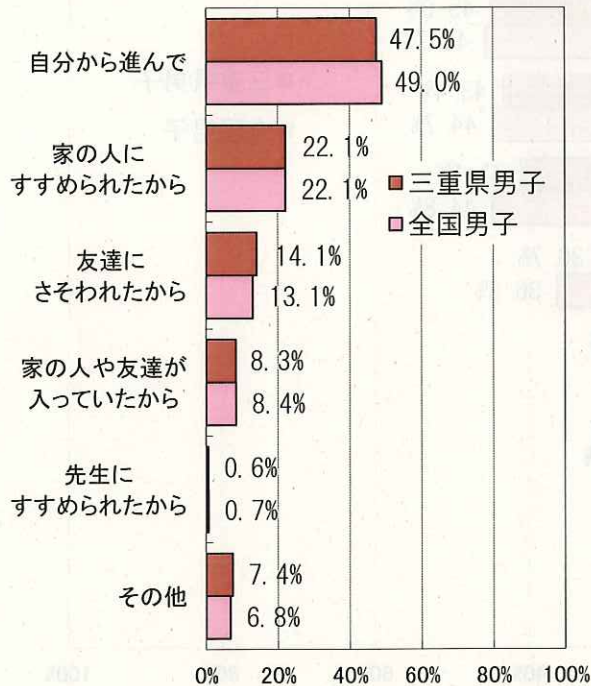




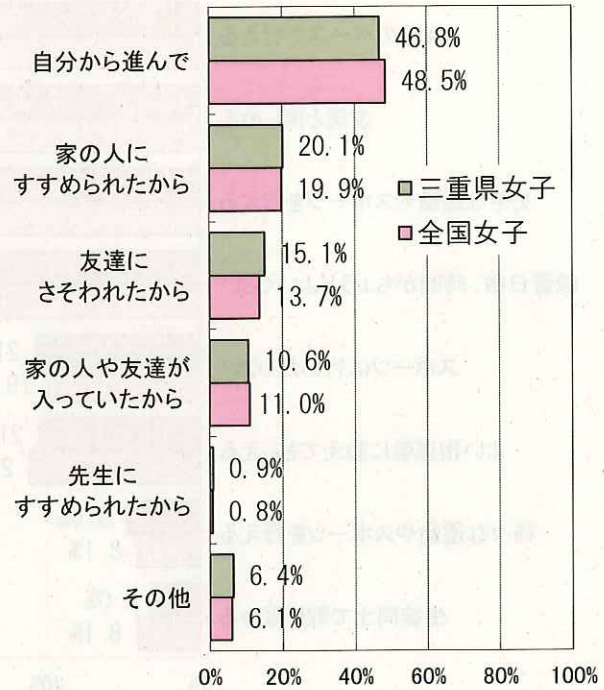
(13) 「運動部」「地域のスポーツクラブ」に入っていると答えた人は、そこに入った一番強いきっかけはどのようなことですか。

【小学校5年生】

【男子】

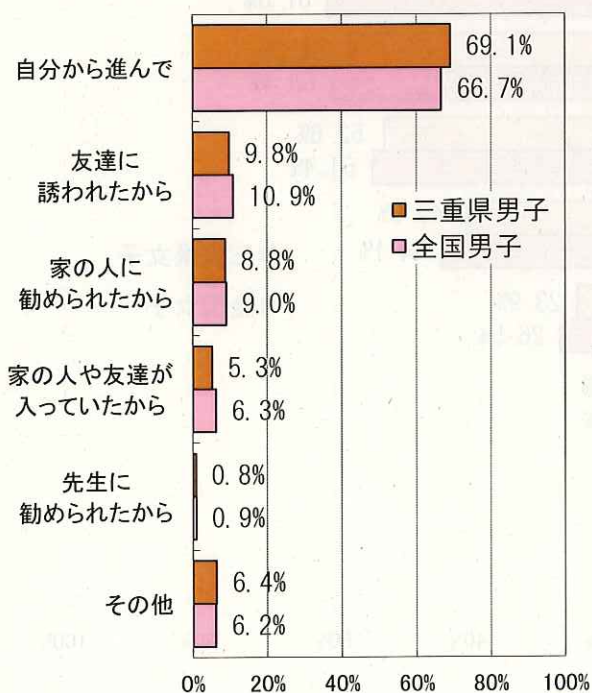


【女子】

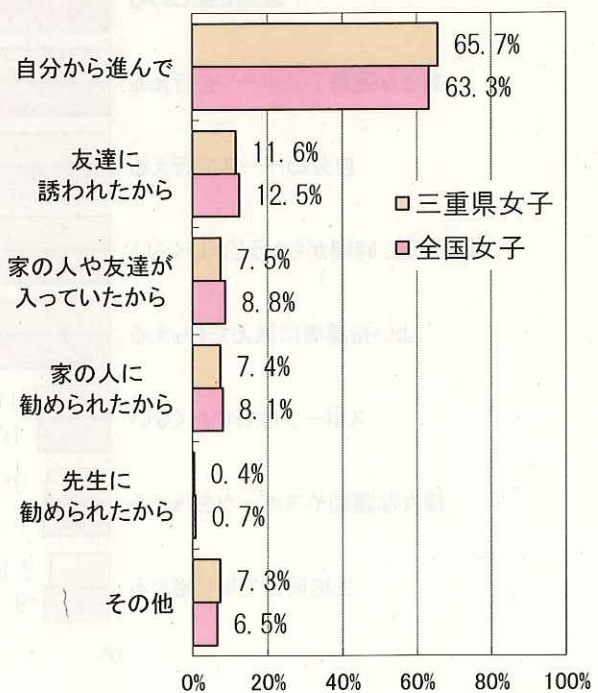


【中学校2年生】

【男子】



【女子】

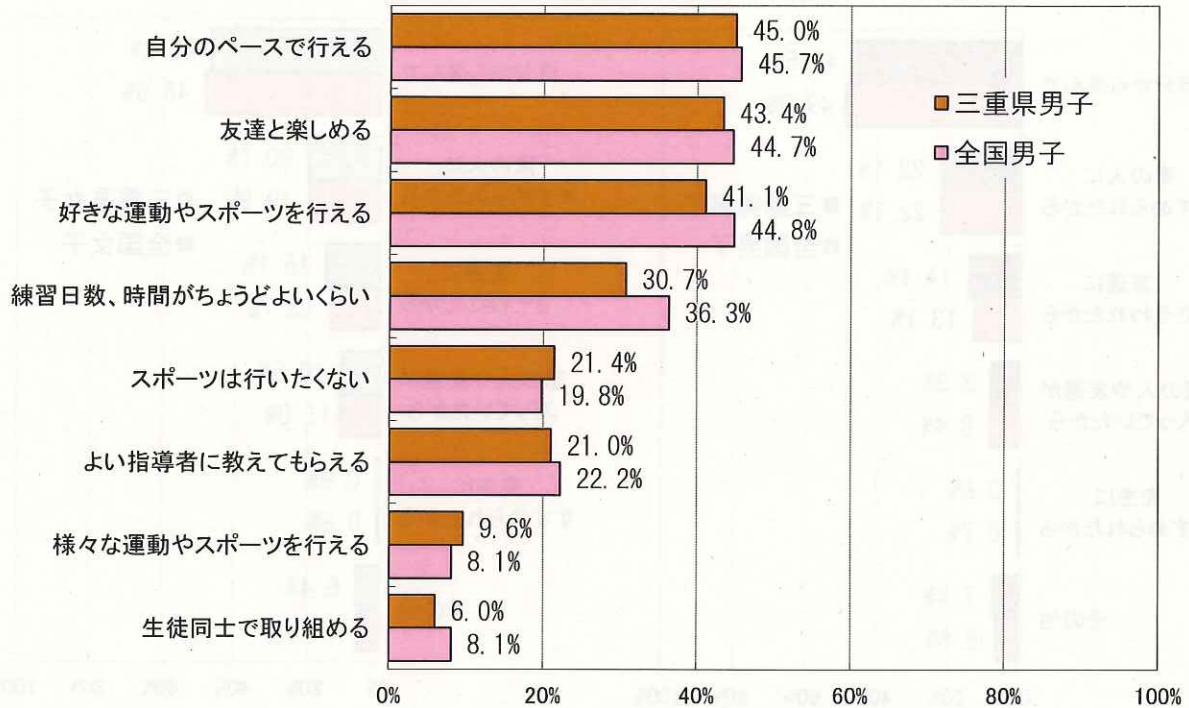


(14) (中学校)「文化部」「所属していない」と答えた人は、どのような条件があれば、運動部活動に参加したいと思いますか。(複数回答可)

【中学校2年生】

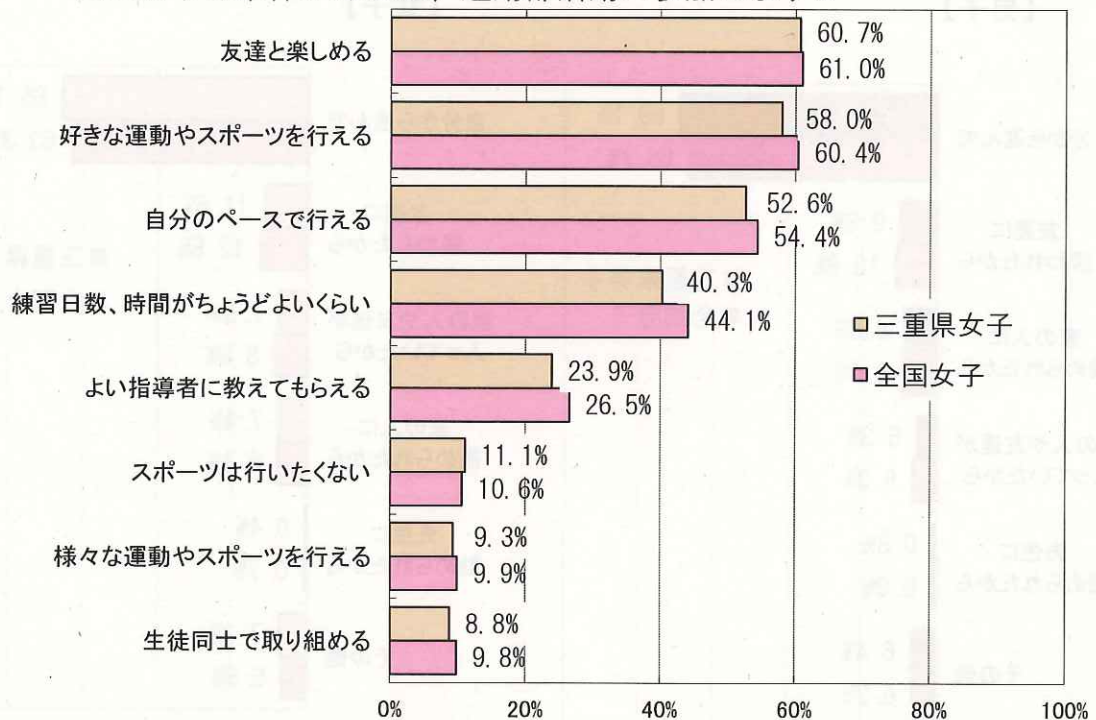
【男子】

どのような条件があれば、運動部活動に参加しますか



【女子】

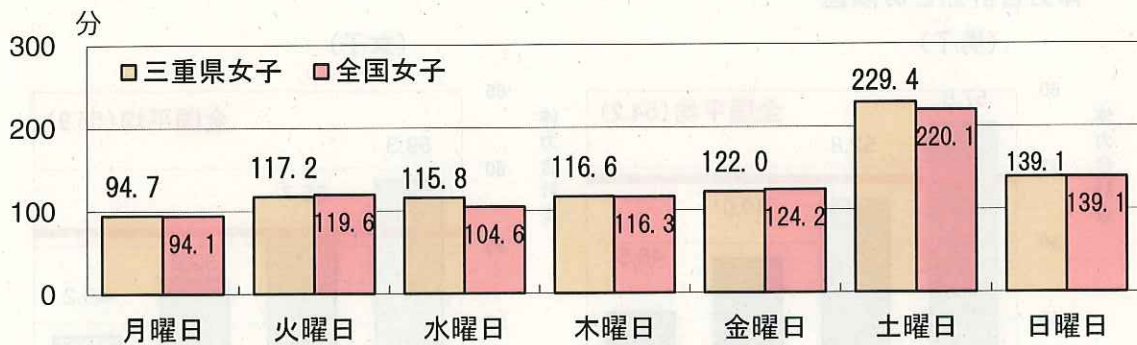
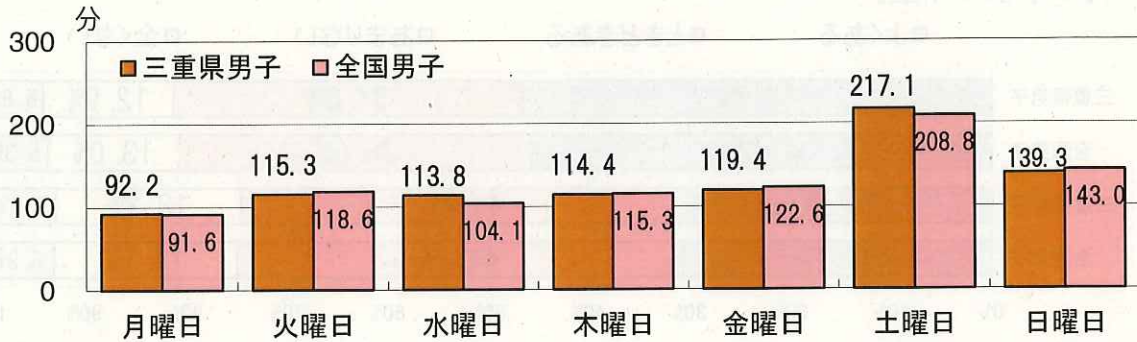
どのような条件があれば、運動部活動に参加しますか





(15) 運動部活動に所属している生徒の1日の運動時間のうち、運動部活動が占める時間(曜日ごと)

【中学校2年生】



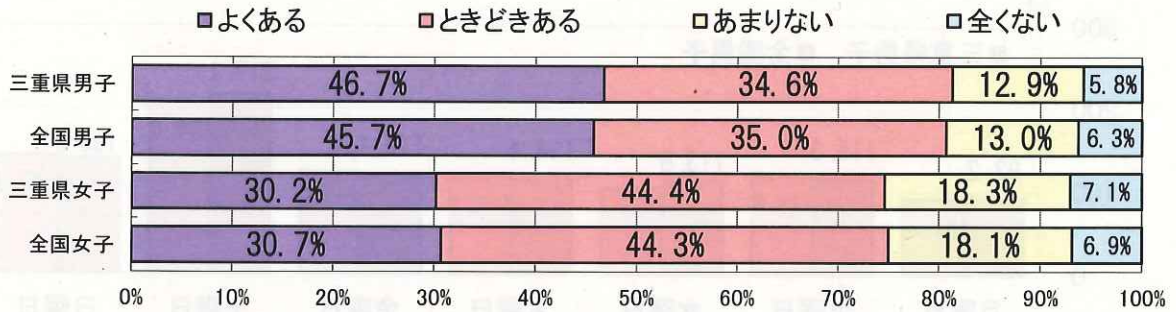
運動部活動に所属している生徒の1週間の総運動時間のうち、運動部活動が占める時間

【中学校2年生】

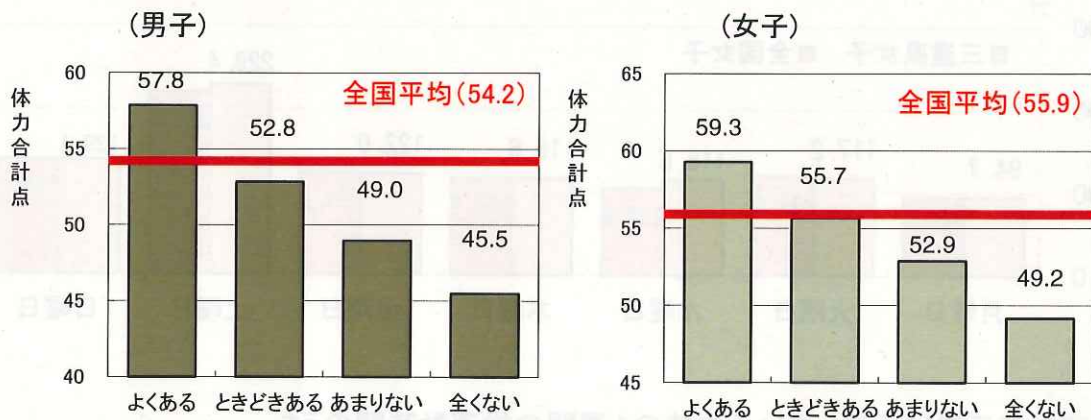
三重県男子	910.5分	三重県女子	934.5分
全国男子	903.5分	全国女子	917.6分

(16) 放課後や学校が休みの日に、運動部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることがありますか。

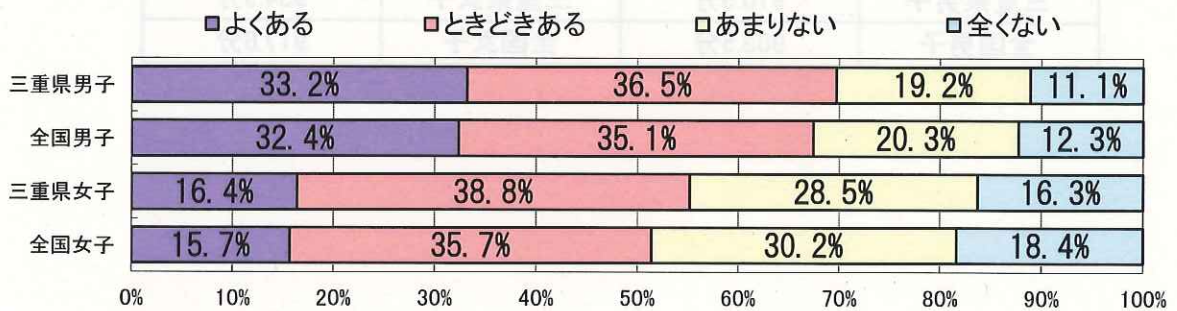
【小学校5年生】



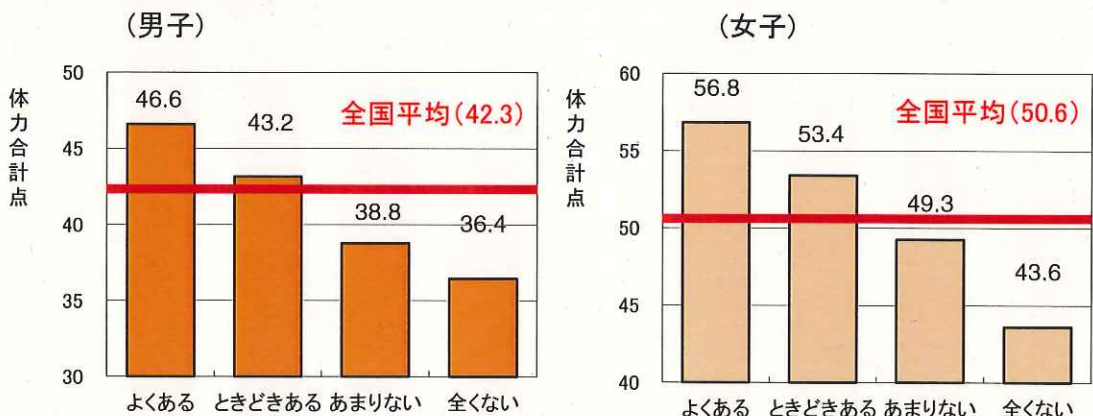
体力合計点との関連



【中学校2年生】



体力合計点との関連

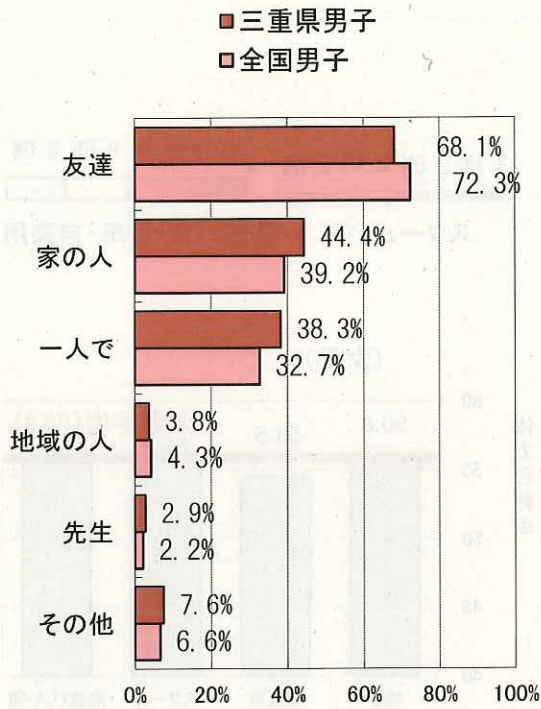




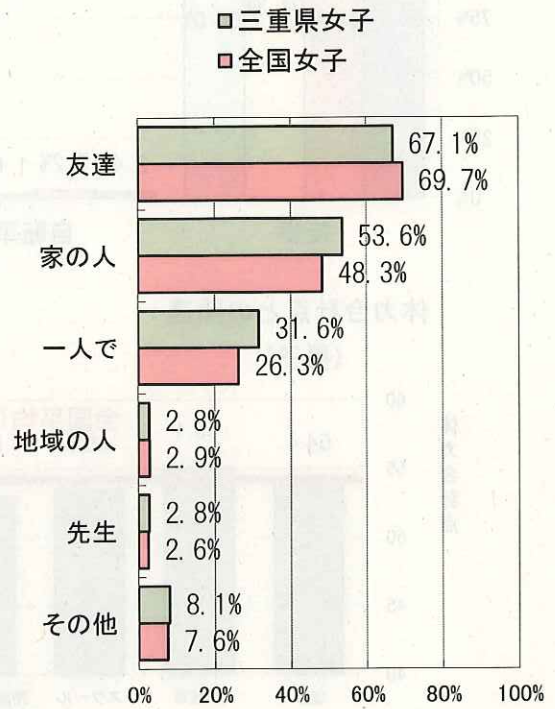
(17) (16) の質問で「よくある」「ときどきある」と答えた人は、主に誰と運動やスポーツをしていますか。(複数回答可)

【小学校5年生】

(男子)

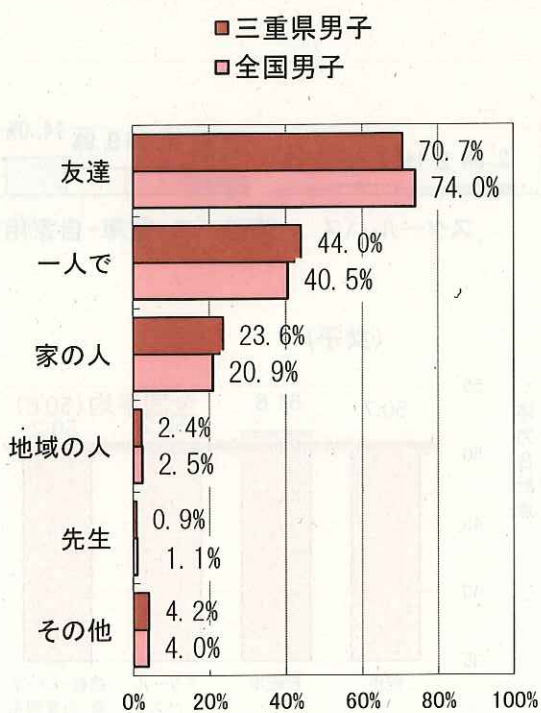


(女子)

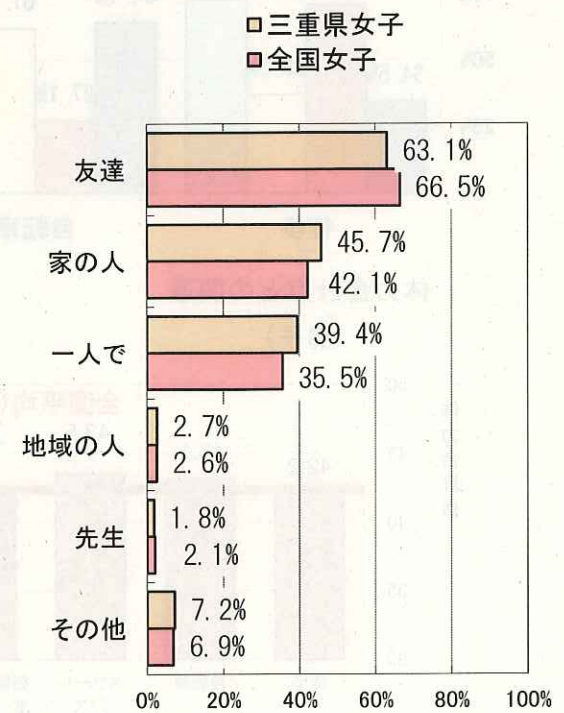


【中学校2年生】

(男子)

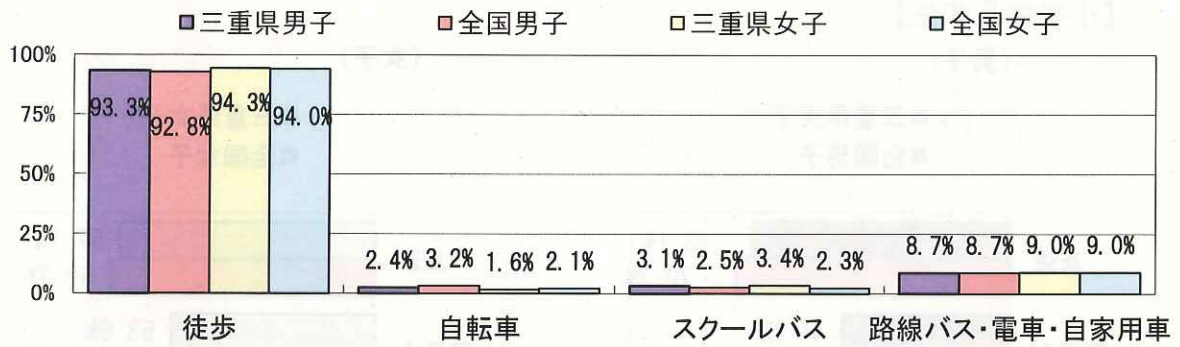


(女子)



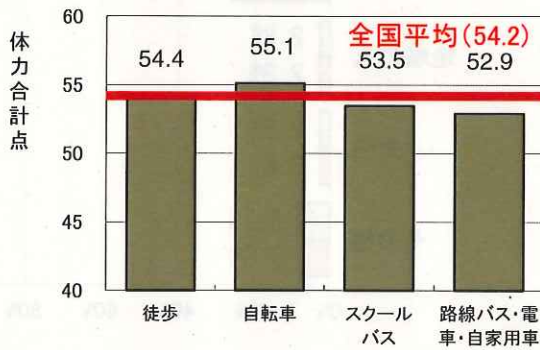
(18) ふだんの登校方法は何ですか。(複数回答可)

【小学校5年生】

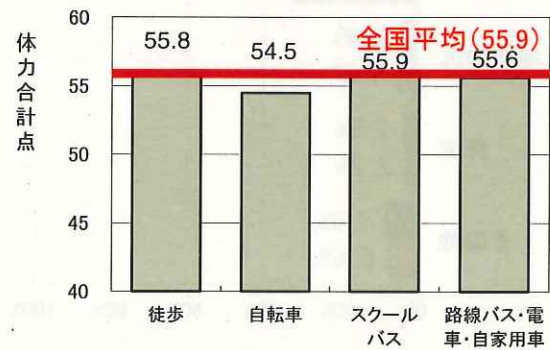


体力合計点との関連

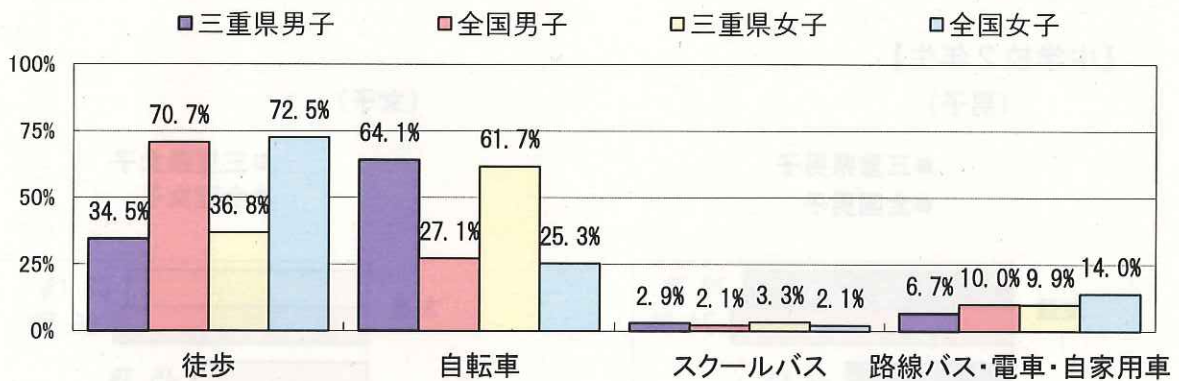
(男子)



(女子)

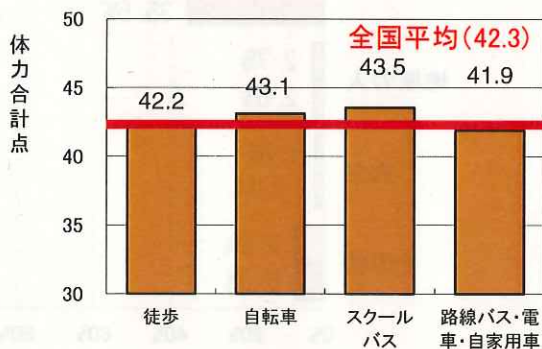


【中学校2年生】

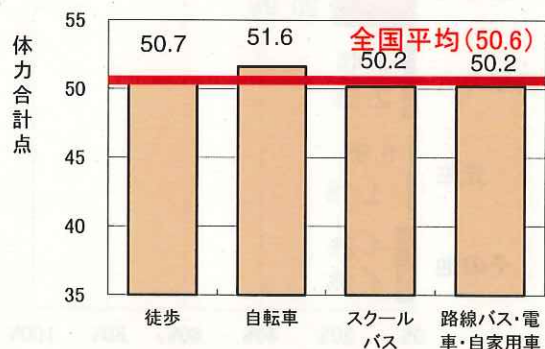


体力合計点との関連

(男子)



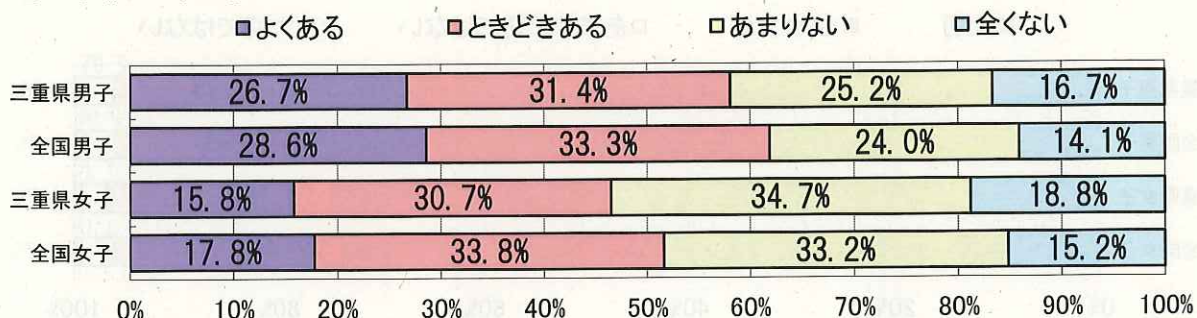
(女子)



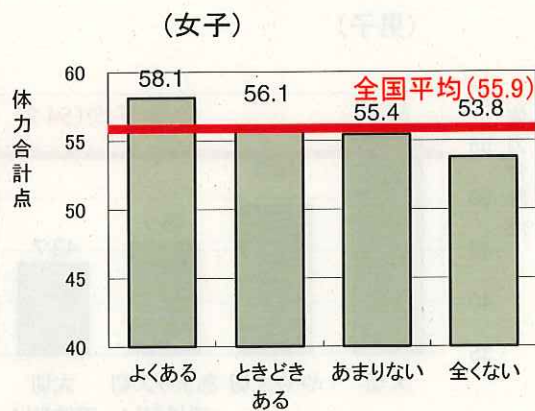
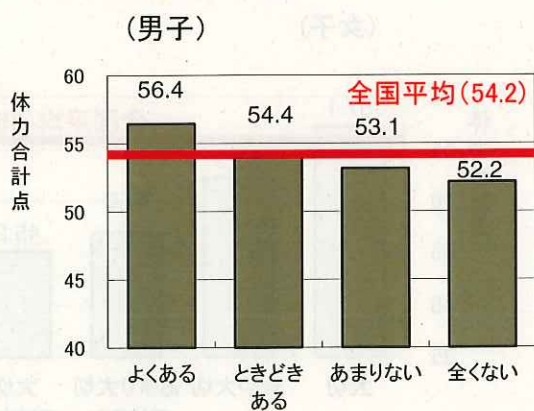


(19) 家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられることがありますか。

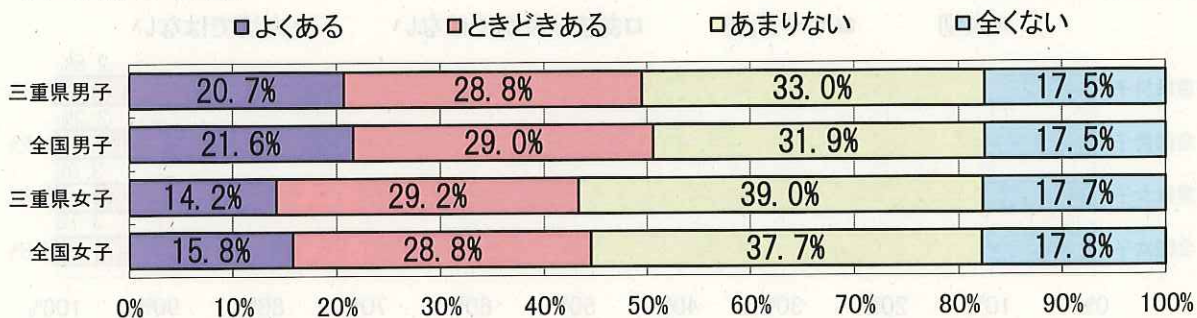
【小学校5年生】



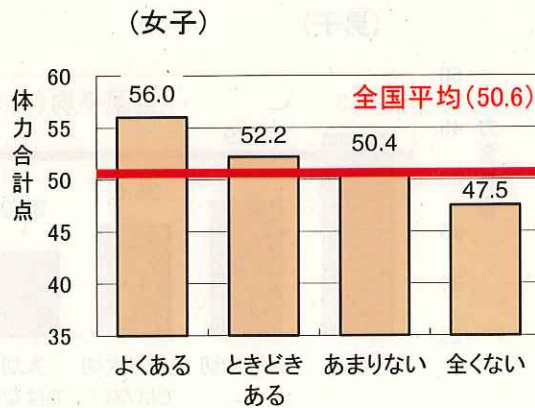
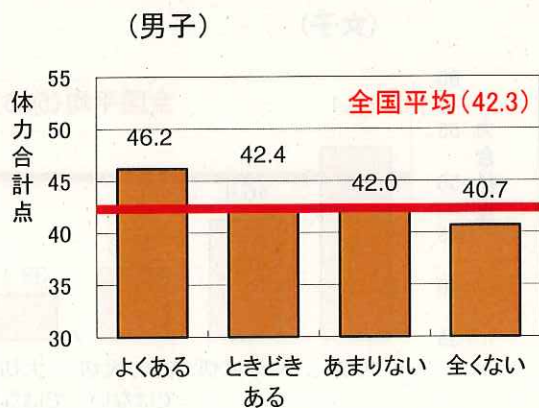
体力合計点との関連



【中学校2年生】

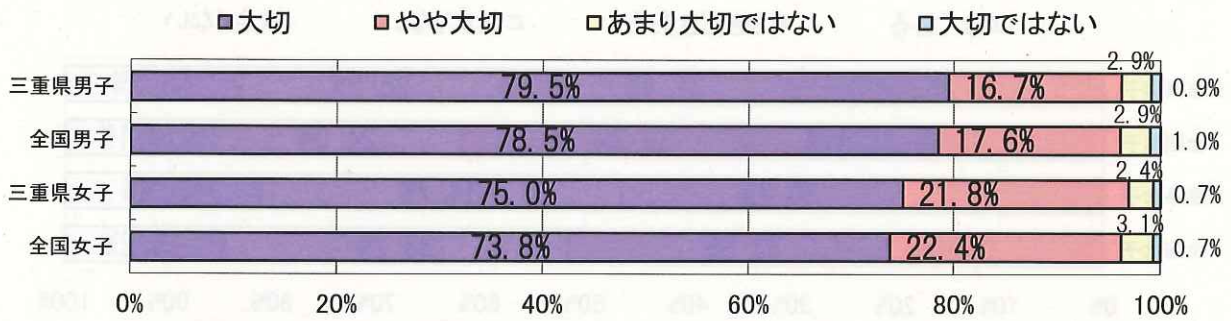


体力合計点との関連



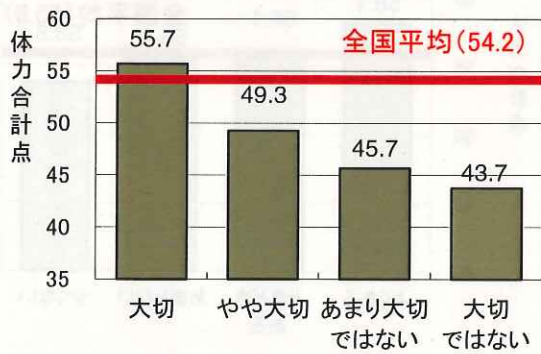
(20) あなたが健康であるために「運動を行うこと」はどのくらい大切だと考えていますか。

【小学校5年生】

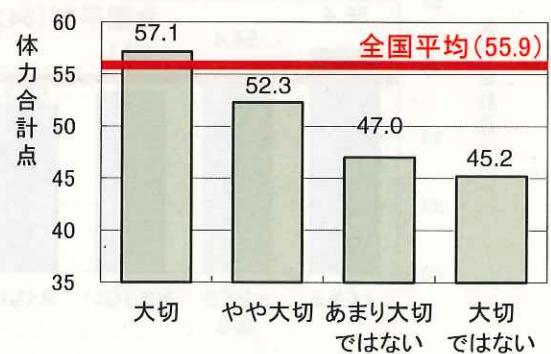


体力合計点との関連

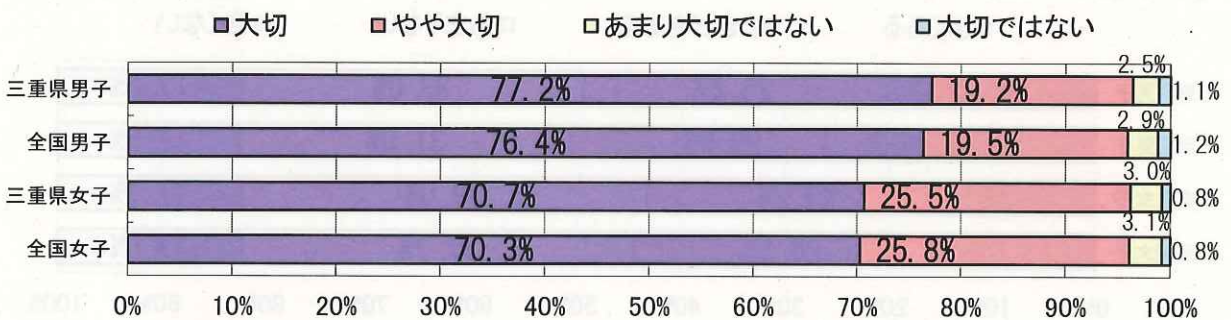
(男子)



(女子)

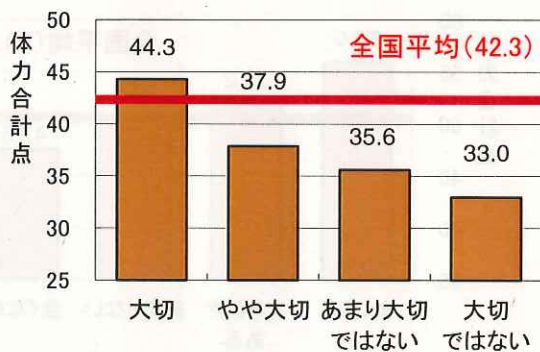


【中学校2年生】

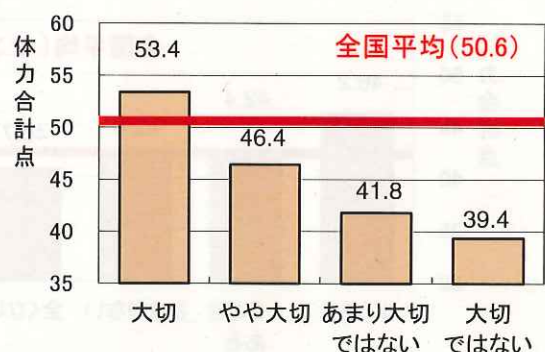


体力合計点との関連

(男子)



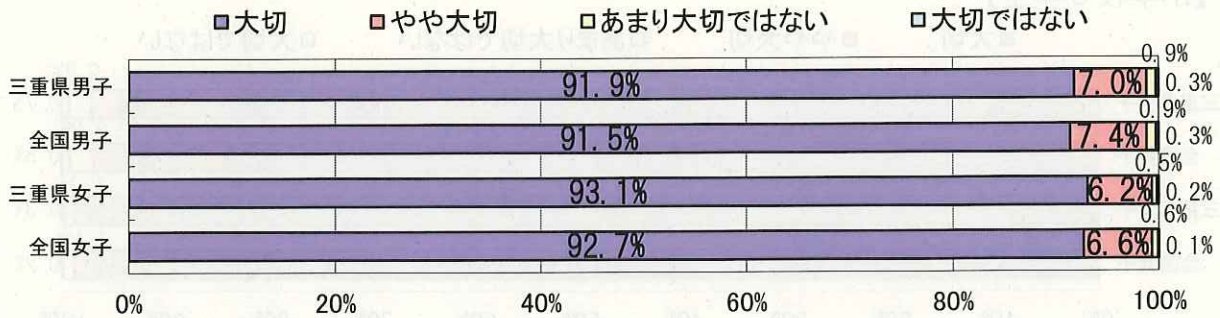
(女子)





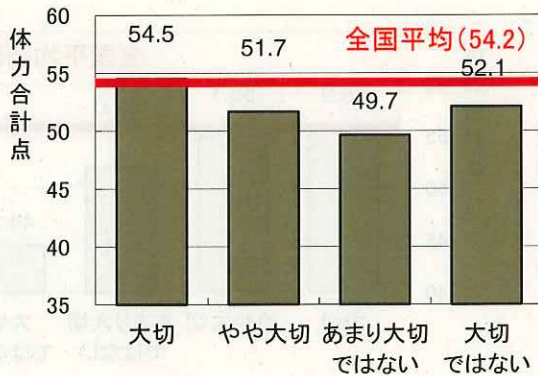
(21) あなたが健康であるために「食事をしっかりと取ること」はどのくらい大切だと考えていますか。

【小学校5年生】

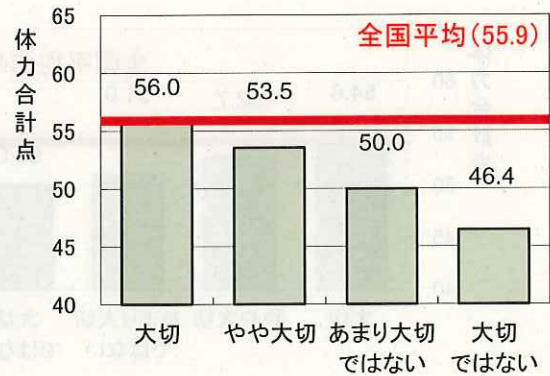


体力合計点との関連

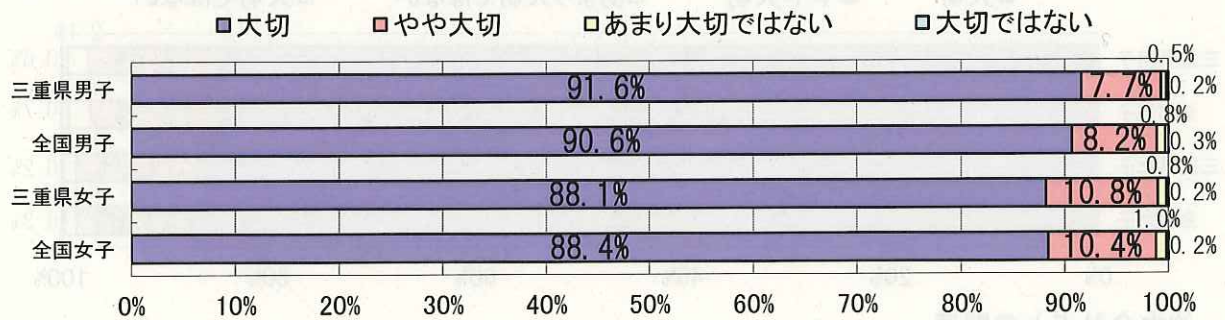
(男子)



(女子)

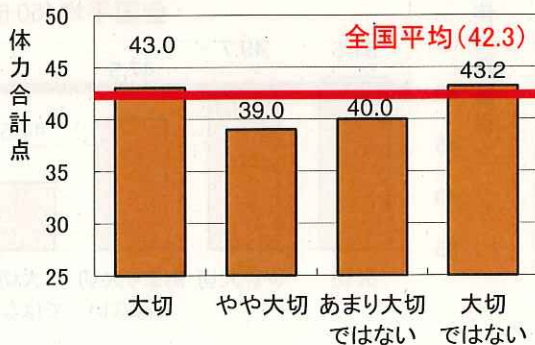


【中学校2年生】

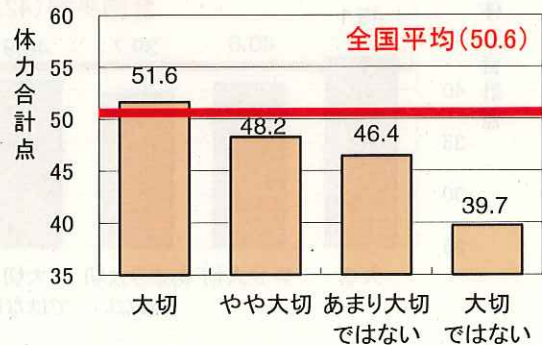


体力合計点との関連

(男子)



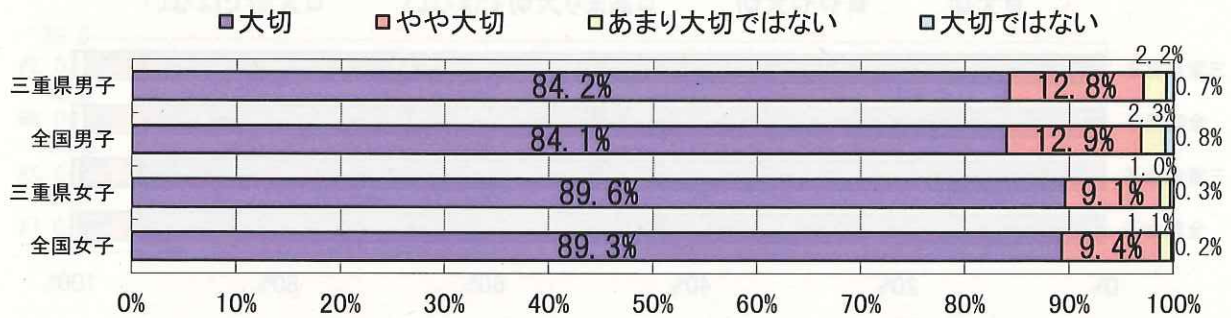
(女子)





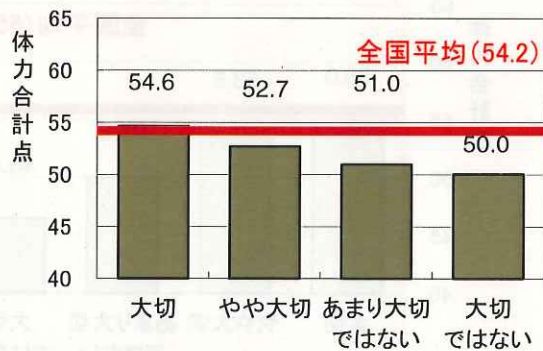
(22) あなたが健康であるために「よく寝ること」はどのくらい大切だと考えていますか。

【小学校5年生】

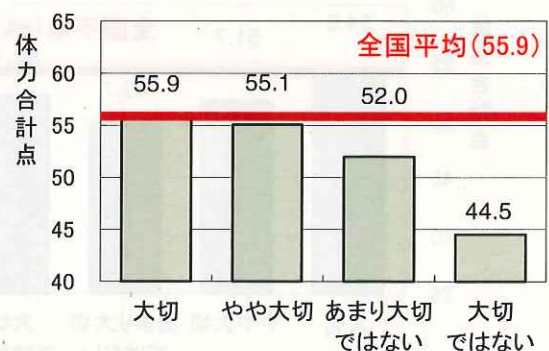


体力合計点との関連

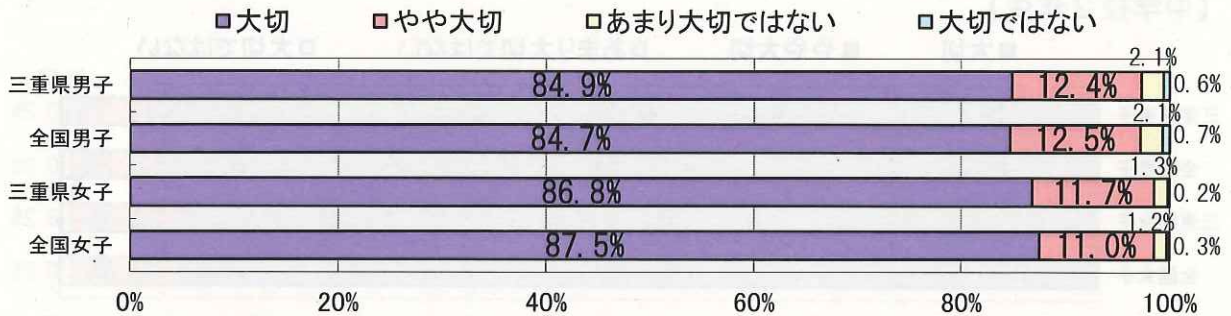
(男子)



(女子)

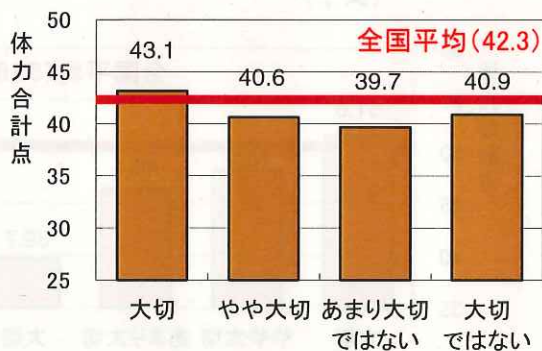


【中学校2年生】

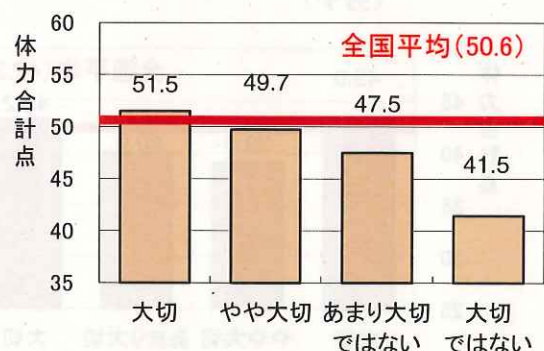


体力合計点との関連

(男子)

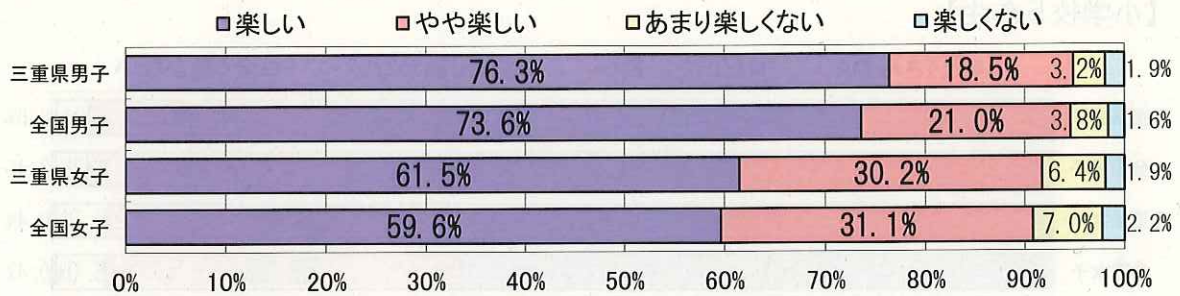


(女子)



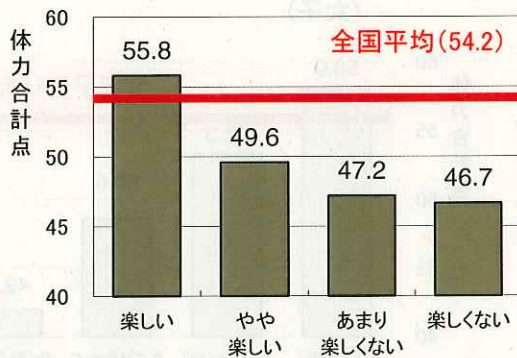
(23) 体育・保健体育の授業は楽しいですか。

【小学校5年生】

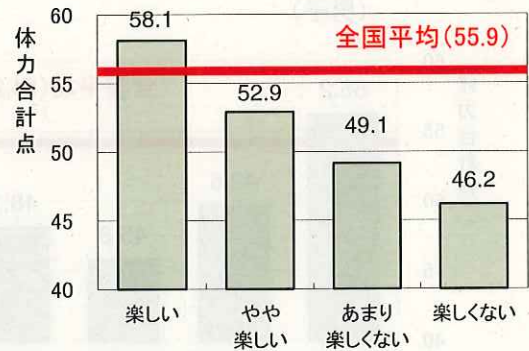


体力合計点との関連

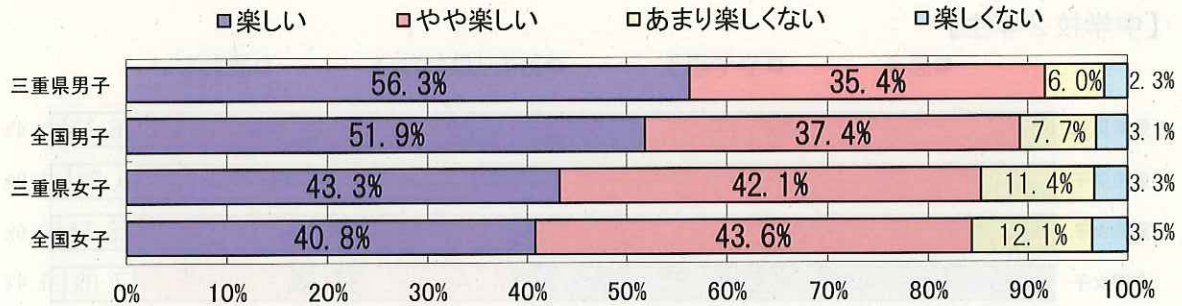
(男子)



(女子)

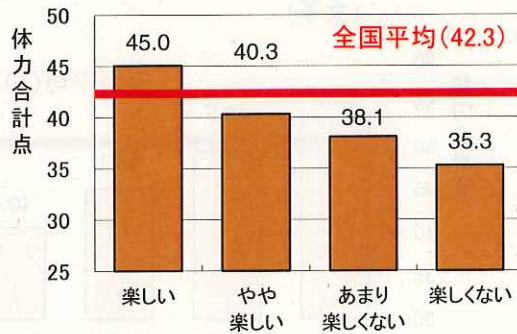


【中学校2年生】

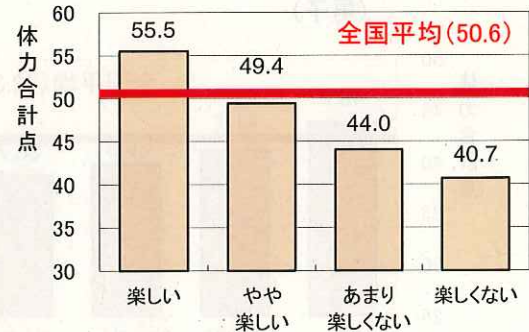


体力合計点との関連

(男子)



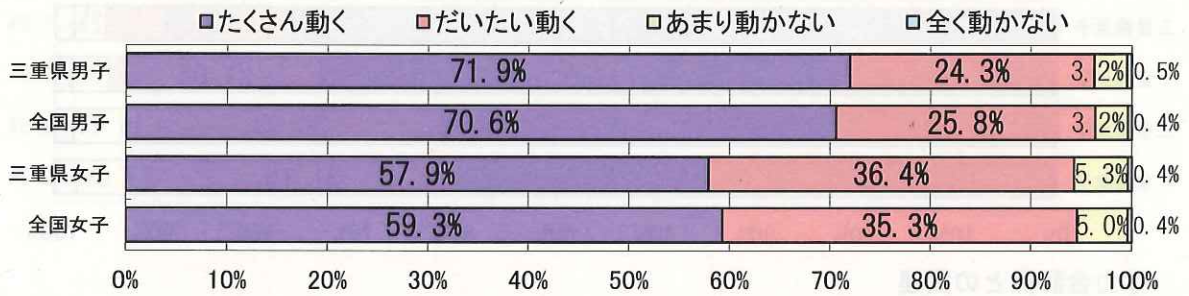
(女子)



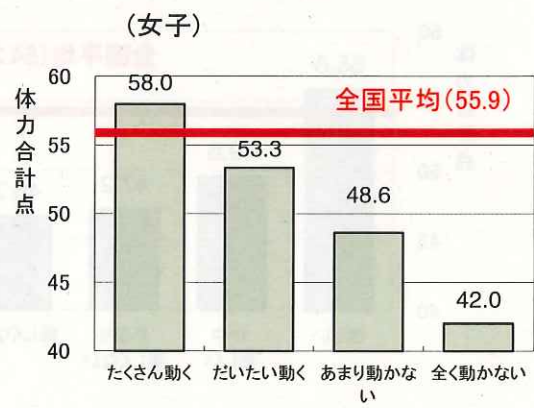
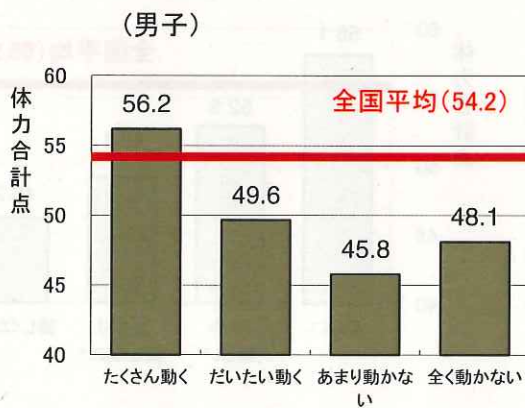


(24) 体育・保健体育の授業ではたくさん動きますか（十分に体を動かしていると思いますか）

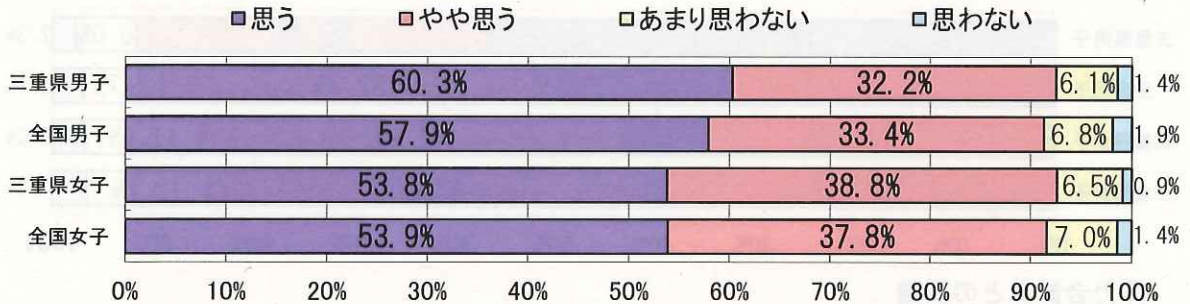
【小学校5年生】



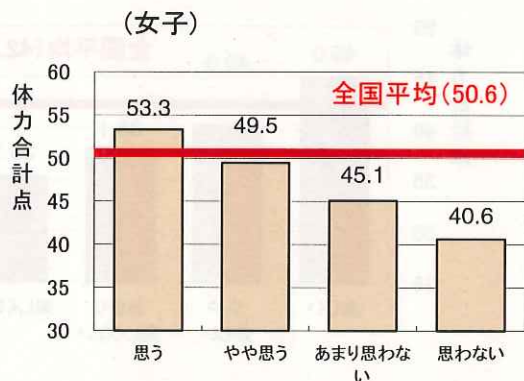
体力合計点との関連



【中学校2年生】



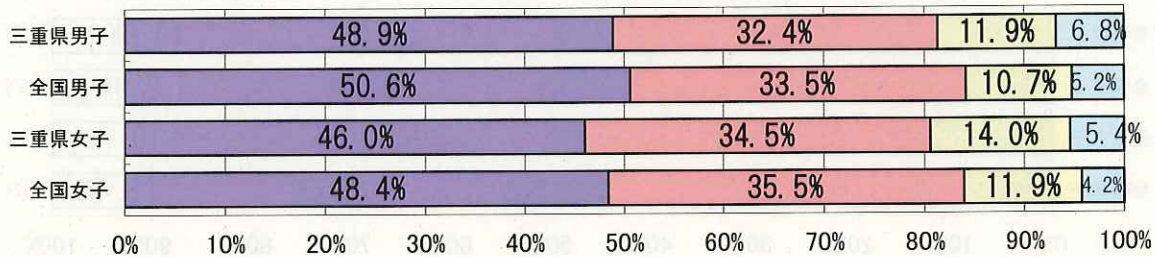
体力合計点との関連



(25) ふだんの体育・保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていますか。

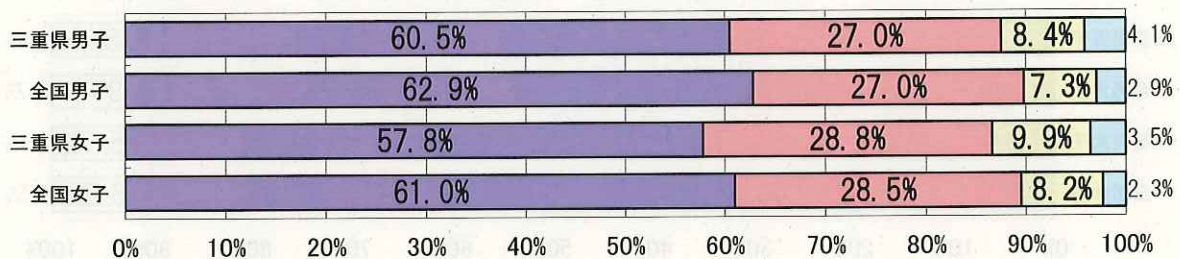
【小学校5年生】

□示されている □ときどき示されている □あまり示されていない □示されていない



【中学校2年生】

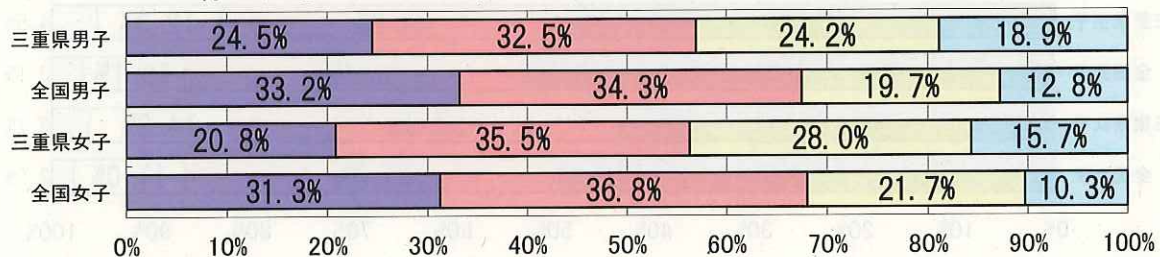
□示されている □ときどき示されている □あまり示されていない □示されていない



(26) ふだんの体育・保健体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますか。

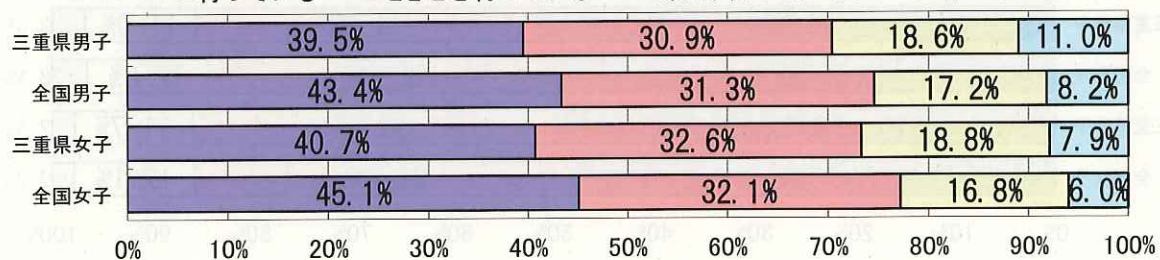
【小学校5年生】

□行っている □ときどき行っている □あまり行っていない □行っていない



【中学校2年生】

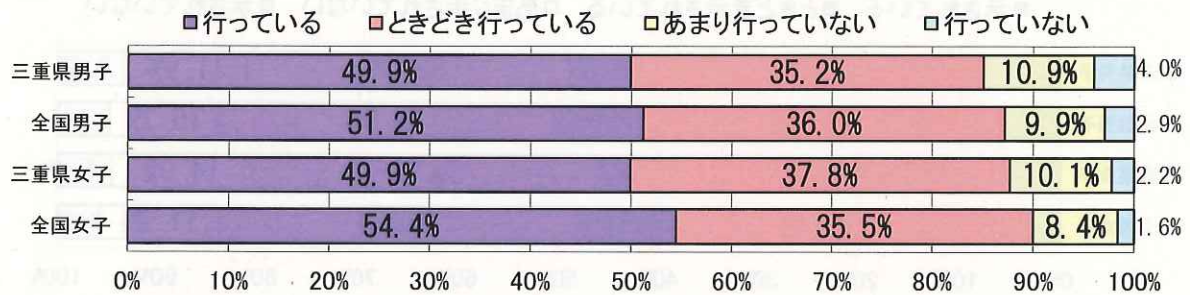
□行っている □ときどき行っている □あまり行っていない □行っていない



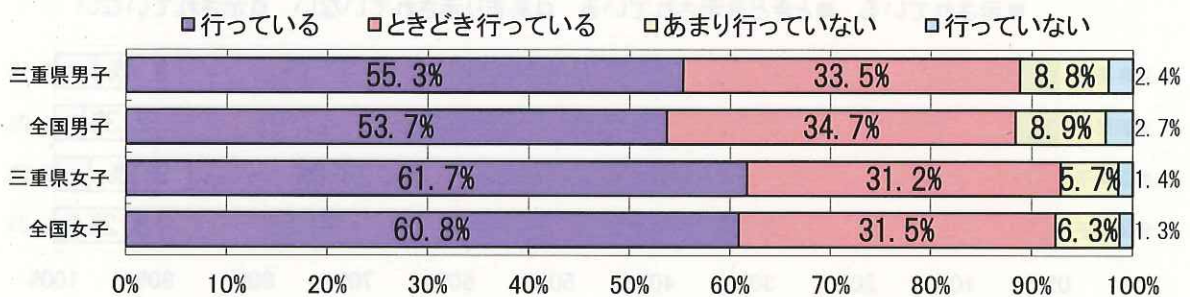


(27) ふだんの体育・保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。

【小学校5年生】

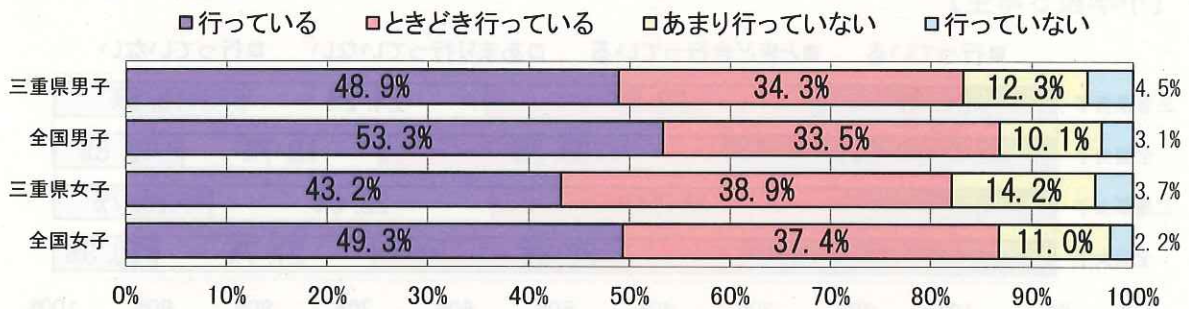


【中学校2年生】

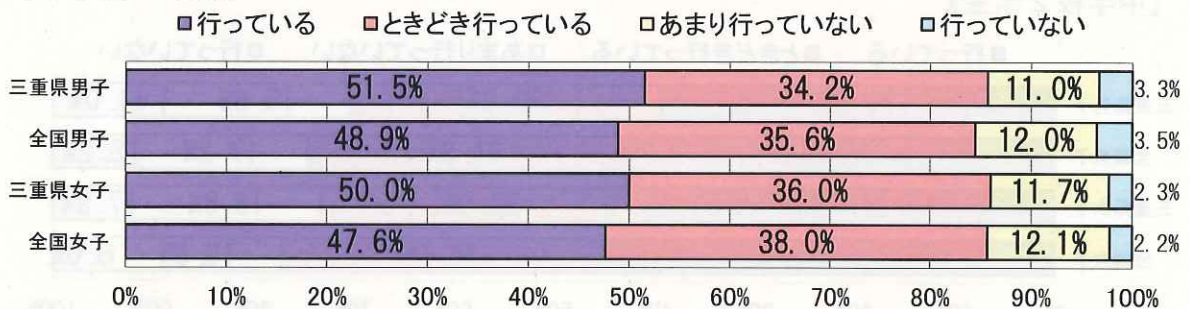


(28) ふだんの体育・保健体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。

【小学校5年生】



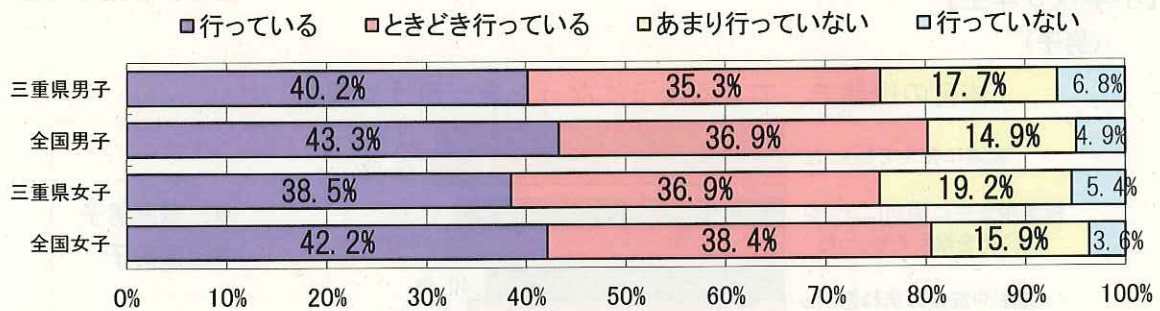
【中学校2年生】





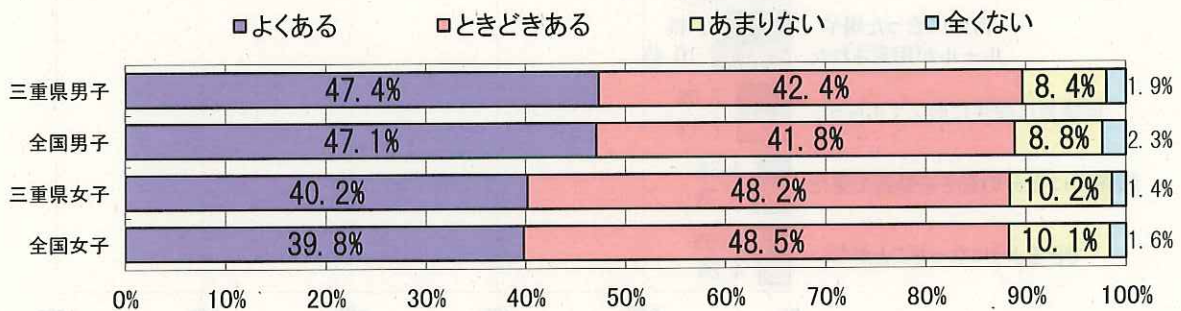
(29) 体育の授業では、友達と協力して課題を解決する活動を行っていますか。  
 (小学校のみ)

【小学校5年生】



(30) 保健体育の授業で、「わかる」ことで「できる」ようになったり、「できる」ことで「わかる」ようになったりしたことはありますか。(中学校のみ)

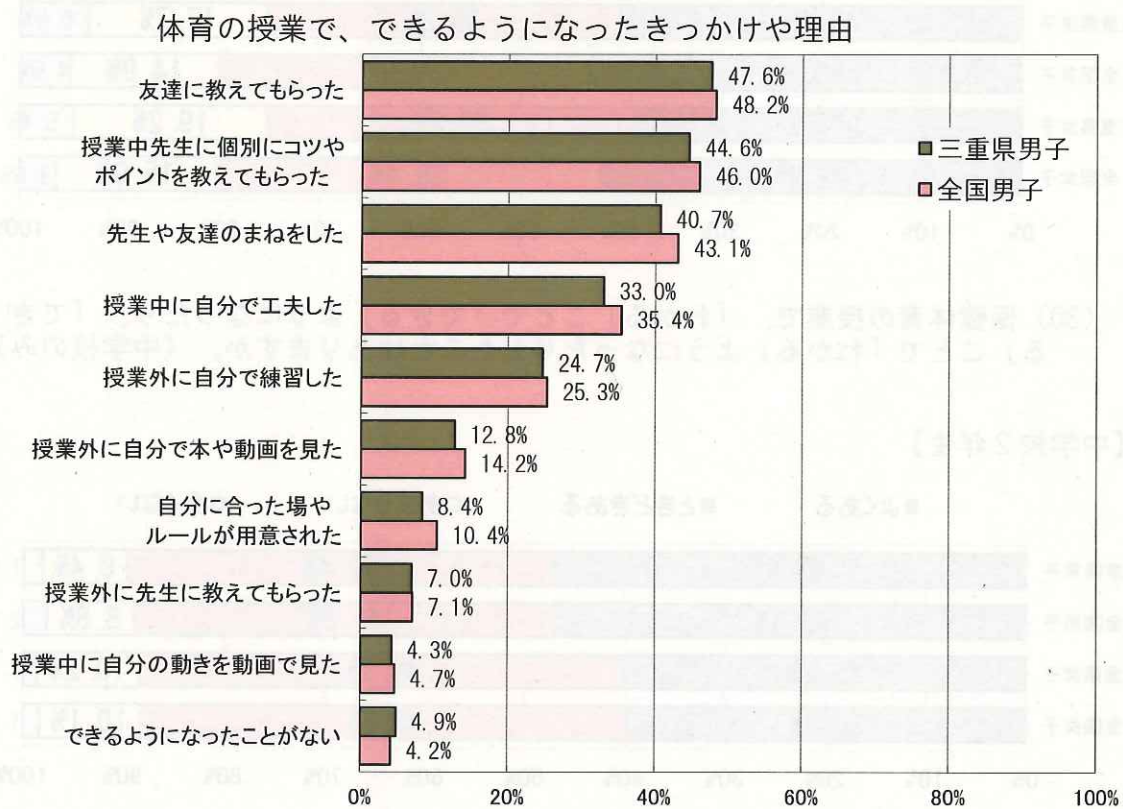
【中学校2年生】



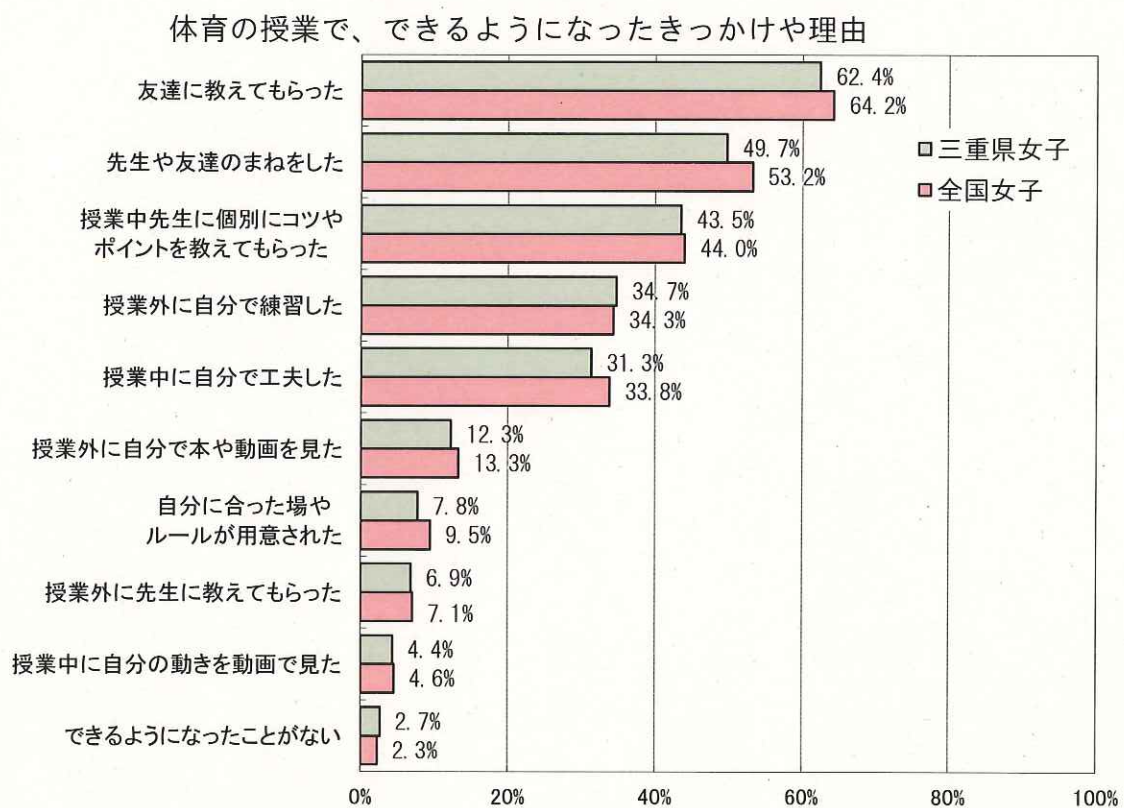
(31) これまで体育・保健体育の授業で、「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。(複数回答可)

【小学校5年生】

(男子)



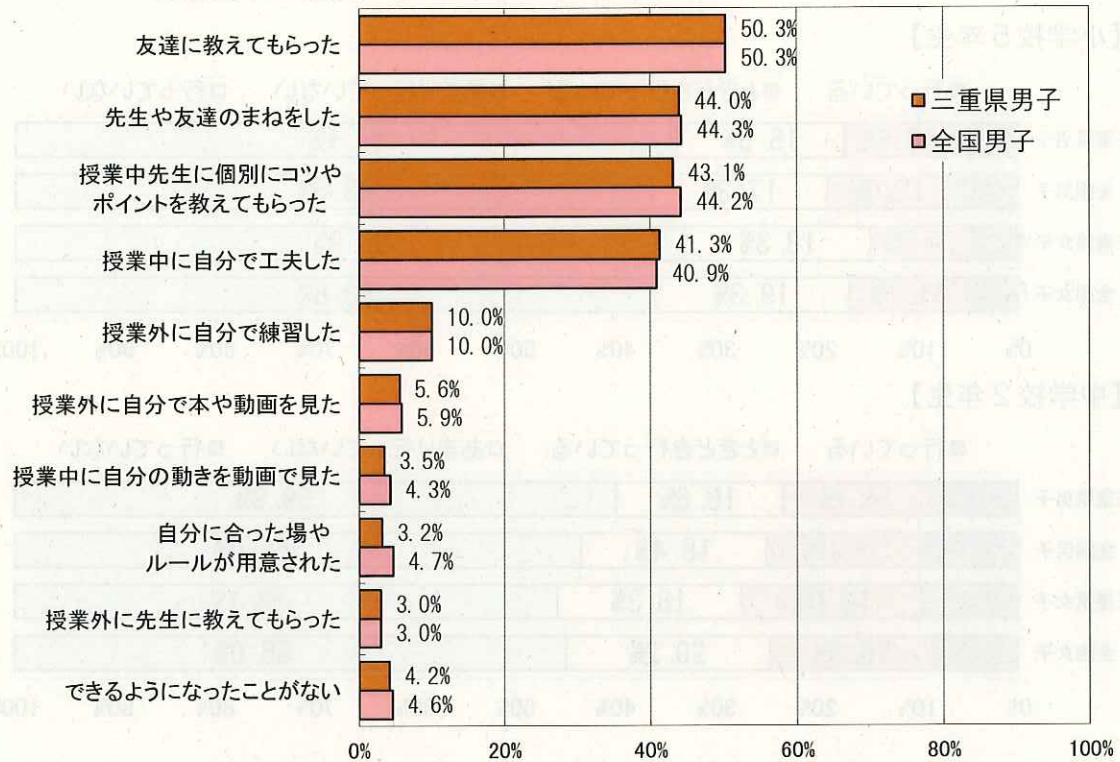
(女子)





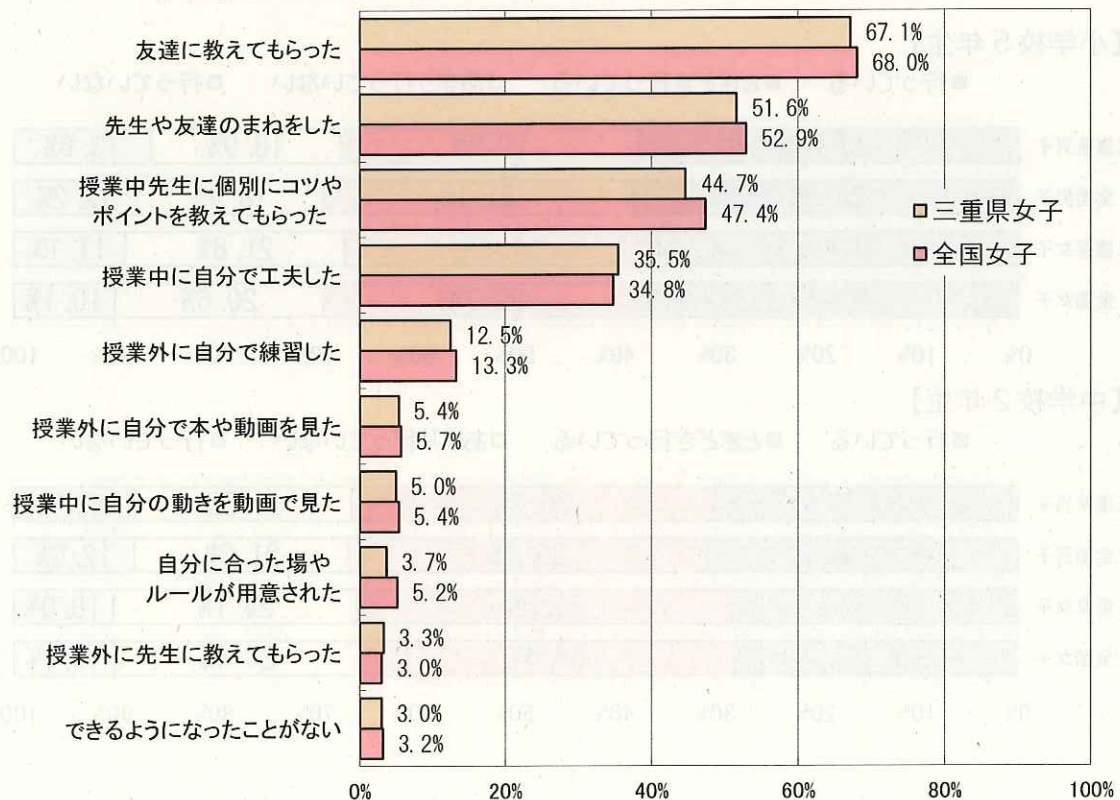
【中学校2年生】  
(男子)

保健体育の授業で、できるようになったきっかけや理由



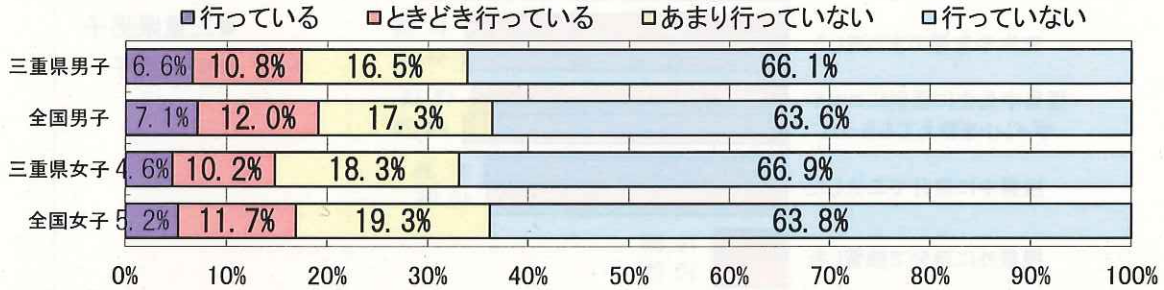
(女子)

保健体育の授業で、できるようになったきっかけや理由

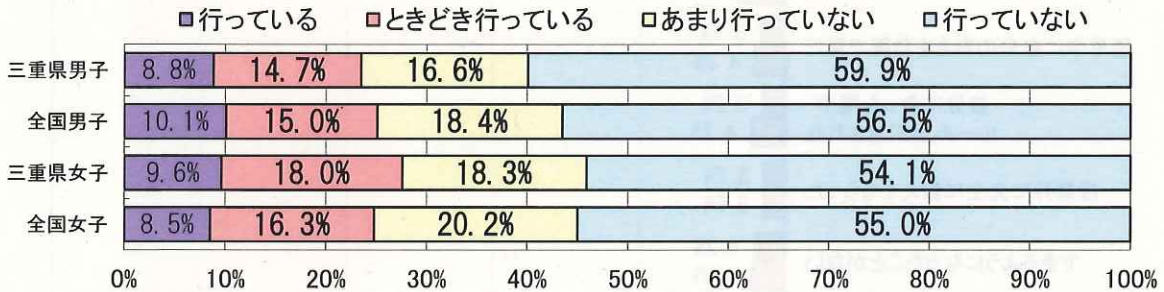


(32) ふだんの体育・保健体育の授業で、ビデオ・デジタルカメラ、タブレット端末などを用いて、自分や友達の動きを撮影して活用する活動を行っていますか。

【小学校5年生】

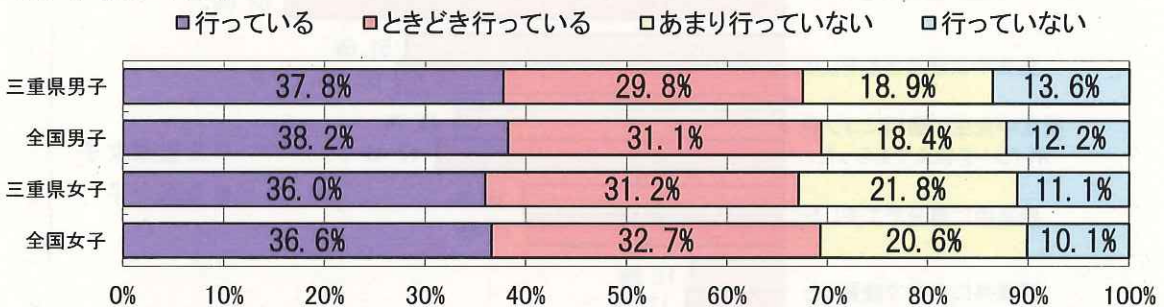


【中学校2年生】

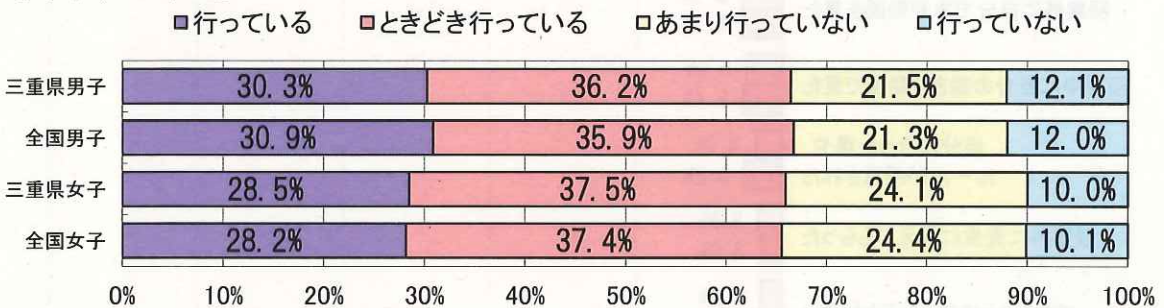


(33) ふだんの体育・保健体育の授業で、自分に合った練習や場を自分なりに選んで活動することを行っていますか。

【小学校5年生】



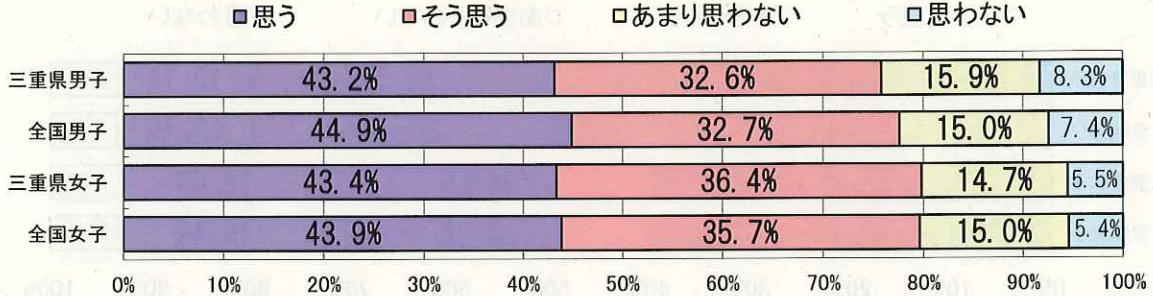
【中学校2年生】



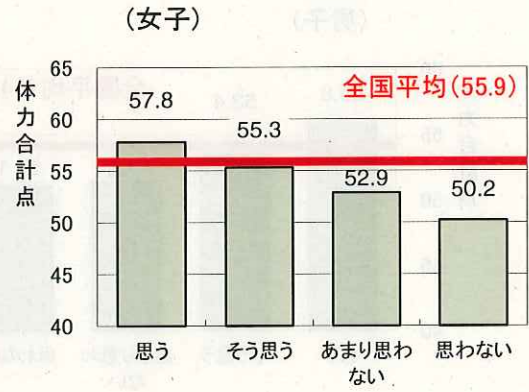
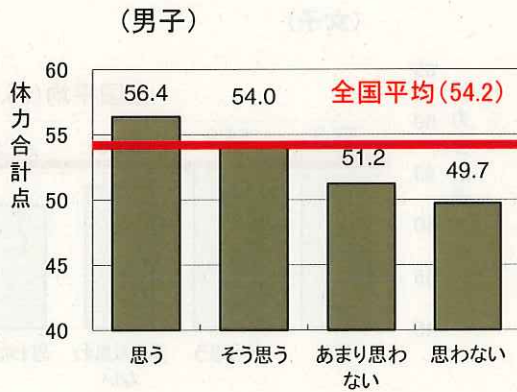


(34) 体育・保健体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思いますか。

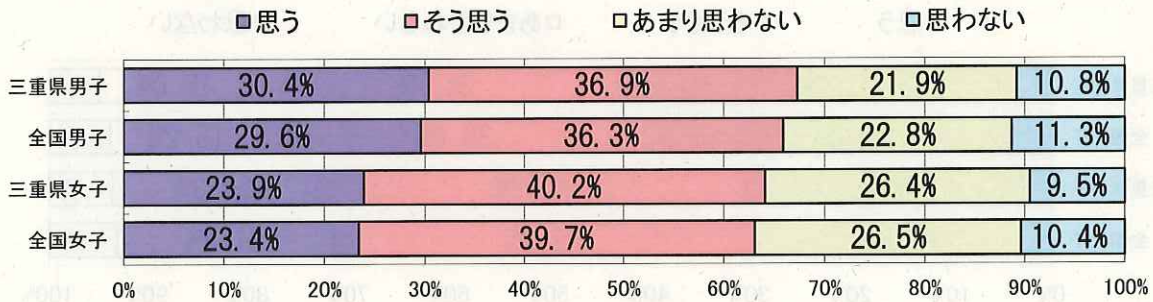
【小学校5年生】



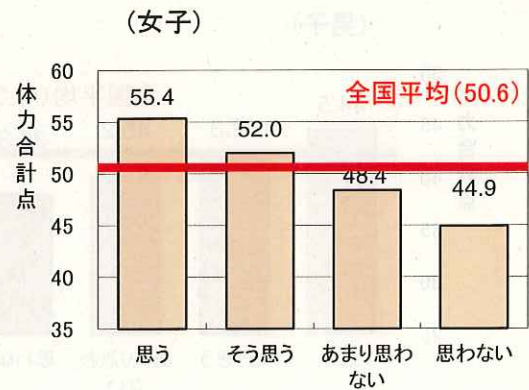
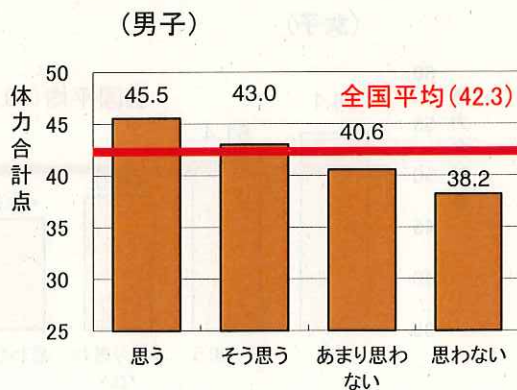
体力合計点との関連



【中学校2年生】

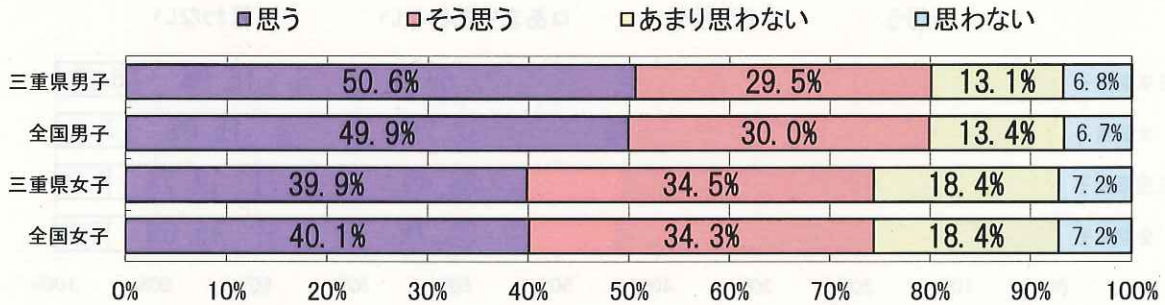


体力合計点との関連

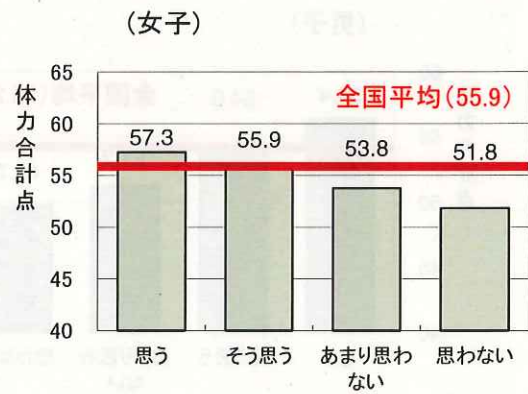


(35) 今、体育・保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。

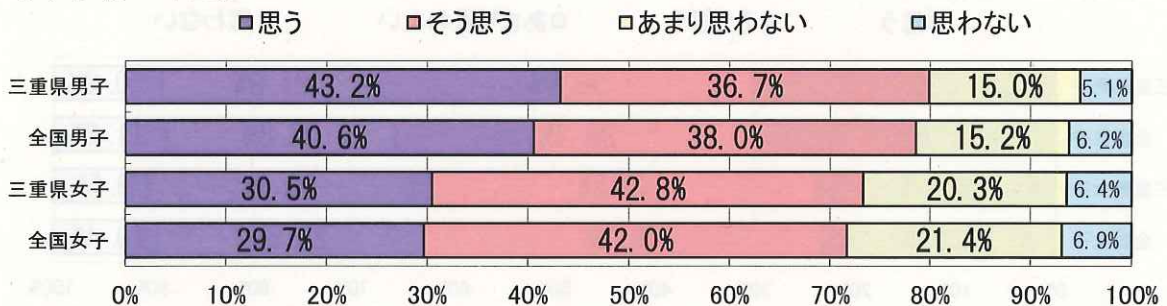
【小学校5年生】



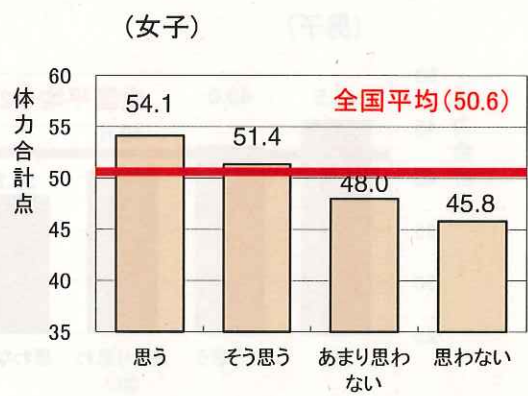
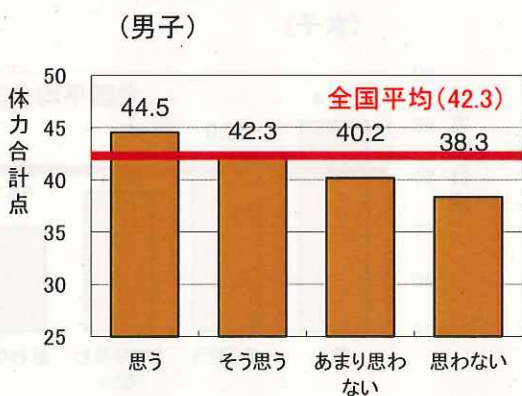
体力合計点との関連



【中学校2年生】



体力合計点との関連

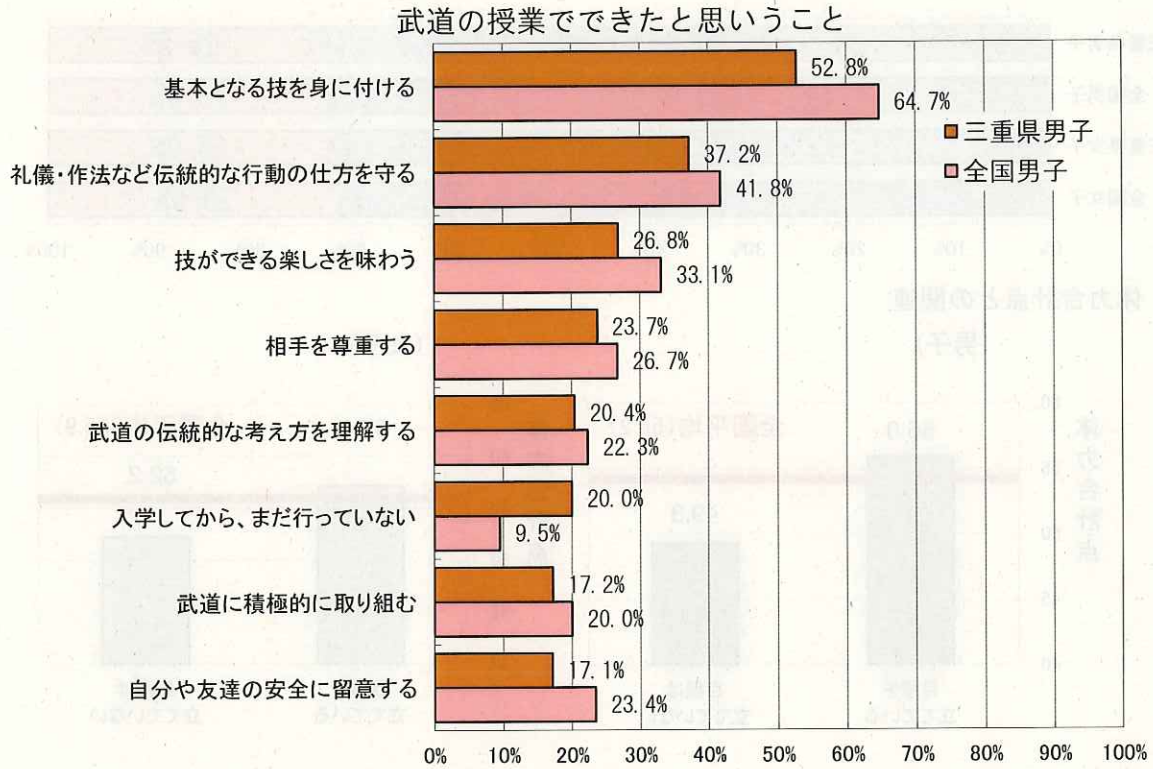




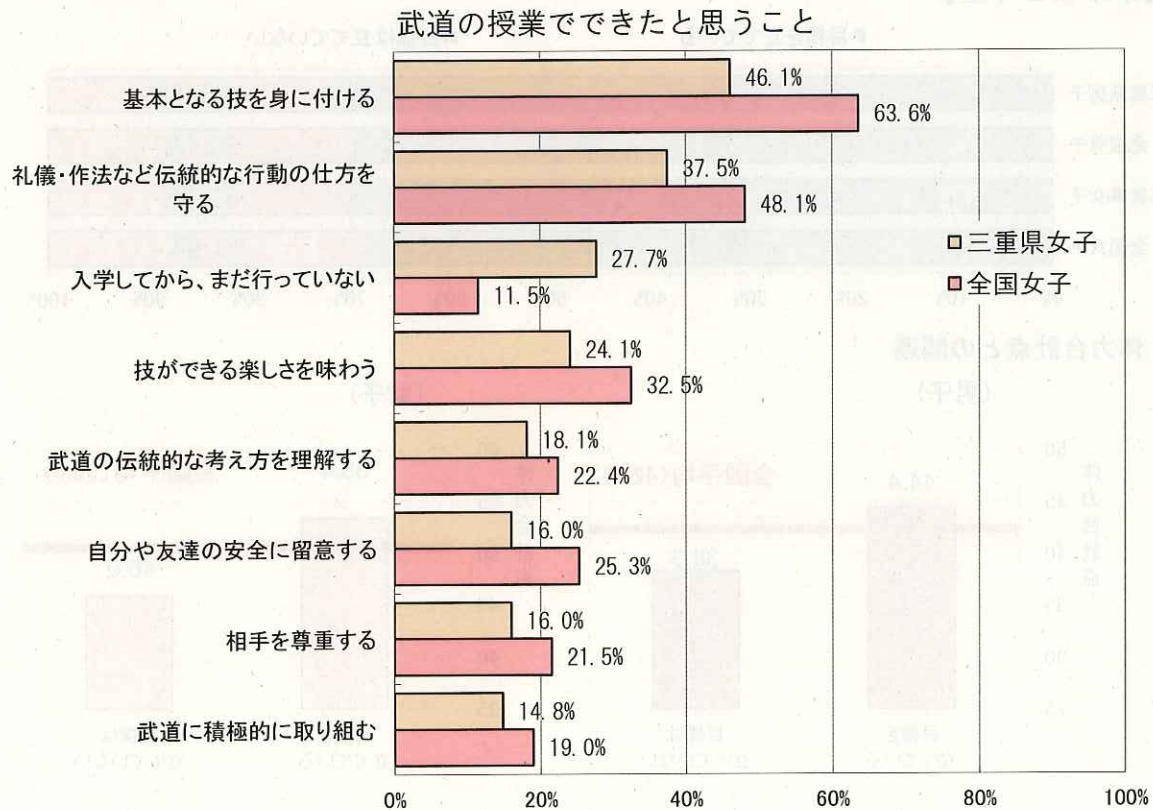
(36) 武道の授業で、どのようなことができたと思いますか。(複数回答可)

【中学校2年生】

(男子)

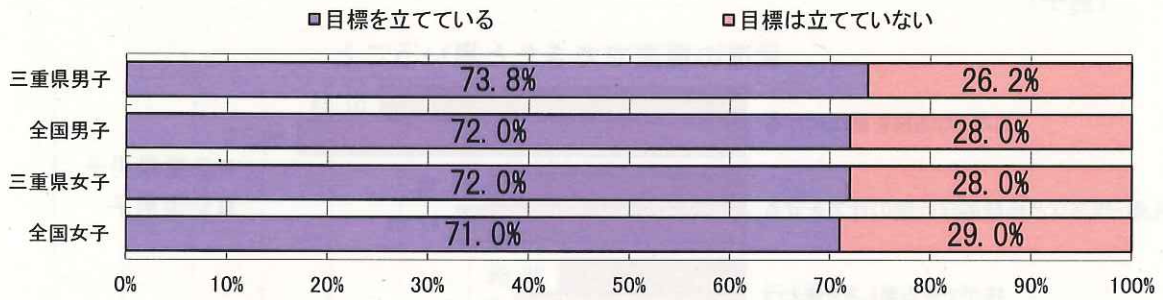


(女子)

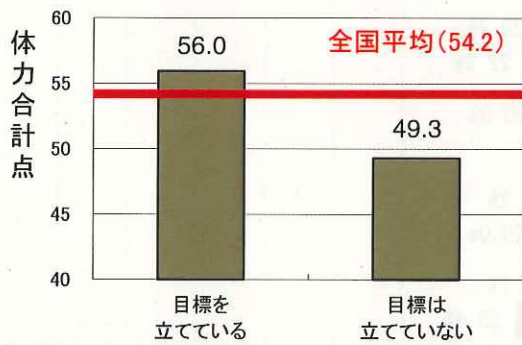


(37) 体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。

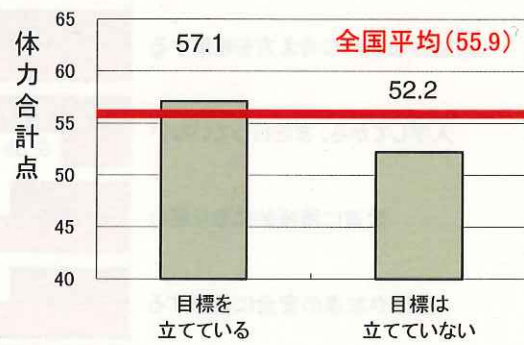
【小学校5年生】



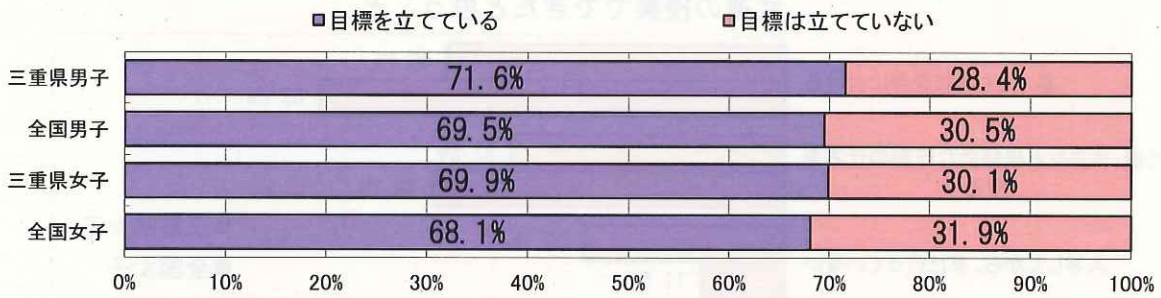
体力合計点との関連  
(男子)



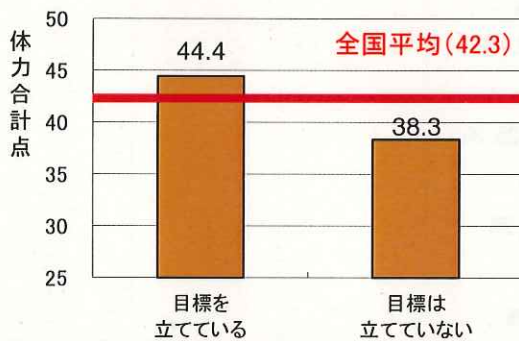
(女子)



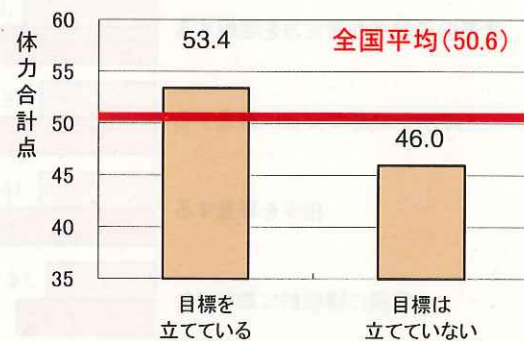
【中学校2年生】



体力合計点との関連  
(男子)



(女子)

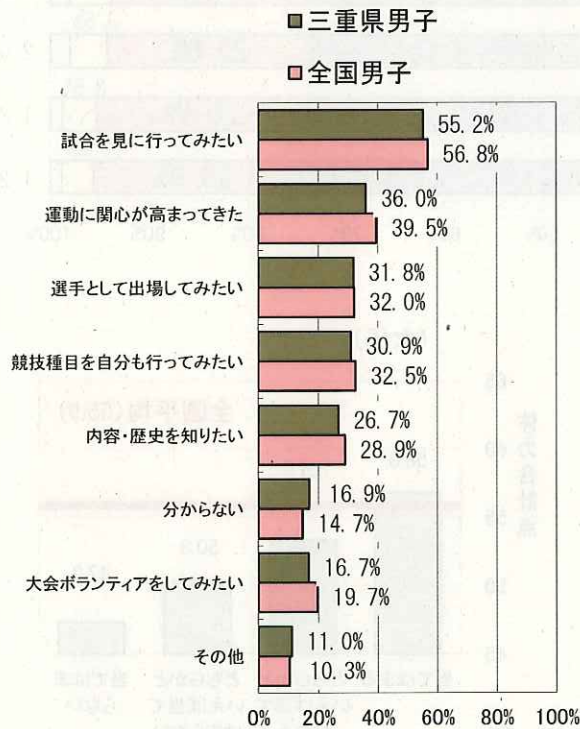




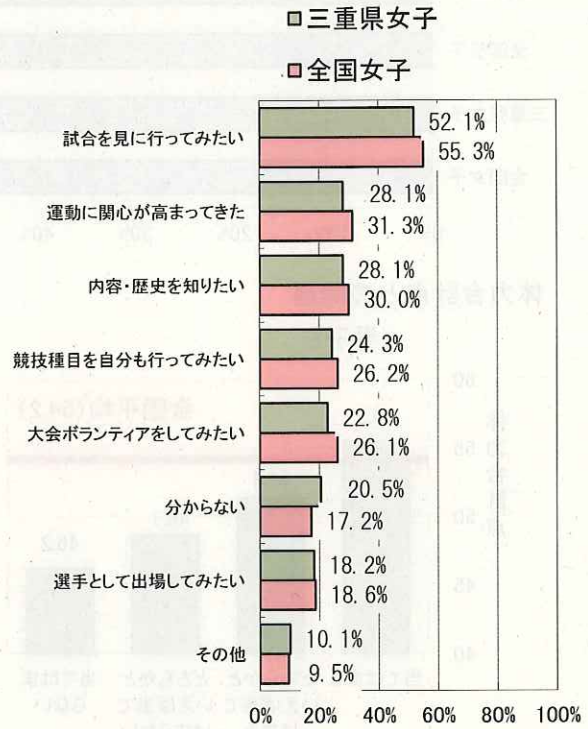
(38) オリンピック・パラリンピックを日本で行うことになりましたが、あなたの今の気持ちに当てはまるものを全て選んでください。(複数回答可)

【小学校5年生】

(男子)

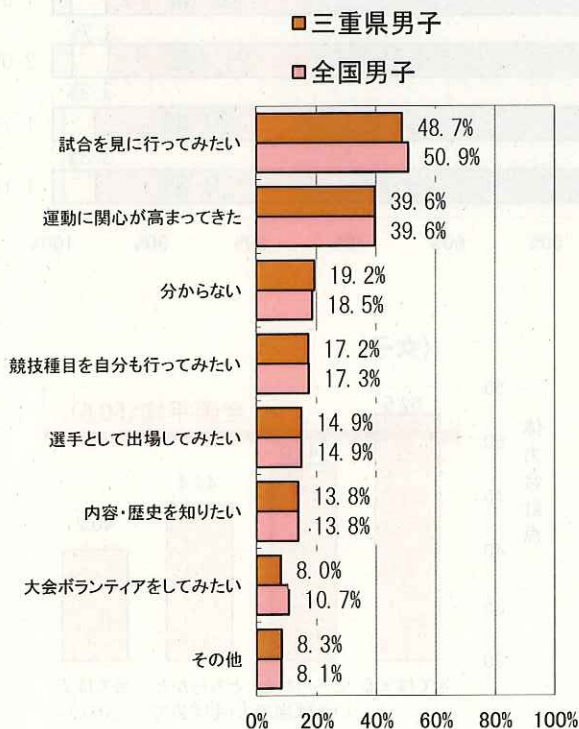


(女子)

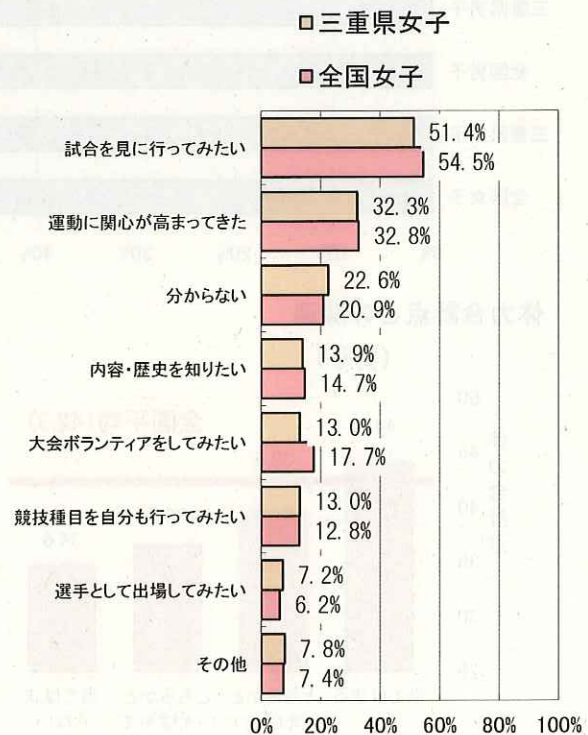


【中学校2年生】

(男子)



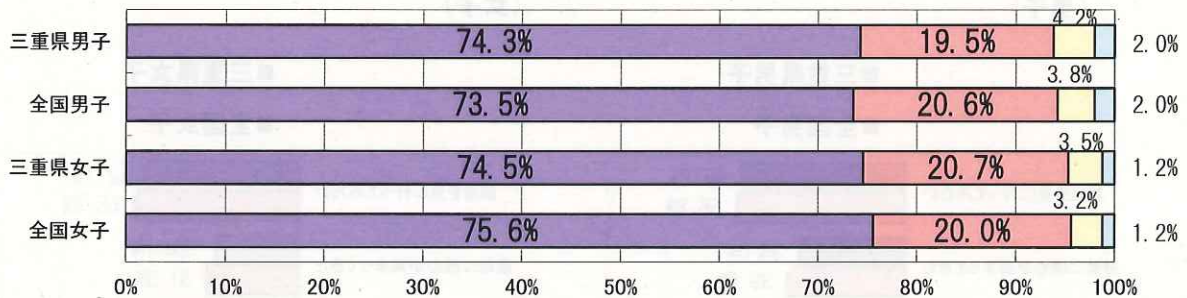
(女子)



(39) ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。

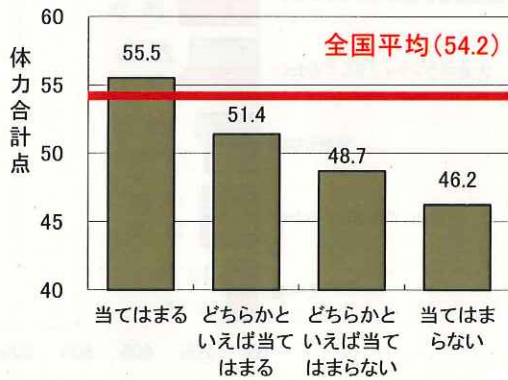
【小学校5年生】

■当てはまる □どちらかといえば当てはまる □どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

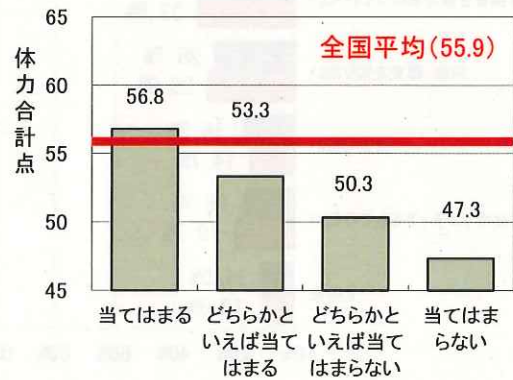


体力合計点との関連

(男子)

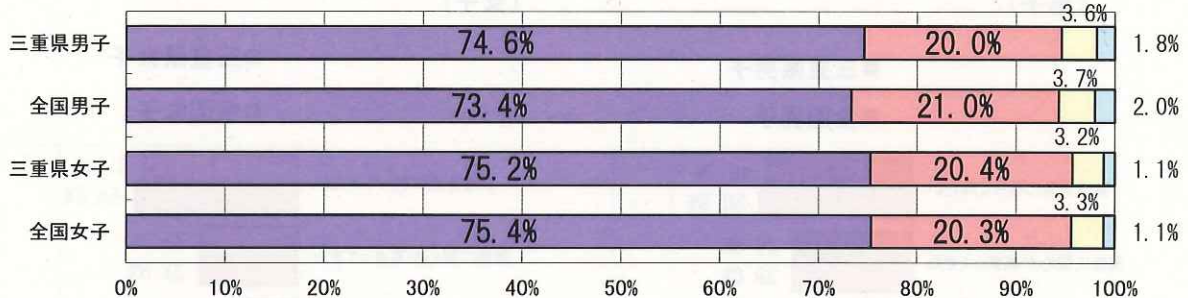


(女子)



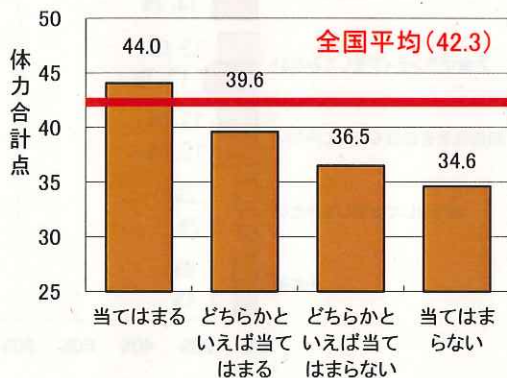
【中学校2年生】

■当てはまる □どちらかといえば当てはまる □どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

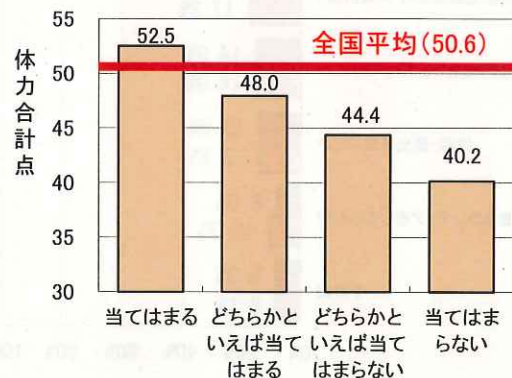


体力合計点との関連

(男子)



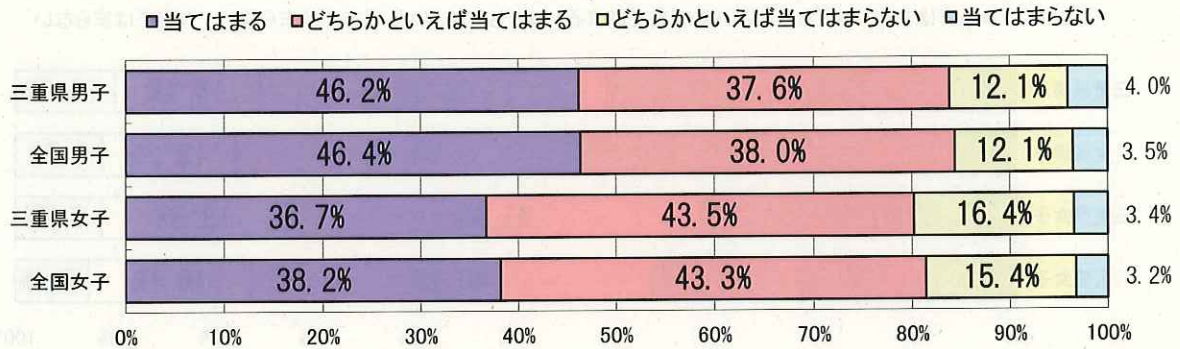
(女子)



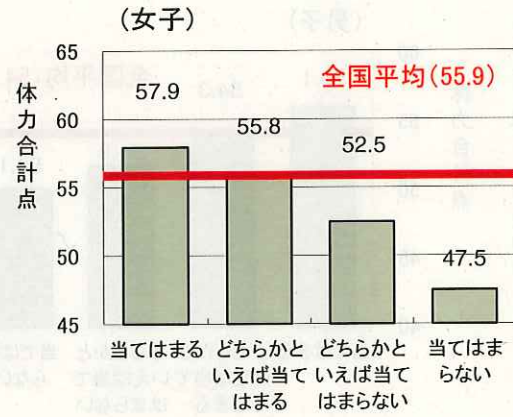
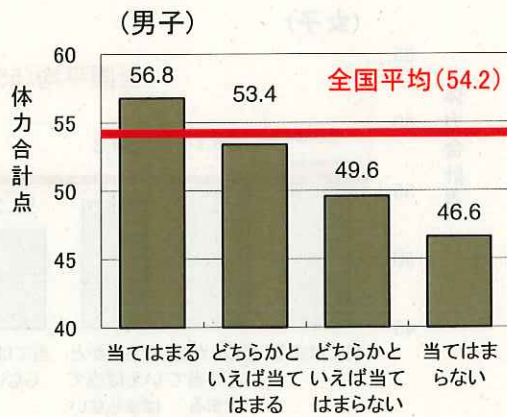


(40) 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。

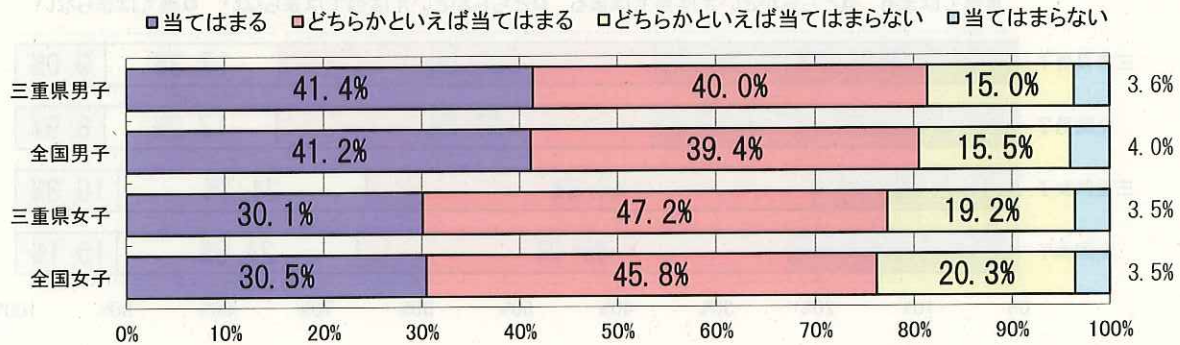
【小学校5年生】



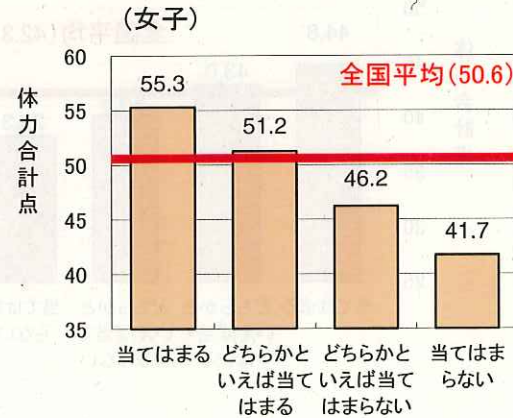
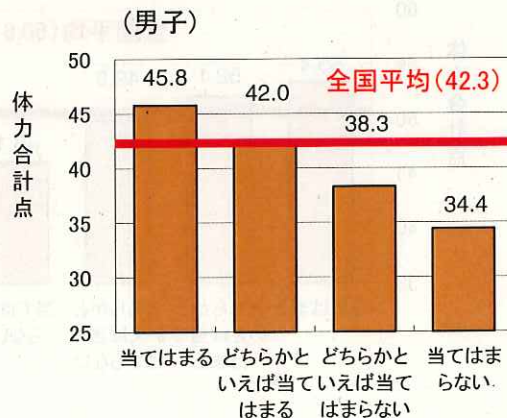
体力合計点との関連



【中学校2年生】



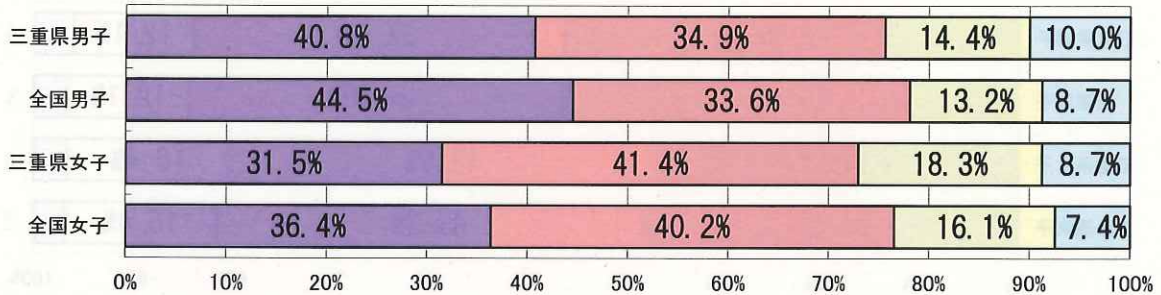
体力合計点との関連



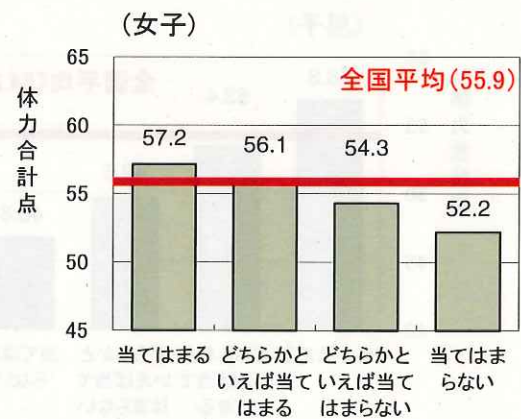
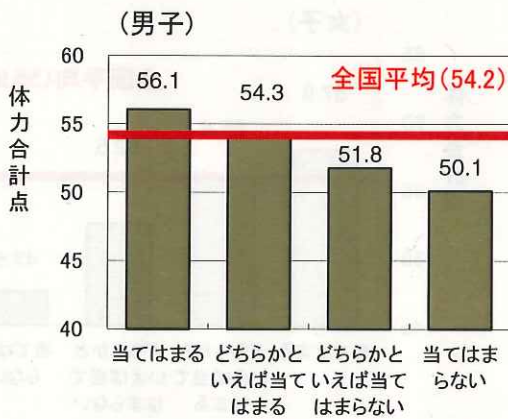
(41) 自分には、よいところがあると思う。

【小学校5年生】

□当てはまる □どちらかといえば当てはまる □どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

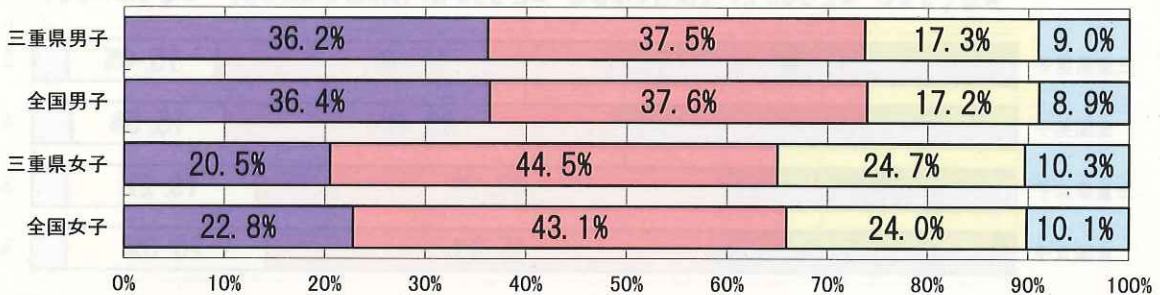


体力合計点との関連

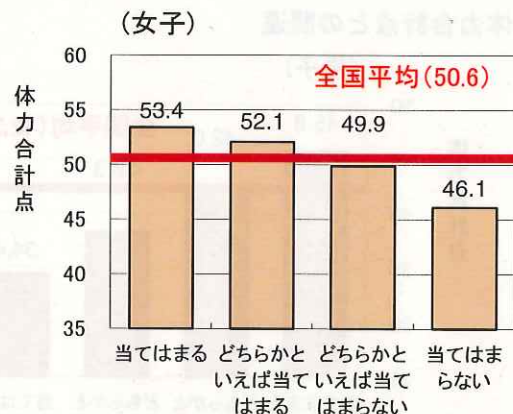
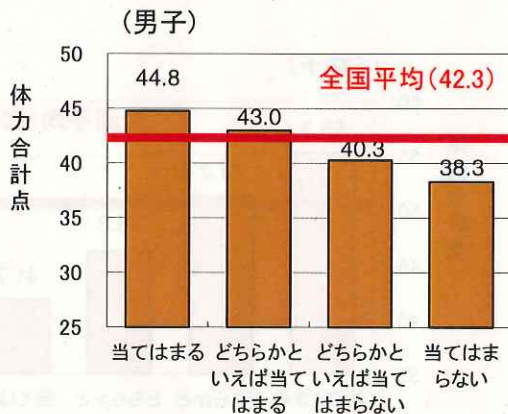


【中学校2年生】

□当てはまる □どちらかといえば当てはまる □どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない



体力合計点との関連

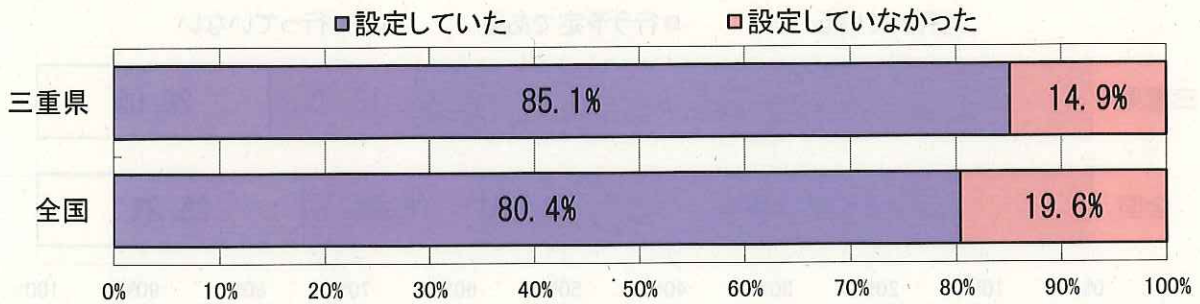




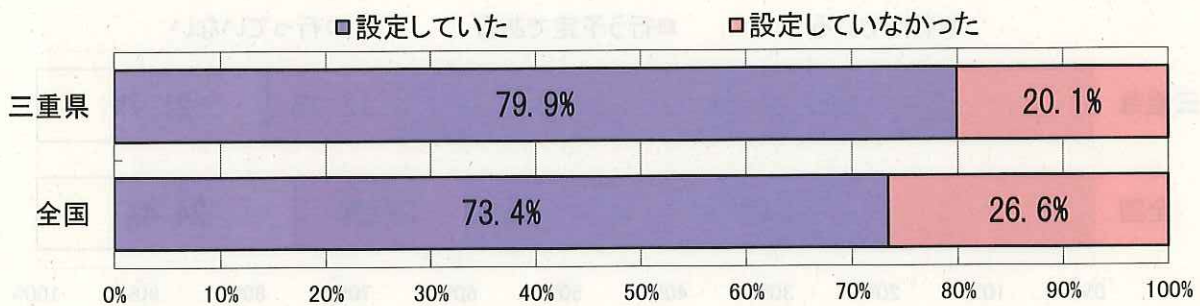
#### 4 学校質問紙の結果

(1) 平成29年度に児童生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を、設定していましたか。

##### 【小学校】

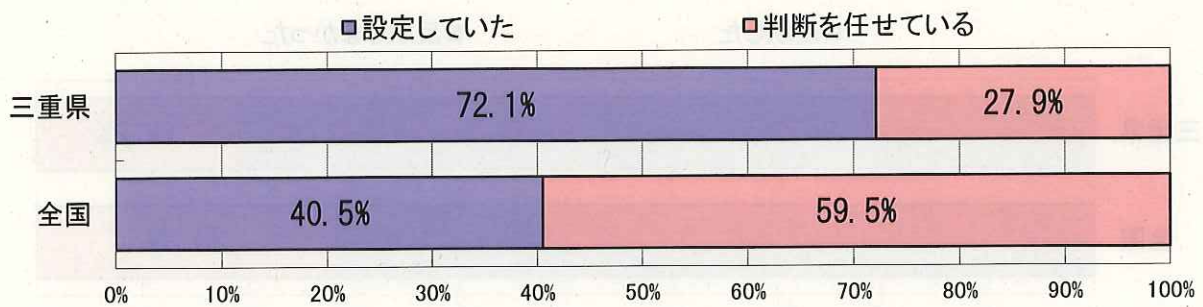


##### 【中学校】

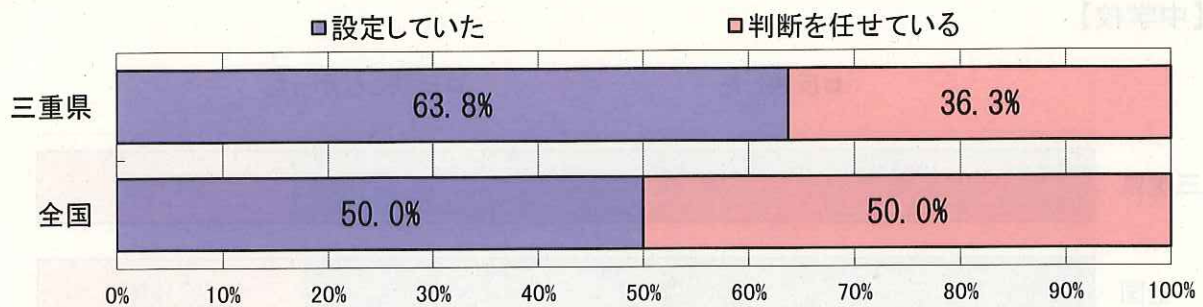


(2) 平成29年度に児童生徒の体力・運動能力の向上のための学年としての目標を、学校としての目標と別に設定していましたか。

##### 【小学校】

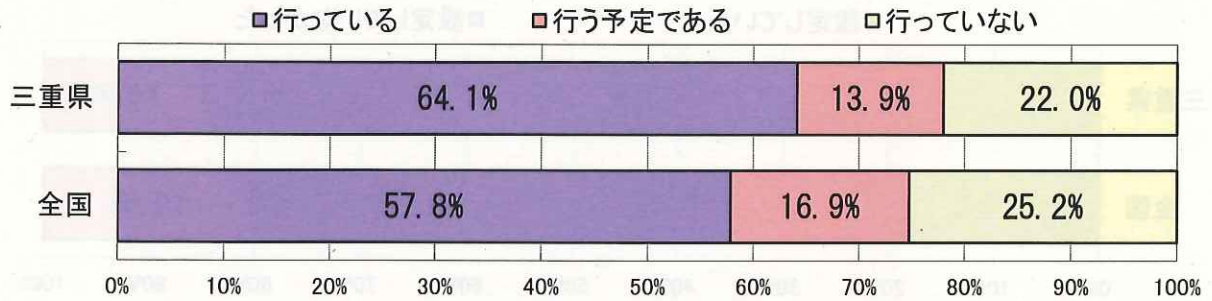


##### 【中学校】

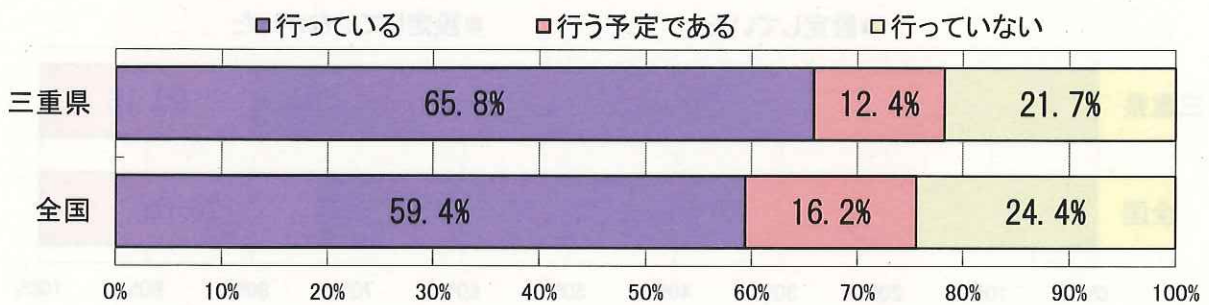


(3) 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向にある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を現在行っていますか(行う予定はありますか)。

【小学校】

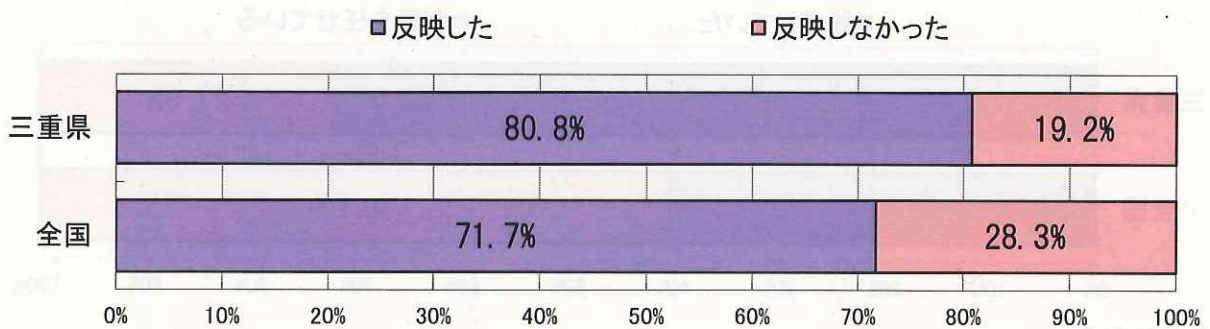


【中学校】

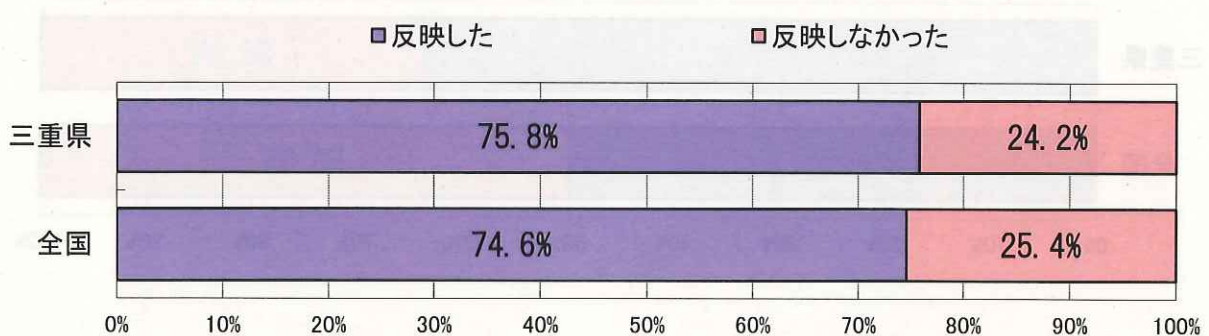


(4) 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて年間指導計画の改善に反映しましたか。

【小学校】



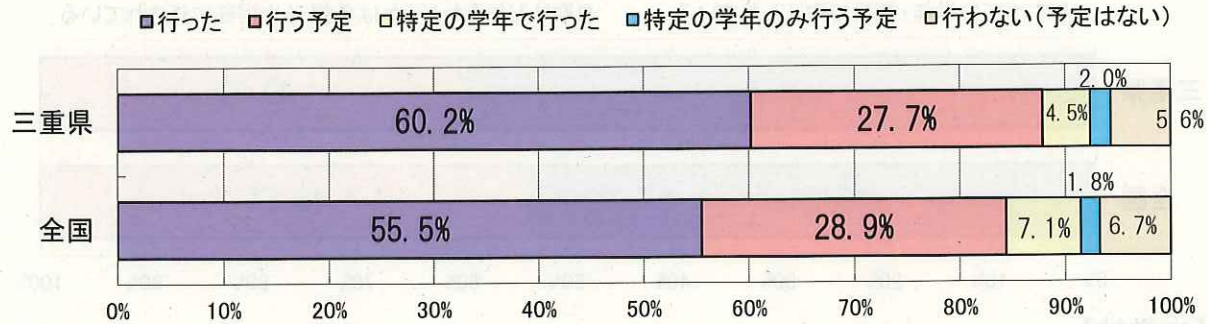
【中学校】



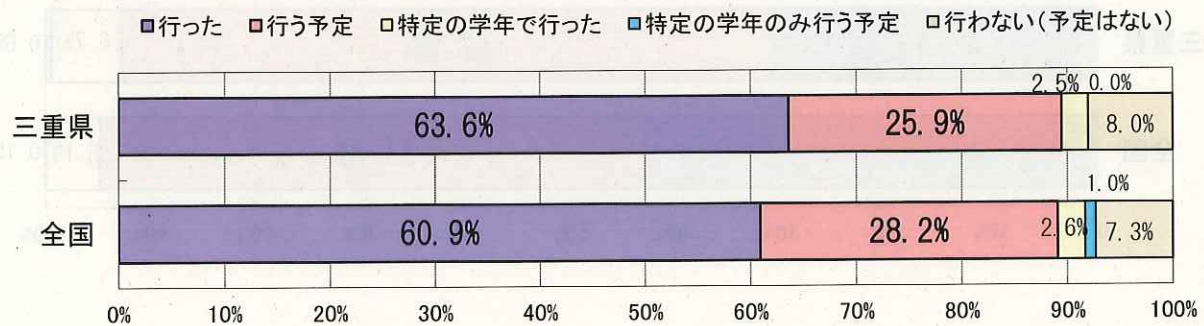


(5) 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行いましたか（行う予定ですか）。

【小学校】

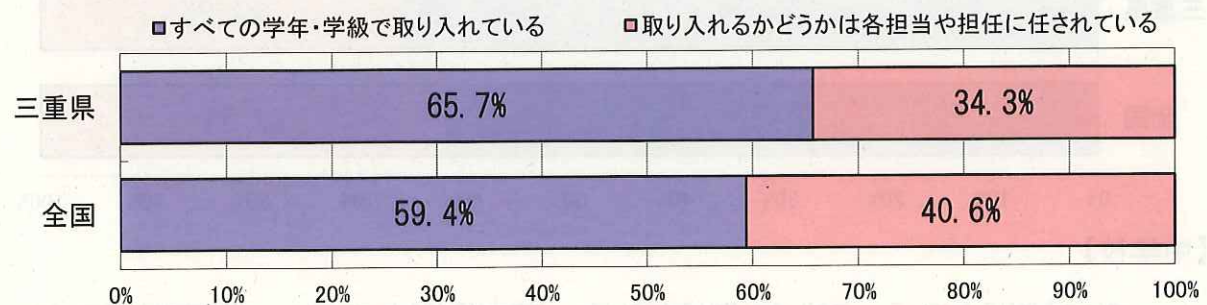


【中学校】

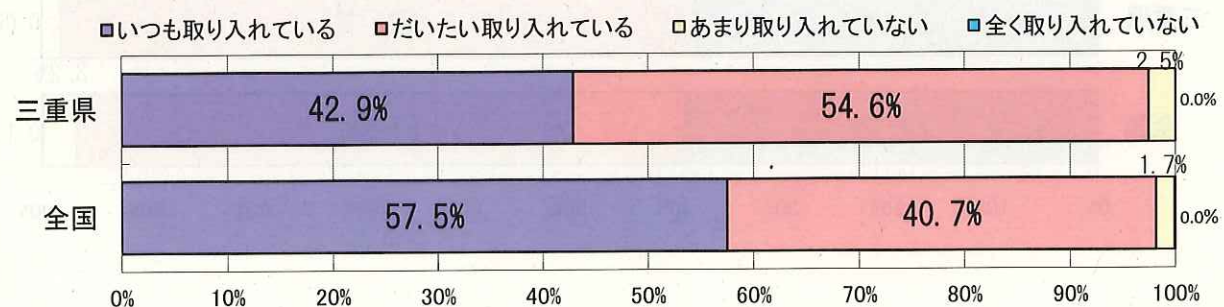


(6) 体育・保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を児童生徒に示す活動を取り入れていますか。

【小学校】



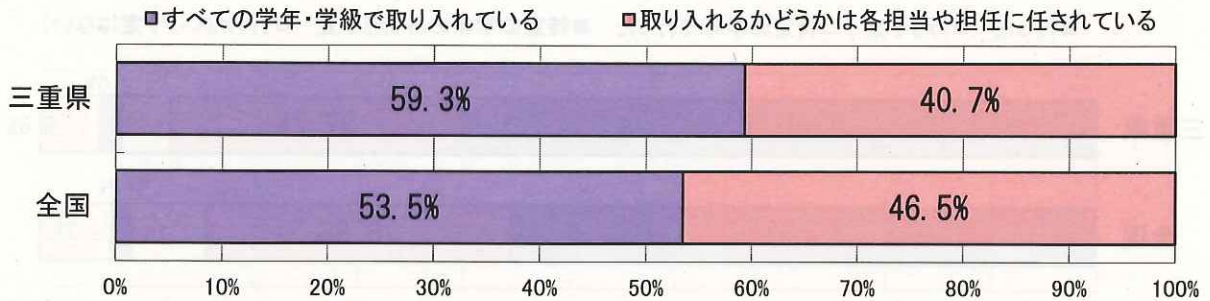
【中学校】



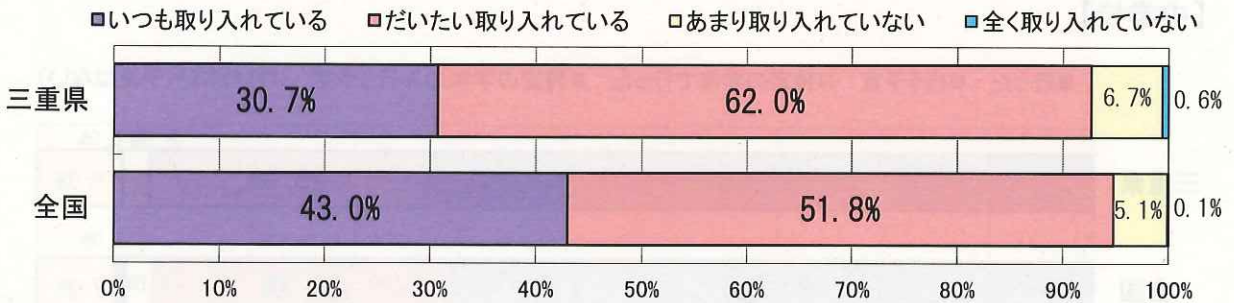


(7) 体育・保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。

【小学校】

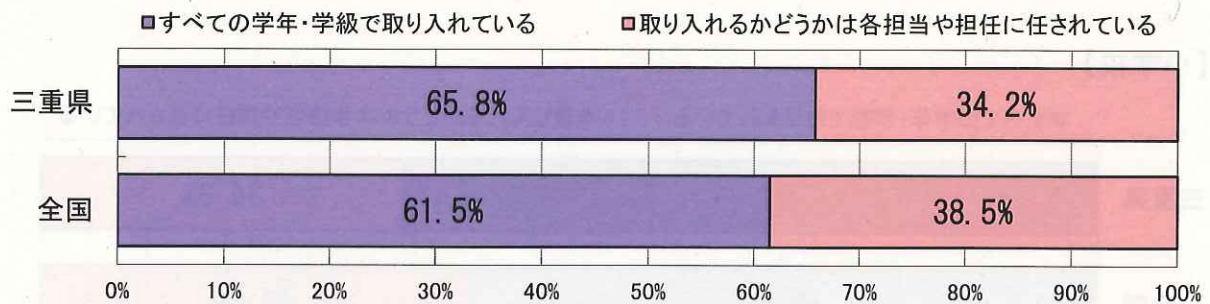


【中学校】

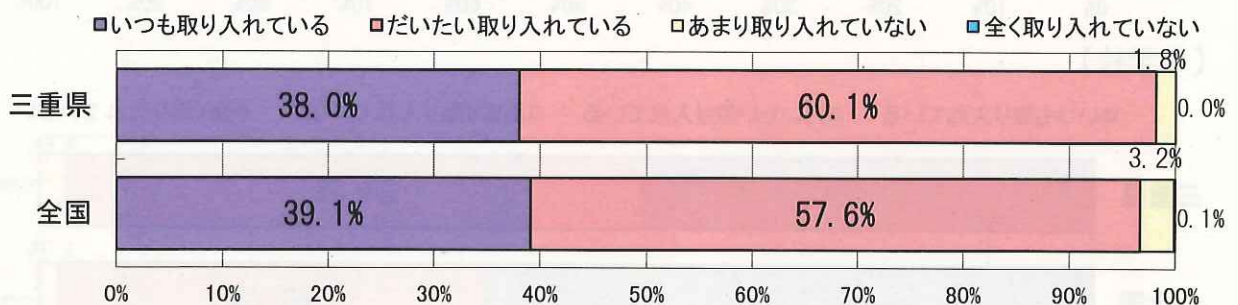


(8) 体育・保健体育の授業では、児童及び生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。

【小学校】

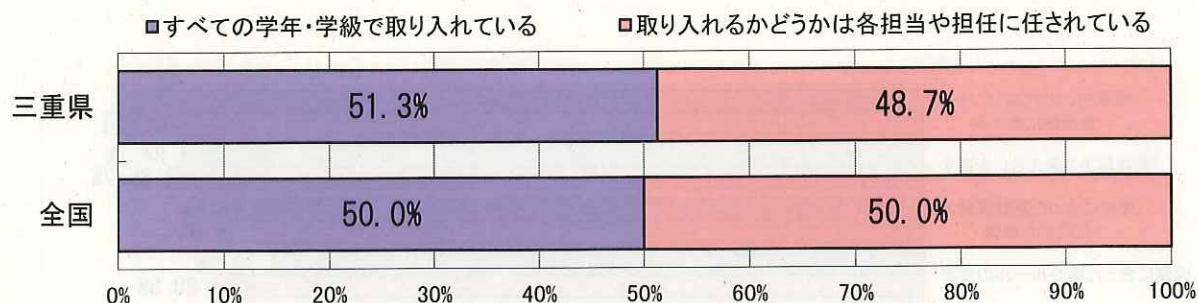


【中学校】

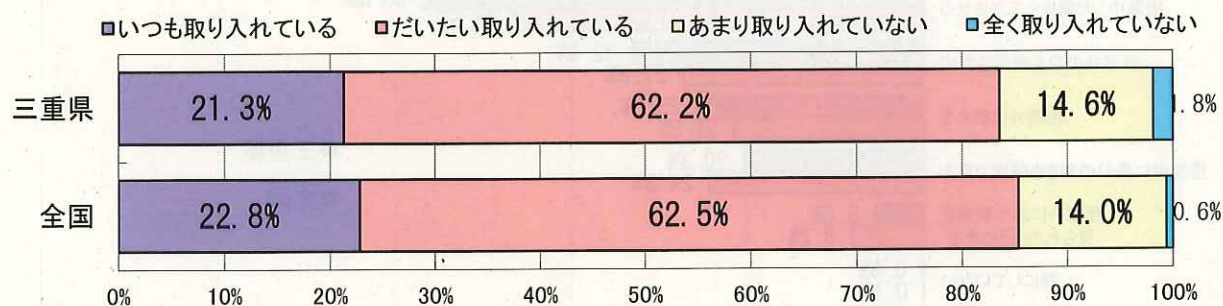


(9) 体育・保健体育の授業では、児童及び生徒同士で話し合う活動を取り入れていますか。

【小学校】

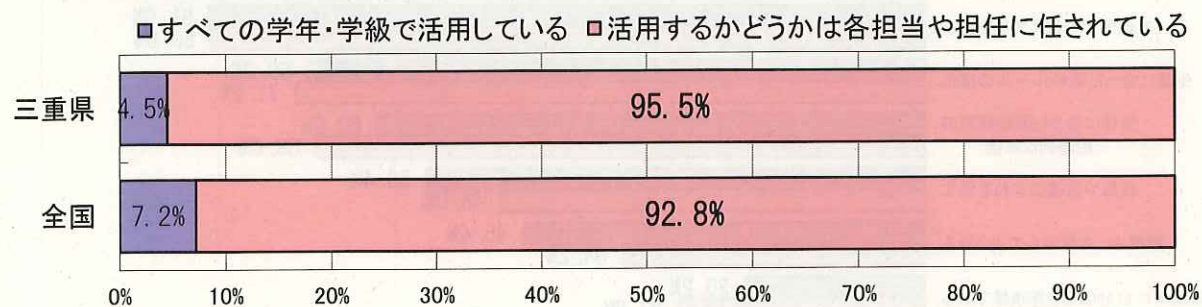


【中学校】

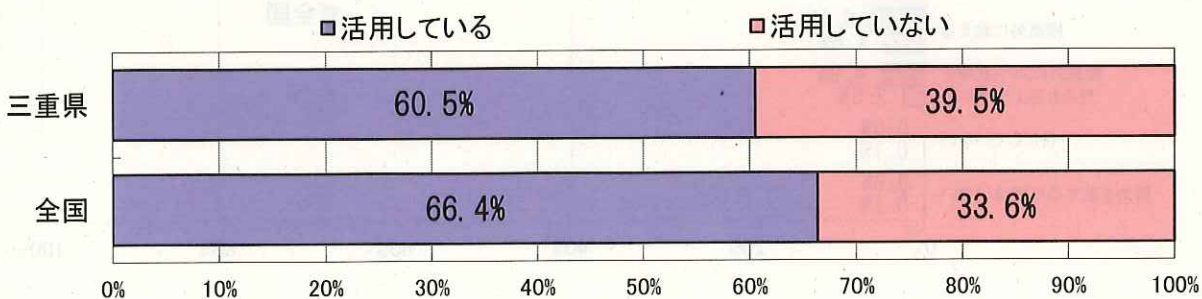


(10) 体育・保健体育の指導で、授業中にICTを活用していますか。

【小学校】



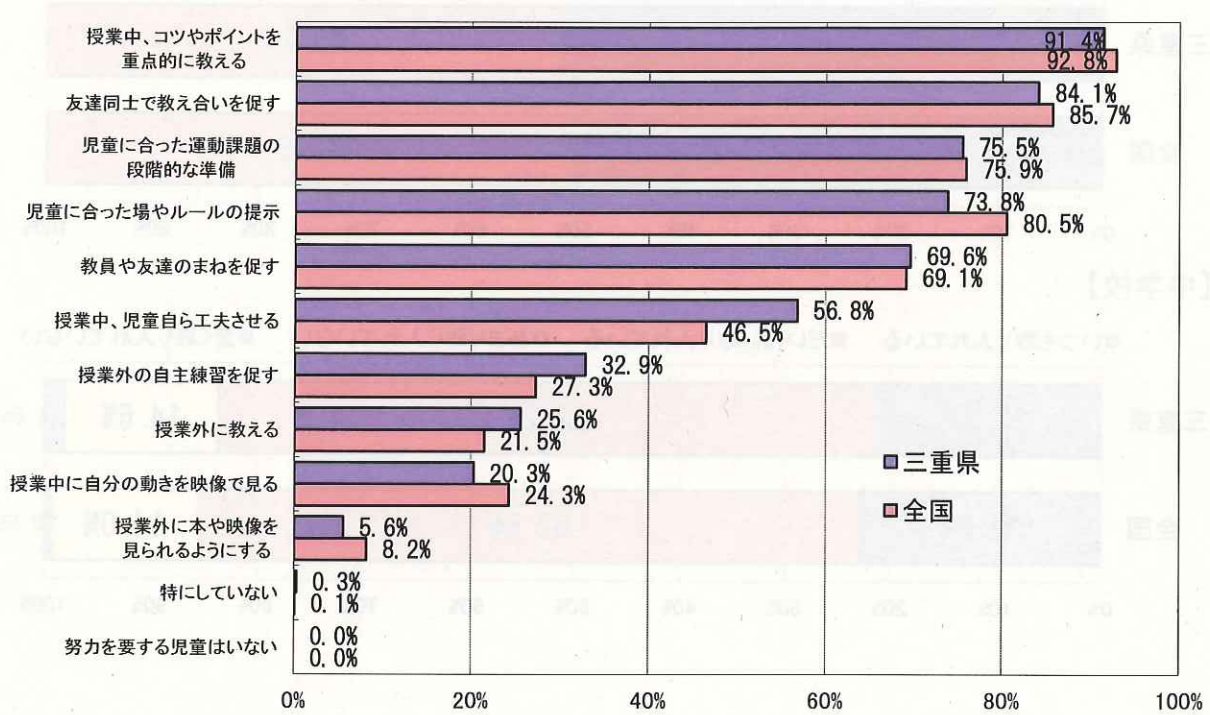
【中学校】



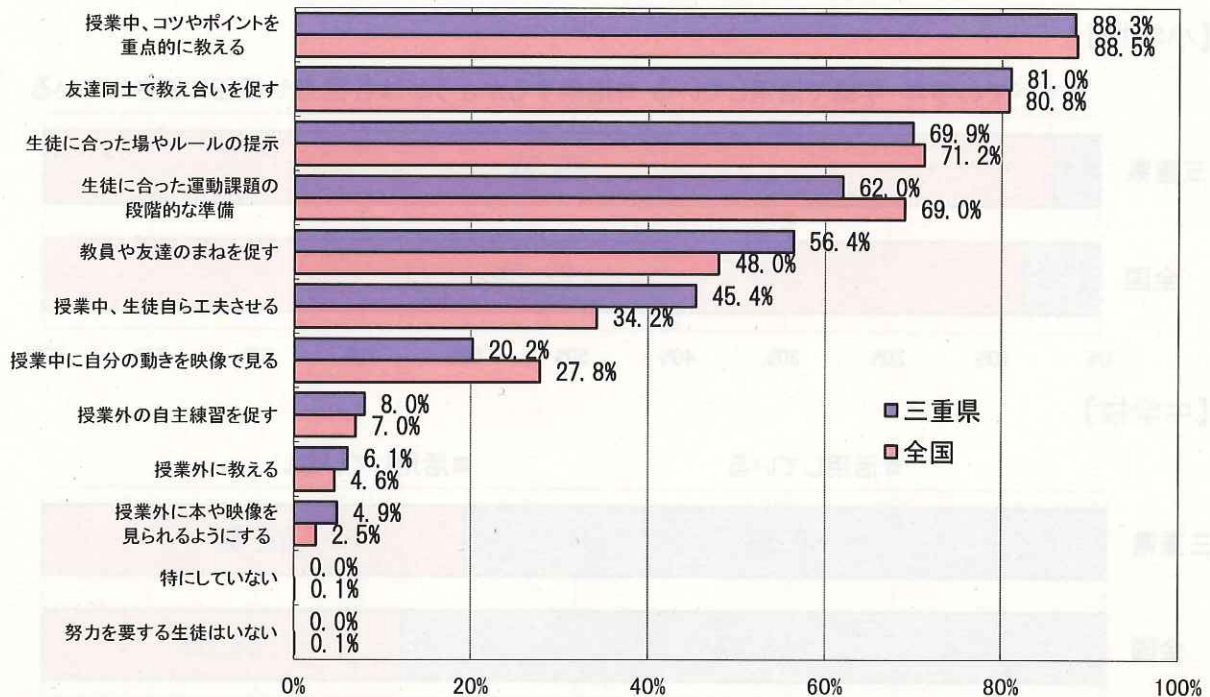


(11) 体育・保健体育の授業で努力を要する児童生徒がいる場合に、どのような取組をしていますか。(複数回答可)

【小学校】



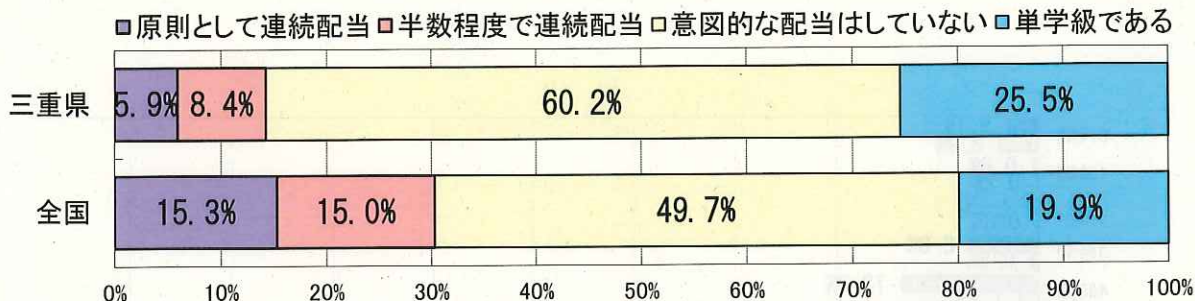
【中学校】



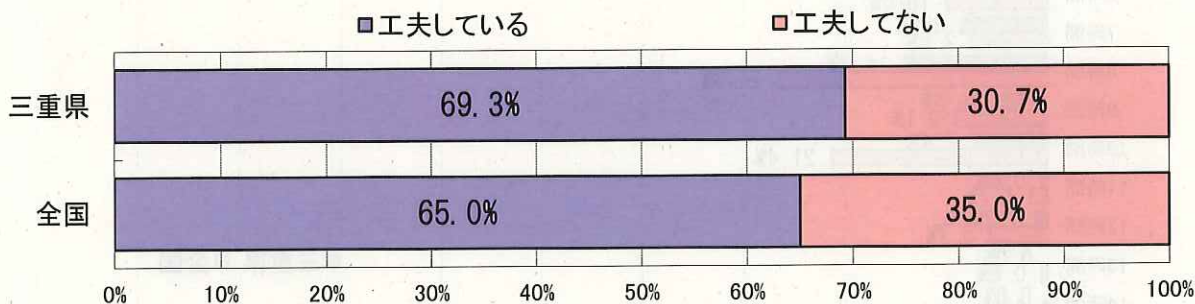


(12) 体育・保健体育授業の準備・片付けの時間を短縮するなどの理由から、時間割作成において、同学年または2学年（低・中・高学年）の体育・保健体育授業を続けて配当（するなど工夫）していますか。

【小学校】

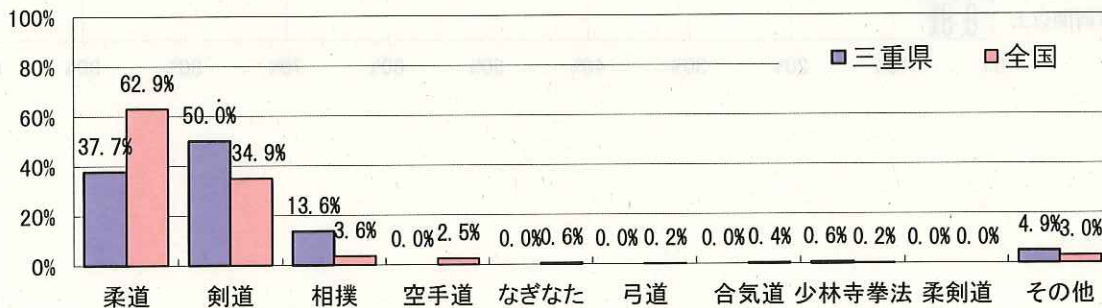


【中学校】



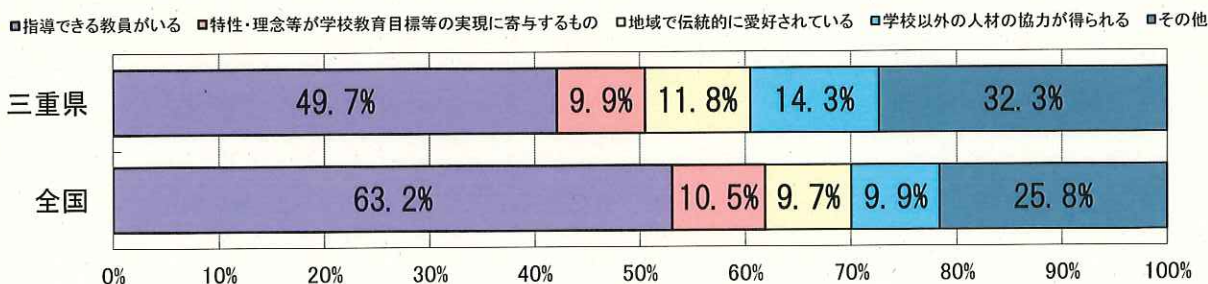
(13) 平成30年度に第1・2学年で実施している武道の種目を次の中から選んでください。

【中学校】



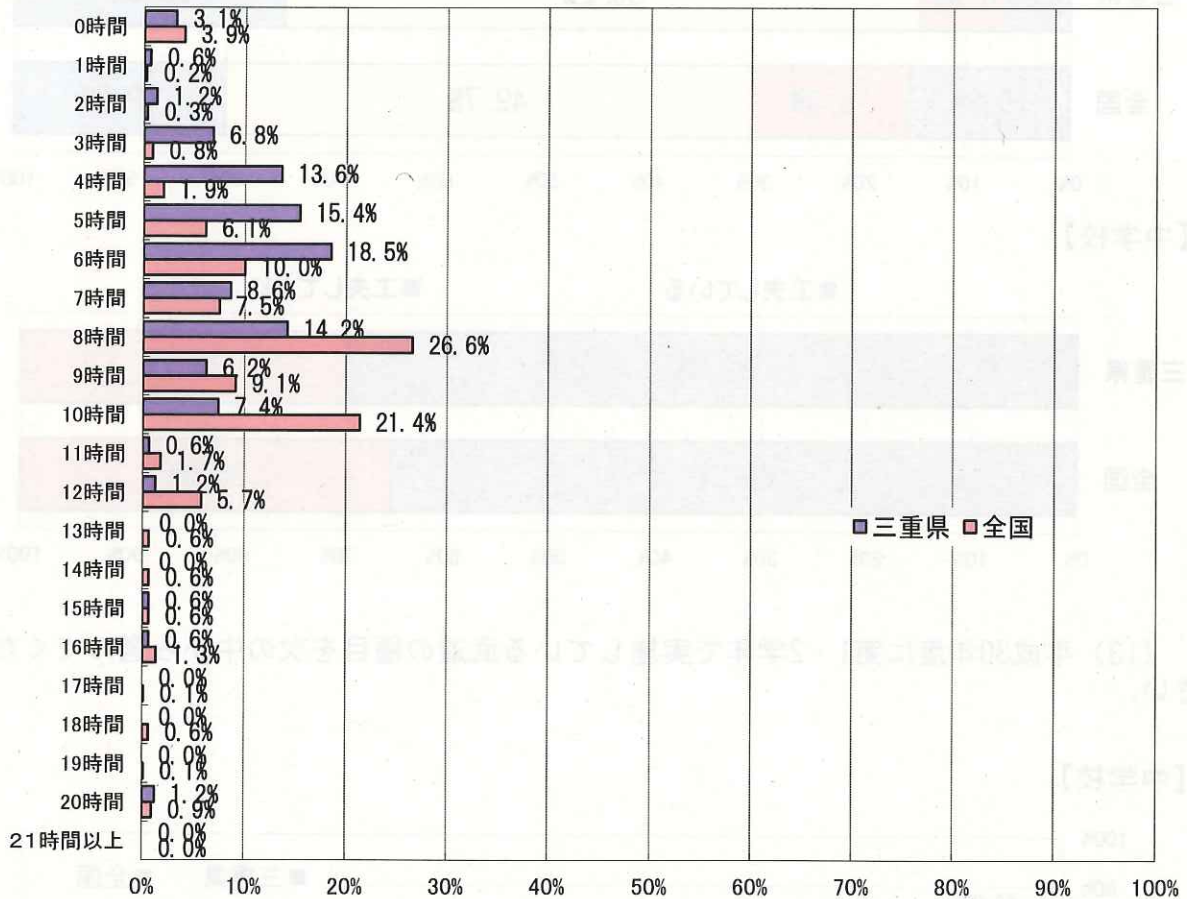
(14) 武道の種目を選定した理由を選んでください。

【中学校】



(15) 平成30年度に第1・2学年で実施している武道の授業単位時間数を選んでください。  
 (予定を含む。年間平均時数。小数点以下四捨五入)

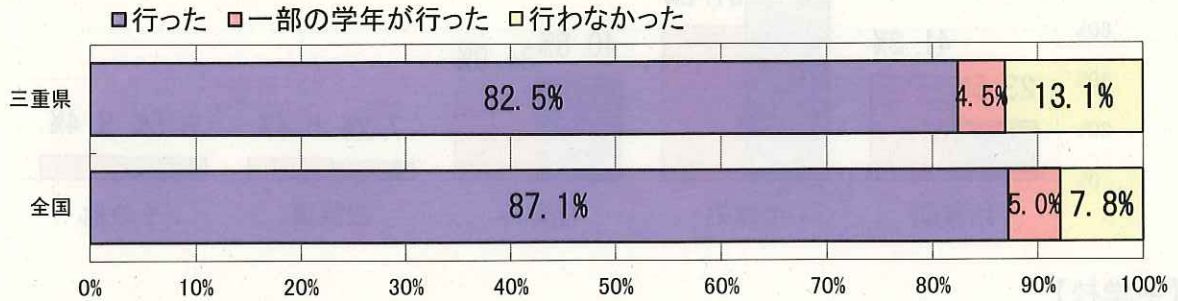
【中学校】



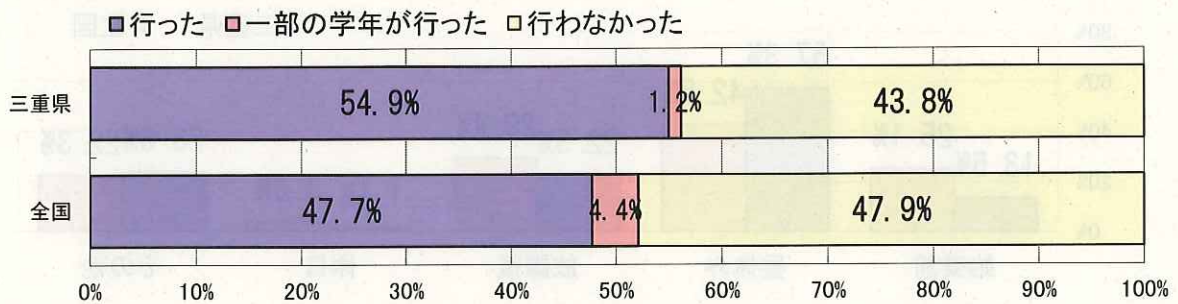


(16) 平成29年度に、体育・保健体育の授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。

【小学校】

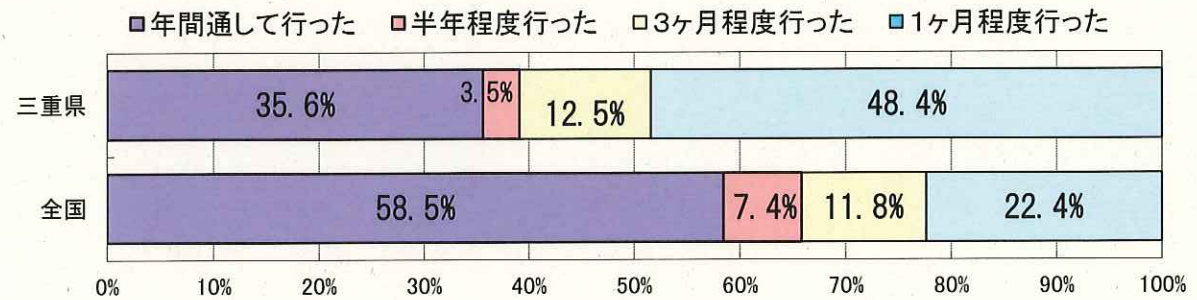


【中学校】

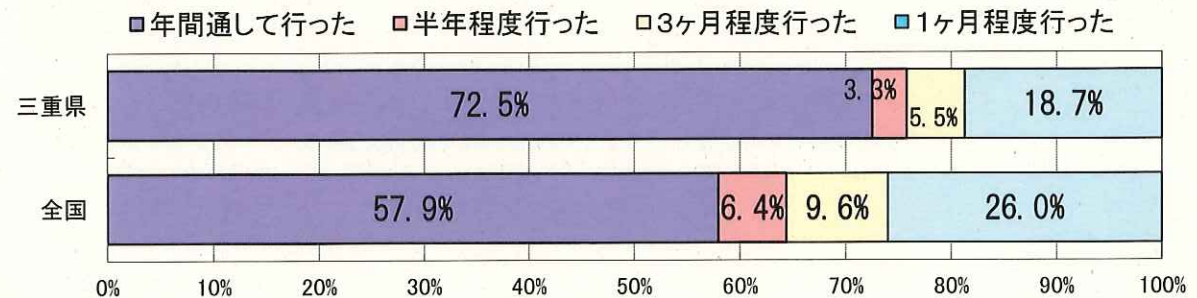


(17) 平成29年度に、体育・保健体育の授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校は、年間を通して行いましたか。

【小学校】



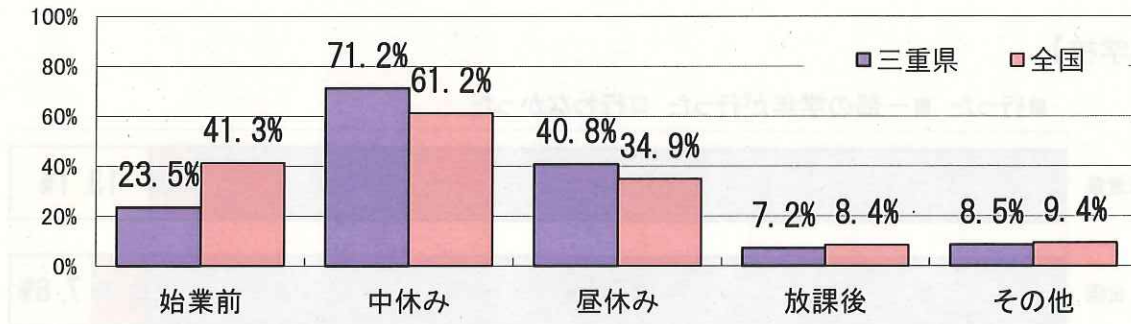
【中学校】



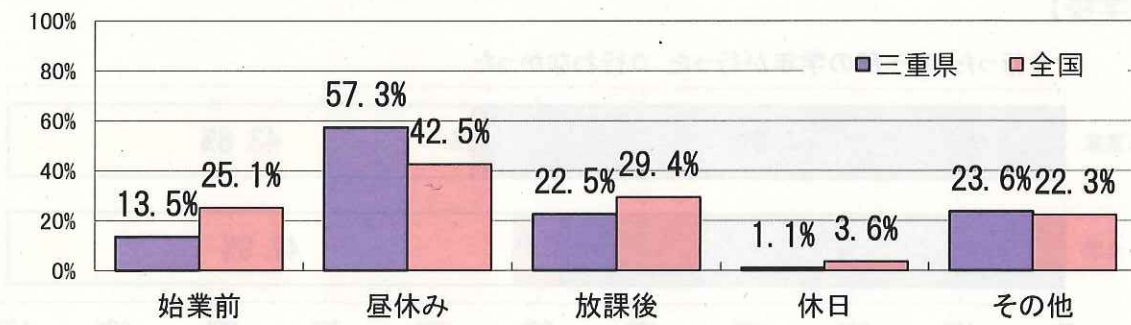


(18) 平成29年度に、体育・保健体育の授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校は、その取組をいつ行いましたか。  
(複数回答可)

【小学校】

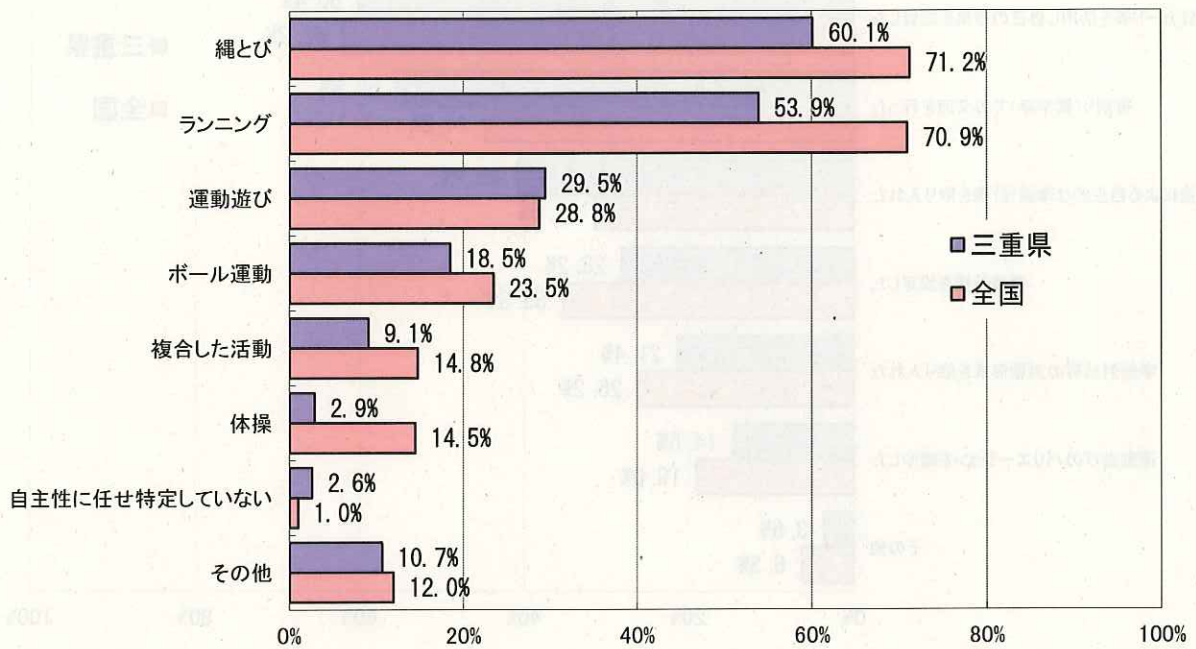


【中学校】

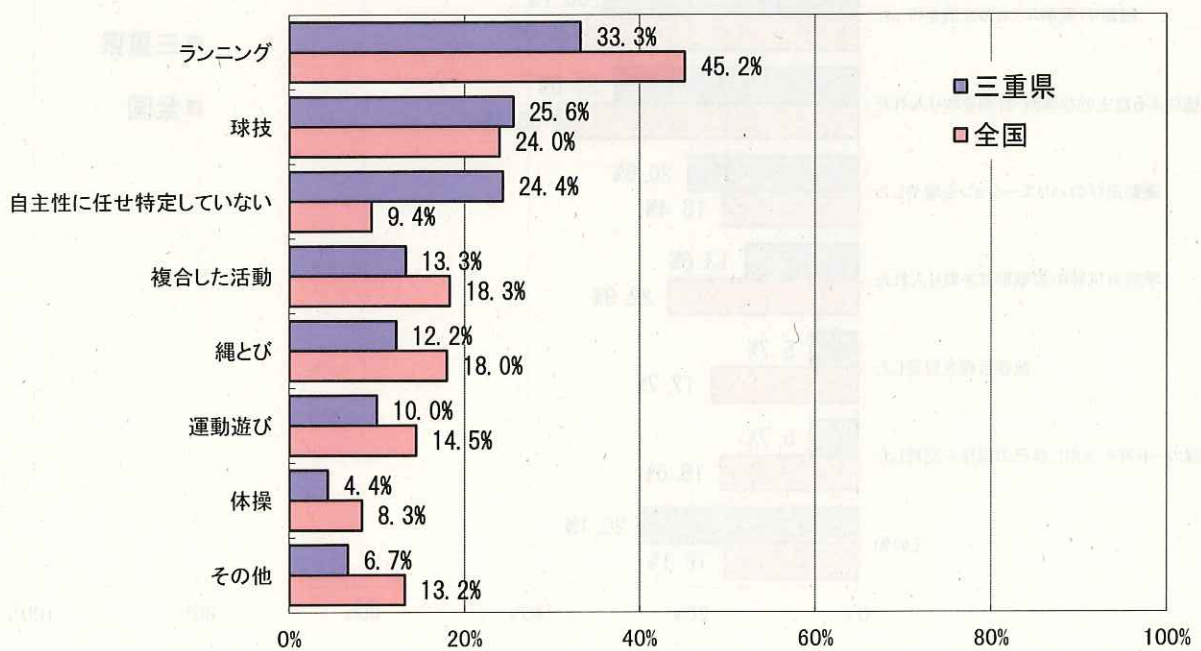


(19) 平成29年度に、体育・保健体育の授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校は、どのような活動を行いましたか。  
(複数回答可)

【小学校】

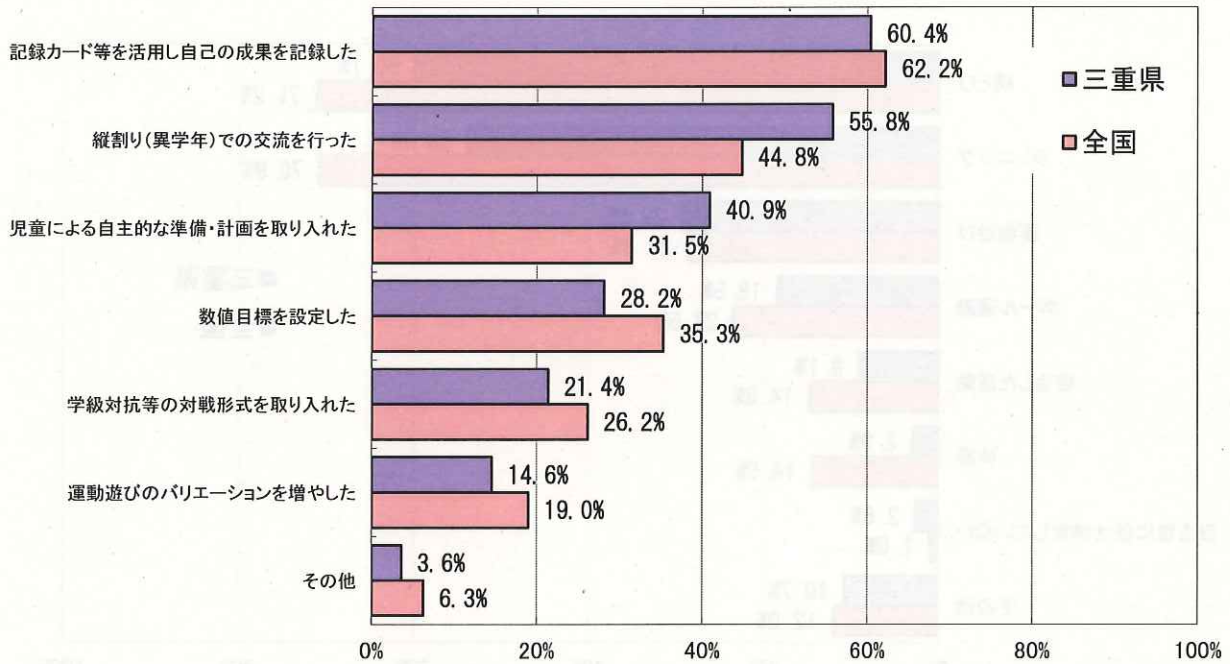


【中学校】

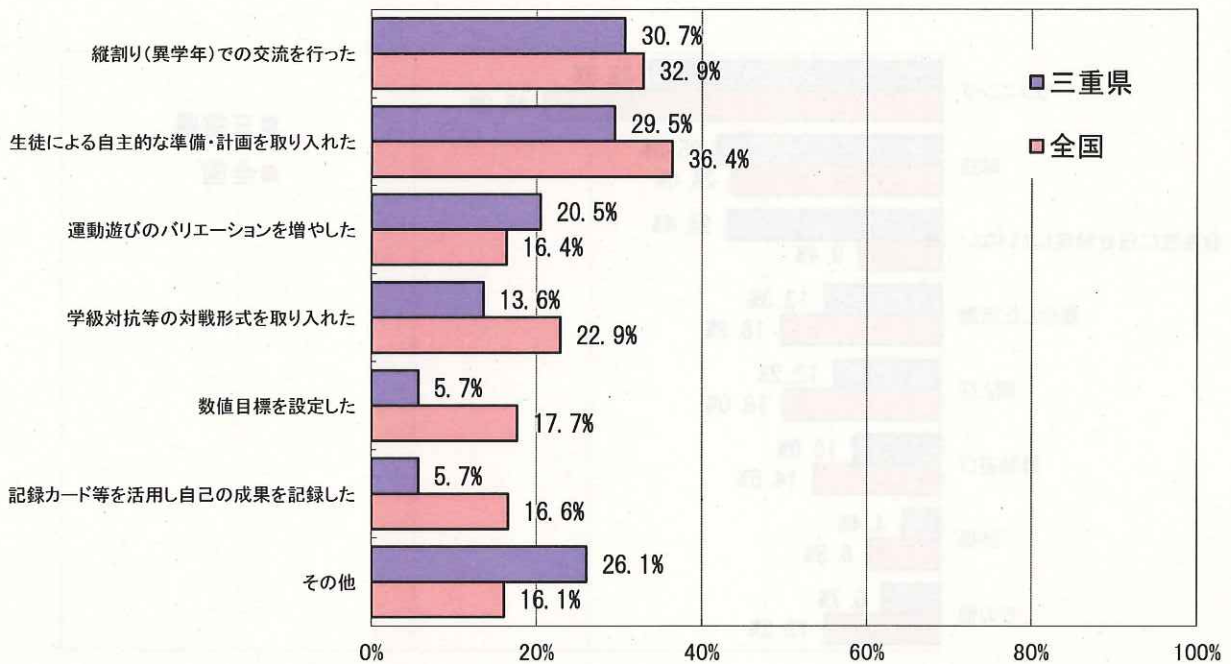


(20) 平成29年度に、体育・保健体育の授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校は、その活動を行う上で、どのような取組をしましたか。(複数回答可)

【小学校】



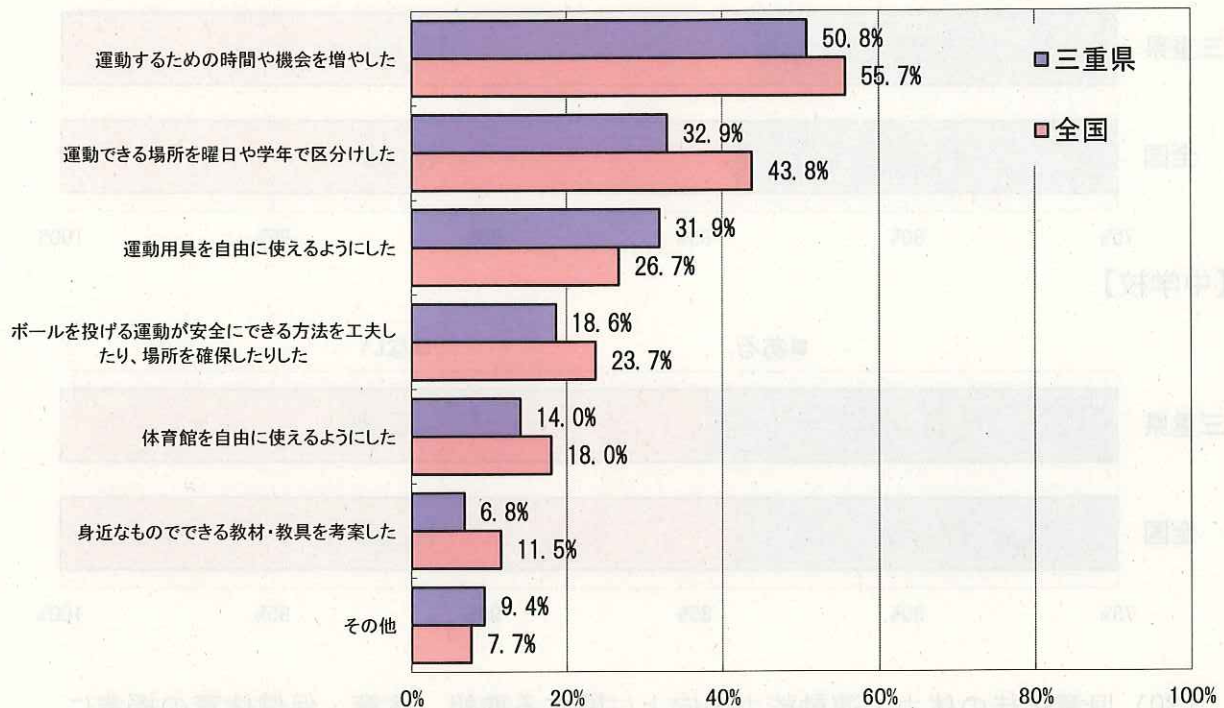
【中学校】



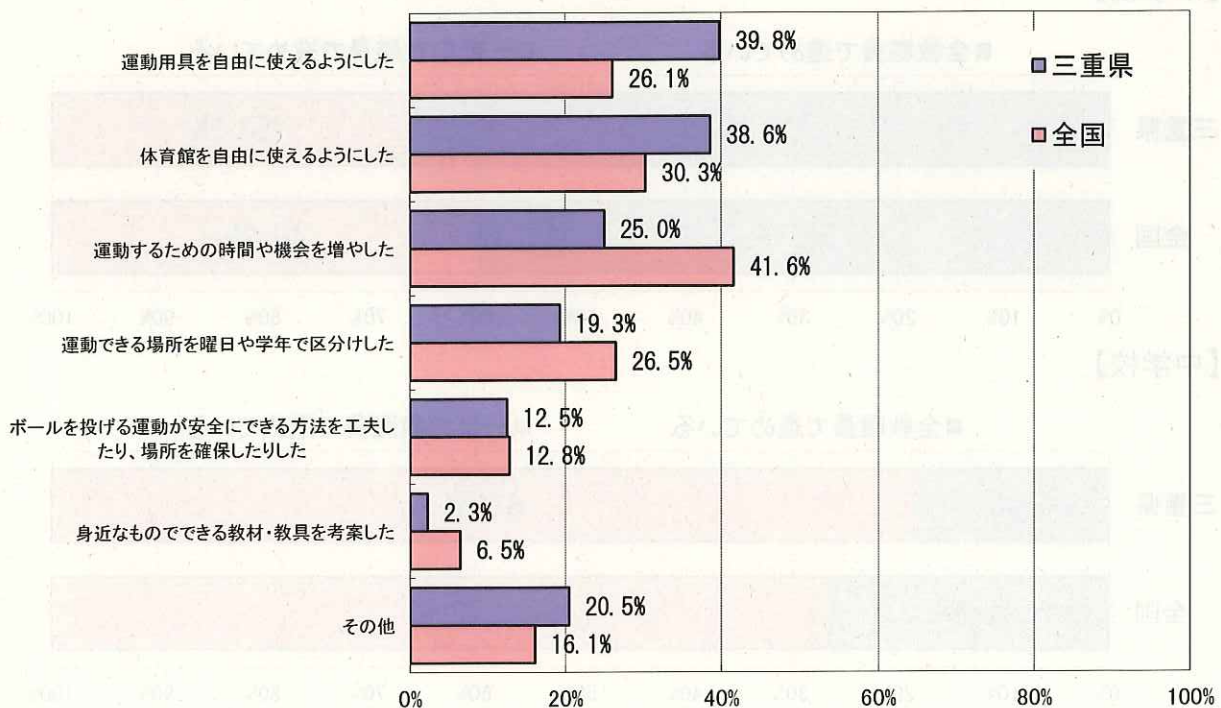


(21) 平成29年度に、体育・保健体育の授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校は、その活動を行う上で、施設や環境整備においてどのような工夫をしましたか。(複数回答可)

【小学校】

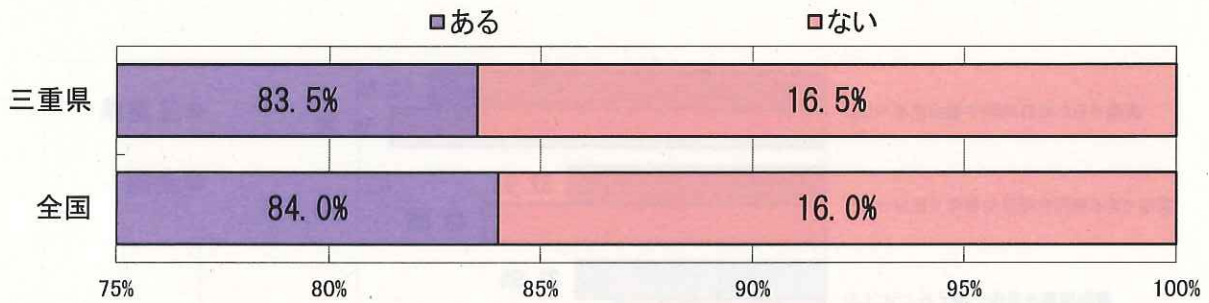


【中学校】

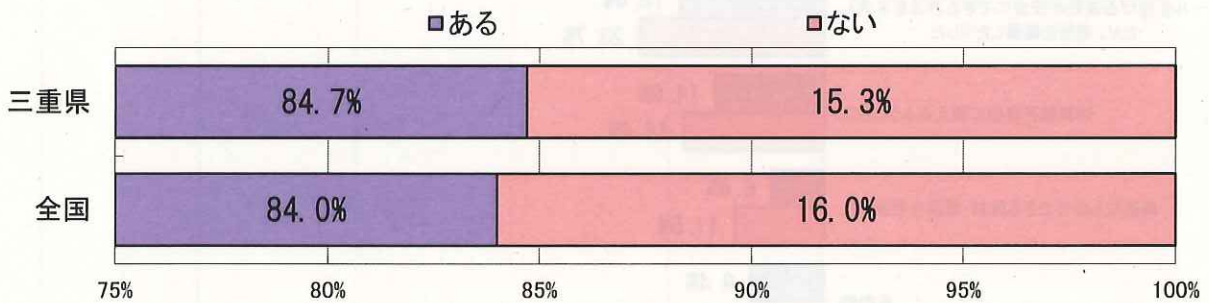


(29) 教員同士で、児童生徒の体力・運動能力の向上に関する取組、体育・保健体育の授業における指導方法の工夫・改善を検討する機会がありますか。

【小学校】

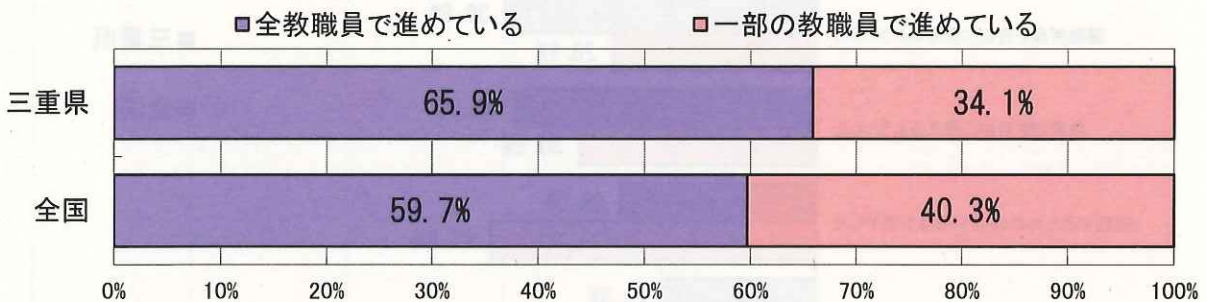


【中学校】

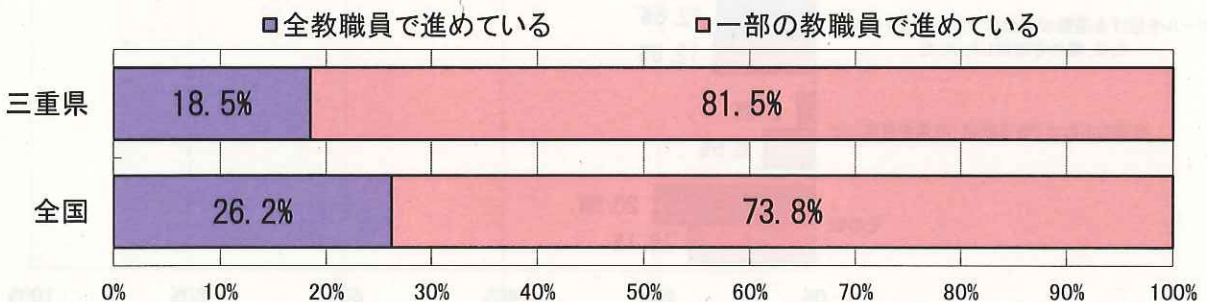


(30) 児童生徒の体力・運動能力の向上に関する取組、体育・保健体育の授業における指導方法の工夫・改善について、教職員はどのように関わって進めていますか。

【小学校】



【中学校】

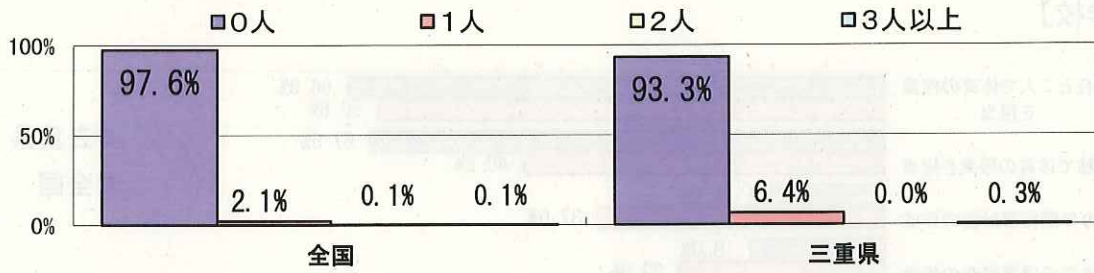




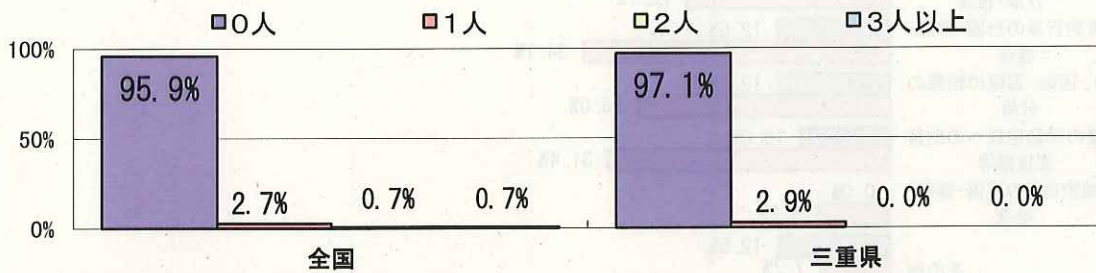
(31) 小学校に体育専科教員は配置されていますか。

(平成30年度)

非常勤

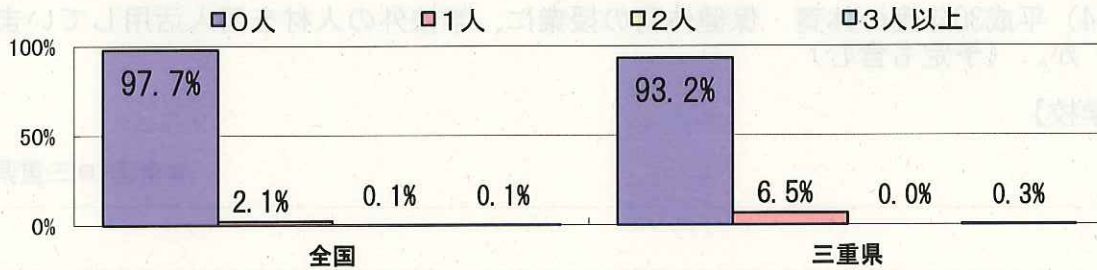


常勤

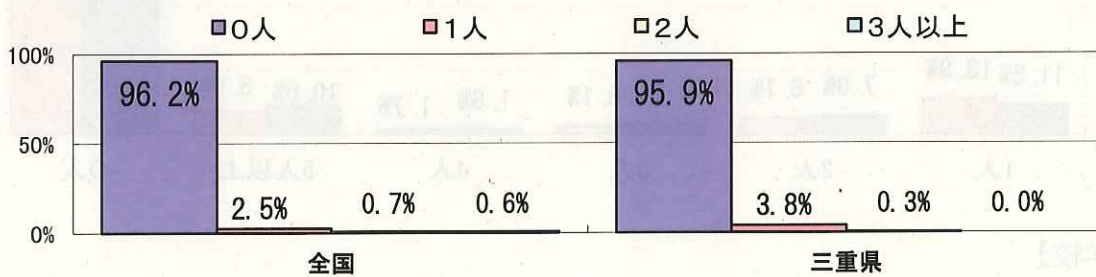


(平成29年度)

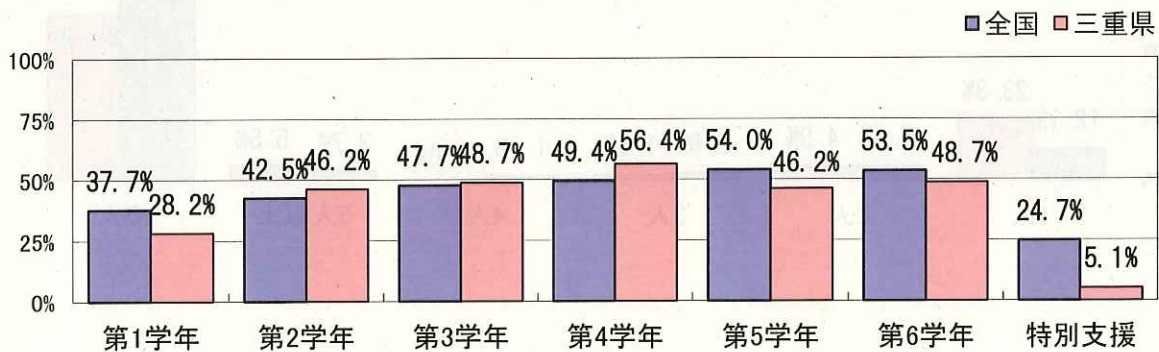
非常勤



常勤



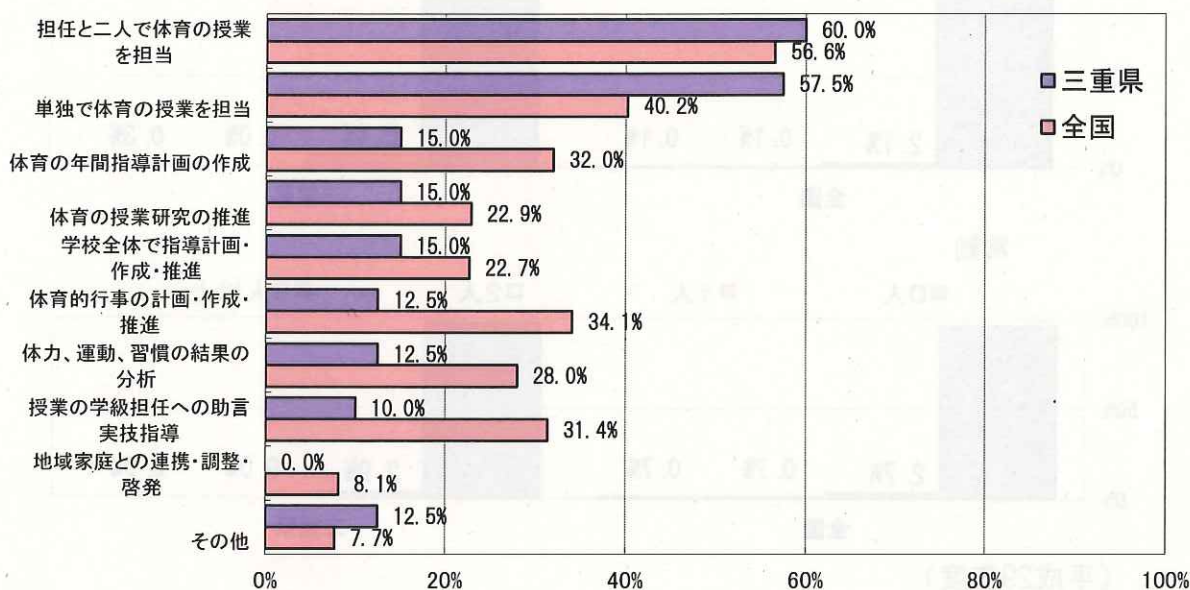
(32) 体育専科教員が配置されている場合、体育専科教員は第何学年の体育の授業を担当していますか。





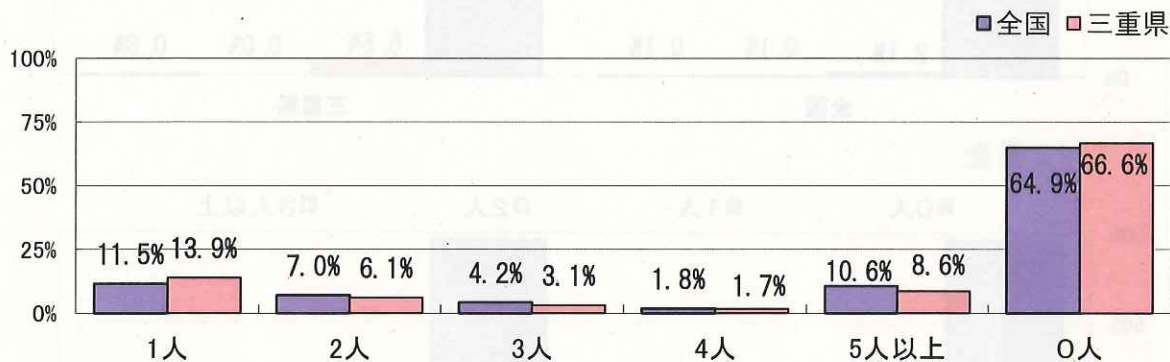
(33) 体育専科教員が配置されている場合、具体的な業務内容を選んでください。  
 (担当学年以外の業務も含む) (複数回答可)

【小学校】

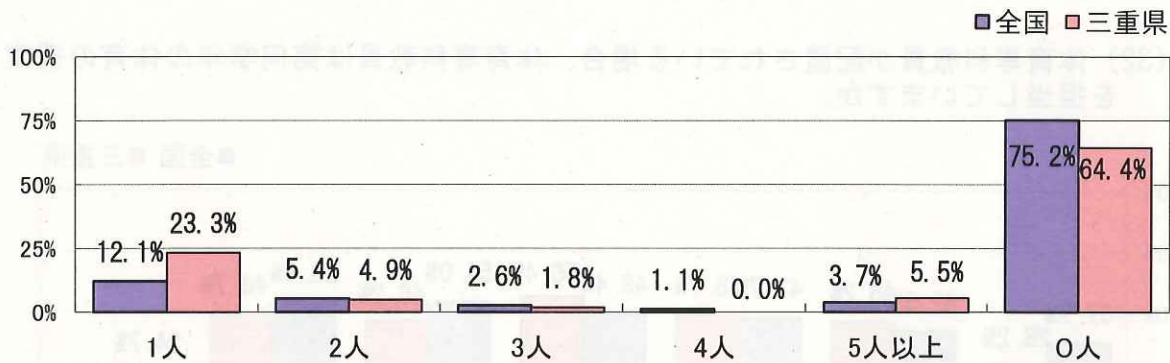


(34) 平成30年度の体育・保健体育の授業に、学校外の人材を何人活用していますか。(予定も含む)

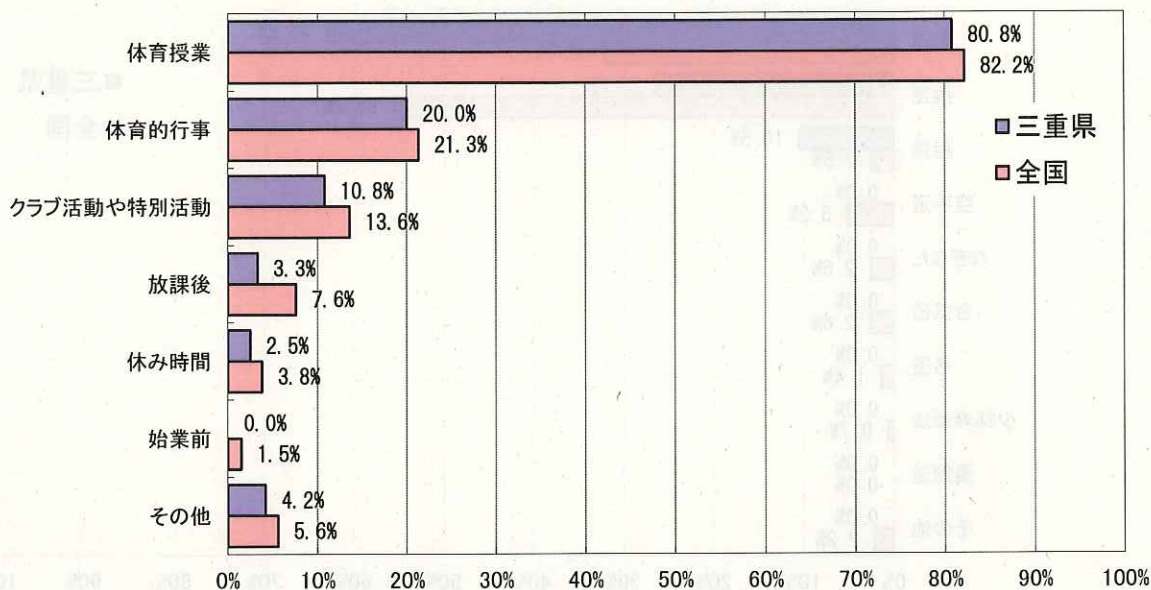
【小学校】



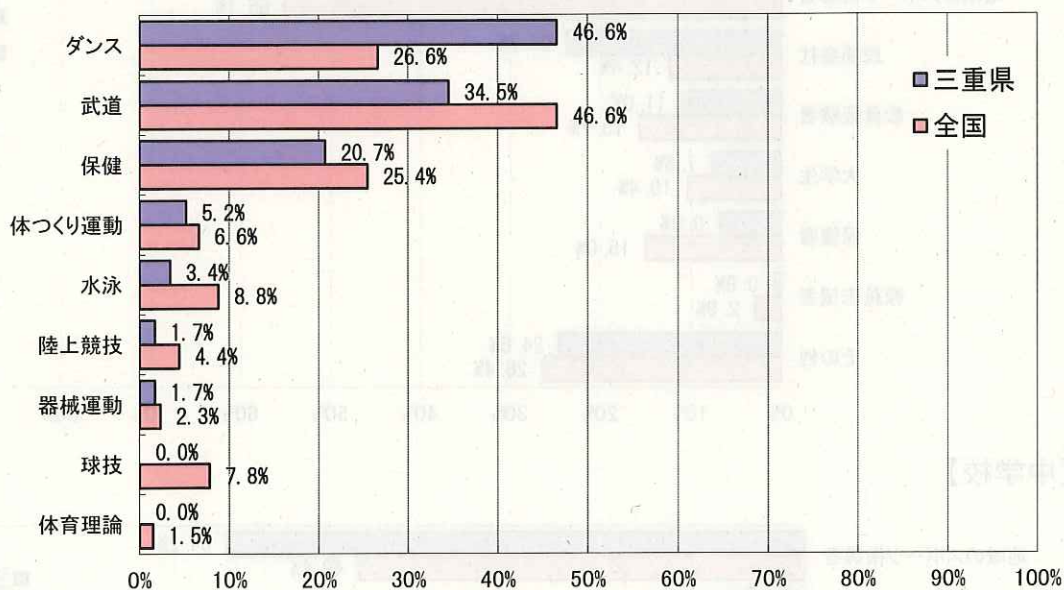
【中学校】



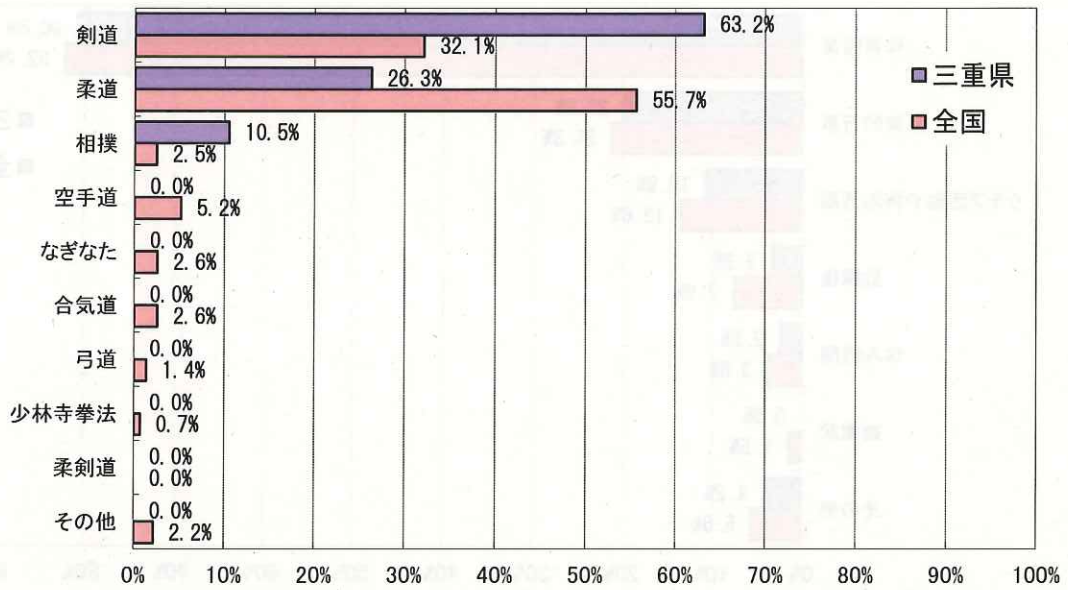
(35) 平成30年度に学校外の人材を活用している小学校において、どのような場面で活用していますか。（複数回答可）



(36) 平成30年度に学校外の人材を活用している中学校において、どの領域等で活用していますか。（予定も含む）（複数回答可）

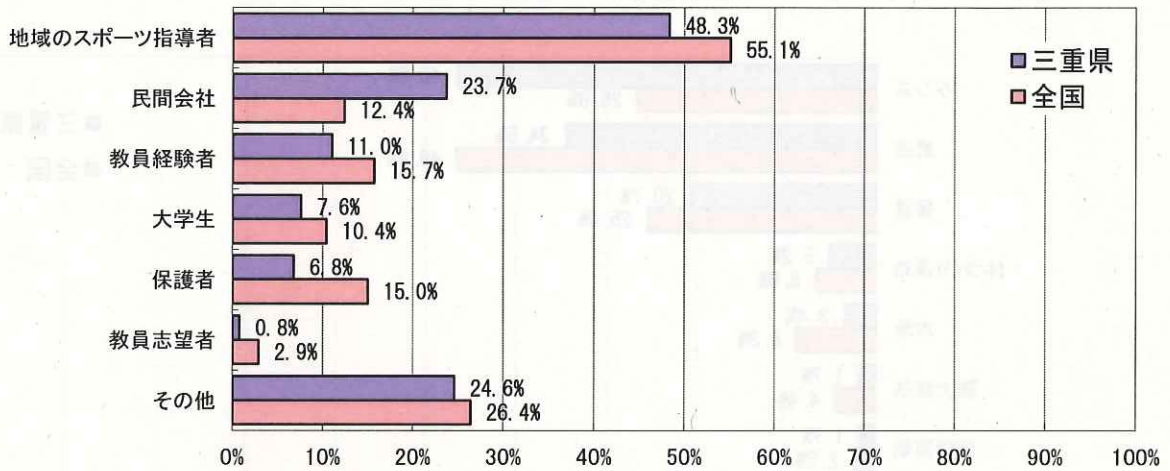


(37) 平成30年度に学校外の人材を活用している中学校において、外部人材を武道で活用している場合、その種目を選択してください。（複数回答可）

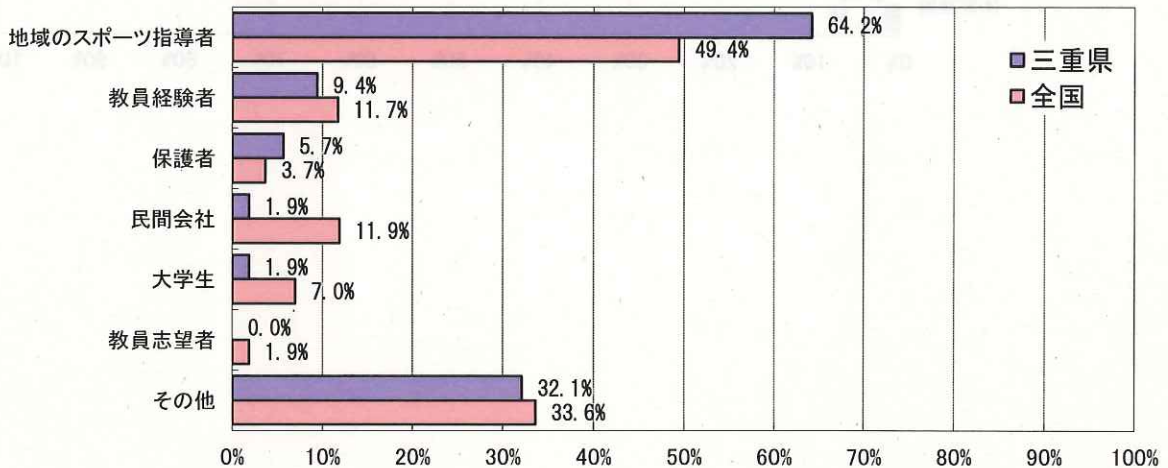


(38) 学校外の人材のプロフィールを選択してください。（複数回答可）

【小学校】



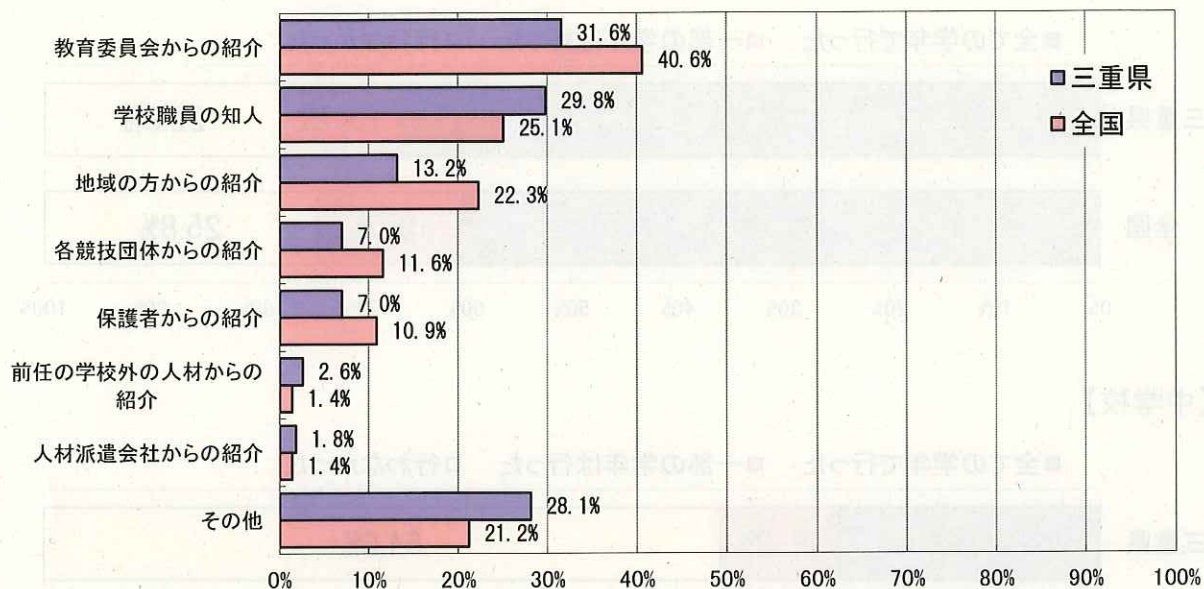
【中学校】



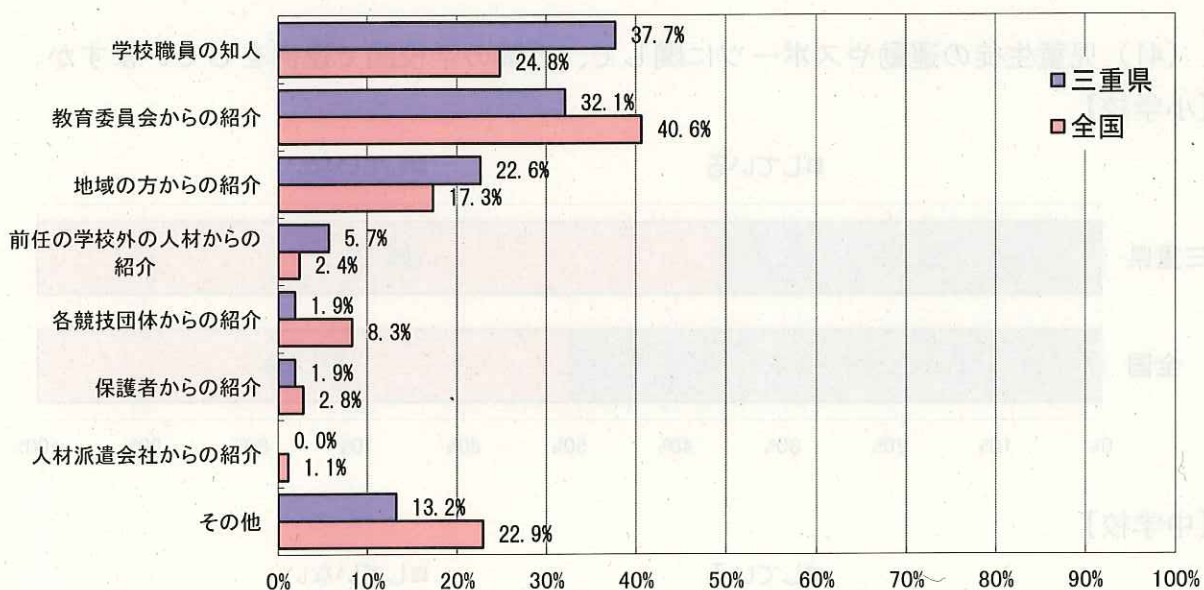


(39) 学校外の人材の選定方法について回答してください。(複数回答可)

【小学校】

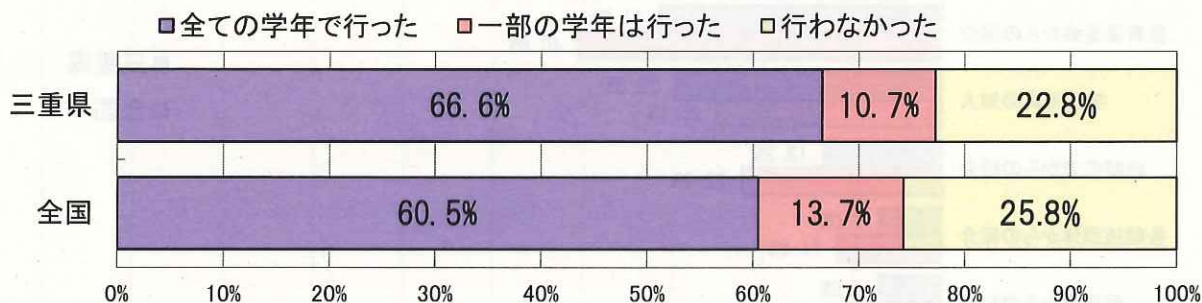


【中学校】

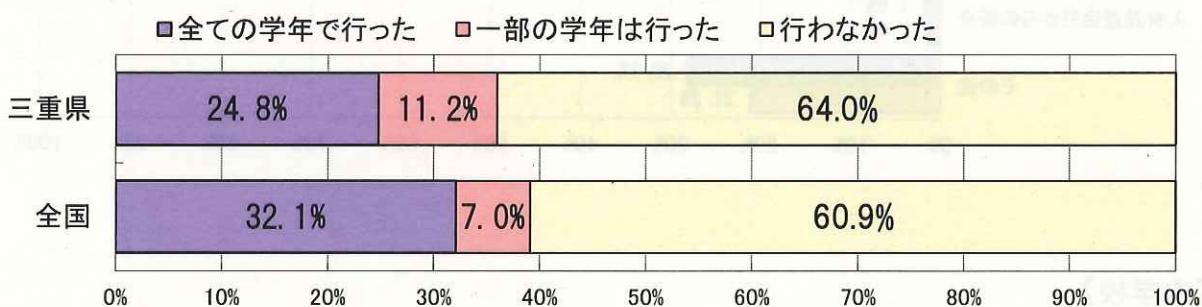


(40) 平成29年度に、全ての児童生徒の家庭に対して、子どもの体力向上に係る説明・呼びかけ等を行いましたか。

【小学校】

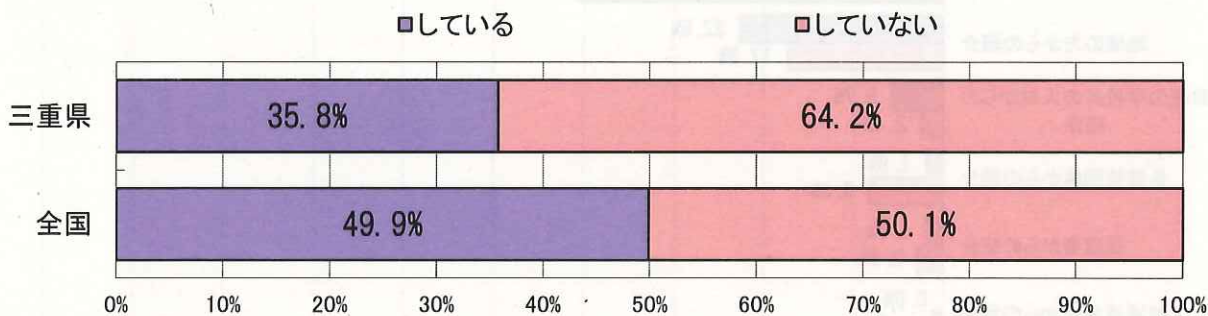


【中学校】

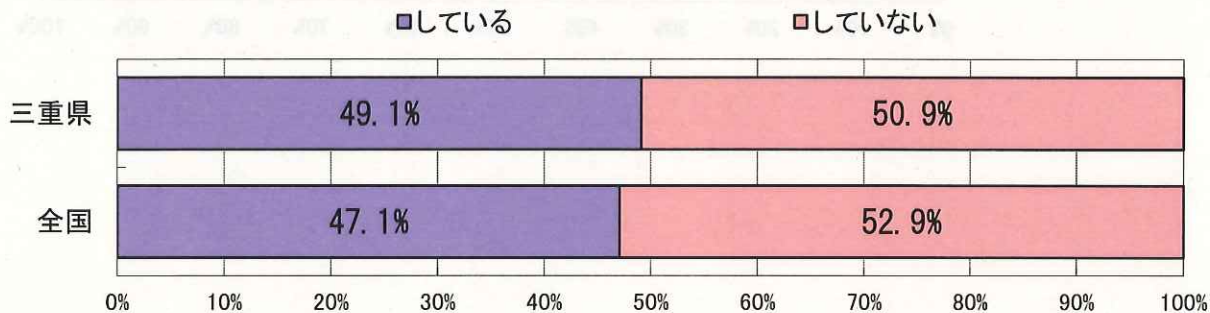


(41) 児童生徒の運動やスポーツに関して、近隣の学校間で連携をしていますか。

【小学校】

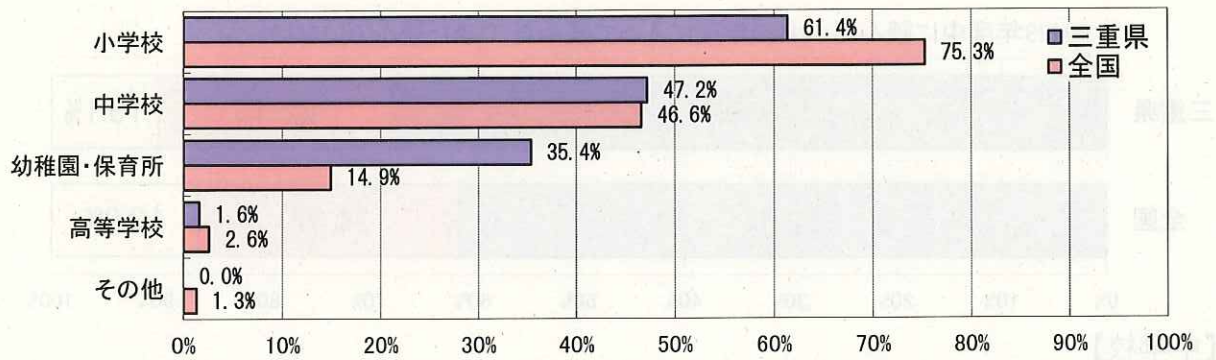


【中学校】

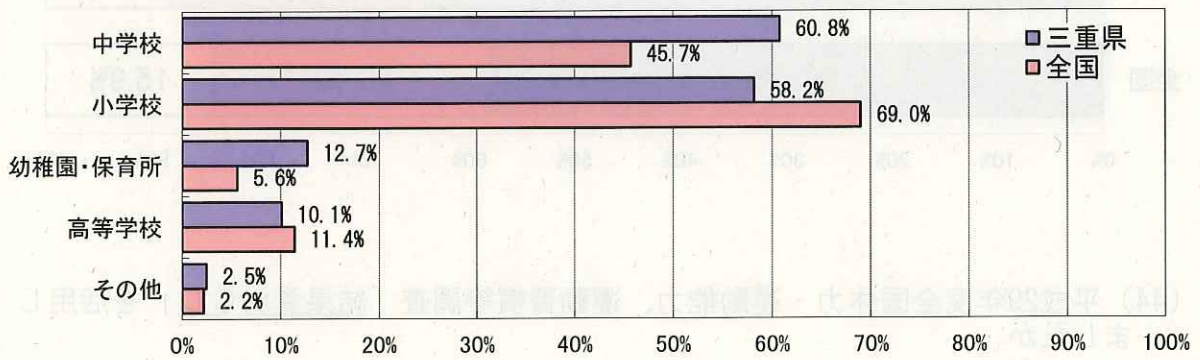


(42) 児童生徒の運動やスポーツに関して、近隣の学校間で連携を「している」と回答した学校では、どこと連携していますか。(複数回答可)

【小学校】



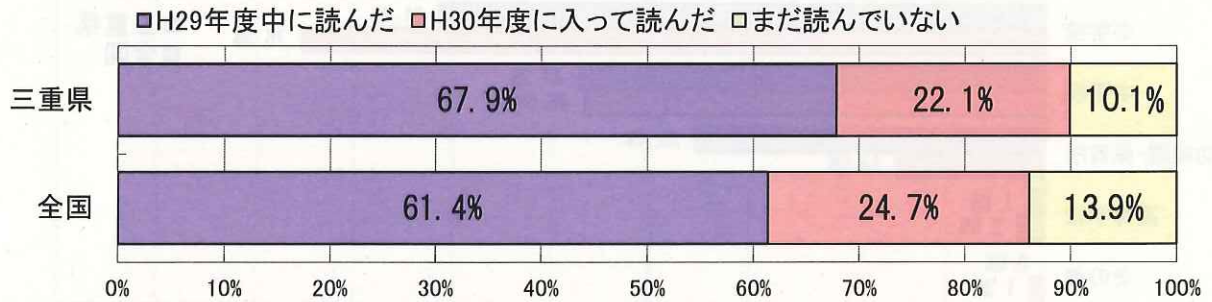
【中学校】



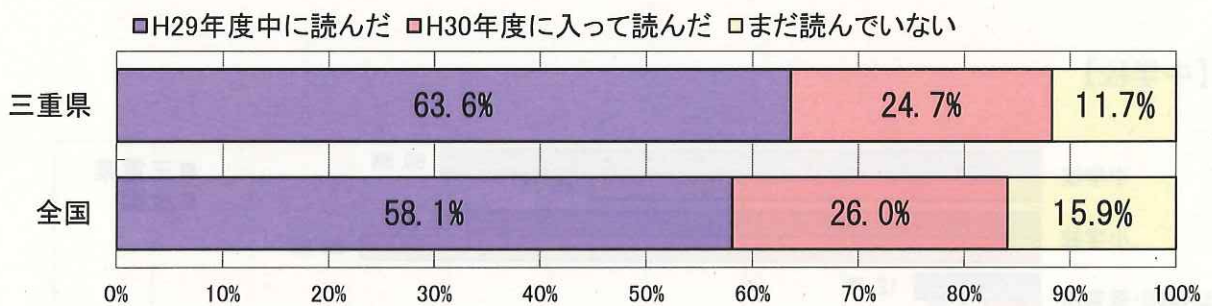


(43) 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「報告書」を読みましたか。

【小学校】

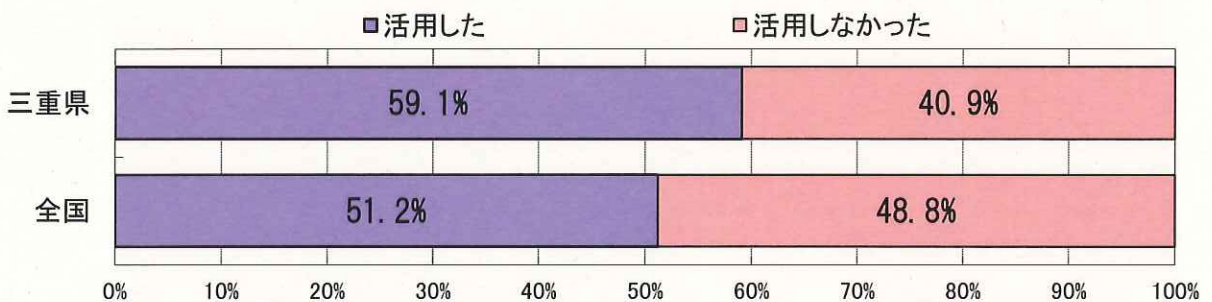


【中学校】

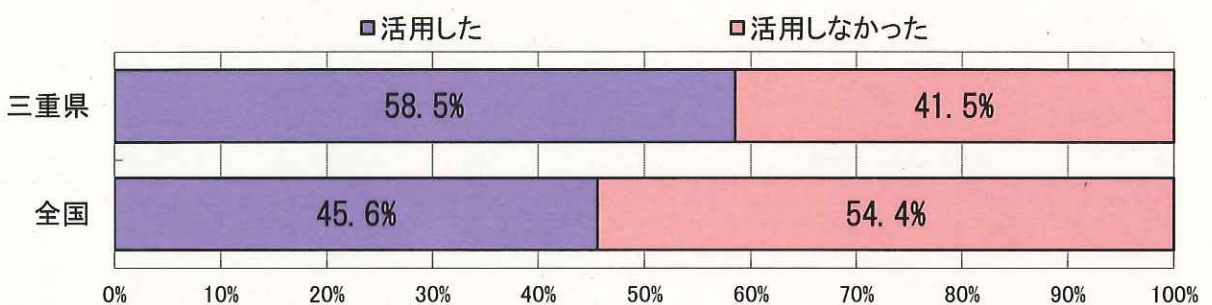


(44) 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「結果資料CD」を活用しましたか。

【小学校】

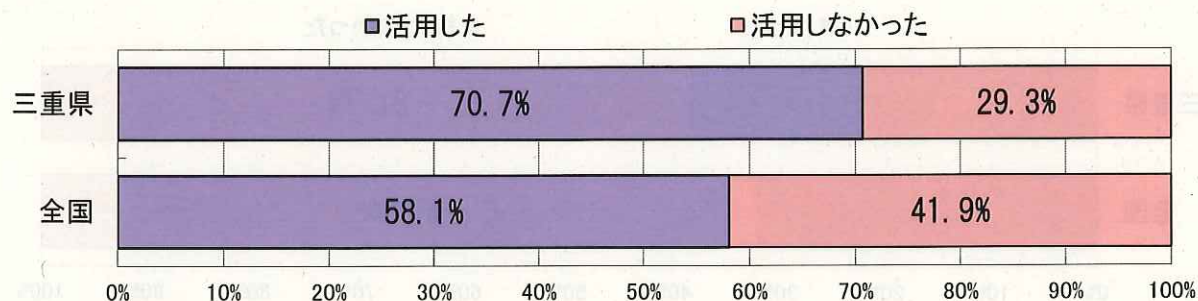


【中学校】

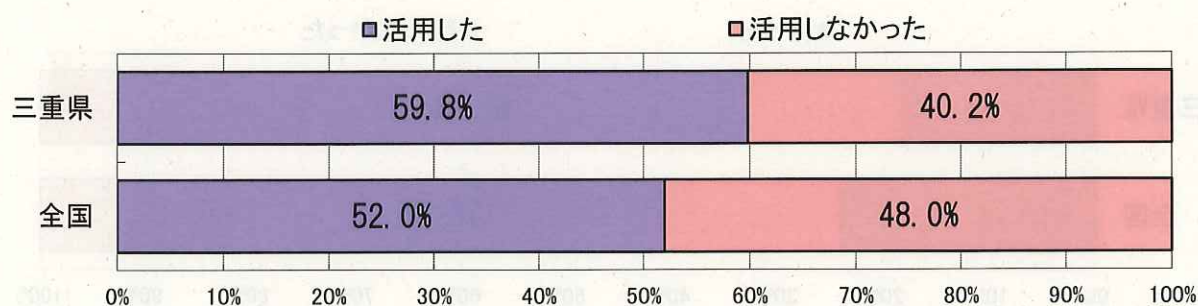


(45) 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「学校用確認シート」を活用しましたか。

【小学校】

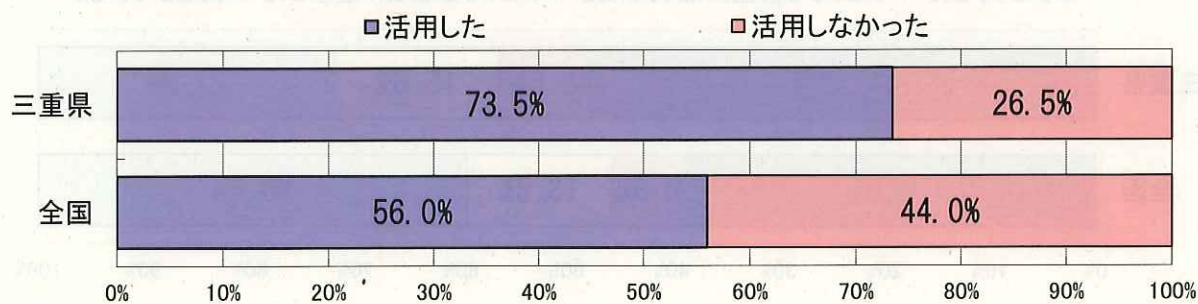


【中学校】

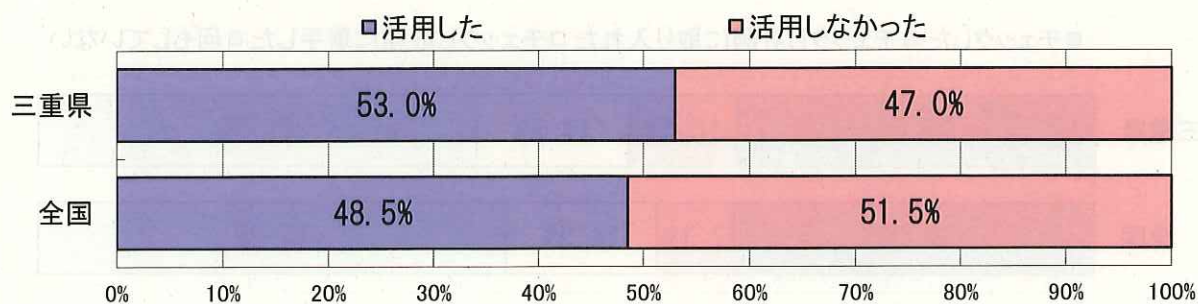


(46) 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「記録シート」を活用しましたか。

【小学校】

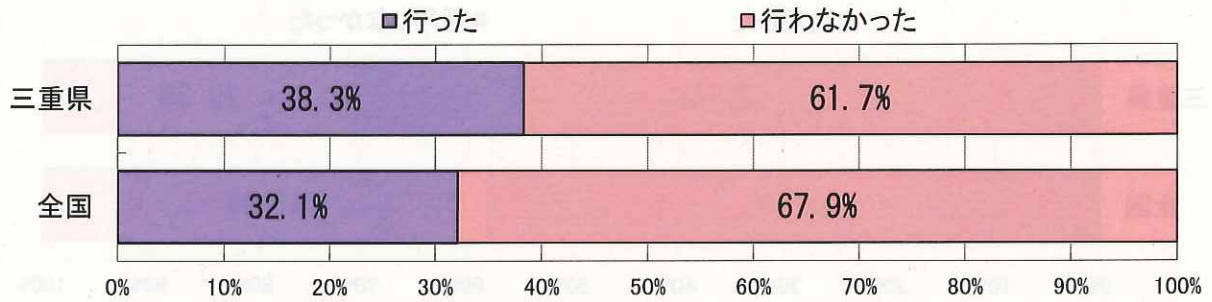


【中学校】

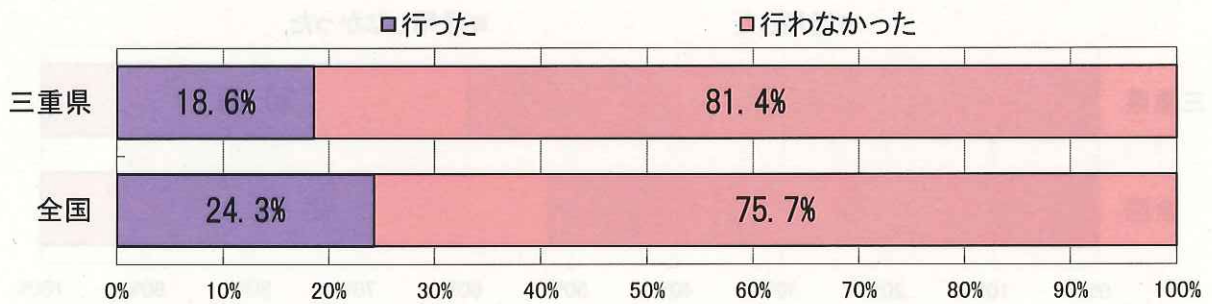


(47) 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書に掲載した事例校の実践を参考にした取組を行いましたか。

【小学校】

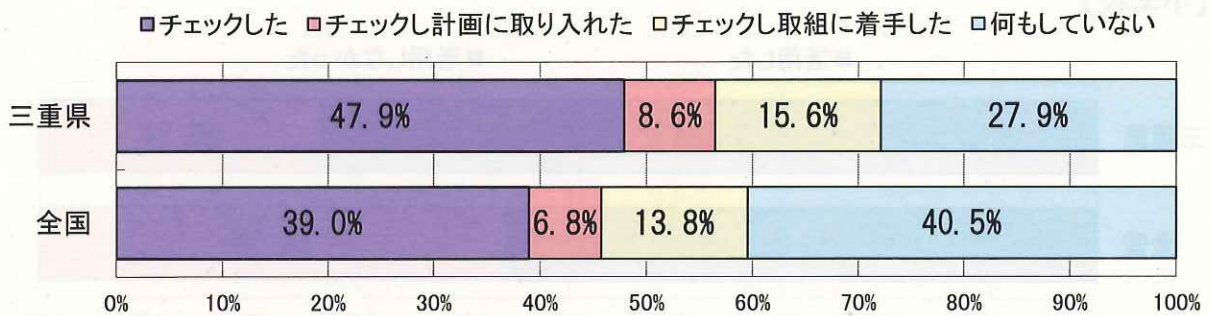


【中学校】

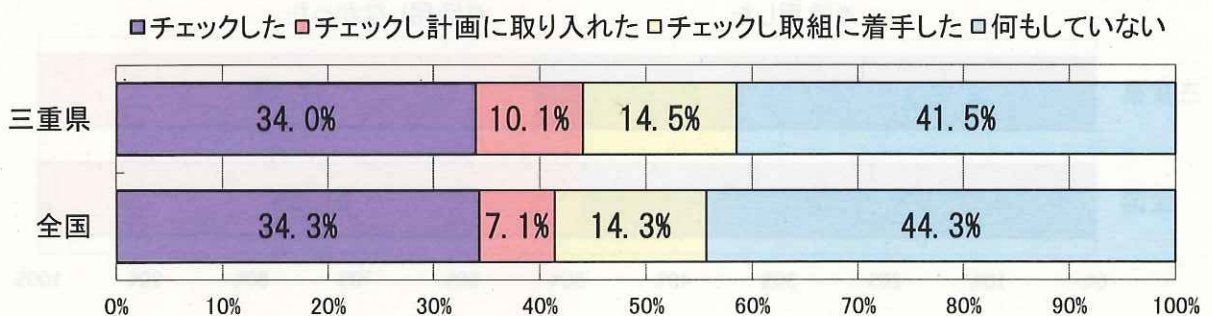


(48) 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書の巻末に掲載した「取組チェックシート」を活用しましたか。

【小学校】



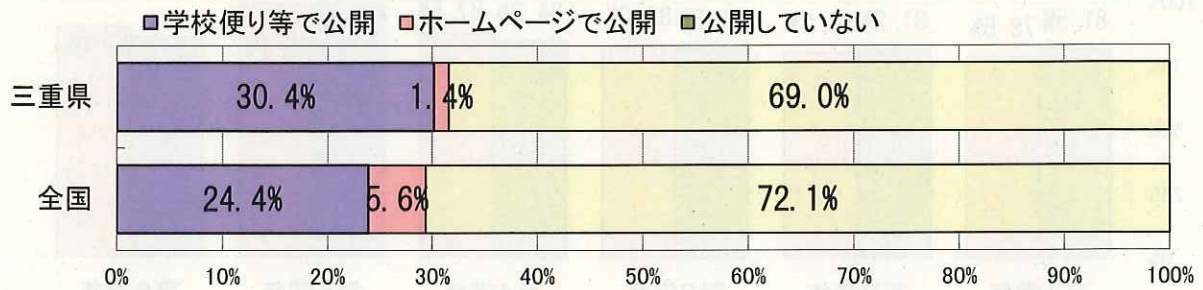
【中学校】



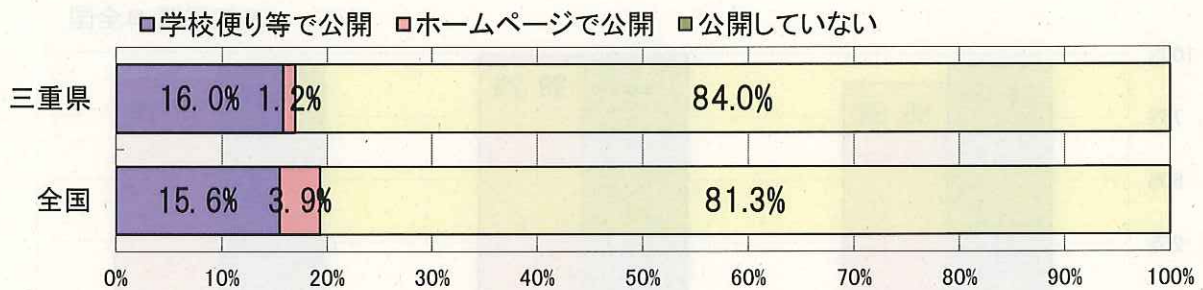


(49) 学校のホームページや学校だより等で、平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を公開しましたか。

【小学校】

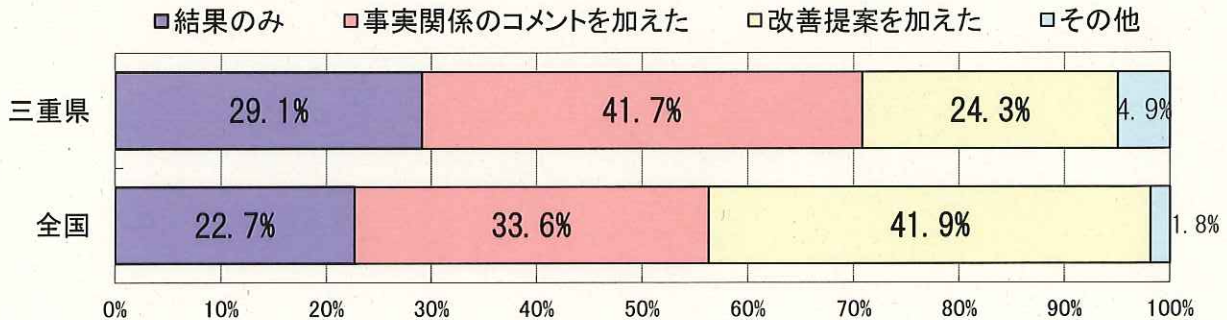


【中学校】

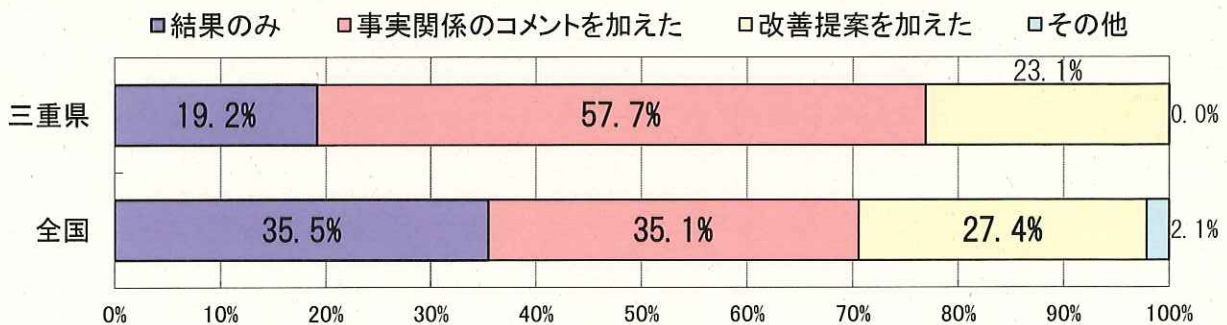


(50) 学校のホームページや学校だより等で、平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を公開した学校では、どのように公開しましたか。

【小学校】

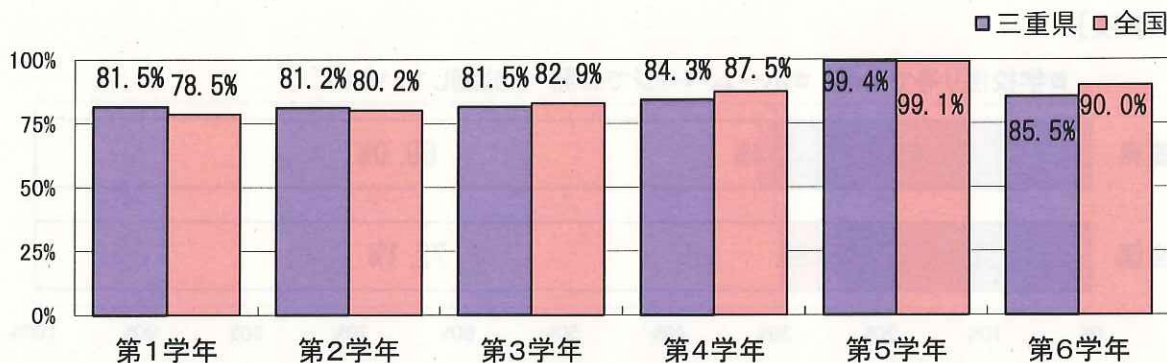


【中学校】

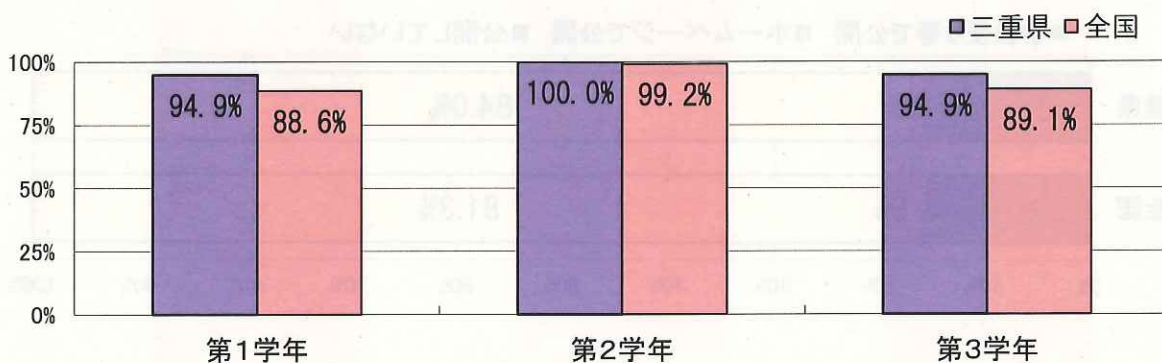


(51) 新体カテストを実施した学年を選んでください。(複数回答可)

【小学校】



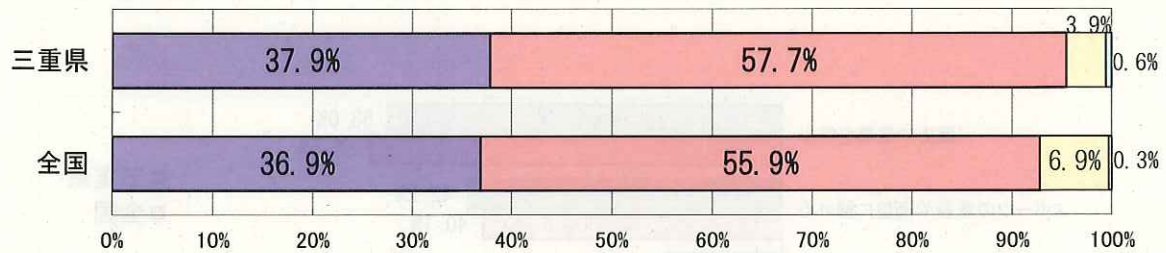
【中学校】



(22) 健康三原則（運動・栄養（食事）、睡眠）の大切さを、児童生徒に伝えていますか。

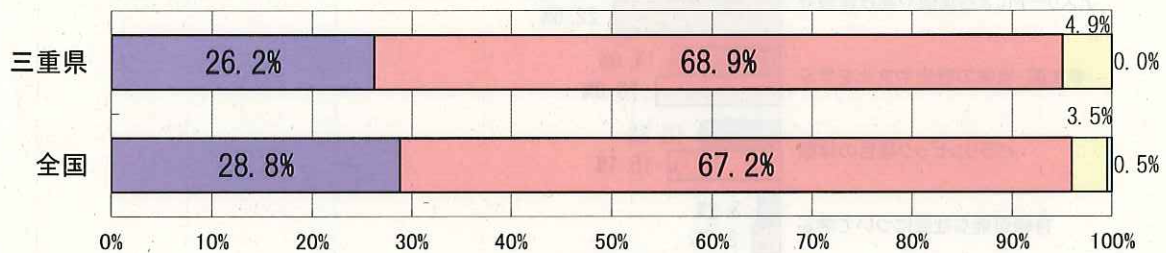
【小学校】

□様々な場面で計画的に伝える □機会をとらえて適宜伝える □各担任や担当に任せる □特に伝えていない



【中学校】

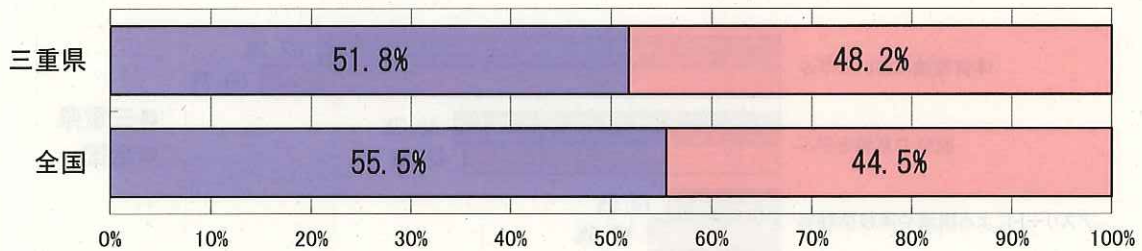
□様々な場面で計画的に伝える □機会をとらえて適宜伝える □各担任や担当に任せる □特に伝えていない



(23) 平成29年度に、オリンピック・パラリンピック教育に係る取組を行いましたか。

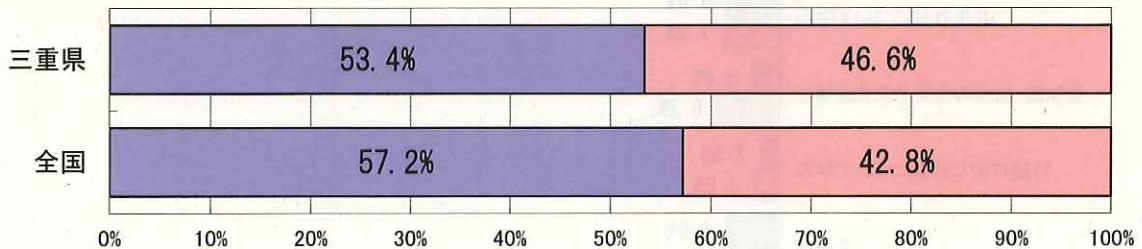
【小学校】

□行った □行わなかった



【中学校】

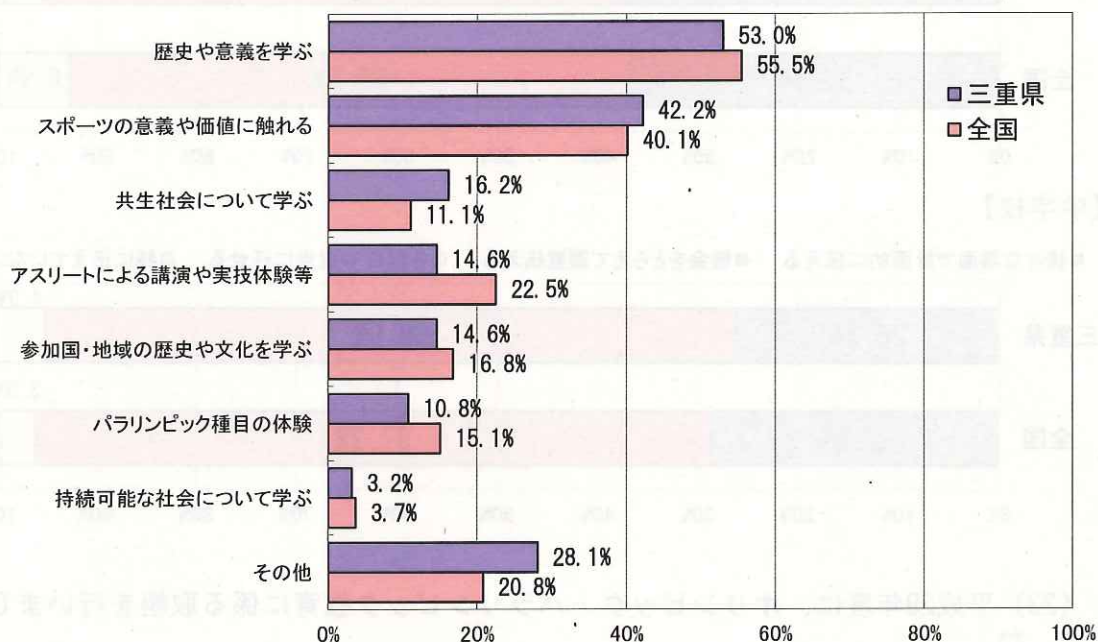
□行った □行わなかった



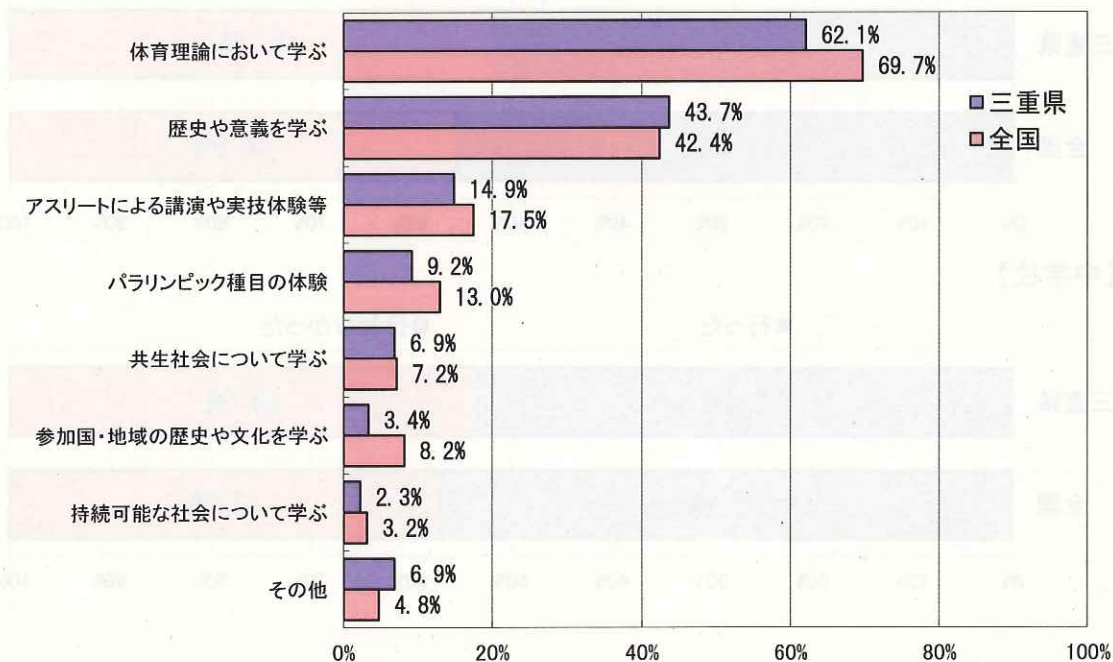


(24) (23) で「行った」と回答した学校は、行った取組の具体的な内容を選んでください。(複数回答可)

【小学校】

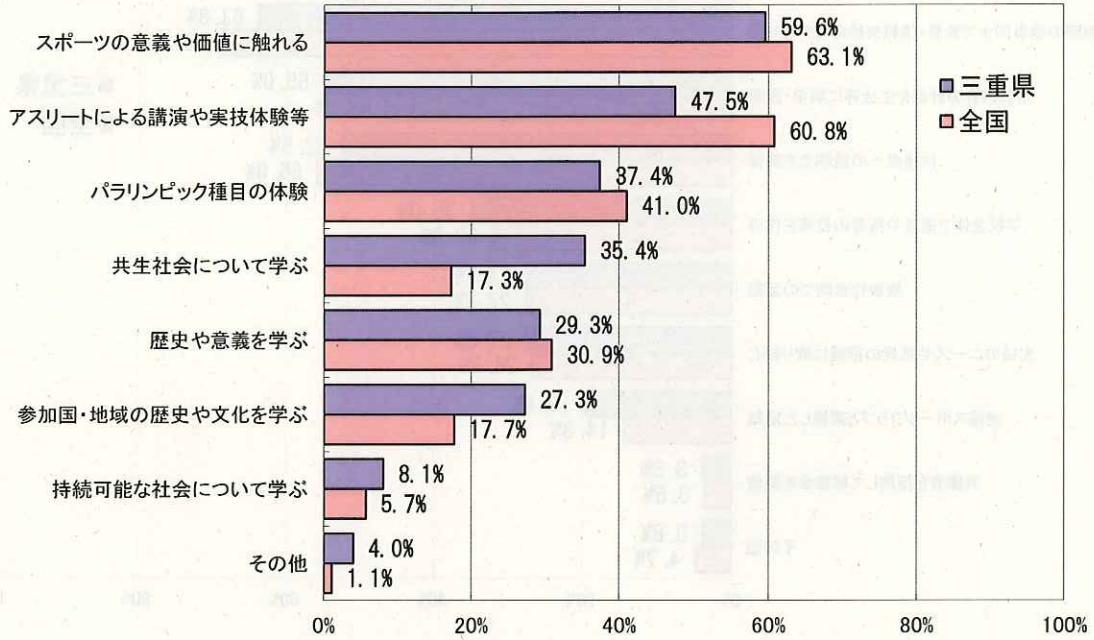


【中学校】

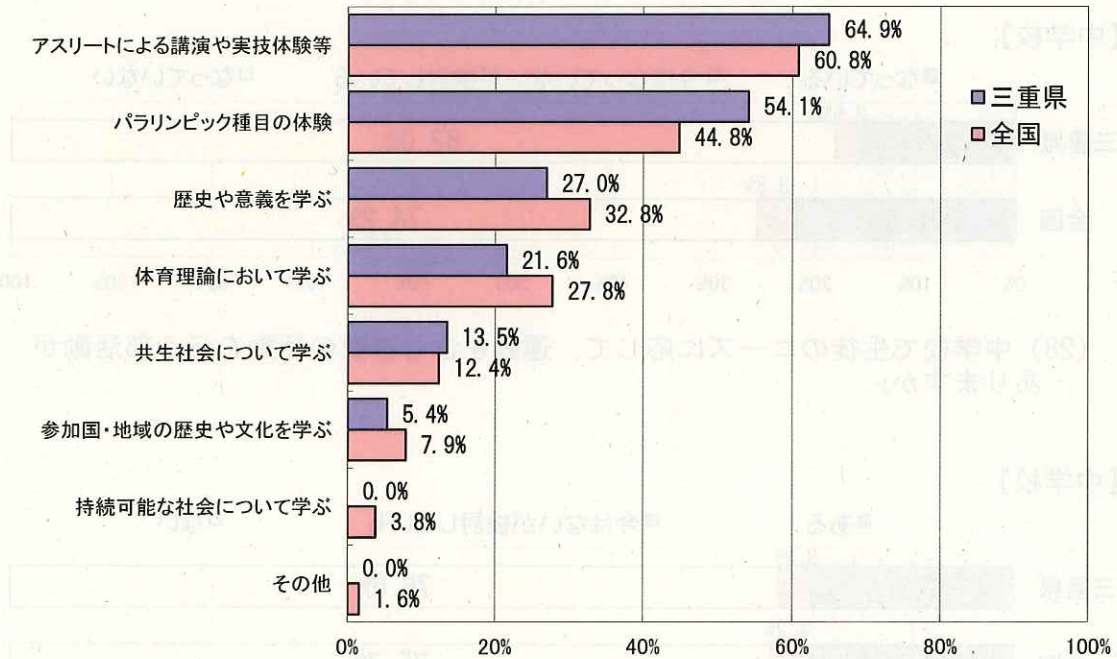


(25) (23) で「行わなかった」と回答した学校は、行ってみたい取組の具体的な内容を選んでください。(複数回答可)

【小学校】

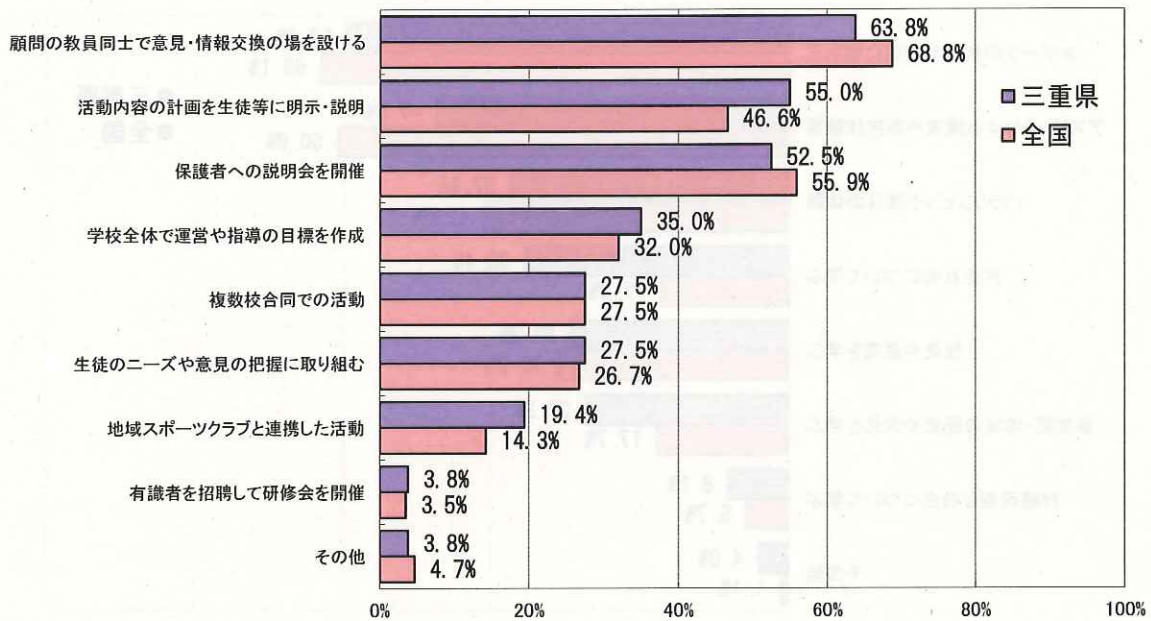


【中学校】



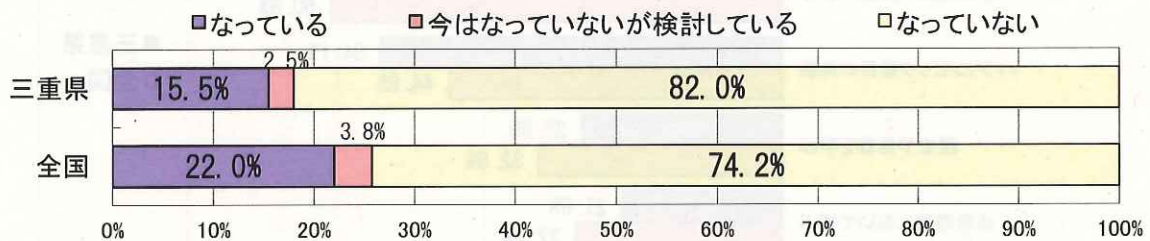
(26) 中学校で運動部活動での指導内容や指導方法の充実のためにどのような取組を行っていますか。(複数回答可)

【中学校】



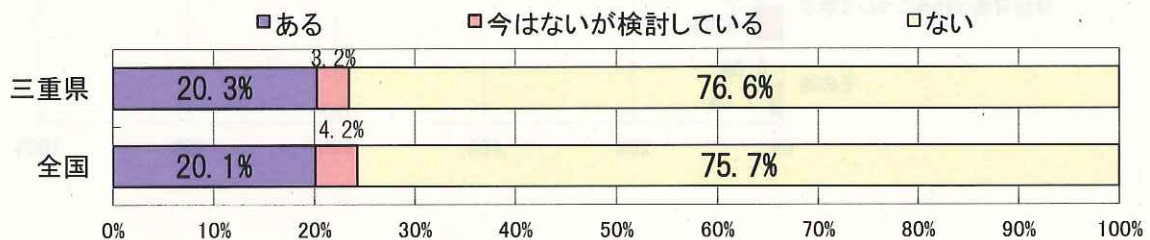
(27) 中学校で生徒のニーズに応じて、複数の運動部に所属できるようになっていますか。

【中学校】



(28) 中学校で生徒のニーズに応じて、運動を含む複数の活動を行う部活動がありますか。

【中学校】





### Ⅲ 調査結果の特徴

#### 1 児童生徒の運動習慣～1週間の総運動時間から～

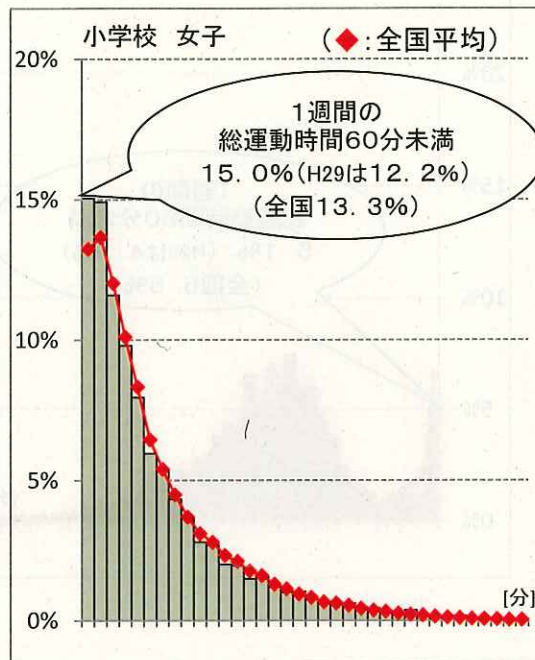
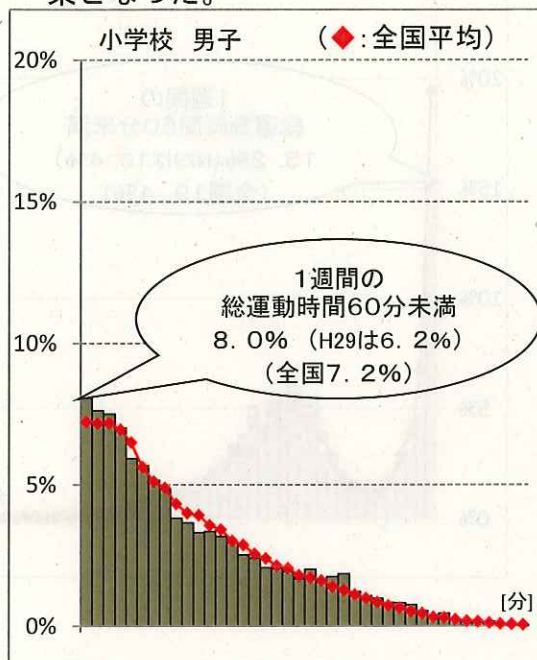
##### (1) 1週間の総運動時間の状況

###### 【小学校5年生】

##### ① 1週間の総運動時間の分布

1週間の総運動時間が60分未満の児童は、男子が8.0%、女子が15.0%であり、昨年度に比べると、男子は1.8%、女子は2.8%増加した。

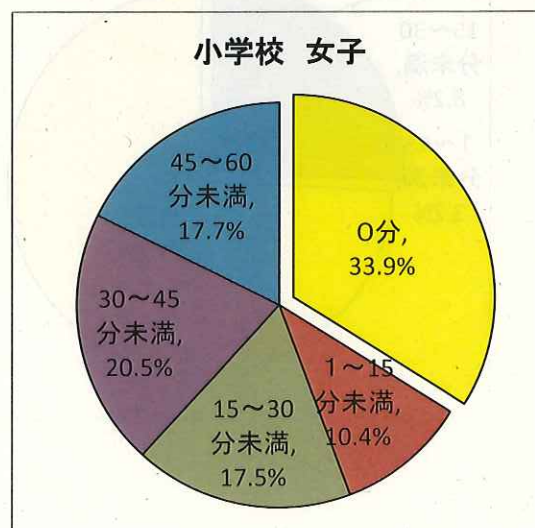
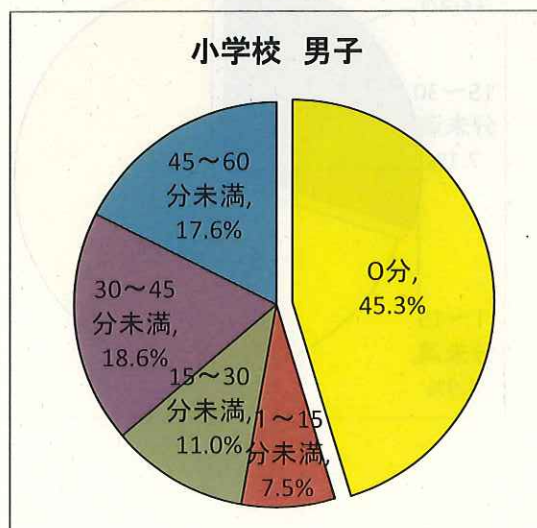
全国平均との比較では、男子は、全国平均を0.8%、女子は、1.7%上回る結果となった。



##### ② 1週間の総運動時間が60分未満の児童の運動時間の内訳

1週間の総運動時間が60分未満の児童の内訳では、総運動時間「0分」の割合が、男子では45.3%、女子では33.9%であった。昨年度と比べ、男子は2.2%、女子は0.6%減少した。

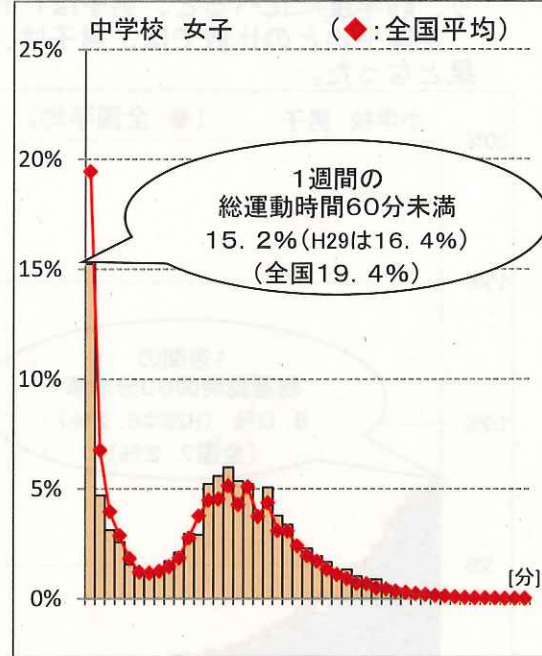
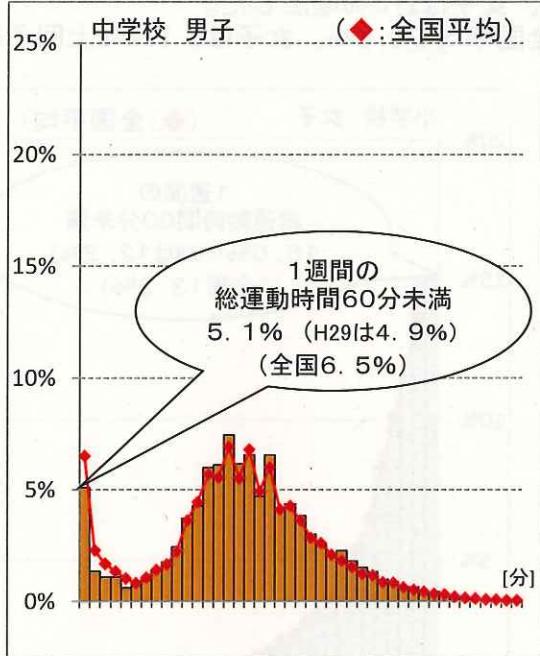
(H29: 男子47.5%、女子34.5%)



【中学校2年生】

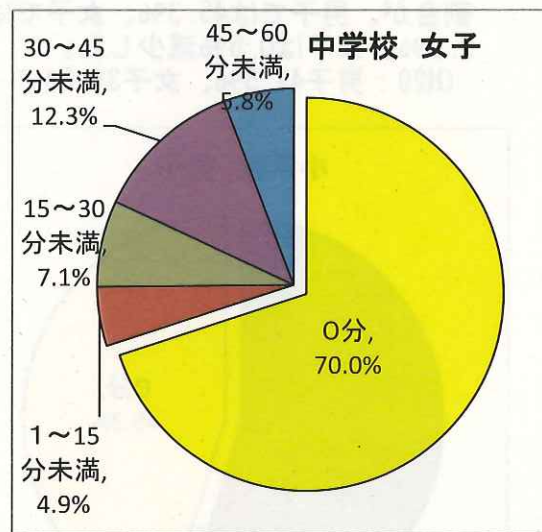
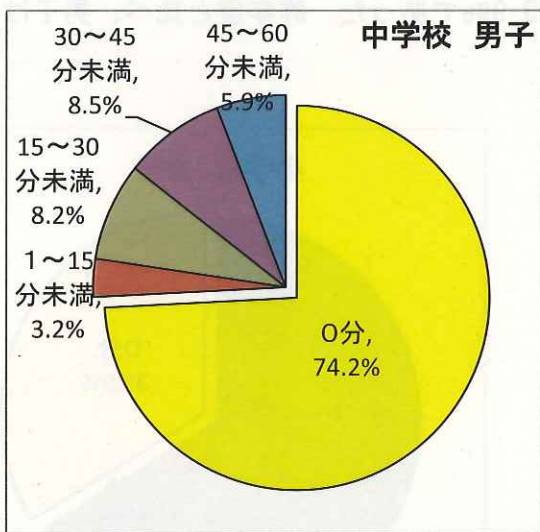
① 1週間の総運動時間の分布

1週間の総運動時間が60分未満の生徒は、男子が5.1%、女子が15.2%であり、昨年度に比べると、男子は0.2%増加し、女子は1.2%減少した。  
 全国平均との比較では、男子は1.4%、女子は、4.2%下回る結果となった。  
 また、引き続き、運動する生徒としない生徒の二極化傾向がみられる。



② 1週間の総運動時間が60分未満の生徒の運動時間の内訳

1週間の総運動時間が60分未満の生徒の内訳では、総運動時間「0分」の割合が、男子では74.2%、女子では70.0%であった。昨年度と比べ、男子は2.0%減少し、女子は1.9%増加した。  
 (H29: 男子76.2%、女子68.1%)





## 2 体育・健康に関する指導に向けて参考となる調査結果

### (1) 体育・保健体育の授業で、できなかったことができるようになったきっかけと学校の取組について

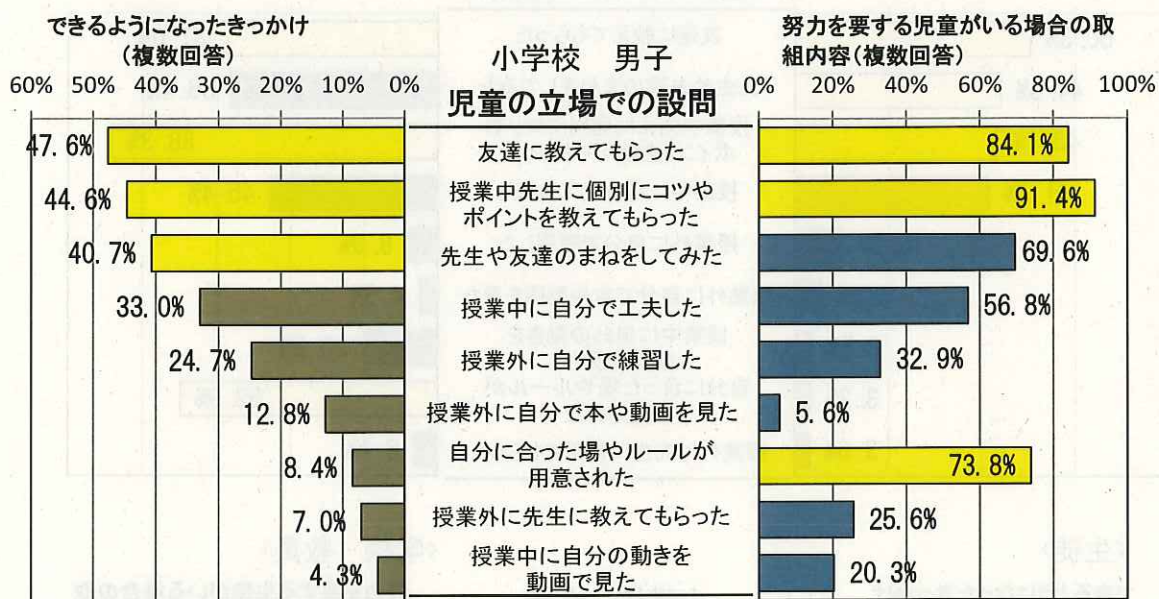
#### 【小学校5年生】

男女とも、できるようになったきっかけは「友達に教えてもらった」「授業中、先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」「先生や友達のまねをしてみた」の割合が高かった。

学校質問紙の「体育の授業で努力を要する児童がいる場合の取組内容」の回答においても同様の傾向が見られたが、「児童に合った場やルール等で行えるようにしている」という設問については、教員と児童の回答に大きな開きがある。

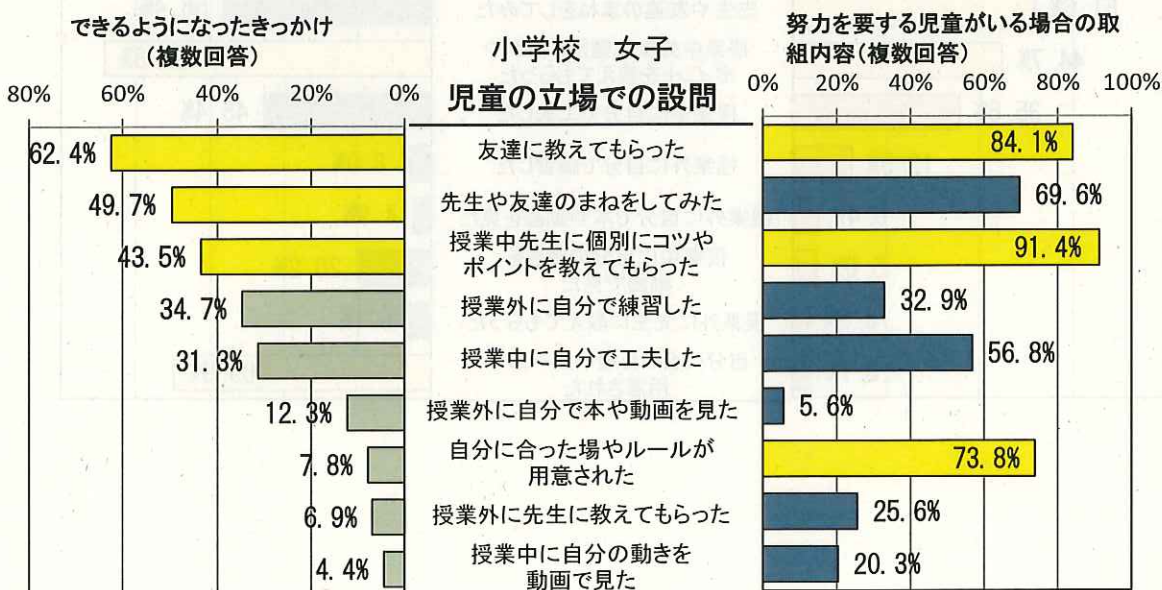
<児童>

<学校・教員>



<児童>

<学校・教員>





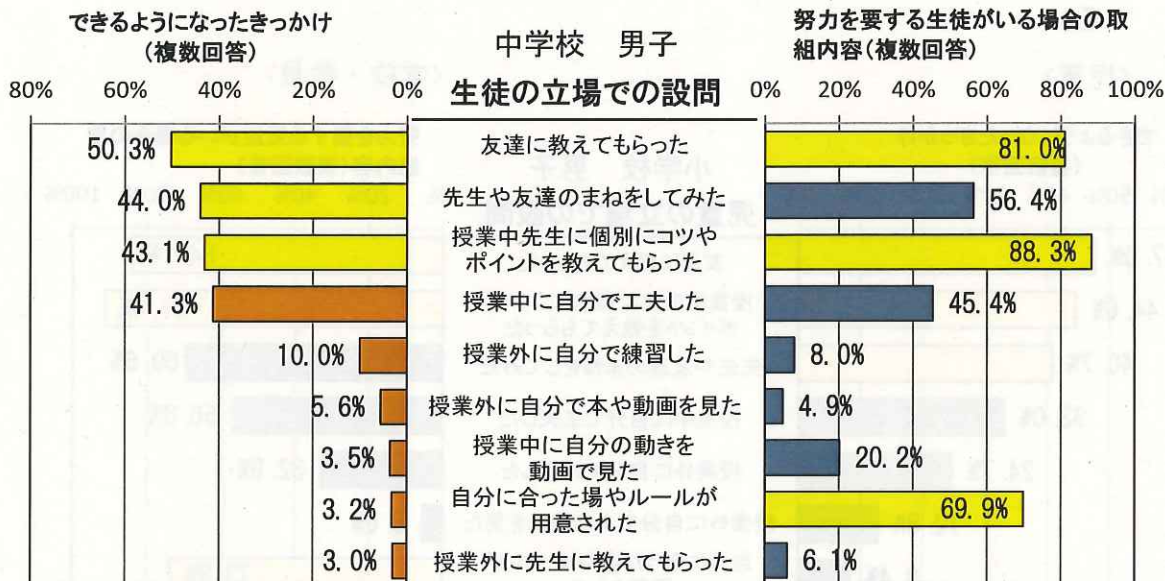
【中学校2年生】

男女とも、できるようになったきっかけは「友達に教えてもらった」「授業中、先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」「先生や友達のまねをしてみた」の割合が高かった。

学校質問紙の「体育の授業で努力を要する児童がいる場合の取組内容」の回答においても同様の傾向が見られたが、小学校と同じように「生徒に合った場やルール等で行えるようにしている」という設問については、教員と生徒の回答に大きな開きがある。

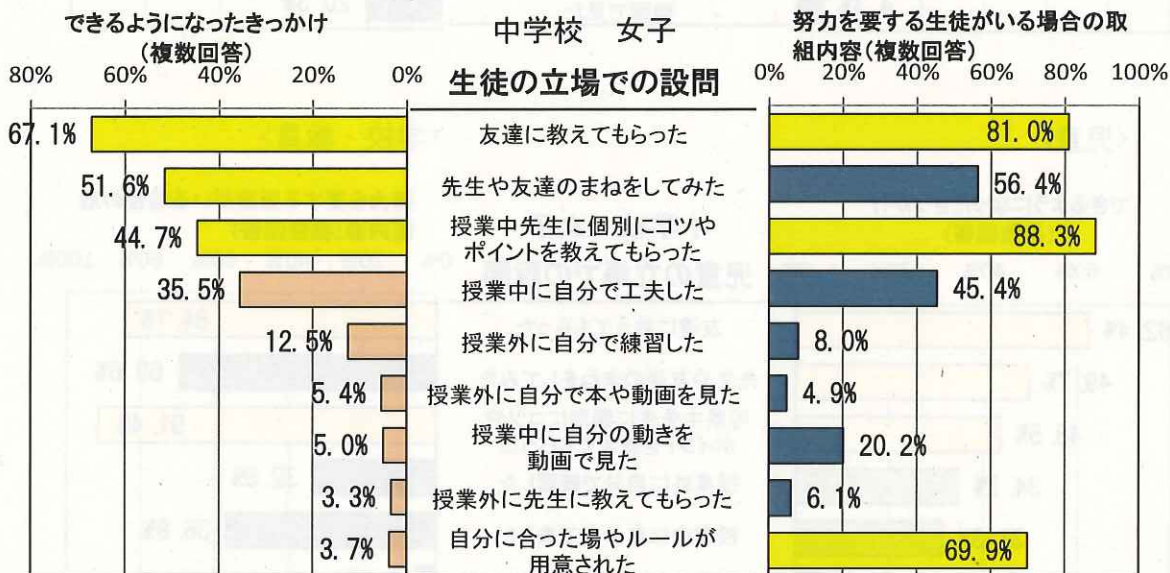
<生徒>

<学校・教員>



<生徒>

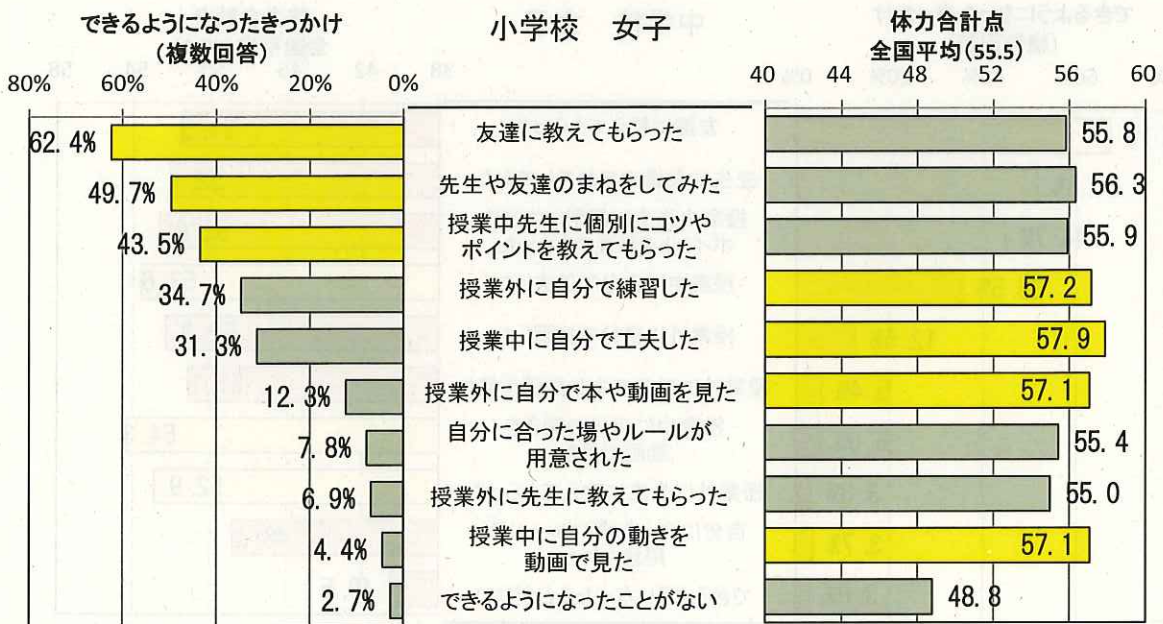
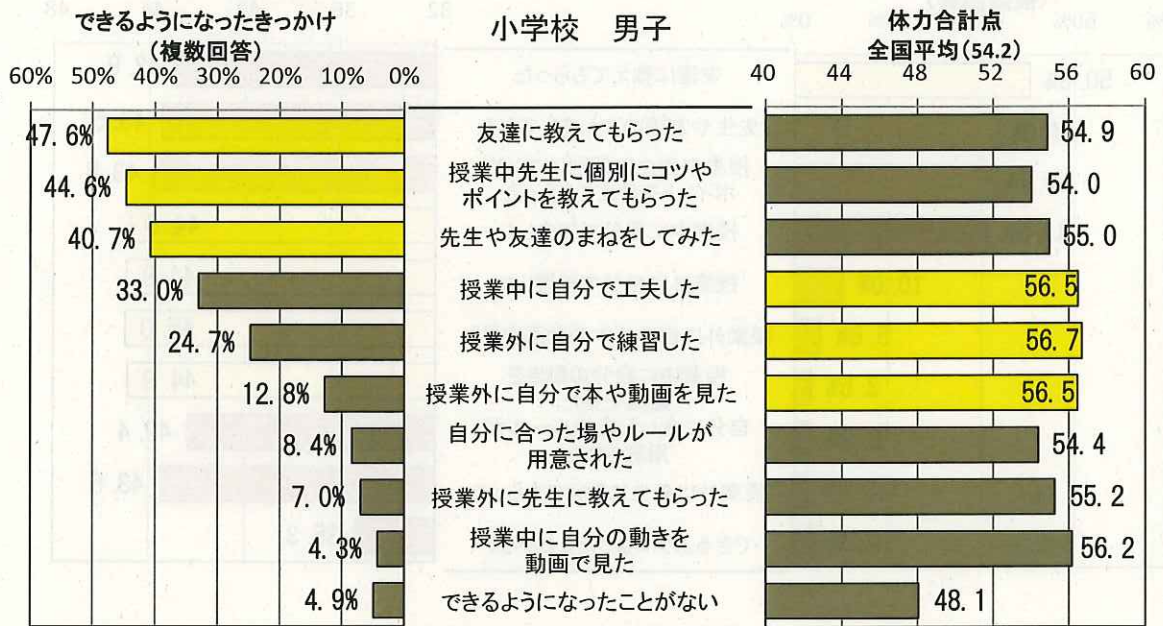
<学校・教員>



(2) 体育・保健体育の授業で、できなかったことができるようになった  
きっかけと体力合計点についての関連

【小学校5年生】

男女ともに、「授業中に自分で工夫して練習した」「授業外の時間に自分で練習した」「授業外の時間に自分で本を読んだり動画を見たりした」「授業中に自分の動きを動画で見た」と「自分で」取り組むと回答した児童の体力水準は高かった。





【中学校2年生】

男女ともに、「授業中に自分で工夫した」「授業中に自分の動きを動画で見た」と回答した生徒、加えて「授業外に自分で練習した」「授業外に自分で本や動画を見た」と回答した男子生徒の体力水準は高く、小学校と同じように「自分で」取り組む生徒の体力水準が高かった。

